

まちづくり市民アンケート調査結果
(一般・高校生・中学生)

令和4年3月

竹 田 市

竹田市 総合計画策定のための
まちづくりアンケート調査結果報告書

令和4年3月

竹 田 市

目 次

調査の概要及び回答者の属性	1
1 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象及び調査方法、回収結果	1
2 本調査報告書の基本的な事項	2
(1) 数値の基本的な取り扱いについて	2
3 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 職業	3
(4) 就学先・勤務先	4
(5) 居住歴	4
(6) 居住年数	4
(7) 世帯構成	4
(8) 居住地区	5
調査結果	6
1 竹田市の住みやすさについて	6
(1) 市の住みやすさ	6
(2) 今後の定住意向	8
(3) 住み続けたいと思う主な理由	10
(4) 住み続けたくないと思う主な理由	12
2 まちづくりの満足度とこれからの重要度について	14
(1) まちの各環境に関する満足度	14
(2) まちの各環境に関する重要度	21
(3) 満足度と重要度の相関（優先度）	28
4 まちづくりの意識と取り組みについて	31
(1) 健康管理のための取り組み	31
(2) かかりつけ医の有無	33
(3) 環境に配慮した生活	35
(4) 3 R 運動	37
(5) 公共交通機関の利用	39
(6) 災害時の避難場所	41
(7) 職場や地域での防災訓練への参加	43
(8) 市の講座や教室等の生涯学習活動への参加	45
(9) 地域のいろいろな行事への参加	47
(10) 地域活動やボランティアなどへの参加意向	49

(11) 市政に関する情報の入手先	51
(12) 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか	53
(13) 頼りになる知り合いが近所にいるか	55
(14) 高齢者や障がい者にも暮らしやすい地域か	57
(15) 買い物や通院に便利な地域か	59
(16) 子育てに積極的な地域か	61
(17) 地域の子どもはのびのびと育っているか	63
(18) 地域の公共交通は便利だと思うか	65
(19) 地域はきれいだと思うか	67
(20) 地域に活気があるか	69
(21) 自慢したい地域の風景や名所があるか	71
(22) 地元や県内でとれた農畜産物を買っているか	73
(23) 災害に対して住んでいる地域は安全か	75
(24) 女性の活躍を多面的に支援する地域か	77
(25) 若者が希望を持てる地域だと思うか	79
5 今後のまちづくりについて	81
(1) 市民と行政のあるべき関係	81
(2) 特に重点を置くべき取り組み	83
(3) 子育てしやすいまちになるため力を入れるとよいこと	85
(4) どのようなまちにしたいか	87
(5) 協働のまちづくりを進めるため必要な取り組み	89
(6) これからの行政サービスのあり方	91
(7) 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目	93
6 インターネットや情報入手方法について	95
(1) 所有している携帯電話の端末の種類	95
(2) インターネットを利用する場合の端末	97
(3) 利用頻度の高い連絡手段	99
(4) 行政情報を入手している広報媒体	103
(5) 市ホームページをどのような時に利用するか	105
(6) 防災行政の音声告知放送端末（受信機）について	107
資料：調査票	109

調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、竹田市総合計画（令和5年度～令和14年度）の策定にあたって、まちへの愛着度や今後の定住意向をはじめ、まちの各環境に関する満足度と重要度、今後のまちづくりの特色など、市民の意識やニーズを把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法、回収結果

項目	内容
調査対象	18歳以上の市民
配布数	2,000（うち不明戻数：10）
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	令和3年12月
調査地区	市内全域。ただし、分析上は、地域的傾向を把握するため、以下の4地区に区分した。 旧竹田市 旧荻町 旧久住町 旧直入町
有効回収数	814
有効回収率	40.9%（回答総数÷（発送数 - 不明戻数））

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。

基数となるべき実数は、“n = ”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。

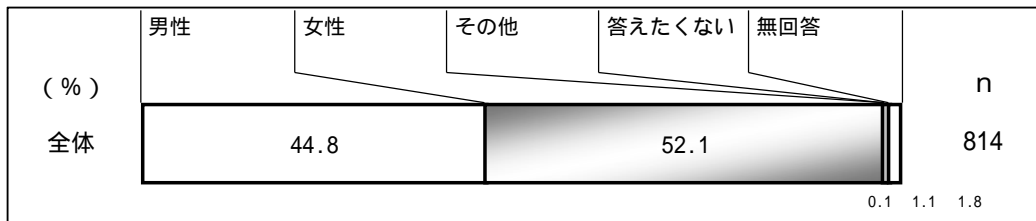
質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

10歳代の回答者が4人(0.5%)と少数であったため、調査結果(P4以降)は、20歳代とあわせて「10・20歳代」として分析しています。

3 回答者の属性

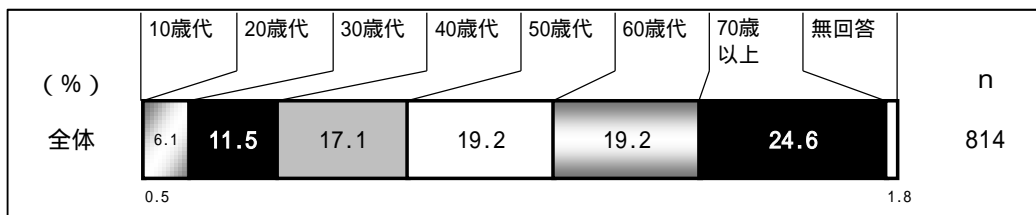
(1) 性別

回答者の性別構成は、「女性」(52.1%)、「男性」(44.8%)、「答えたくない」(1.1%)となっており、



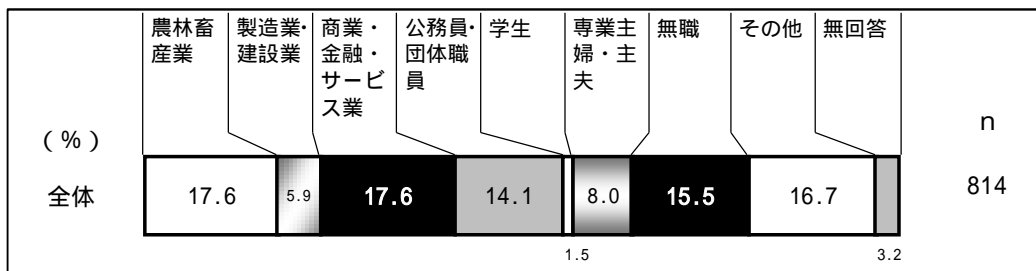
(2) 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」(24.6%)、「50歳代」(19.2%)、「60歳代」(19.2%)、「40歳代」(17.1%)、「30歳代」(11.5%)、「20歳代」(6.1%)、「10歳代」(0.5%)となっており、



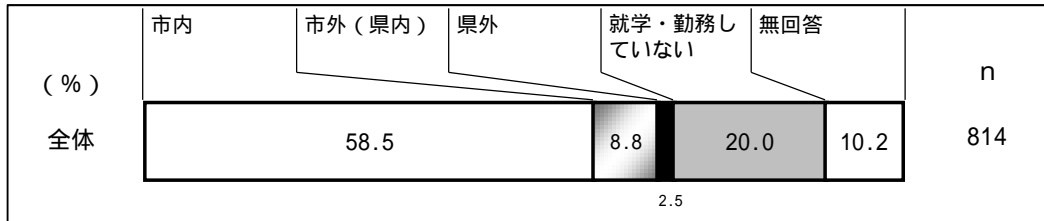
(3) 職業

回答者の職業は「農林畜産業」(17.6%)、「商業・金融・サービス業」(17.6%)、「無職」(15.5%)、「公務員・団体職員」(14.1%)、「専業主婦・主夫」(8.0%)、「製造業・建設業」(5.9%)、「学生」(1.5%)となっており、



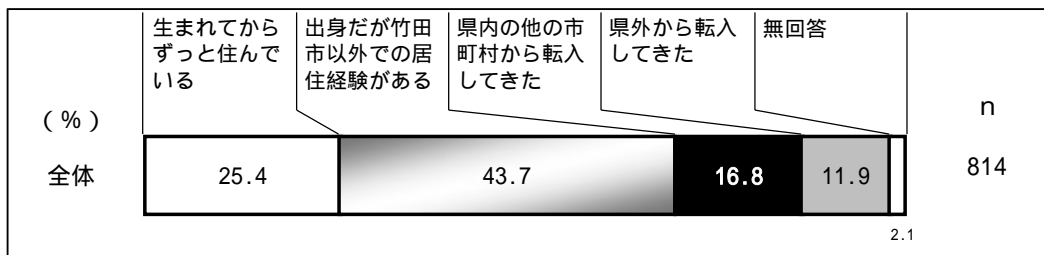
(4) 就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先は、「市内」(58.5%)、「就学・勤務していない」(20.0%)、「市外(県内)」(8.8%)、「県外」(2.5%)となっています。



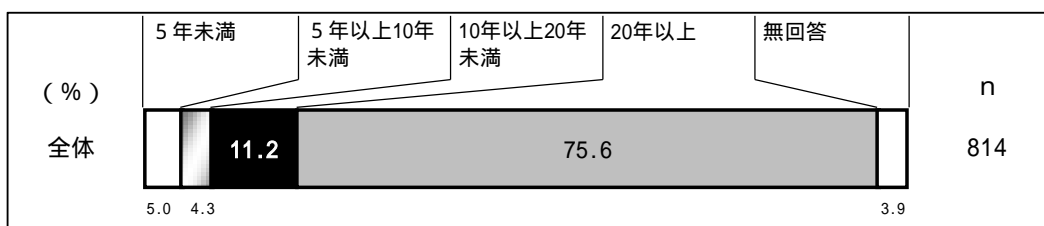
(5) 居住歴

回答者の居住歴は、「出身だが竹田市以外での居住経験がある」(43.7%)、「生まれてからずっと住んでいる」(25.4%)、「県内の他の市町村から転入してきた」(16.8%)、「県外から転入してきた」(11.9%)となっています。



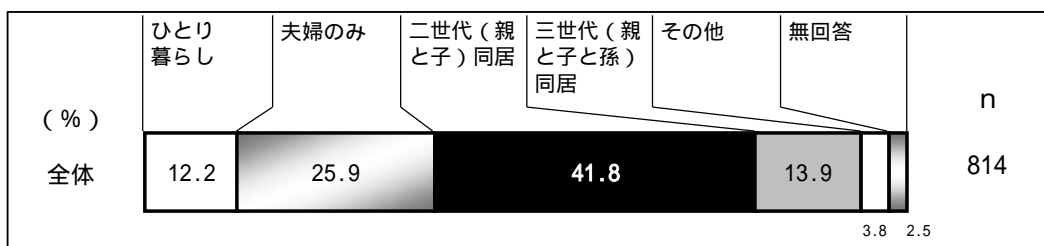
(6) 居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」(75.6%)、「10年以上20年未満」(11.2%)、「5年未満」(5.0%)、「5年以上10年未満」(4.3%)となっています。



(7) 世帯構成

回答者の世帯構成は、「二世帯(親と子)同居」(41.8%)、「夫婦のみ」(25.9%)、「三世帯(親と子と孫)同居」(13.9%)、「ひとり暮らし」(12.2%)となっています。



(8) 居住地区

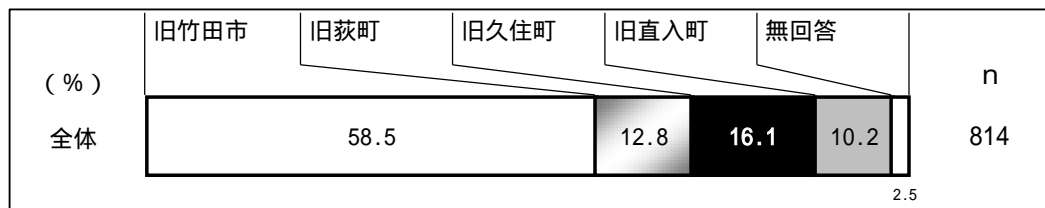
大字名

回答者の居住地区（大字名）は以下のとおりとなっています。

区分	大字名	人	%
旧竹田市	竹田	89	10.9
	岡本	20	2.5
	明治	23	2.8
	豊岡	72	8.8
	玉来	79	9.7
	松本	48	5.9
	入田	27	3.3
	姫岳	18	2.2
	宮砥	21	2.6
	菅生	27	3.3
	宮城	18	2.2
	城原	34	4.2
	旧荻町	荻	90
柏原		14	1.7
旧久住町	久住	55	6.8
	白丹	28	3.4
	都野	48	5.9
旧直入町	長湯	62	7.6
	下竹田	21	2.6
	わからない	1	0.1
	無回答	19	2.3
	全体	814	100.0

旧市町名

回答者の居住地区（旧市町名）は、「旧竹田市」(58.5%)、「旧久住町」(16.1%)、「旧荻町」(12.8%)、「旧直入町」(10.2%)となっています。



調査結果

1 竹田市の住みやすさについて

(1) 市の住みやすさ

問2 あなたは、竹田市が「住みやすいまち」だと感じますか。

“住みやすい”が56.1%、“住みにくい”が19.9%。

市民が市の住みやすさについてどう感じているかを把握するため、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が35.7%で最も多く、これと「住みやすい」(20.4%)をあわせた“住みやすい”という人が56.1%となっています。これに対し、“住みにくい”という人(「どちらかといえば住みにくい」(15.5%)と「住みにくい」(4.4%)の合計)は19.9%と2割弱となっています。なお、「どちらともいえない」は21.7%となっています。

[図表1 参照]

図表1 市の住みやすさ（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）

		住みやす い	どちらか といえば 住みやす い	どちらと もいえな い	どちらか といえば 住みにく い	住みに くい	無回答	n
全体		20.4	35.7	21.7	15.5	4.4	2.2	814
性別	男性	23.6	34.5	20.3	14.8	5.5	1.4	365
	女性	18.6	38.2	23.3	16.0	3.3	0.5	424
年齢	10・20歳代	18.5	24.1	16.7	35.2	5.6	0.0	54
	30歳代	14.9	44.7	23.4	12.8	4.3	0.0	94
	40歳代	15.8	33.1	26.6	20.1	4.6	0.0	139
	50歳代	15.4	37.2	22.4	18.6	4.5	1.9	156
	60歳代	17.9	41.0	23.7	10.9	5.1	1.3	156
	70歳以上	33.5	33.5	18.0	10.5	3.5	1.0	200
世帯構成	ひとり暮らし	21.2	32.3	21.2	20.2	5.1	0.0	99
	夫婦のみ	25.6	37.0	19.9	12.8	3.8	0.9	211
	二世帯（親と子）同居	18.5	36.5	23.2	15.6	5.3	0.9	340
	三世帯（親と子と孫）同居	19.5	38.9	22.1	15.0	1.8	2.7	113
	その他	12.9	32.3	22.6	25.8	6.5	0.0	31
居住地区	旧竹田市	21.8	35.5	22.5	14.5	4.0	1.7	476
	旧荻町	24.0	31.7	22.1	17.3	4.8	0.0	104
	旧久住町	18.3	38.9	22.9	16.8	3.1	0.0	131
	旧直入町	14.5	42.2	16.9	19.3	7.2	0.0	83

(2) 今後の定住意向

問3 あなたは、これからも竹田市に住み続けたいと思いますか。(進学や転勤などやむを得ない理由は無いものとしてお考えください。)

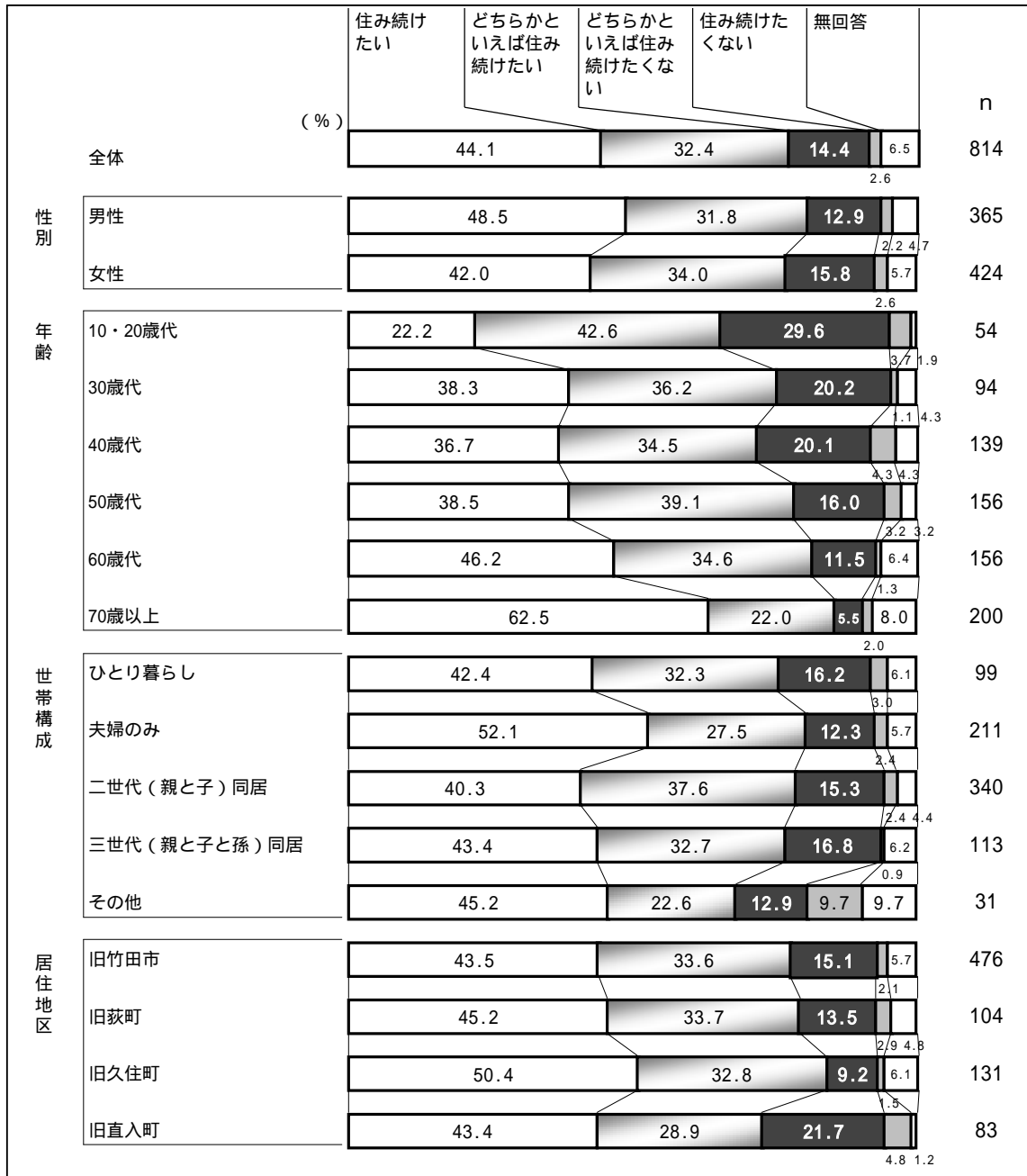
“住み続けたい”が76.5%、“住み続けたくない”が17.0%。

市民の今後の定住意向を探るため、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたくない」、「住み続けたくない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「住み続けたい」と答えた人が44.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人が32.4%で、これらをあわせた“住み続けたい”という人が76.5%と8割弱となっています。これに対し、“住み続けたくない”という人(「どちらかといえば住み続けたくない」(14.4%)と「住み続けたくない」(2.6%)の合計)は17.0%と2割強程度にとどまり、問2の“住みやすい”と感じている率と同様に、定住意向も強いといえます。

[図表2 参照]

図表2 今後の定住意向（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(3) 住み続けたいと思う主な理由

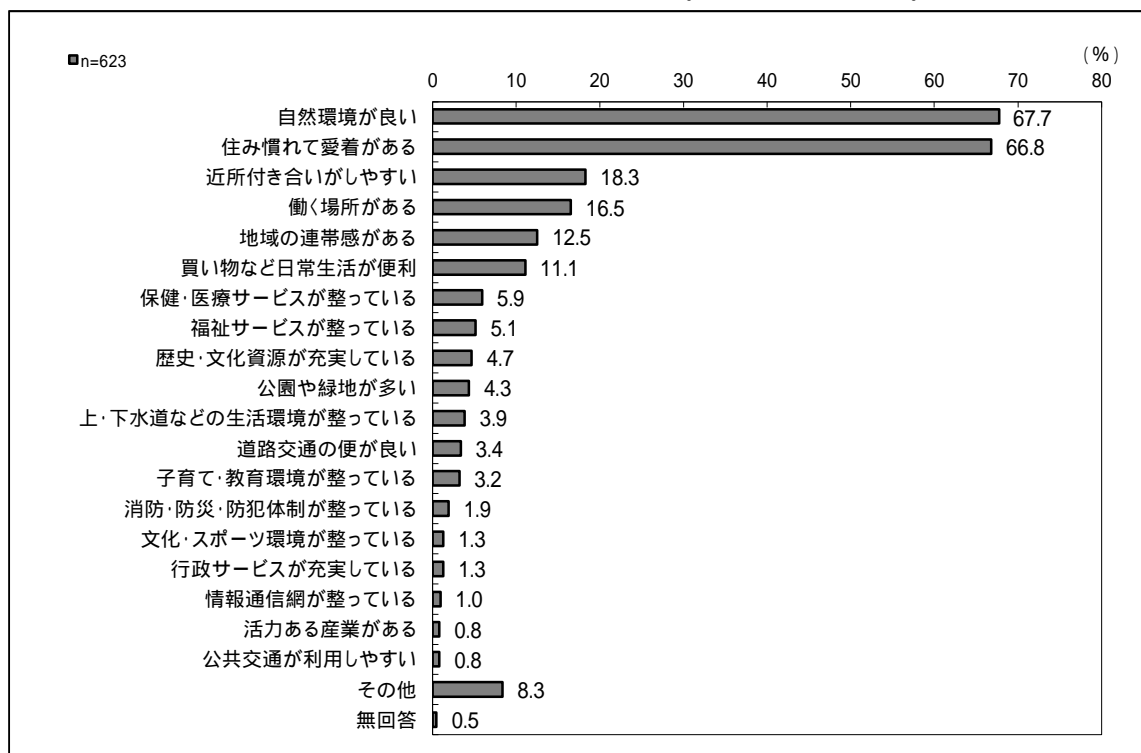
問3 - 1 問3で「1」または「2」に をつけた方は、問3 - 1もお答えください。住み続けたいと思う主な理由は何ですか。(問3で“住み続けたい”と回答した人のみ)【複数回答】

「自然環境が良い」と「住み慣れて愛着がある」の2つが目立って高くなっている。

問3で“住み続けたい”と答えた623人(全体の76.5%)に、住み続けたい理由についてたずねたところ、「自然環境が良い」(67.7%)が第1位、次いで「住み慣れて愛着がある」(66.8%)が第2位となっており、この2項目が目立って高くなっています。これ以外では、「働く場所がある」(16.5%)、「地域の連帯感がある」(12.5%)、「買い物など日常生活が便利」(11.1%)、「保健・医療サービスが整っている」(5.9%)、「福祉サービスが整っている」(5.1%)、「歴史・文化資源が充実している」(4.7%)、「公園や緑地が多い」(4.3%)、「上・下水道などの生活環境が整っている」(3.9%)、「道路交通の便が良い」(3.4%)、「子育て・教育環境が整っている」(3.2%)などの順となっています。

属性別で見ると、ほとんどの属性で全体と同様に「自然環境が良い」が第1位、「住み慣れて愛着がある」と「近所付き合いがしやすい」が第2位あるいは第3位にあげられています。職業別の農林畜産業では「住み慣れて愛着がある」(71.3%)が第1位で「自然環境が良い」(69.4%)が第2位、年齢別の30歳代と40歳代では「子育て・教育環境が整っている」が第3位にあげられています。[図表3・4参照]

図表3 住み続けたいと思う主な理由(全体/複数回答)



図表4 住み続けたいと思う主な理由
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		自然環境が良い 67.7	住み慣れて愛着がある 66.8	近所付き合いがしやすい 18.3
性別	男性	自然環境が良い 67.6	住み慣れて愛着がある 65.2	働く場所がある 18.8
	女性	住み慣れて愛着がある 68.6	自然環境が良い 67.7	近所付き合いがしやすい 18.9
年齢	10・20歳代	自然環境が良い 82.9	住み慣れて愛着がある 54.3	働く場所がある 17.1
	30歳代	自然環境が良い 77.1	住み慣れて愛着がある 60.0	公園や緑地が多い / 近所付き合いがしやすい 17.1
	40歳代	自然環境が良い 65.7	住み慣れて愛着がある 57.6	働く場所がある 21.2
	50歳代	住み慣れて愛着がある 71.9	自然環境が良い 64.5	働く場所がある 23.1
	60歳代	住み慣れて愛着がある 69.8	自然環境が良い 65.1	働く場所がある 20.6
	70歳以上	住み慣れて愛着がある 71.6	自然環境が良い 66.3	近所付き合いがしやすい 22.5
世帯構成	ひとり暮らし	住み慣れて愛着がある 62.2	自然環境が良い 58.1	近所付き合いがしやすい 27.0
	夫婦のみ	住み慣れて愛着がある 75.0	自然環境が良い 71.4	近所付き合いがしやすい 19.0
	二世帯(親と子)同居	自然環境が良い / 住み慣れて愛着がある 67.5		働く場所がある 19.6
	三世帯(親と子と孫)同居	自然環境が良い 72.1	住み慣れて愛着がある 57.0	働く場所がある 19.8
	その他	自然環境が良い 76.2	住み慣れて愛着がある 47.6	福祉サービスが整っている 19.0
居住地区	旧竹田市	自然環境が良い 68.1	住み慣れて愛着がある 64.3	近所付き合いがしやすい 19.3
	旧荻町	住み慣れて愛着がある 67.1	自然環境が良い 57.3	働く場所がある 24.4
	旧久住町	自然環境が良い 68.8	住み慣れて愛着がある 65.1	働く場所がある 19.3
	旧直入町	住み慣れて愛着がある 83.3	自然環境が良い 80.0	働く場所がある / 近所付き合いがしやすい 16.7

(4) 住み続けたくないと思う主な理由

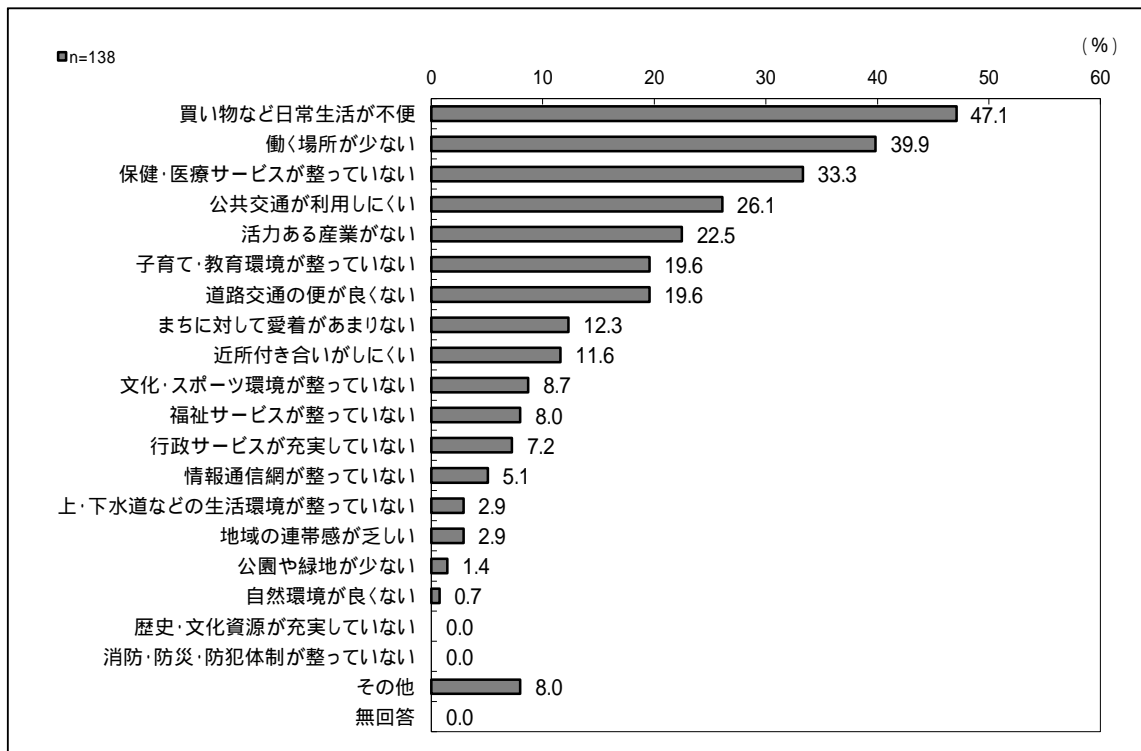
問3 - 2 「3」または「4」に をつけた方は、問3 - 2もお答えください。住み続けたくないと思う主な理由は何ですか。(問3で“住み続けたくない”と回答した人のみ)
【複数回答】

「買い物など日常生活が不便」、「働く場所が少ない」、「保健・医療サービスが整っていない」、「公共交通が利用しにくい」、「活力ある産業がない」の順。

問3で“住み続けたくない”と答えた138人(全体の17.0%)に、住み続けたくない理由についてたずねたところ、「買い物など日常生活が不便」(47.1%)が第1位、次いで「働く場所が少ない」(39.9%)が第2位、「保健・医療サービスが整っていない」(33.3%)が第3位となっています。これ以外では、「公共交通が利用しにくい」(26.1%)、「活力ある産業がない」(22.5%)、「子育て・教育環境が整っていない」・「道路交通の便が良くない」(同点 19.6%)、「まちに対して愛着があまりない」(12.3%)、「近所付き合いがしにくい」(11.6%)、「文化・スポーツ環境が整っていない」(8.7%)、「福祉サービスが整っていない」(8.0%)、「行政サービスが充実していない」(7.2%)、「情報通信網が整っていない」(5.1%)、「上・下水道などの生活環境が整っていない」・「地域の連帯感が乏しい」(同点 2.9%)などの順となっています。

[図表5・6 参照]

図表5 住み続けたくないと思う主な理由(全体/複数回答)



図表6 住み続けたくないと思う主な理由
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		買い物など日常生活が不便 47.1	働く場所が少ない 39.9	保健・医療サービスが整っていない 33.3
性別	男性	買い物など日常生活が不便 47.3	働く場所が少ない 38.2	活力ある産業がない 36.4
	女性	買い物など日常生活が不便 47.4	働く場所が少ない 41.0	保健・医療サービスが整っていない 35.9
年齢	10・20歳代	働く場所が少ない / 買い物など日常生活が不便 61.1		公共交通が利用しにくい / 道路交通の便が良くない 33.3
	30歳代	働く場所が少ない 65.0	子育て・教育環境が整っていない / 買い物など日常生活が不便 40.0	
	40歳代	保健・医療サービスが整っていない 44.1	買い物など日常生活が不便 35.3	働く場所が少ない 32.4
	50歳代	買い物など日常生活が不便 50.0	保健・医療サービスが整っていない / 働く場所が少ない 43.3	
	60歳代	保健・医療サービスが整っていない / 活力ある産業がない / 買い物など日常生活が不便 40.0		
	70歳以上	買い物など日常生活が不便 66.7	公共交通が利用しにくい / 道路交通の便が良くない 46.7	
世帯構成	ひとり暮らし	買い物など日常生活が不便 52.6	働く場所が少ない / 公共交通が利用しにくい / まちに対して愛着があまりない 26.3	
	夫婦のみ	買い物など日常生活が不便 45.2	公共交通が利用しにくい 38.7	保健・医療サービスが整っていない 32.3
	二世帯(親と子)同居	働く場所が少ない 48.3	買い物など日常生活が不便 41.7	保健・医療サービスが整っていない 36.7
	三世帯(親と子と孫)同居	働く場所が少ない 55.0	買い物など日常生活が不便 50.0	保健・医療サービスが整っていない 35.0
	その他	買い物など日常生活が不便 71.4	保健・医療サービスが整っていない 42.9	働く場所が少ない 28.6
居住地区	旧竹田市	働く場所が少ない 43.9	買い物など日常生活が不便 35.4	保健・医療サービスが整っていない 31.7
	旧荻町	買い物など日常生活が不便 76.5	保健・医療サービスが整っていない 52.9	公共交通が利用しにくい 41.2
	旧久住町	買い物など日常生活が不便 / 公共交通が利用しにくい 42.9		働く場所が少ない 35.7
	旧直入町	買い物など日常生活が不便 68.2	保健・医療サービスが整っていない / 働く場所が少ない 40.9	

2 まちづくりの満足度とこれからの重要度について

(1) まちの各環境に関する満足度

問4 各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。左右それぞれの項目ごとに、あなたのお考えに(あなたにとって)一番近い番号を1つ選んで 印をつけてください。

1 これまでの満足度

満足度が最も高い項目は「自然との共生」。次いで「消防・救急・防災対策」、
「歴史や文化の保全・継承」の順。

満足度が最も低い項目は「就労環境の整備」。次いで「工業(製造業)の振興」、
「道路・交通網整備」の順。

市の各環境の満足度を把握するため、第2次竹田市総合計画前期基本計画に基づき、5分野32項目を設定し、項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点(満足度:最高点10点、中間点0点、最低点-10点)を算出しました。

その結果、満足度が最も高い項目は、「自然との共生」(1.43点)で、次いで第2位が「消防・救急・防災対策」(1.13点)、第3位が「歴史や文化の保全・継承」(0.30点)、続いて「防犯・交通安全対策」(0.29点)、「芸術文化の振興」(0.27点)、「温泉の有効活用」(0.25点)、「健康づくりの推進」(0.18点)などの順となっています。

一方、満足度が最も低い項目は「就労環境の整備」(-3.06点)で、次いで第2位が「工業(製造業)の振興」(-2.17点)、第3位が「道路・交通網整備」(-2.10点)、続いて「商業の振興」(-1.84点)、「市街地整備」(-1.42点)、「土地利用」(-1.40点)、「地域経営の推進」(-1.29点)、「情報基盤整備」(-1.25点)、「観光の振興」(-1.04点)、「社会保障の充実」(-0.98点)などの順となっています。

全体的にみると、環境分野の満足度が高く、暮らし分野、活力分野の満足度が低くなっており、32項目のうち満足度がプラス評価の項目が7項目、マイナス評価の項目が25項目となっています。〔図表7参照〕

また、これを居住地別でみると、次のとおりとなっています。

旧竹田市

満足度の上位3項目は、第1位が「自然との共生」(1.32点)、第2位が「消防・救急・防災対策」(1.09点)、第3位が「防犯・交通安全対策」(0.39点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「就労環境の整備」(-3.17点)、第2位が「工業(製造業)の振興」(-2.31点)、第3位が「商業の振興」(-2.00点)となっています。

設定した32項目のうち、プラス評価の項目が6項目、マイナス評価の項目が26項目でした。〔図表8参照〕

旧荻町

満足度の上位3項目は、第1位が「自然との共生」(2.58点)、第2位が「消防・救急・防災対策」(0.84点)、第3位が「温泉の有効活用」(0.55点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「就労環境の整備」(-2.70点)、第2位が「工業(製造業)の振興」(-2.42点)、第3位が「道路・交通網整備」(-2.25点)となっています。

設定した32項目のうち、プラス評価の項目が8項目、マイナス評価の項目が23項目、中間点が1項目でした。[図表8参照]

旧久住町

満足度の上位3項目は、第1位が「消防・救急・防災対策」(1.35点)、第2位が「自然との共生」(1.21点)、第3位が「温泉の有効活用」(0.79点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「就労環境の整備」(-2.86点)、第2位が「道路・交通網整備」(-2.81点)、第3位が「土地利用」(-1.56点)となっています。

設定した32項目のうち、プラス評価の項目が8項目、マイナス評価の項目が23項目、中間点が1項目でした。[図表8参照]

旧直入町

満足度の上位3項目は、第1位が「消防・救急・防災対策」(1.56点)、第2位が「自然との共生」(1.09点)、第3位が「温泉の有効活用」(1.06点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「就労環境の整備」(-3.33点)、第2位が「工業(製造業)の振興」(-2.44点)、第3位が「生活基盤整備」・「道路・交通網整備」(同点-1.75点)となっています。

設定した32項目のうち、プラス評価の項目が10項目、マイナス評価の項目が22項目でした。[図表8参照]

加重平均値の算出方法

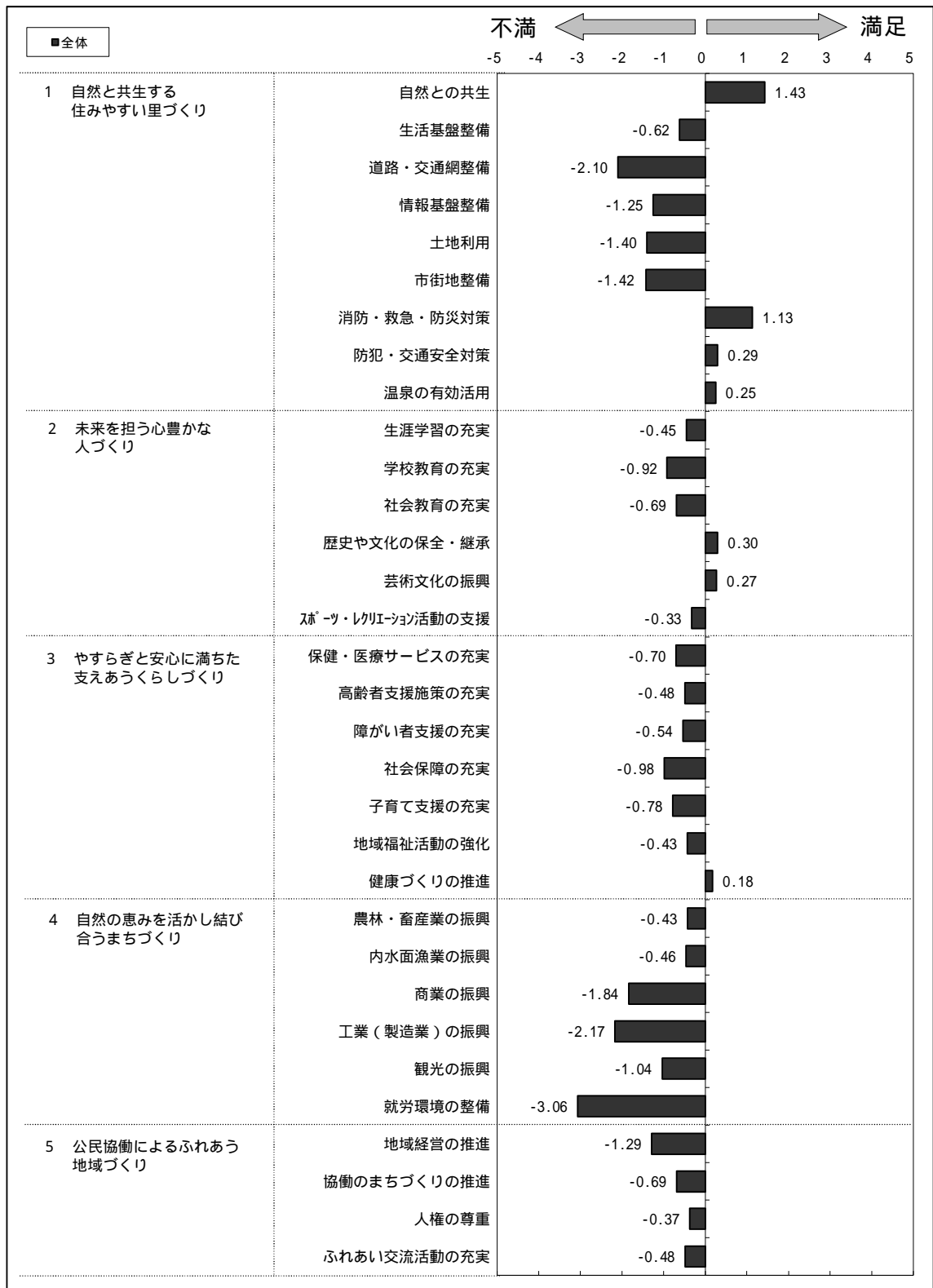
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足」} \\ \text{「やや満足」} \\ \text{「普通」} \\ \text{「やや不満」} \\ \text{「不満」} \end{array} \text{の回答者数}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表7 まちの各環境に関する満足度（全体）

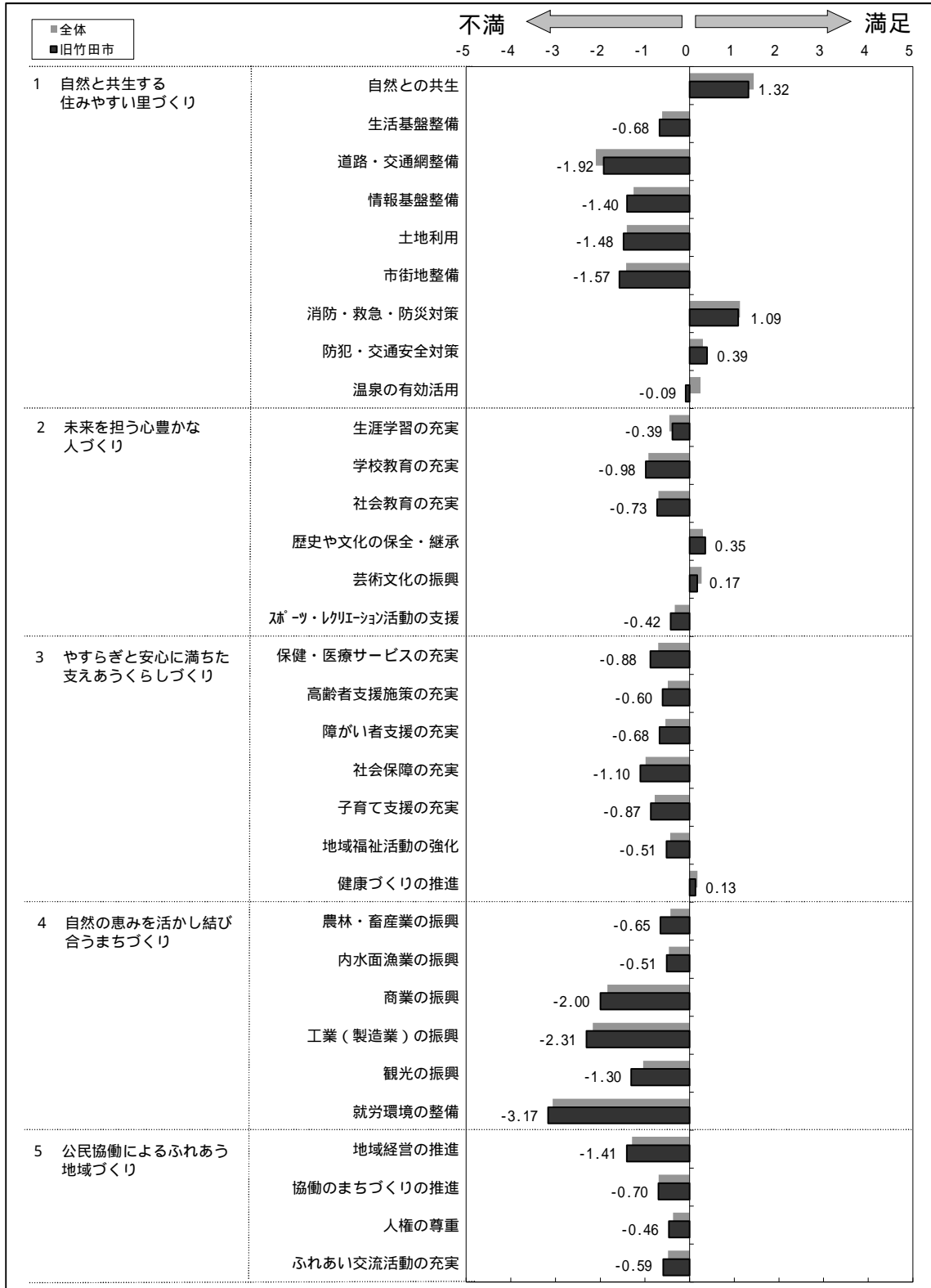
（単位：評価点）



図表 8 まちの各環境に関する満足度（全体・居住地別）

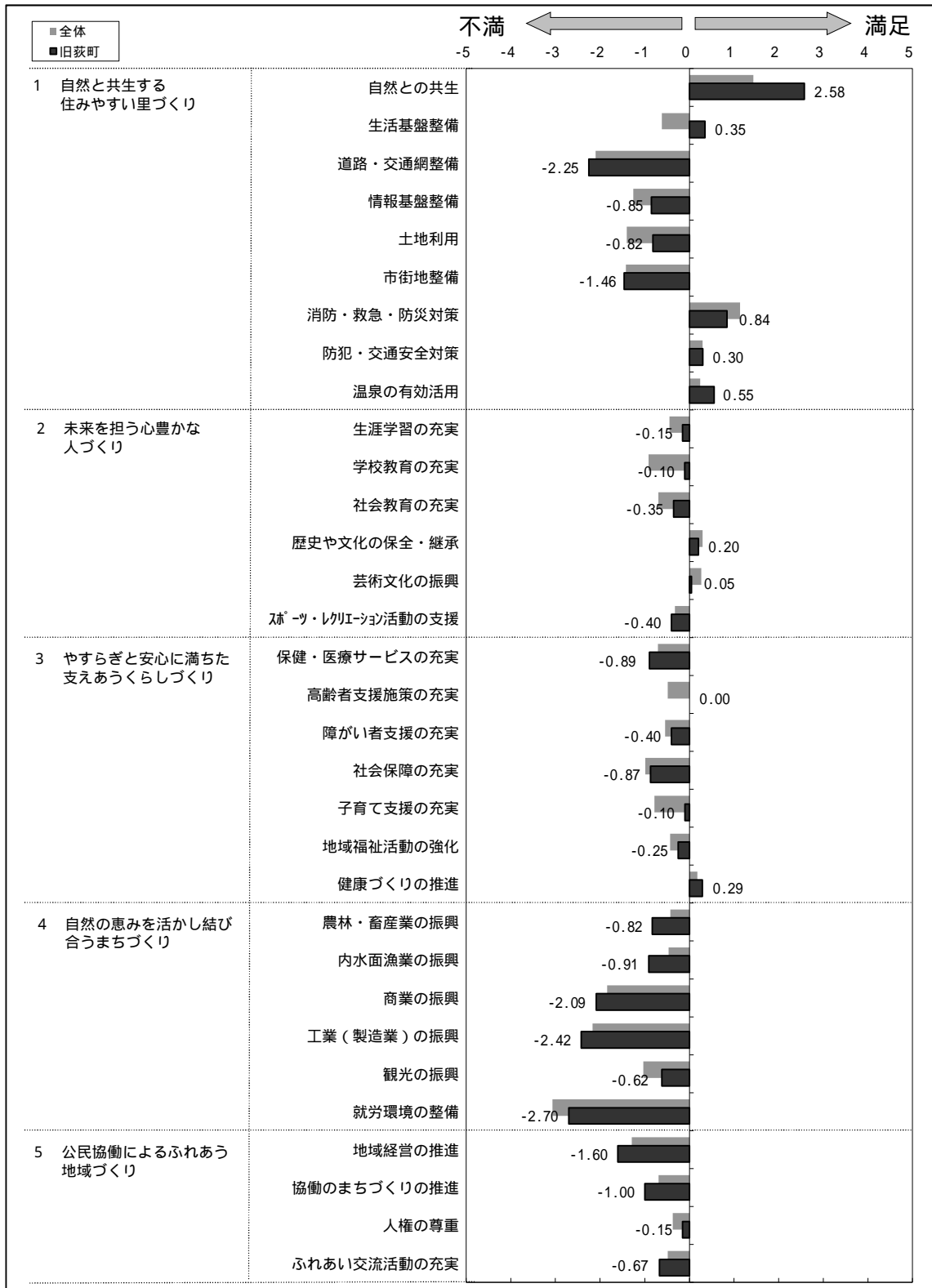
旧竹田市

（単位：評価点）



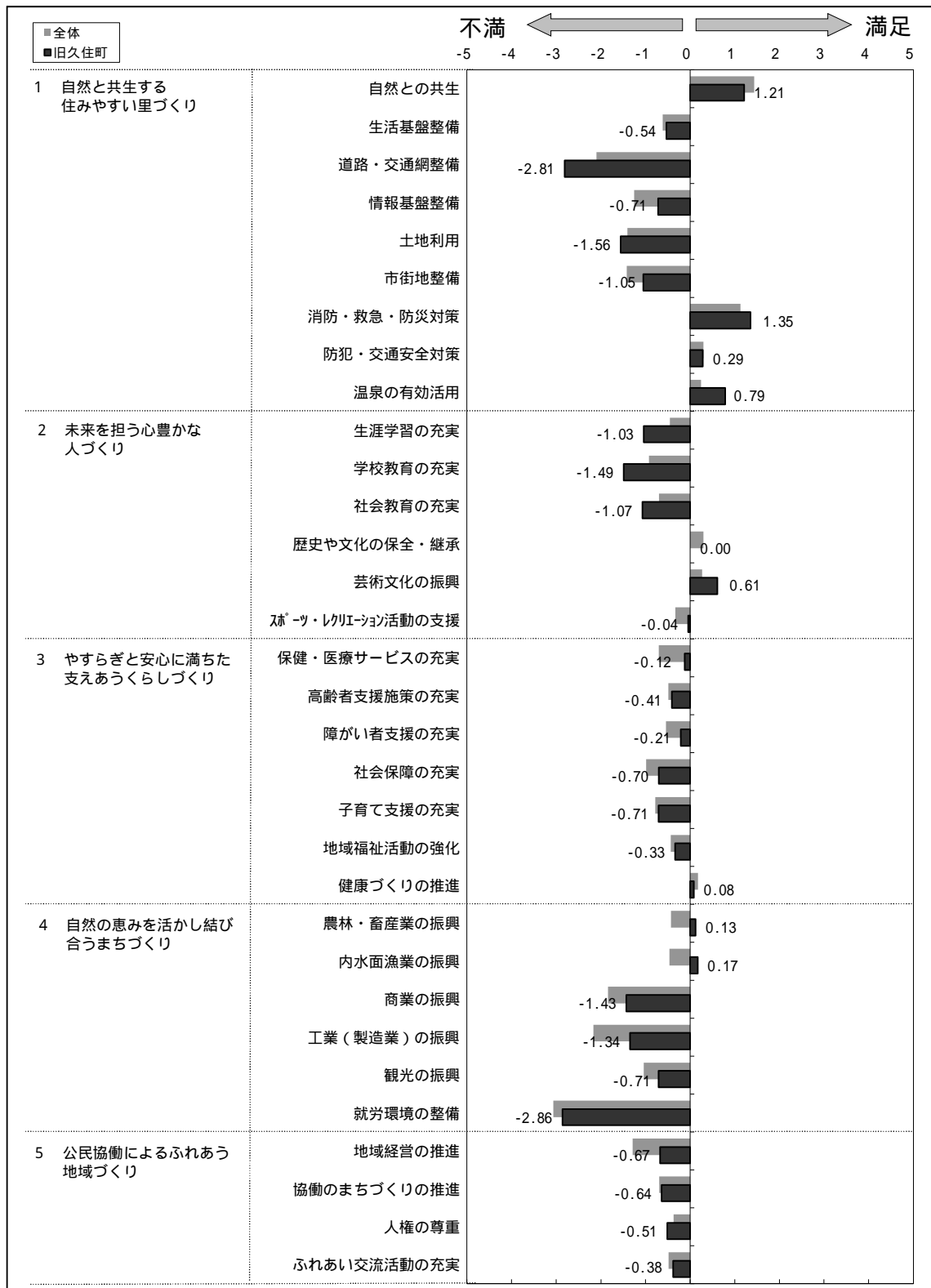
旧荻町

(単位：評価点)



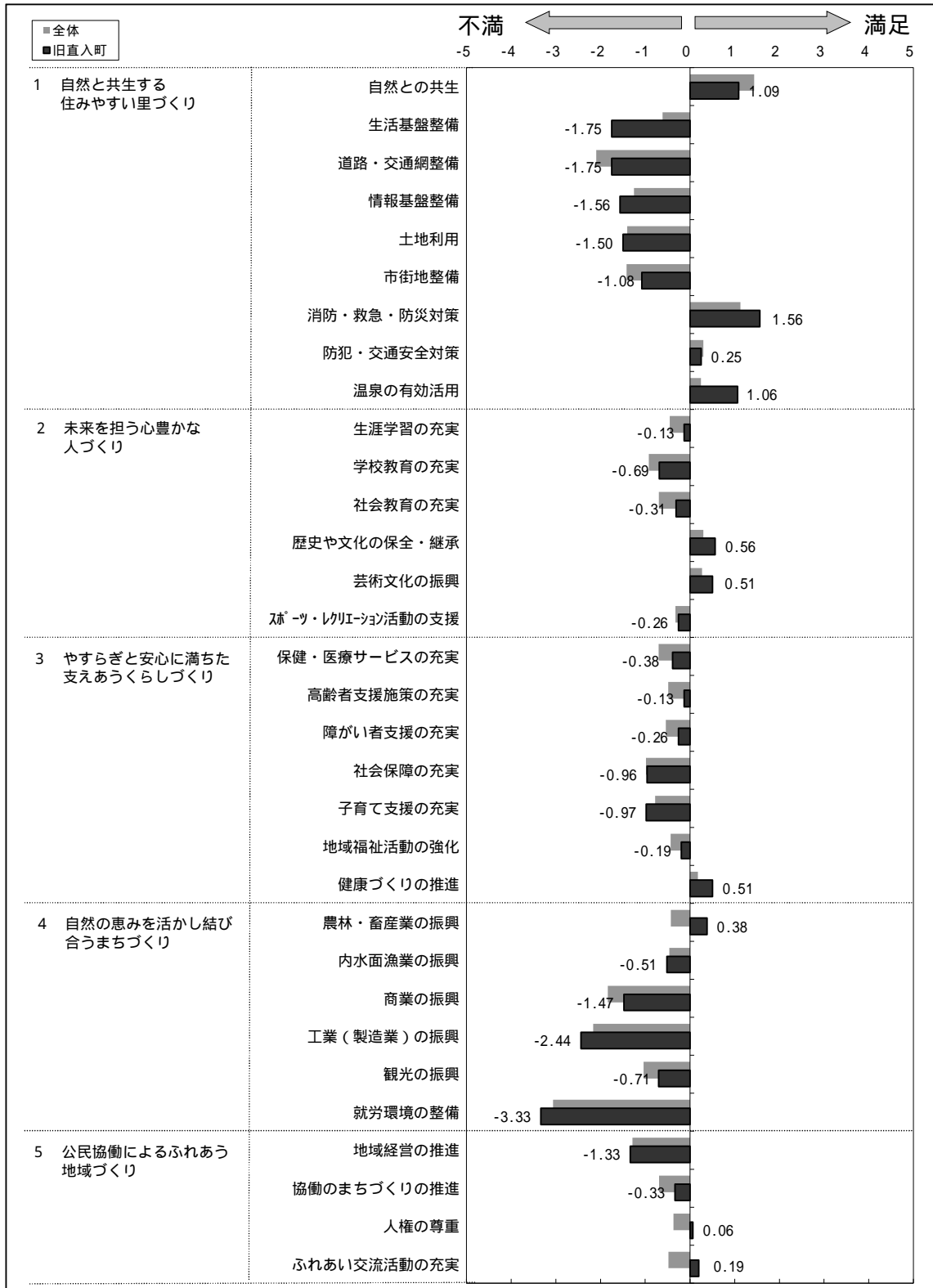
旧久住町

(単位：評価点)



旧直入町

(単位：評価点)



(2) まちの各環境に関する重要度

問4 各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。左右それぞれの項目ごとに、あなたのお考えに(あなたにとって)一番近い番号を1つ選んで 印をつけてください。

2 これからの重要度

重要度が最も高い項目は「保健・医療サービスの充実」。次いで「就労環境の整備」、「子育て支援の充実」、「高齢者支援施策の充実」、「学校教育の充実」の順。

まちの各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ5分野32項目について、「重要である」、「やや重要」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点(重要度:最高点10点、中間点0点、最低点-10点)を算出しました。

その結果、重要度が最も高い項目は「保健・医療サービスの充実」(7.34点)で、次いで第2位が「就労環境の整備」(7.04点)、第3位が「子育て支援の充実」(6.90点)、続いて「高齢者支援施策の充実」(6.71点)、「学校教育の充実」(6.63点)、「消防・救急・防災対策」(6.52点)、「社会保障の充実」(6.48点)、「障がい者支援の充実」(6.35点)、「道路・交通網整備」(6.08点)、「防犯・交通安全対策」(6.07点)などの順となっています。

これら上位10項目をみると、「やすらぎと安心に満ちた支えあうくらしづくり」項目が5項目、「自然と共生する住みやすい里づくり」分野の項目が3項目、「自然の恵みを活かし結び合うまちづくり」分野と「未来を担う心豊かな人づくり」分野の項目が各1項目となっています。〔図表9参照〕

また、これを居住地別でみると、次のとおりとなっています。

旧竹田市

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療サービスの充実」(7.27点)、第2位が「就労環境の整備」(6.83点)、第3位が「高齢者支援施策の充実」(6.72点)、第4位が「子育て支援の充実」(6.69点)、第5位が「消防・救急・防災対策」(6.50点)となっています。〔図表10参照〕

旧荻町

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療サービスの充実」(7.66点)、第2位

が「就労環境の整備」(7.42点)、第3位が「学校教育の充実」(7.37点)、第4位が「子育て支援の充実」(7.22点)、第5位が「高齢者支援施策の充実」(7.14点)となっています。[図表10参照]

旧久住町

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療サービスの充実」(7.02点)、第2位が「子育て支援の充実」(7.01点)、第3位が「就労環境の整備」(6.90点)、第4位が「学校教育の充実」(6.54点)、第5位が「自然との共生」(6.47点)となっています。[図表10参照]

旧直入町

重要度の上位5項目は、第1位が「就労環境の整備」(7.91点)、第2位が「保健・医療サービスの充実」(7.86点)、第3位が「子育て支援の充実」(7.56点)、第4位が「消防・救急・防災対策」・「学校教育の充実」(同点7.34点)となっています。[図表10参照]

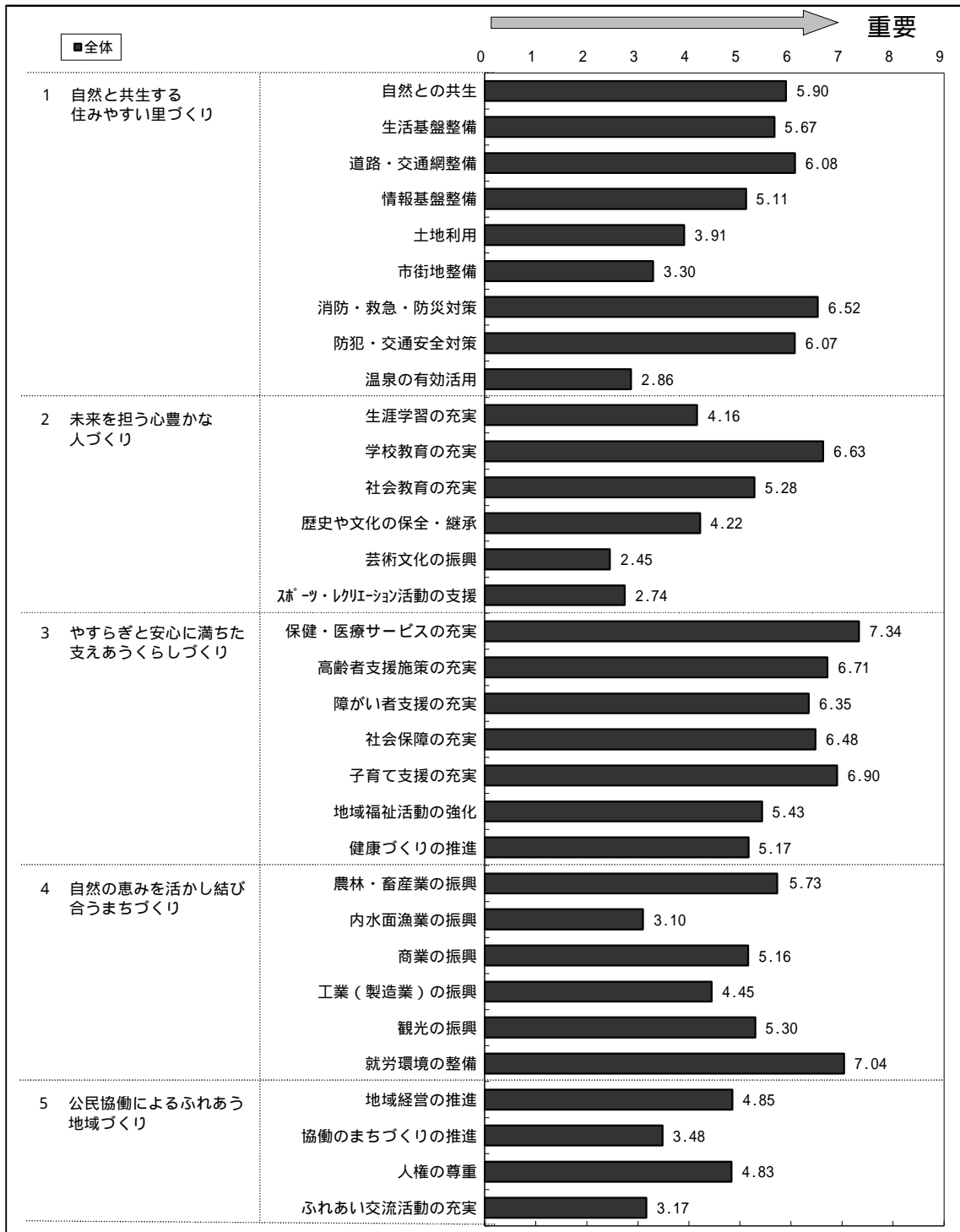
加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「重要である」の回答者数} \times 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや重要」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{l} \text{「重要である」} \\ \text{「やや重要」} \\ \text{「どちらともいえない」} \\ \text{「あまり重要でない」} \\ \text{「重要でない」} \end{array} \right) \text{の回答者数}$$

図表9 まちの各環境に関する重要度（全体）

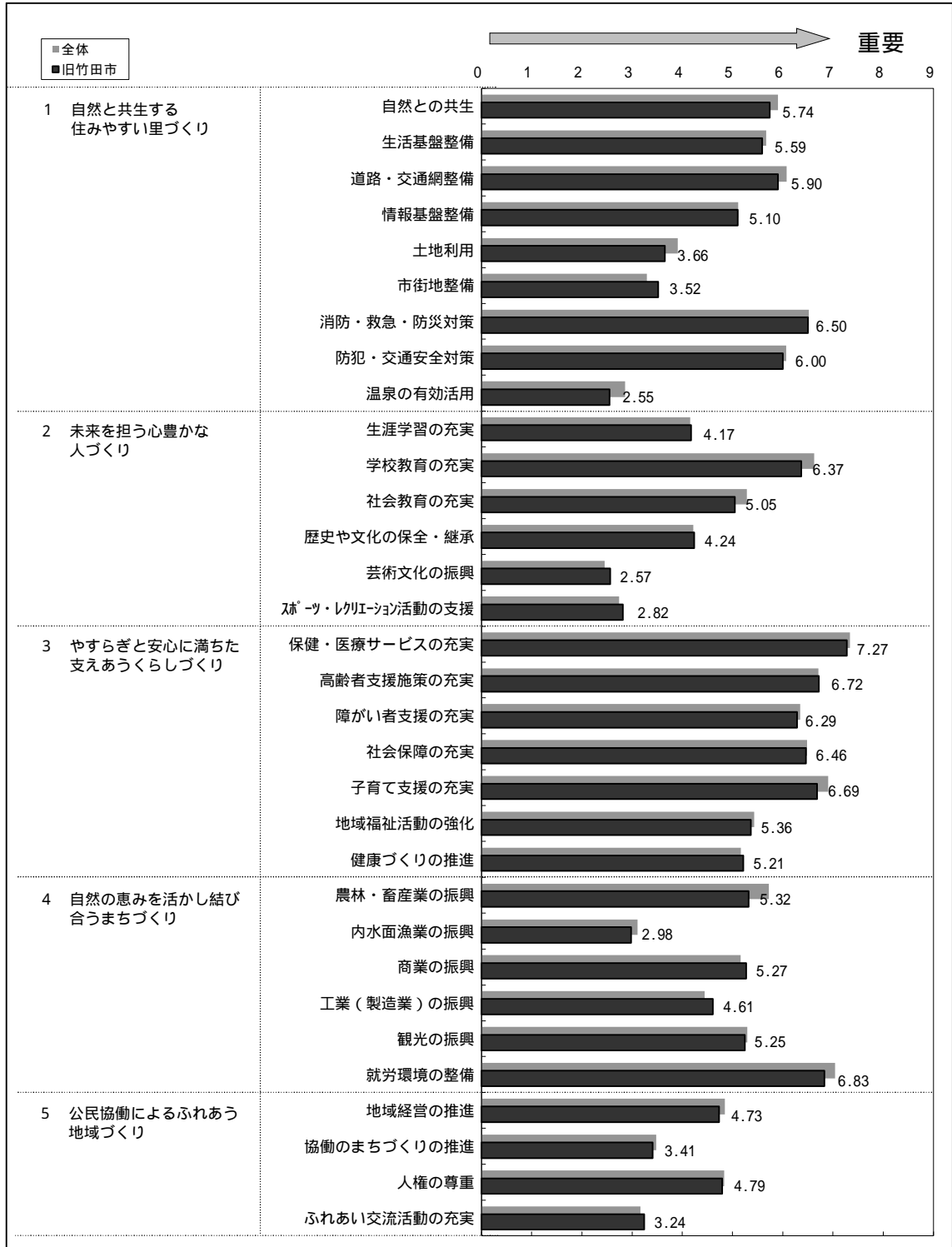
（単位：評価点）



図表 10 まちの各環境に関する重要度（全体・居住地）

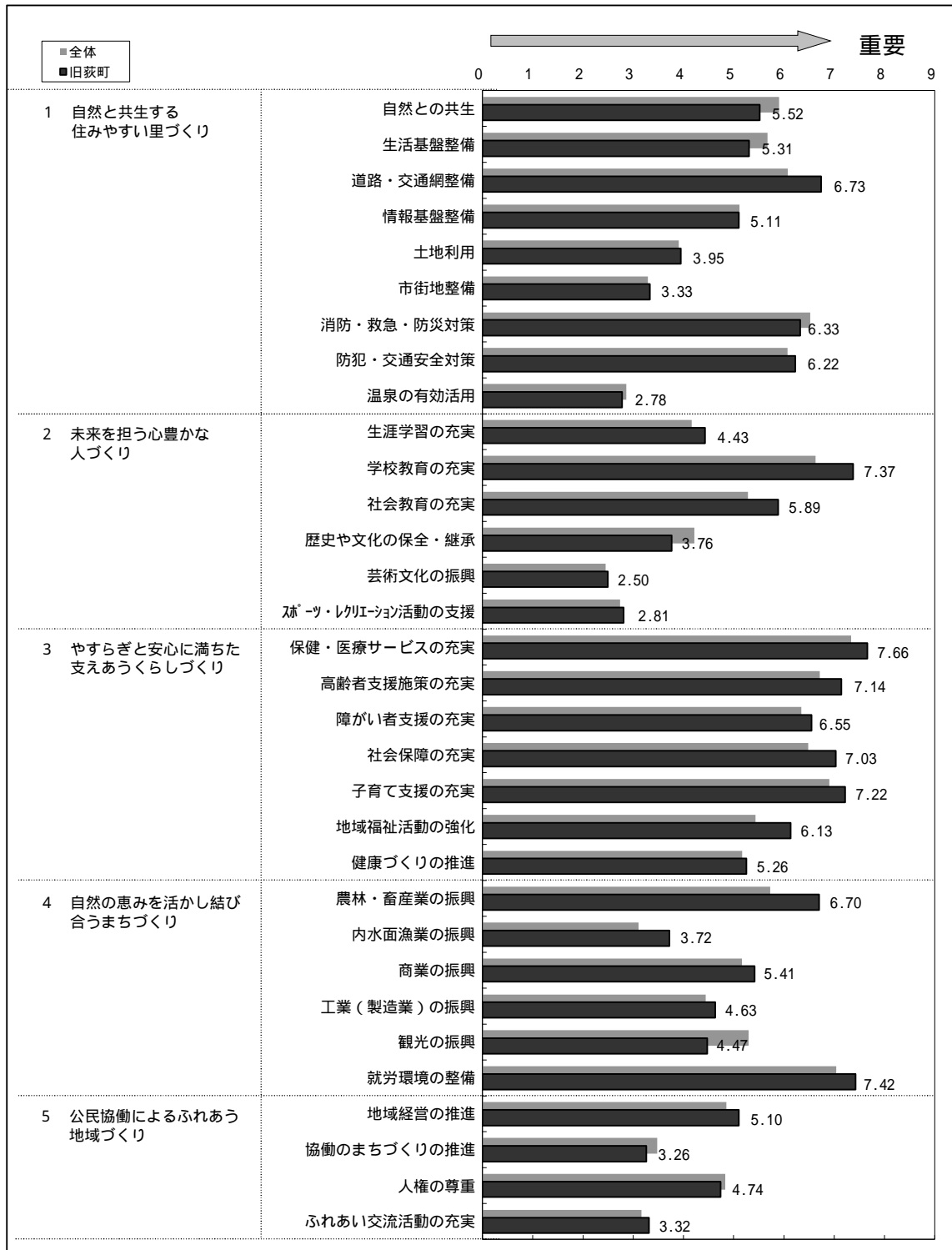
旧竹田市

（単位：評価点）



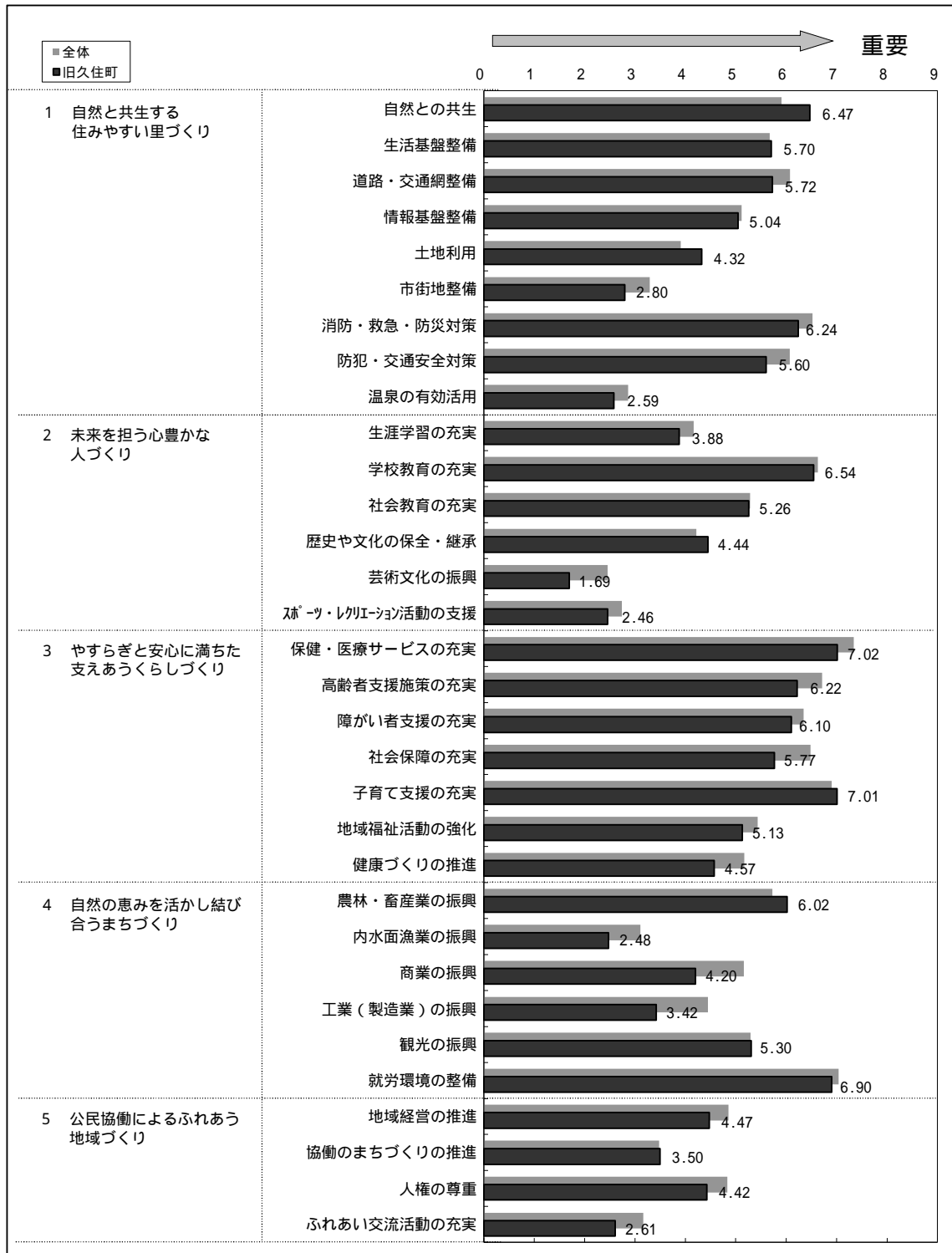
旧萩町

(単位：評価点)



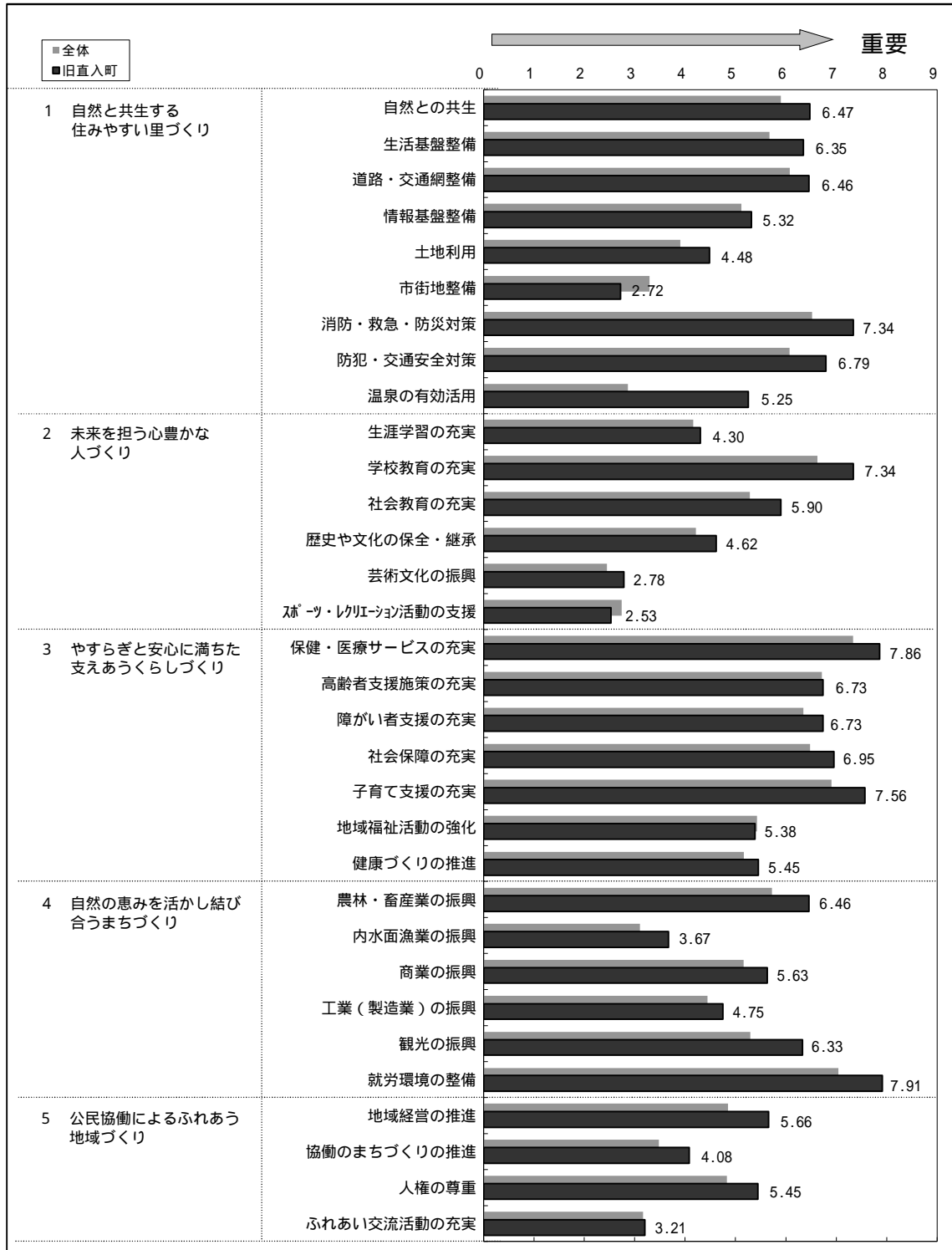
旧久住町

(単位：評価点)



旧直入町

(単位：評価点)



(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

優先度が高い項目は「就労環境の整備」。続いて「道路・交通網整備」、「保健・医療サービスの充実」、「社会保障の充実」の順。

これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図による数量化〔下記参照〕で優先度（評価点：最高点 42.43 点、中間点 0 点、最低点 -42.43 点）を算出しました。

この結果をみると、優先度は、「就労環境の整備」（24.21 点）が目立って高く、次いで「道路・交通網整備」（13.35 点）が続き、それ以外では「学校教育の充実」（7.53 点）、「子育て支援の充実」（7.42 点）、「商業の振興」（6.85 点）、「工業（製造業）の振興」（5.65 点）、「高齢者支援施策の充実」（4.71 点）、「障がい者支援の充実」（3.75 点）などの順となっています。〔図表 11・12 参照〕

優先度の算出方法

散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。

例：「道路・交通網整備」 満足度偏差値 34.25...、重要度偏差値 57.17...

で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。

例：「道路・交通網整備」 $17.30... = \sqrt{(34.25-50)^2 + (57.17-50)^2}$

平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。

例：「道路・交通網整備」 20.54 度

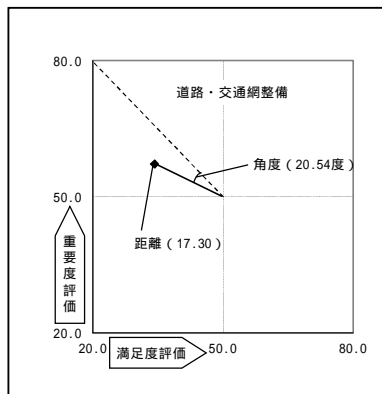
で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）

例：「道路・交通網整備」 $0.7718 = (90-20.54) \times (1 \div 90)$

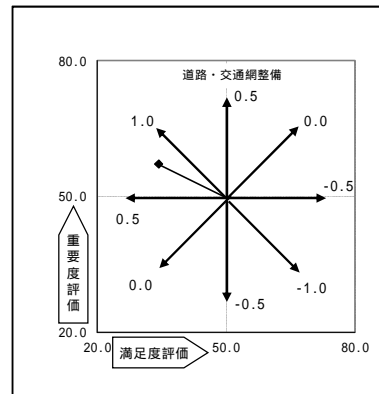
で算出された平均（中心）からの距離と で算出された修正指数から優先度を算出する。

例：「道路・交通網整備」 $13.35 = 17.30... \times 0.7718...$

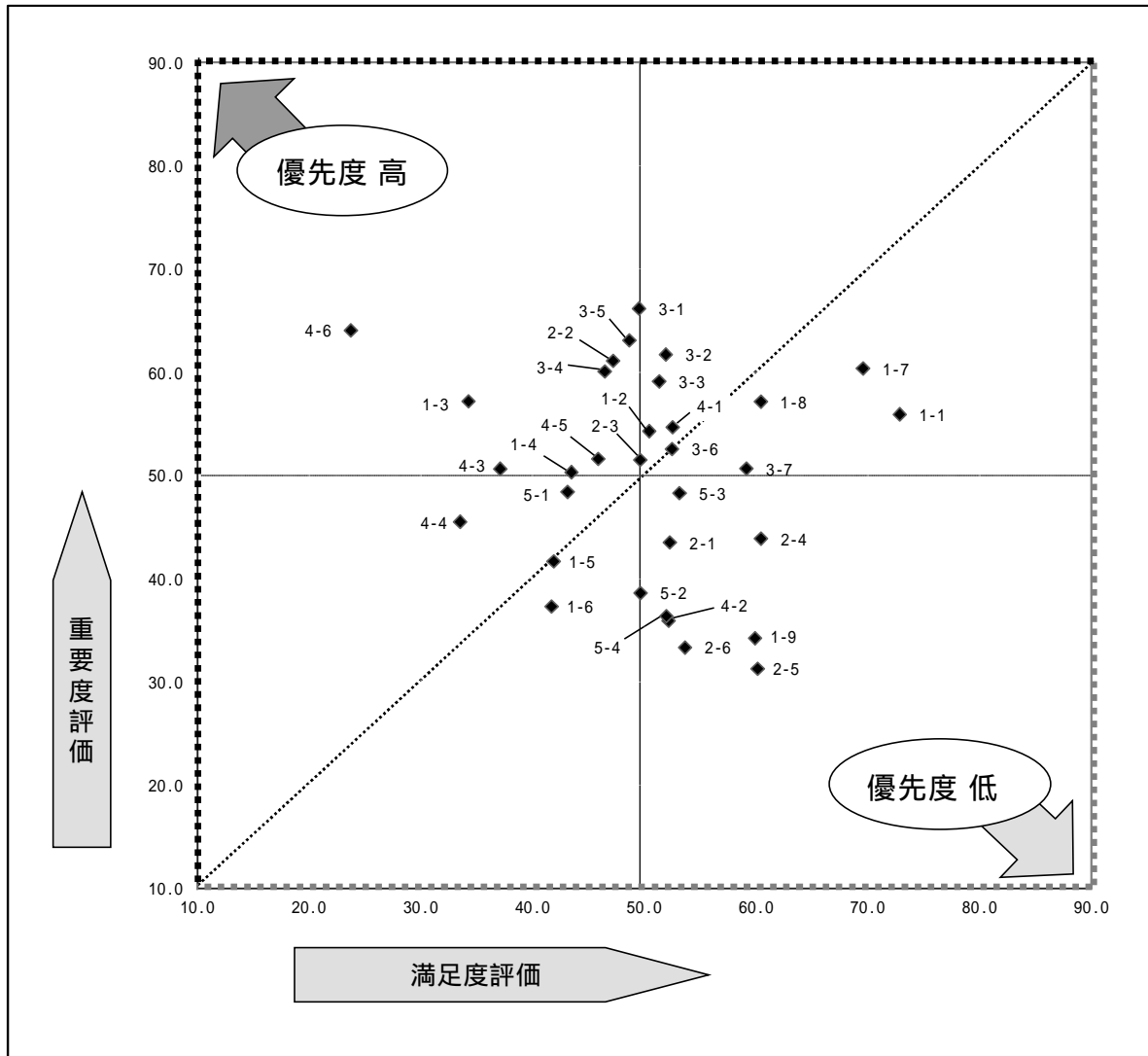
距離・角度



指数の設定



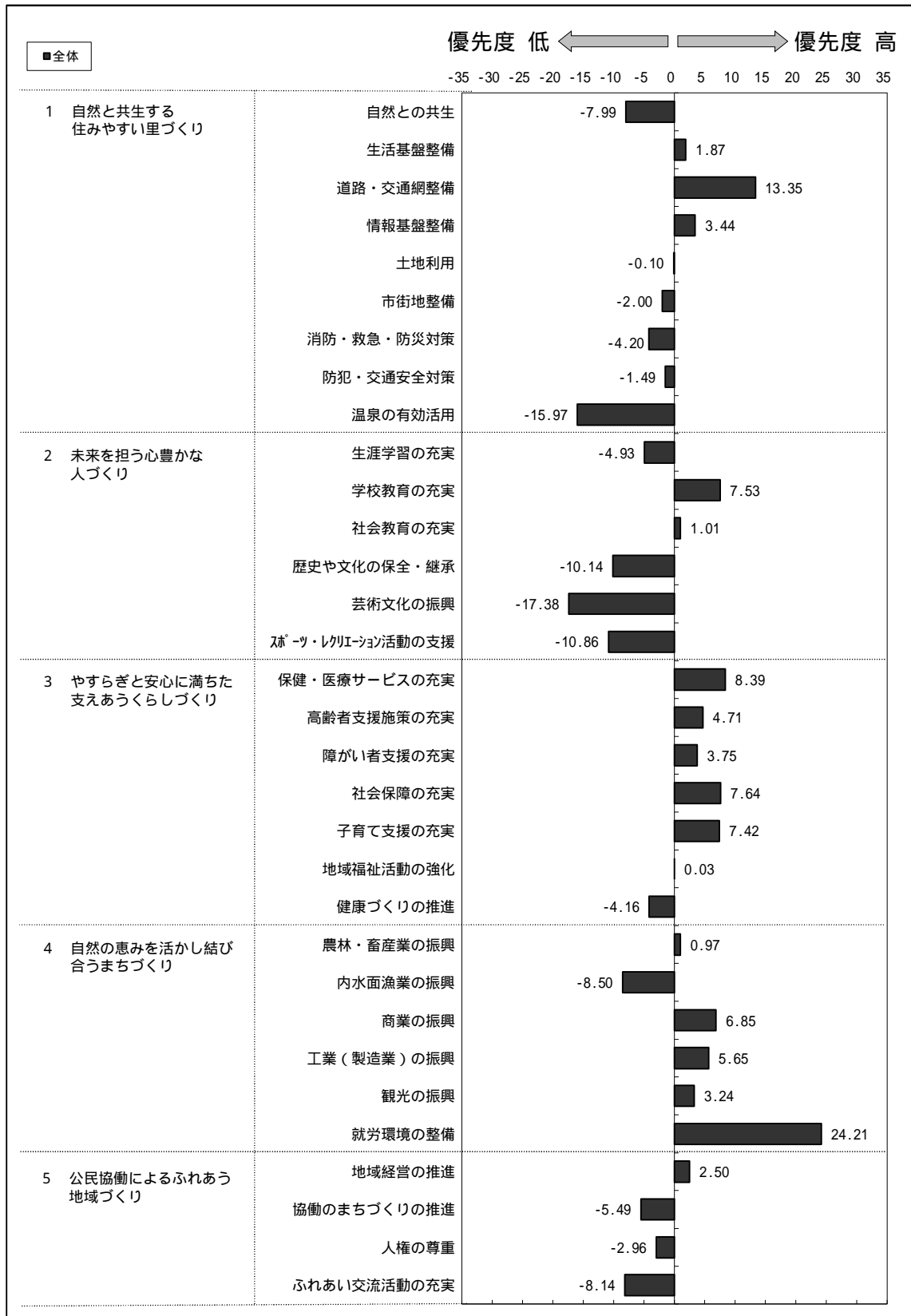
図表 11 満足度と重要度の相関（全体 / 優先度）



優先度高い		優先度低い	
4-6 就労環境の整備	3-3 障がい者支援の充実	2-5 芸術文化の振興	1-7 消防・救急・防災対策
1-3 道路・交通網整備	1-4 情報基盤整備	1-9 温泉の有効活用	3-7 健康づくりの推進
3-1 保健・医療サービスの充実	4-5 観光の振興	2-6 スポーツ・レクリエーション活動の支援	5-3 人権の尊重
3-4 社会保障の充実	5-1 地域経営の推進	2-4 歴史や文化の保全・継承	1-6 市街地整備
2-2 学校教育の充実	1-2 生活基盤整備	4-2 内水面漁業の振興	1-8 防犯・交通安全対策
3-5 子育て支援の充実	2-3 社会教育の充実	5-4 ふれあい交流活動の充実	1-5 土地利用
4-3 商業の振興	4-1 農林・畜産業の振興	1-1 自然との共生	
4-4 工業（製造業）の振興	3-6 地域福祉活動の強化	5-2 協働のまちづくりの推進	
3-2 高齢者支援施策の充実		2-1 生涯学習の充実	

図表 12 満足度と重要度の相関

(単位：評価点)



4 まちづくりの意識と取り組みについて

(1) 健康管理のための取り組み

問5 まちづくりに対するあなたの「意識」と「取り組み」について、それぞれの質問ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を1つ選んで 印をつけてください。

1 日頃、食生活の改善や運動など、健康管理のための取り組みをしていますか。

“ している ” が 59.9%、 “ していない ” が 22.5%。

健康管理のための取り組みについては、「ある程度している」と答えた人が 42.0%で最も多く、次いで「している」と答えた人が 17.9%で、これらをあわせた“ している ” という人が 59.9%と約6割となっています。これに対し、“ していない ” という人(「あまりしていない」(16.5%)と「していない」(6.0%)の合計)は 22.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は 15.4%となっています。

[図表 13 参照]

図表 13 健康管理のための取り組み（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）

		（％）					n
		している	ある程度している	どちらともいえない	あまりしていない	していない	無回答
性別	全体	17.9	42.0	15.4	16.5	6.0	814
							2.2
性別	男性	18.4	39.5	15.6	17.8	7.7	365
							1.1
性別	女性	16.7	45.3	15.3	15.3		424
							4.7 2.6
年齢	10・20歳代	16.7	29.6	31.5	14.8	7.4	54
							0.0
	30歳代	10.6	28.7	23.4	23.4	12.8	94
							1.1
	40歳代	14.4	43.9	12.2	21.6	5.8	139
							2.2
	50歳代	14.7	41.0	16.0	22.4		156
						4.5 1.3	
年齢	60歳代	14.1	46.2	15.4	17.3	5.1	156
							1.9
	70歳以上	29.0	48.5	9.5	5.5		200
						4.5 3.0	
世帯構成	ひとり暮らし	21.2	33.3	18.2	16.2	9.1	99
							2.0
	夫婦のみ	23.7	46.4	13.7	10.4		211
							3.8 1.9
	二世帯（親と子）同居	14.4	44.4	13.8	19.1	6.5	340
						1.8	
世帯構成	三世帯（親と子と孫）同居	16.8	38.9	19.5	18.6		113
							3.5 2.7
世帯構成	その他	9.7	35.5	25.8	16.1	12.9	31
							0.0
居住地区	旧竹田市	19.1	43.7	14.9	14.9	5.9	476
							1.5
	旧荻町	12.5	37.5	19.2	20.2	7.7	104
							2.9
居住地区	旧久住町	17.6	42.0	17.6	15.3	6.9	131
							0.8
居住地区	旧直入町	16.9	38.6	12.0	25.3		83
							3.6 3.6

(2) かかりつけ医の有無

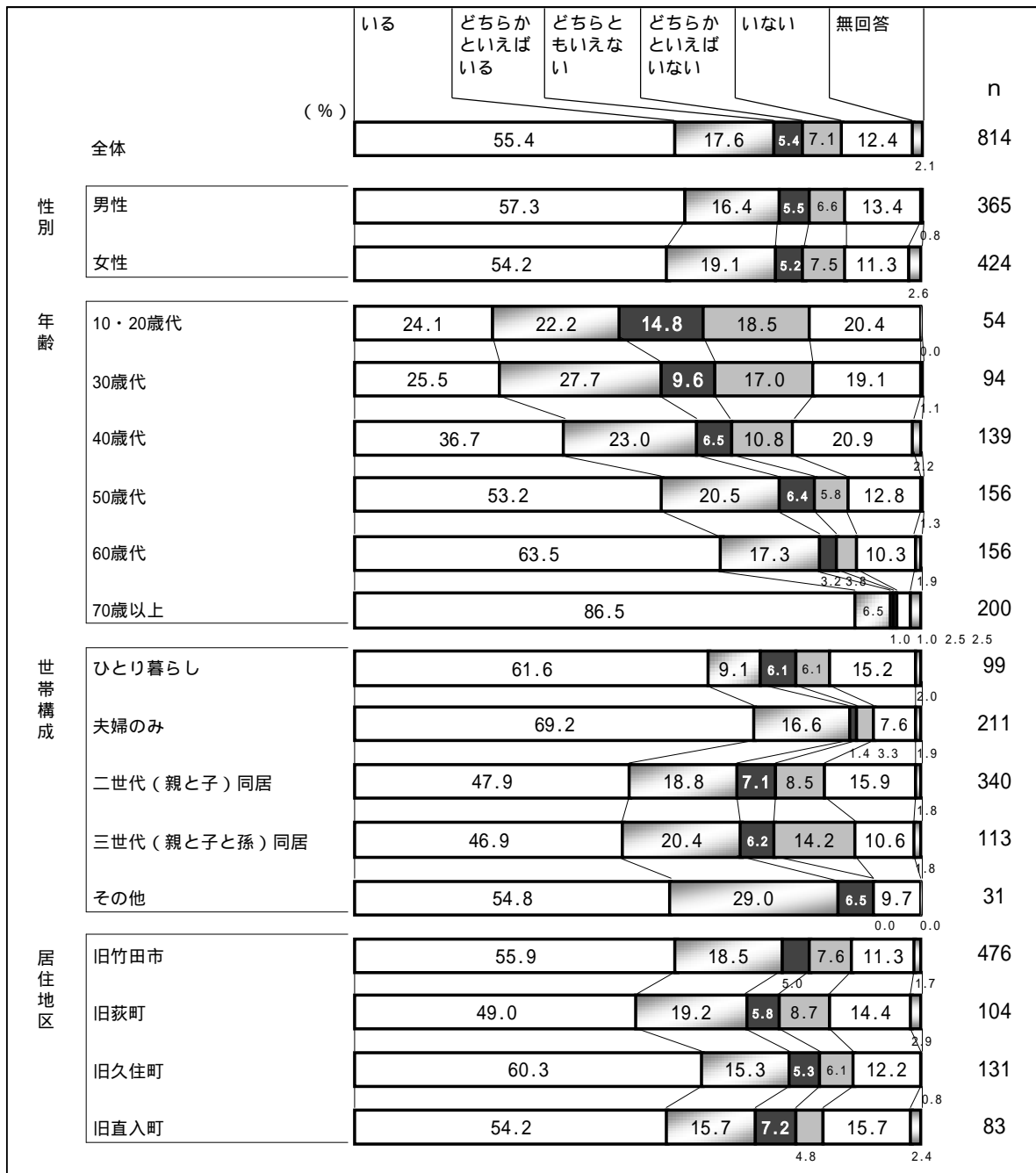
2 かかりつけの医者はいますか。

“いる”が73.0%、“いない”が19.5%。

かかりつけ医の有無については、「いる」と答えた人が55.4%で最も多く、次いで「どちらかといえばいる」と答えた人が17.6%で、これらをあわせた“いる”という人が73.0%となっています。これに対し、“いない”という人（「いない」(12.4%)と「どちらかといえばいない」(7.1%)の合計)は19.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は5.4%となっています。

[図表 14 参照]

図表 14 かかりつけ医の有無（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(3) 環境に配慮した生活

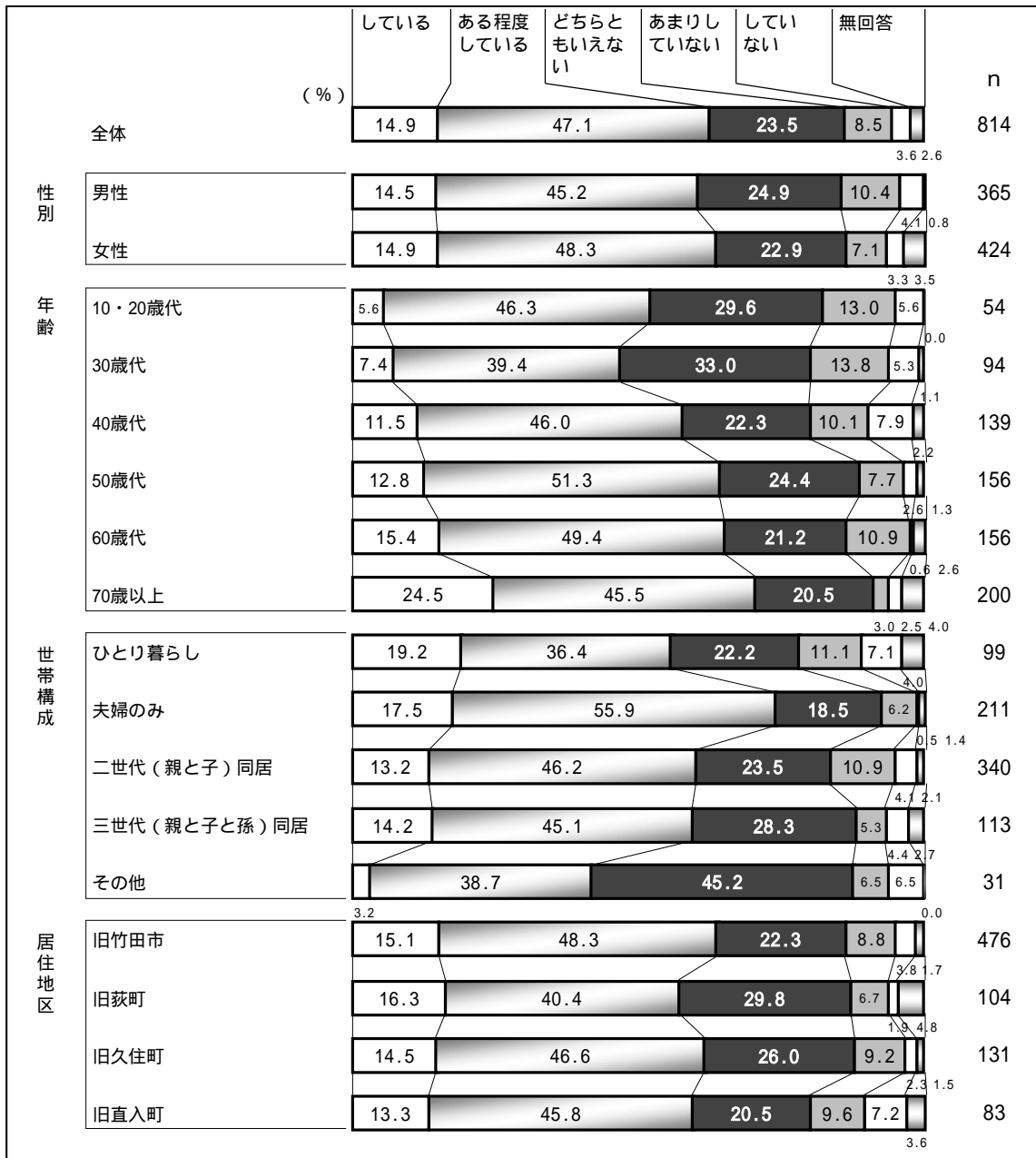
3 環境美化や省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。

“している”が62.0%、“していない”が12.1%。

環境に配慮した生活をしているかどうかについては、「ある程度している」と答えた人が47.1%で最も多く、これと「している」(14.9%)をあわせた“している”という人が62.0%と6割を超えています。これに対し、“していない”という人(「あまりしていない」(8.5%)と「していない」(3.6%)の合計)は12.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は23.5%となっています。

[図表 15 参照]

図表 15 環境に配慮した生活（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(4) 3R運動

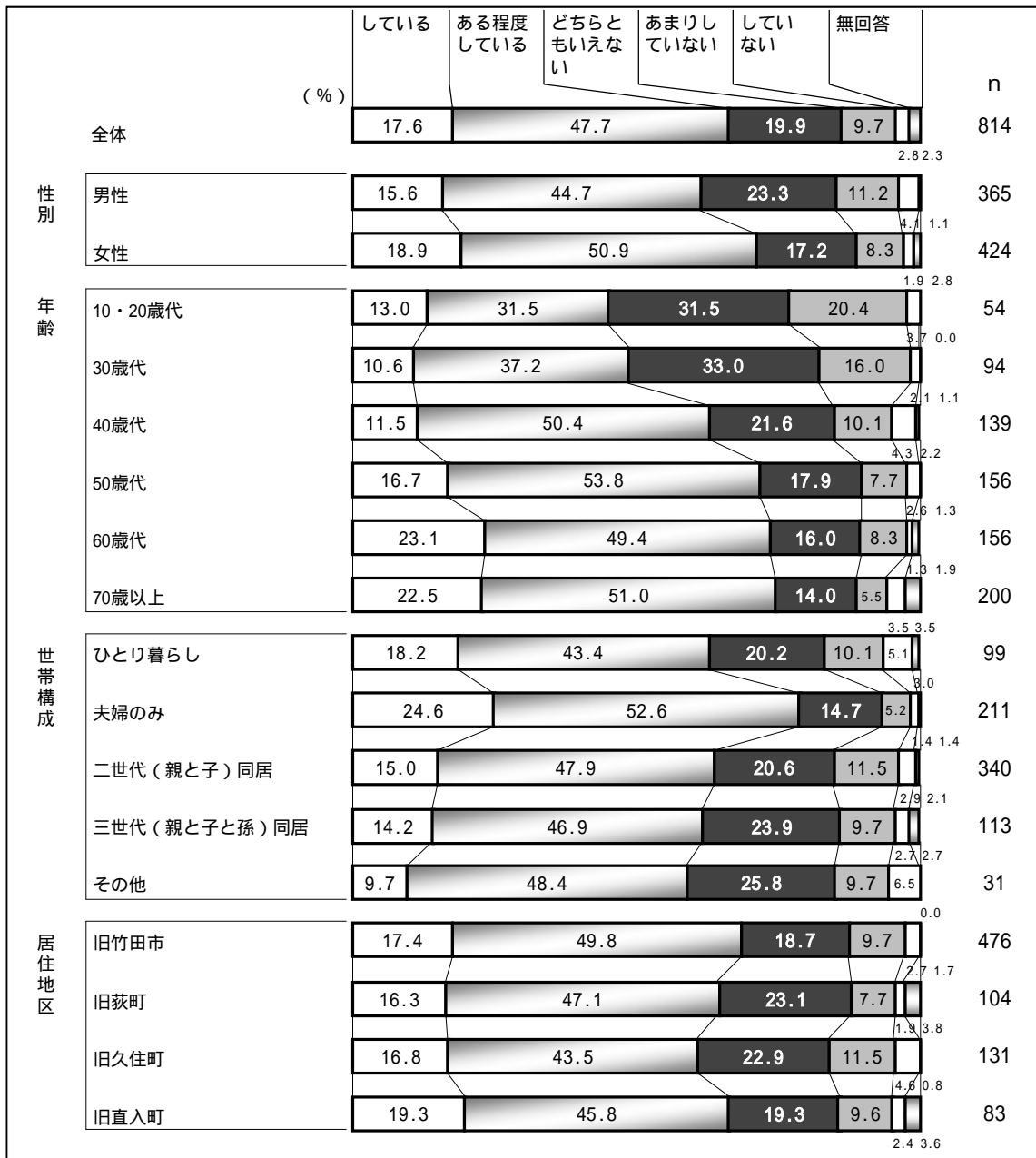
4 ごみの減量化のための3R運動(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生使用)をしていますか。

“している”が65.3%、“していない”が12.5%。

3R運動については、「ある程度している」と答えた人が47.7%で最も多く、これと「している」(17.6%)をあわせた“している”という人が65.3%となっています。これに対し、“していない”という人(「あまりしていない」(9.7%)と「していない」(2.8%)の合計)は12.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は19.9%となっています。

[図表 16 参照]

図表 16 3 R運動（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(5) 公共交通機関の利用

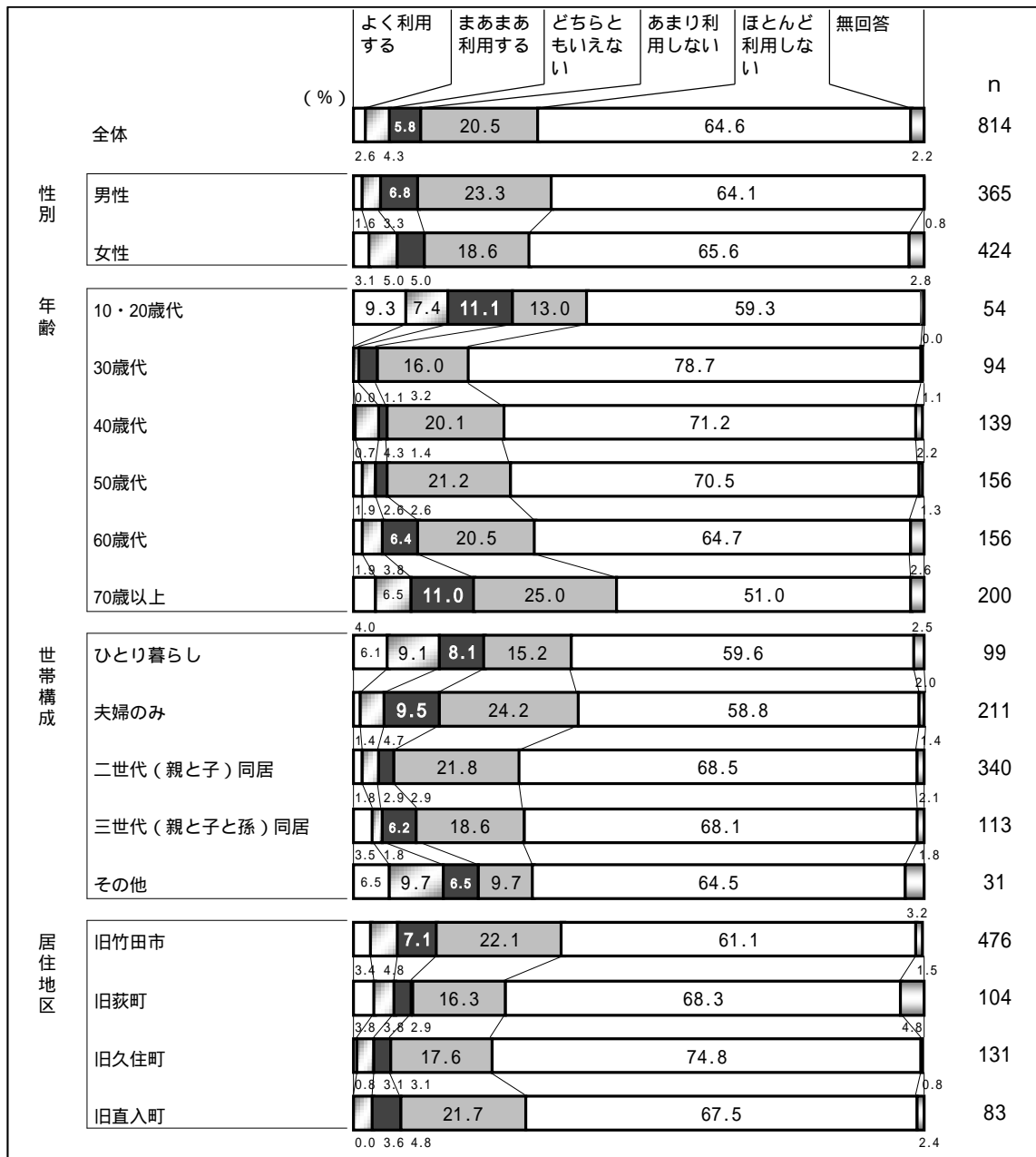
5 普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

“利用しない”が85.1%、“利用する”が6.9%。

公共交通機関の利用については、「ほとんど利用しない」と答えた人が64.6%で最も多く、次いで「あまり利用しない」と答えた人が20.5%で、これをあわせた“利用しない”という人が85.1%となっています。これに対し、“利用する”という人（「まあまあ利用する」(4.3%)と「よく利用する」(2.6%)の合計）は6.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は5.8%となっています。

[図表 17 参照]

図表 17 公共交通機関の利用（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(6) 災害時の避難場所

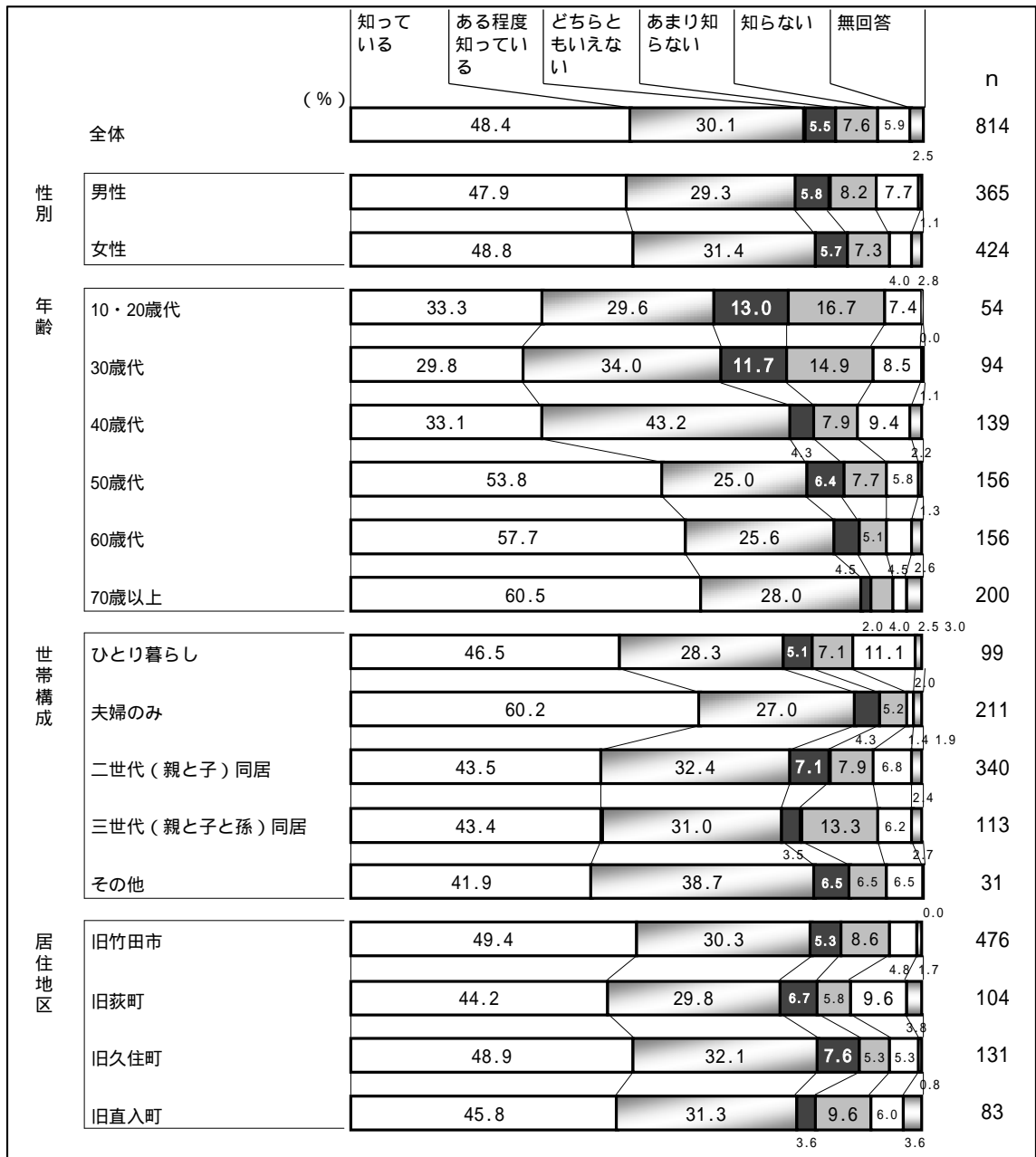
6 災害時の避難場所を知っていますか。

“知っている”が78.5%、知らない”が13.5%。

災害時の避難場所を知っているかどうかについては、「知っている」と答えた人が48.4%で最も多く、次いで「ある程度知っている」と答えた人が30.1%で、これをあわせた“知っている”という人が78.5%と8割弱となっています。これに対し、“知らない”という人(「あまり知らない」(7.6%)と「知らない」(5.9%)の合計)は13.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は5.5%となっています。

[図表 18 参照]

図表 18 災害時の避難場所（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(7) 職場や地域での防災訓練への参加

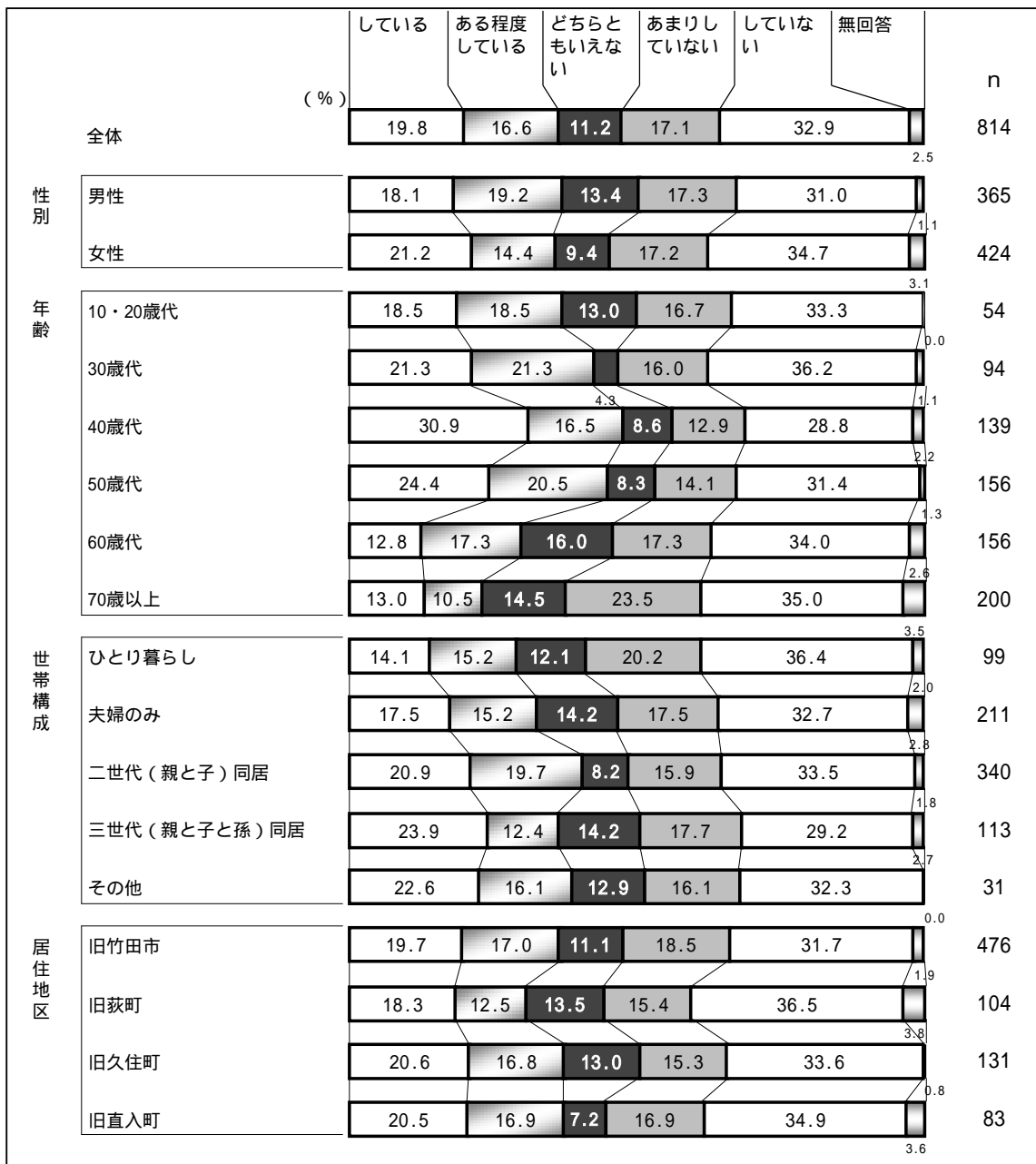
7 職場や地域での防災訓練に参加していますか。

“ していない ” が 50.0%、 “ している ” が 36.4%。

職場や地域での防災訓練への参加状況は、「していない」と答えた人が 32.9%で最も多く、これと「あまりしていない」(17.1%)をあわせた“ していない ” という人は 50.0%となっています。これに対し、“ している ” という人(「している」(19.8%)と「ある程度している」(16.6%)の合計)は 36.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は 11.2%となっています。

[図表 19 参照]

図表 19 職場や地域での防災訓練への参加
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(8) 市の講座や教室等の生涯学習活動への参加

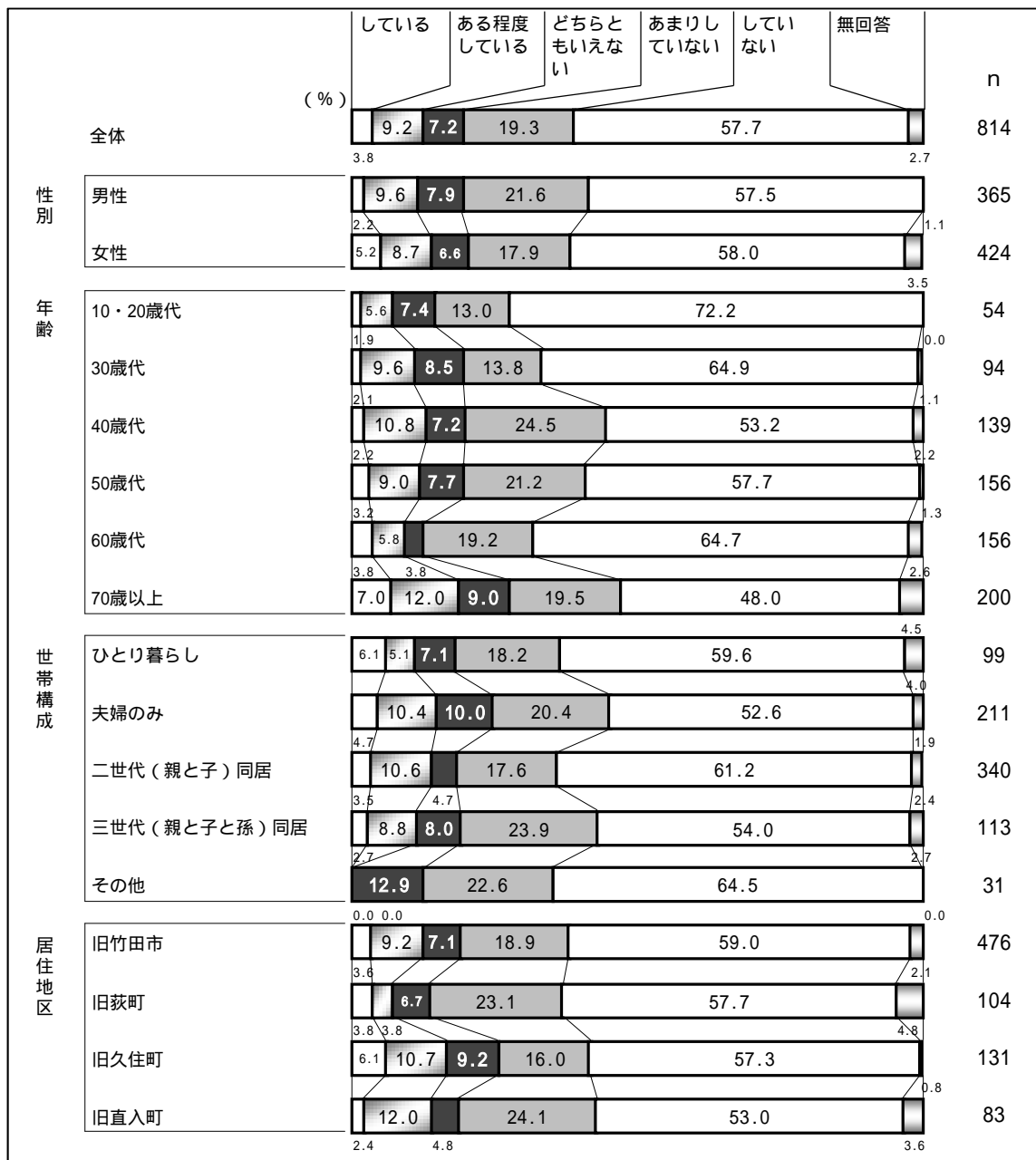
8 市の講座や教室等の生涯学習活動に参加していますか。

“ していない ” が 77.0%、 “ している ” が 10.0%。

生涯学習活動への参加状況は、「していない」と答えた人が 57.7%で最も多く、次いで「あまりしていない」と答えた人が 19.3%で続き、これらをあわせた“していない”という人が 77.0%と8割弱となっています。これに対し、“している”という人（「ある程度している」(9.2%)と「している」(3.8%)の合計）は 10.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は7.2%となっています。

[図表 20 参照]

図表 20 市の講座や教室等の生涯学習活動への参加
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(9) 地域のいろいろな行事への参加

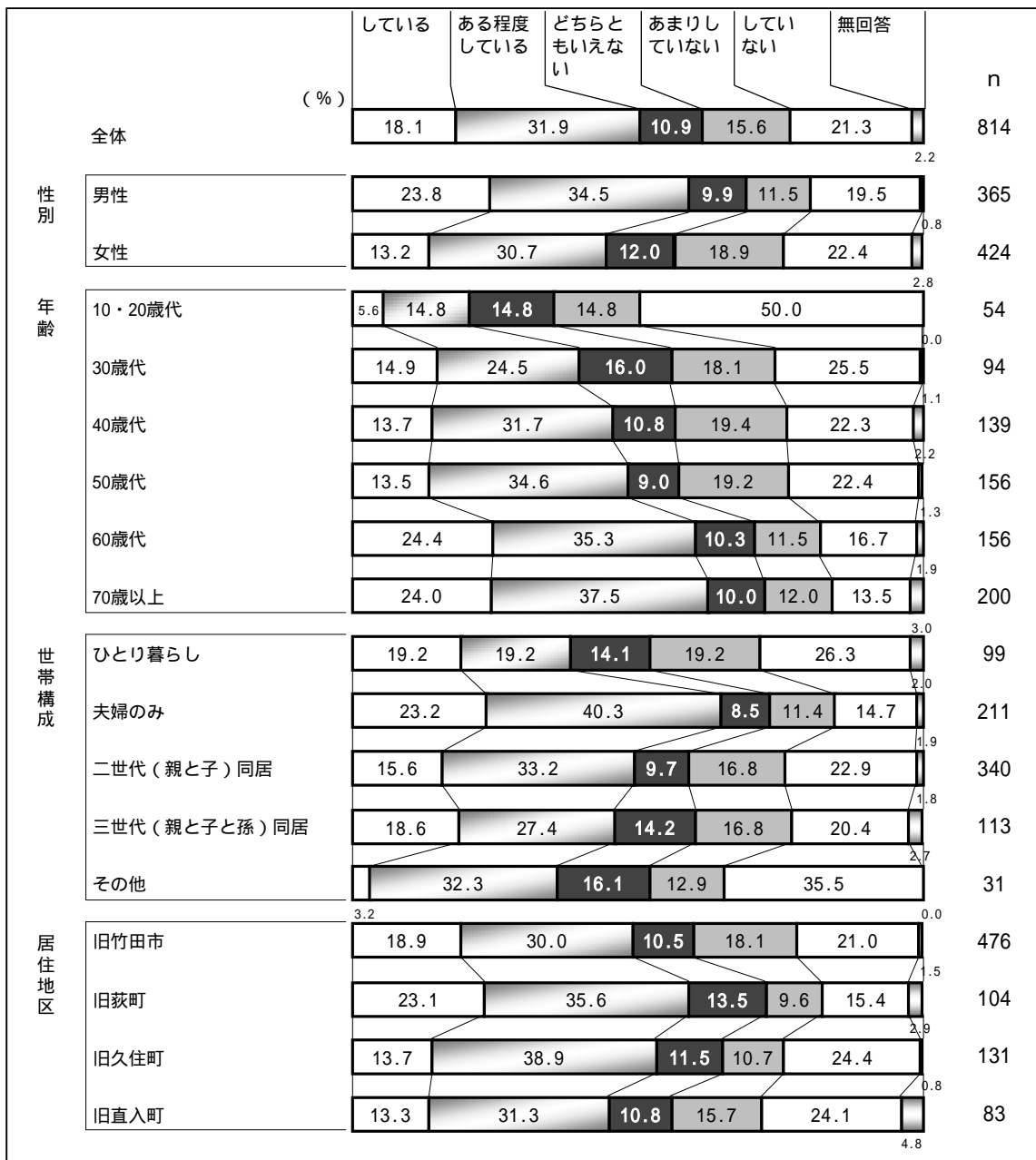
9 地域のいろいろな行事に参加していますか。

“ している ” が 50.0%、 “ していない ” が 36.9%。

地域の行事への参加状況は、「ある程度している」と答えた人が 31.9%で最も多く、これと「している」(18.1%)をあわせた“している”という人が 50.0%となっています。これに対し、“していない”という人(「していない」(21.3%)と「あまりしていない」(15.6%)の合計)は 36.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は 10.9%となっています。

[図表 21 参照]

図表 21 地域のいろいろな行事への参加
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(10) 地域活動やボランティアなどへの参加意向

10 地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいと思いますか。

“活動してみたい”が41.3%、“していない”が22.7%。

地域活動やボランティアなどへの参加意向は、「どちらともいえない」と答えた人が33.2%で最も多く、次いで「たまには活動してみたい」が30.2%で続き、これと「活動してみたい」(11.1%)をあわせた“活動してみたい”という人が41.3%と4割強となっています。これに対し、“活動したいとは思わない”という人(「あまり活動したいとは思わない」(12.7%)と「活動したいとは思わない」(10.0%)の合計)は22.7%となっています。

[図表 22 参照]

図表 22 地域活動やボランティアなどへの参加意向
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)

		(%)					n	
		活動して みたい	たまには 活動して みたい	どちらと もいえな い	あまり活 動したい とは思わ ない	活動した いとは思 わない	無回答	
全体		11.1	30.2	33.2	12.7	10.0	2.9	814
性別	男性	13.2	28.2	34.5	12.6	9.6	1.9	365
	女性	9.4	32.1	32.3	13.2	9.7	3.3	424
年齢	10・20歳代	11.1	35.2	37.0	9.3	7.4	0.0	54
	30歳代	8.5	34.0	34.0	12.8	9.6	1.1	94
	40歳代	15.1	30.2	29.5	12.2	10.8	2.2	139
	50歳代	9.6	29.5	39.7	10.9	8.3	1.9	156
	60歳代	7.1	28.2	38.5	13.5	9.6	3.2	156
	70歳以上	14.0	29.5	25.5	15.0	11.5	4.5	200
世帯構成	ひとり暮らし	10.1	29.3	29.3	9.1	18.2	4.0	99
	夫婦のみ	11.4	30.8	33.2	13.7	8.1	2.8	211
	二世帯(親と子)同居	12.1	29.4	33.5	14.7	7.9	2.4	340
	三世帯(親と子と孫)同居	9.7	35.4	34.5	9.7	8.0	2.7	113
	その他	6.5	25.8	35.5	9.7	22.6	0.0	31
居住地区	旧竹田市	10.7	30.0	33.4	12.0	10.9	2.9	476
	旧荻町	11.5	31.7	28.8	16.3	8.7	2.9	104
	旧久住町	14.5	26.0	38.9	9.2	10.7	0.8	131
	旧直入町	8.4	34.9	28.9	19.3		4.8 3.6	83

(11) 市政に関する情報の入手先

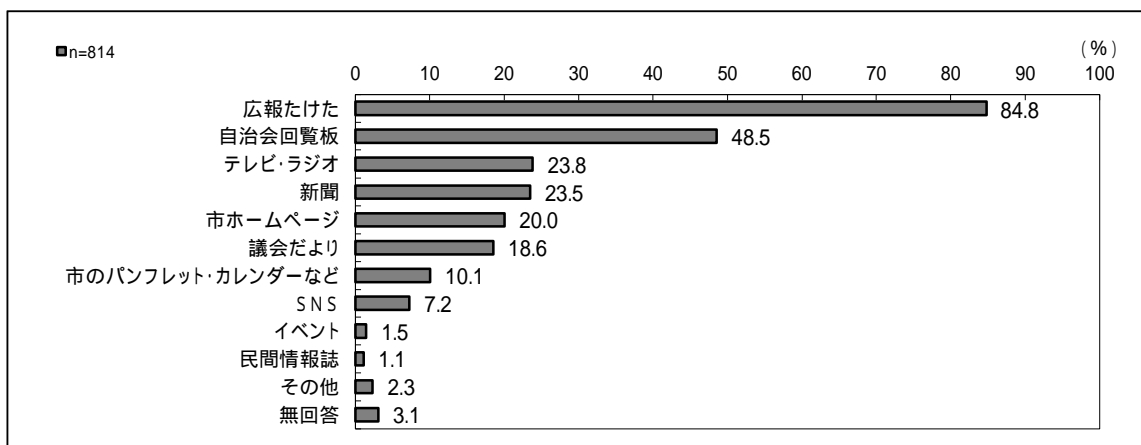
11 村政に関する情報を主にどの方法で知りますか。【複数回答】

「広報たけた」が他を引き離して第1位。次いで「自治会回覧板」、「テレビ・ラジオ」の順。

市政に関する情報の入手先についてたずねたところ、「広報たけた」(84.8%)が他を大きく引き離して第1位となっています。次いで、「自治会回覧板」(48.5%)が第2位、「テレビ・ラジオ」(23.8%)が第3位で続き、これ以外では、「新聞」(23.5%)、「市ホームページ」(20.0%)、「議会だより」(18.6%)、「市のパンフレット・カレンダーなど」(10.1%)、「SNS」(7.2%)、「イベント」(1.5%)などの順となっています。

属性別で見ると、すべての属性で全体と同様に「村広報紙」が第1位、ほとんどの属性で「議会だより」と「市ホームページ」が第2位あるいは第3位にあげられ、大きな違いはみられませんでした。[図表23・24参照]

図表23 市政に関する情報の入手先(全体/複数回答)



図表 24 市政に関する情報の入手先

(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		広報たけた 84.8	自治会回覧板 48.5	テレビ・ラジオ 23.8
性別	男性	広報たけた 83.3	自治会回覧板 48.2	新聞 24.9
	女性	広報たけた 87.5	自治会回覧板 50.2	テレビ・ラジオ 25.5
年齢	10・20歳代	広報たけた 61.1	自治会回覧板 35.2	テレビ・ラジオ / SNS 25.9
	30歳代	広報たけた 84.0	自治会回覧板 40.4	市ホームページ / テレビ・ラジオ 24.5
	40歳代	広報たけた 83.5	自治会回覧板 33.8	市ホームページ 30.9
	50歳代	広報たけた 89.7	自治会回覧板 50.0	市ホームページ 30.1
	60歳代	広報たけた 89.1	自治会回覧板 52.6	新聞 27.6
	70歳以上	広報たけた 87.0	自治会回覧板 63.5	新聞 31.5
世帯構成	ひとり暮らし	広報たけた 75.8	自治会回覧板 43.4	新聞 25.3
	夫婦のみ	広報たけた 93.8	自治会回覧板 59.7	新聞 28.0
	二世帯(親と子)同居	広報たけた 83.8	自治会回覧板 46.5	テレビ・ラジオ 24.7
	三世帯(親と子と孫)同居	広報たけた 84.1	自治会回覧板 43.4	新聞 28.3
	その他	広報たけた 74.2	自治会回覧板 45.2	テレビ・ラジオ 29.0
居住地区	旧竹田市	広報たけた 86.1	自治会回覧板 52.3	市ホームページ / テレビ・ラジオ 22.7
	旧荻町	広報たけた 86.5	自治会回覧板 54.8	新聞 23.1
	旧久住町	広報たけた 84.7	自治会回覧板 38.2	テレビ・ラジオ 29.8
	旧直入町	広報たけた 79.5	自治会回覧板 42.2	新聞 26.5

(12) 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか

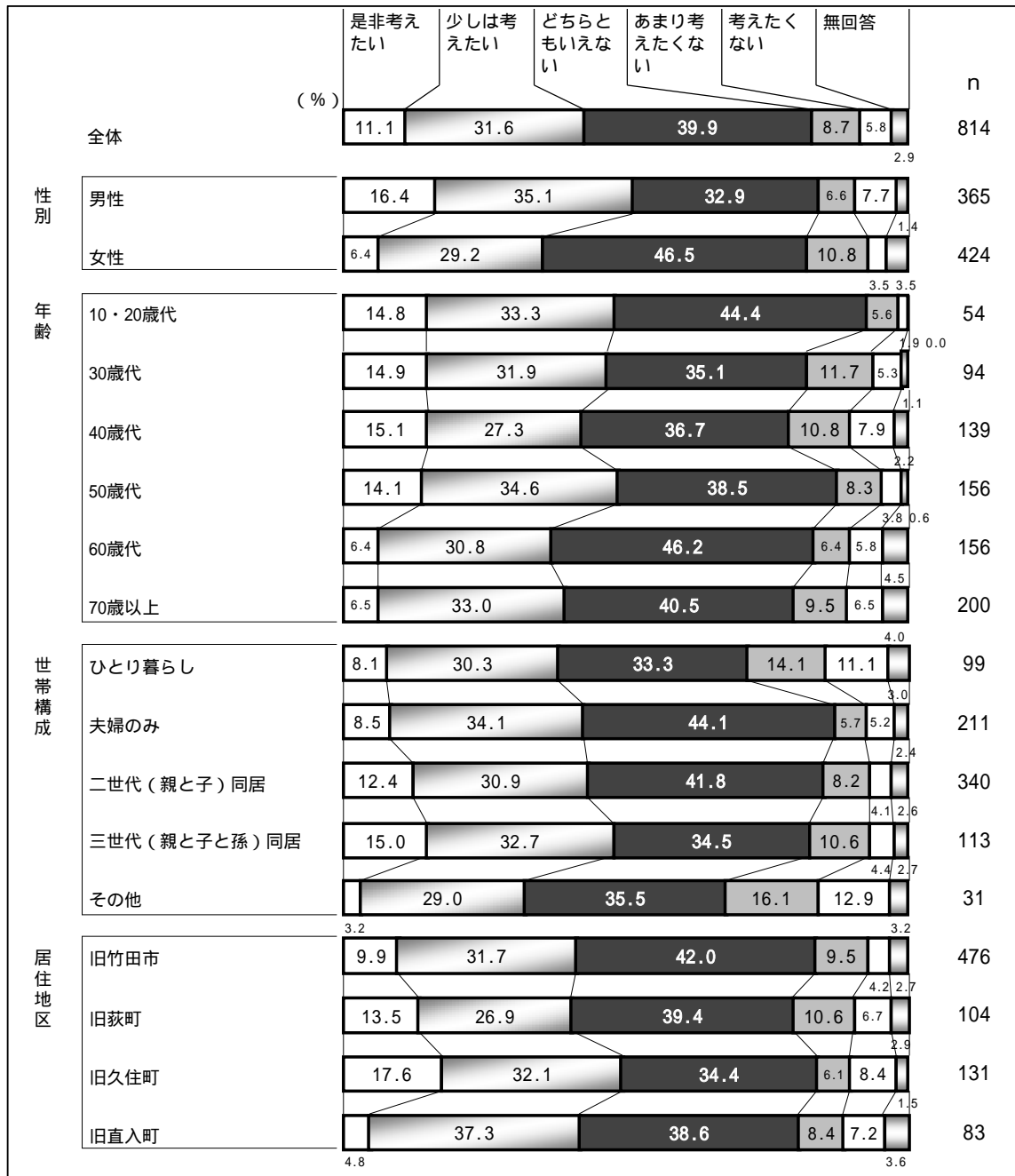
12 市と一緒にまちづくりを考えてみたいと思いますか。

“考えたい”が42.7%、“考えたくない”が14.5%。

市と一緒にまちづくりを考えてみたいと思うかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が39.9%で最も多く、次いで「少しは考えたい」と答えた人が31.6%で続き、これと「是非考えたい」(11.1%)をあわせた“考えたい”という人が42.7%と4割強となっています。これに対し、“考えたくない”という人(「あまり考えたくない」(8.7%)と「考えたくない」(5.8%)の合計)は14.5%となっています。

[図表 25 参照]

図表 25 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(13) 頼りになる知り合いが近所にいるか

13 頼りになる知り合いが近所にいますか。

“ いる ” が 63.4%、 “ いない ” が 16.1%。

頼りになる知り合いが近所にいるかどうかについては、「いる」と答えた人が 36.4%で最も多く、次いで「どちらかといえばいる」が 27.0%で続き、これらをあわせた“いる”という人が 63.4%と 6 割強となっています。これに対し、“いない”という人(「いない」(8.2%)と「どちらかといえばいない」(7.9%)の合計)は 16.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は 7.9%となっています。

[図表 26 参照]

図表 26 頼りになる知り合いが近所にいるか
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)

		いる	どちらか といえ いる	どちらと もいえ ない	どちらか といえ ば いない	いない	無回答	n
全体		36.4	27.0	17.9	7.9	8.2	2.6	814
性別	男性	34.2	29.9	19.5	7.1	8.5	0.8	365
	女性	38.9	24.8	17.0	8.5	7.5	3.3	424
年齢	10・20歳代	25.9	24.1	27.8	11.1	11.1	0.0	54
	30歳代	26.6	35.1	17.0	8.5	11.7	1.1	94
	40歳代	37.4	25.9	17.3	8.6	8.6	2.2	139
	50歳代	33.3	28.8	21.2	9.6	6.4	0.6	156
	60歳代	33.3	29.5	17.9	7.1	9.0	3.2	156
	70歳以上	49.0	22.5	14.0	5.5	5.5	3.5	200
世帯構成	ひとり暮らし	34.3	28.3	14.1	6.1	14.1	3.0	99
	夫婦のみ	42.2	27.0	17.1	7.1	5.2	1.4	211
	二世帯(親と子)同居	35.9	26.5	17.1	10.9	7.4	2.4	340
	三世帯(親と子と孫)同居	33.6	29.2	23.9	8.0	2.7	2.7	113
	その他	25.8	25.8	22.6	6.5	16.1	3.2	31
居住地区	旧竹田市	37.4	27.1	15.8	10.3	7.4	2.1	476
	旧荻町	36.5	23.1	22.1	10.6	4.8	2.9	104
	旧久住町	35.1	29.0	19.8	9.9	4.6	1.5	131
	旧直入町	37.3	27.7	22.9	3.6	4.8	3.6	83

(14) 高齢者や障がい者にも暮らしやすい地域か

14 住んでいる地域の高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいと思いますか。

“ そう思わない ” が 47.0%、 “ そう思う ” が 22.0%。

高齢者や障がい者の暮らしやすさについては、「あまりそう思わない」と答えた人が30.5%で最も多く、これと「そう思わない」(16.5%)をあわせた“そう思わない”という人が47.0%となっています。これに対し、“そう思う”という人(「まあそう思う」(17.9%)と「そう思う」(4.1%)の合計)は22.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は28.4%となっています。

[図表 27 参照]

図表 27 高齢者や障がい者にも暮らしやすい地域か
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)

	(%)					n
	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
全体	17.9	28.4	30.5	16.5		814
性別	4.1				2.7	
男性	16.4	29.0	28.5	20.3		365
女性	4.4				1.4	424
年齢	3.8				3.3	
10・20歳代	22.2	27.8	37.0	11.1		54
30歳代	0.0	8.5	36.2	36.2	18.1	94
40歳代	0.0	17.3	22.3	35.3	21.6	139
50歳代	1.4	11.5	25.6	41.7	17.9	156
60歳代	1.3	17.3	29.5	29.5	17.9	156
70歳以上	3.8	11.0	28.5	29.0	16.0	200
世帯構成	4.0				12.1	
ひとり暮らし	24.2	29.3	29.3	12.1		99
夫婦のみ	3.0	8.1	20.4	30.8	25.1	211
二世帯(親と子)同居	1.9	16.2	26.5	32.4	19.7	340
三世帯(親と子と孫)同居	2.4	15.9	26.5	36.3	15.9	113
その他	2.7	16.1	29.0	38.7	12.9	31
居住地区	3.2				0.0	
旧竹田市	19.1	30.0	29.4	15.3		476
旧荻町	4.2	14.4	26.9	33.7	18.3	104
旧久住町	3.8	19.1	22.9	37.4	13.7	131
旧直入町	5.3	16.9	26.5	25.3	24.1	83
	1.2				6.0	

(15) 買い物や通院に便利な地域か

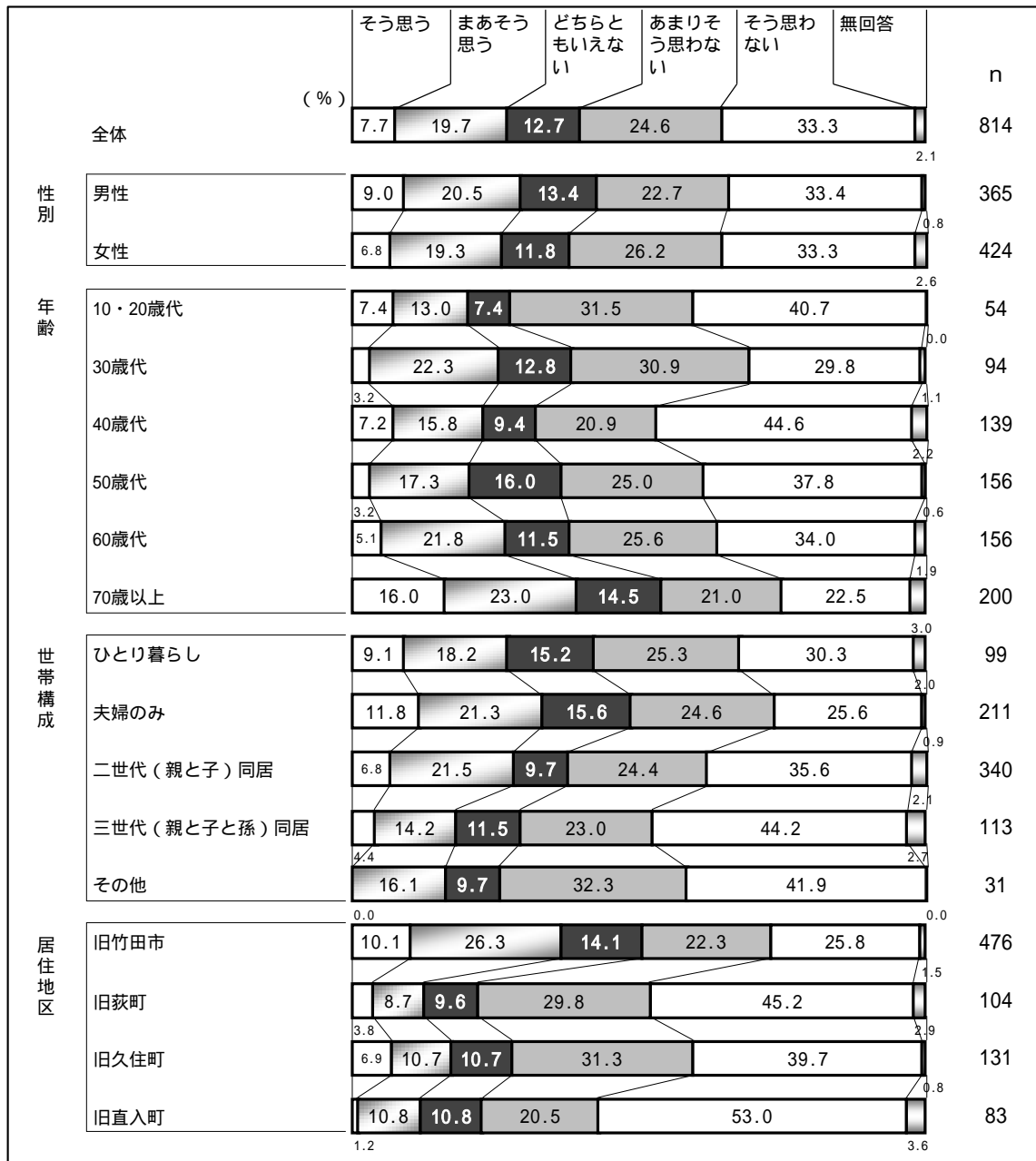
15 住んでいる地域は買い物や通院に便利だと思いますか。

“ そう思わない ” が 57.9%、 “ そう思う ” が 27.4%。

買い物や通院の便利さについては、「そう思わない」と答えた人が 33.3%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 24.6%で続き、これらをあわせた“そう思わない”という人が 57.9%で6割弱となっています。これに対し、“そう思う”という人（「まあそう思う」(19.7%)と「そう思う」(7.7%)の合計）は 27.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は 12.7%となっています。

[図表 28 参照]

図表 28 買い物や通院に便利な地域か (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(16) 子育てに積極的な地域か

16 住んでいる地域は子育てに積極的だと思いますか。

“ そう思わない ” が 31.0%、 “ そう思う ” が 25.3%。

子育てに積極的な地域かどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が 39.3%で最も多いですが、次いで「まあそう思う」と答えた人が 20.9%で続き、これと「そう思う」(4.4%)をあわせた“そう思う”という人が 25.3%となっています。これに対し、“そう思わない”という人(「あまりそう思わない」(19.0%)と「そう思わない」(12.0%)の合計)は 31.0%となっています。

[図表 29 参照]

図表 29 子育てに積極的な地域か（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）

		そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	n
		(%)						
性別	全体	20.9	39.3	19.0	12.0	4.4	4.3	814
	男性	19.5	39.2	18.9	16.4	3.8	2.2	365
	女性	22.4	39.6	19.3	8.3	5.4		424
年齢	10・20歳代	25.9	27.8	27.8	14.8	5.0		54
	30歳代	20.2	38.3	25.5	9.6	3.7	0.0	94
	40歳代	25.9	33.8	16.5	18.7	4.3	2.1	139
	50歳代	17.3	41.0	24.4	12.8	2.9	2.2	156
	60歳代	18.6	42.3	15.4	15.4	3.2	1.3	156
	70歳以上	7.5	21.5	43.0	15.0	3.2	8.0	200
							5.0	
世帯構成	ひとり暮らし	21.2	46.5	15.2	10.1	3.0	4.0	99
	夫婦のみ	19.0	45.0	15.6	9.0	5.7	5.7	211
	二世帯（親と子）同居	21.5	33.2	21.5	15.9	4.7	3.2	340
	三世帯（親と子と孫）同居	24.8	36.3	23.9	9.7	2.7	2.7	113
	その他	19.4	48.4	16.1	9.7	3.2	3.2	31
居住地区	旧竹田市	19.3	43.5	18.9	10.3	3.2	3.2	476
	旧荻町	34.6	32.7	13.5	10.6	4.0	4.0	104
	旧久住町	8.4	15.3	34.4	24.4	2.9	1.5	131
	旧直入町	24.1	31.3	20.5	16.9	2.4	4.8	83

(17) 地域の子どもはのびのびと育っているか

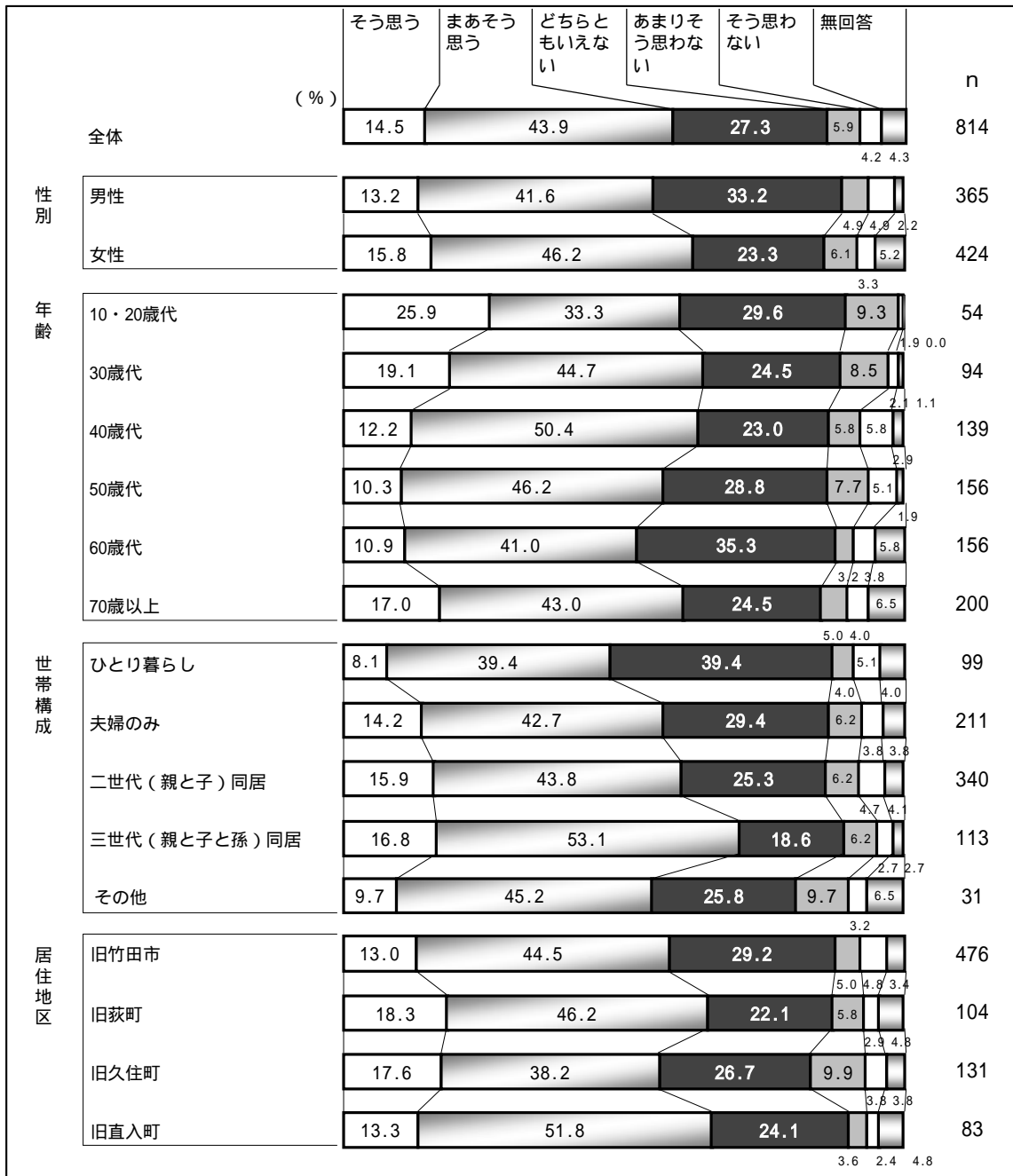
17 住んでいる地域の子どもはのびのびと育っていると思いますか。

“ そう思う ” が 58.4%、 “ そう思わない ” が 10.1%。

地域の子どもはのびのびと育っていると思うかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が 43.9%で最も多く、これと「そう思う」(14.5%)をあわせた“ そう思う ” という人が 58.4%と6割弱となっています。これに対し、“ そう思わない ” という人(「あまりそう思わない」(5.9%)と「そう思わない」(4.2%)の合計)は 10.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は 27.3%となっています。

[図表 30 参照]

図表 30 地域の子どもはのびのびと育っているか
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(18) 地域の公共交通は便利だと思うか

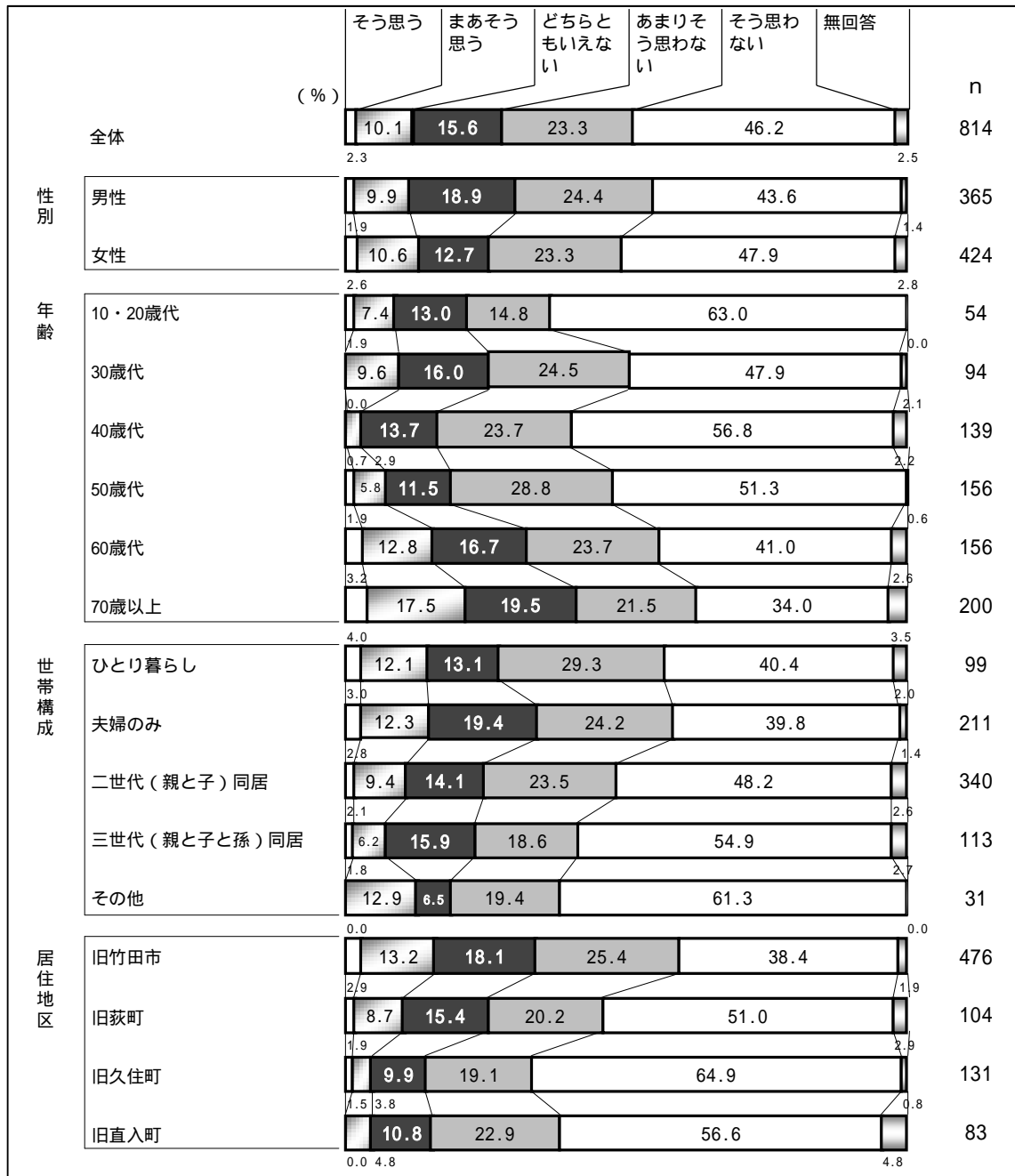
18 住んでいる地域の公共交通は便利だと思いますか。

“ そう思わない ” が 69.5%、 “ そう思う ” が 12.4%。

地域の公共交通は便利かどうかについては、「そう思わない」と答えた人が46.2%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」と答えた人が23.3%で続き、これらをあわせた“そう思わない”という人が69.5%と7割弱となっています。これに対し、“そう思う”という人(「まあそう思う」(10.1%)と「そう思う」(2.3%)の合計)は12.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は15.6%となっています。

[図表 31 参照]

図表 31 地域の公共交通は便利だと思うか（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地
区）



(19) 地域はきれいだと思うか

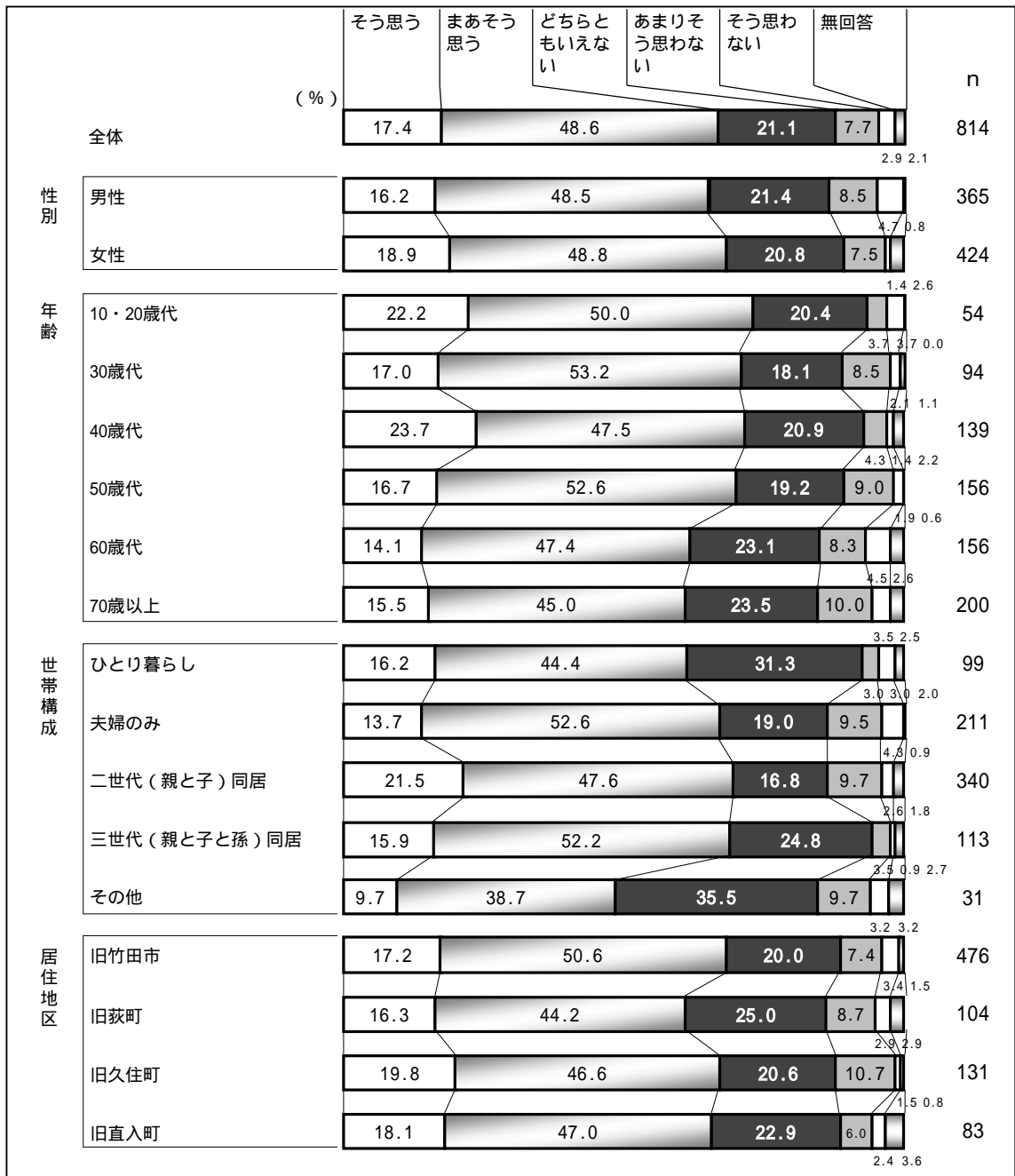
19 住んでいる地域はきれいだと思いますか。

“ そう思う ” が 66.0%、 “ そう思わない ” が 10.6%。

住んでいる地域はきれいだと思うかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が 48.6%で最も多く、これと「そう思う」(17.4%)をあわせた“そう思う”という人が 66.0%と7割弱となっています。これに対し、“そう思わない”という人(「あまりそう思わない」(7.7%)と「そう思わない」(2.9%)の合計)は 10.6%となっています。なお、「どちらともいえない」は 21.1%となっています。

[図表 32 参照]

図表 32 地域はきれいだと思うか（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(20) 地域に活気があるか

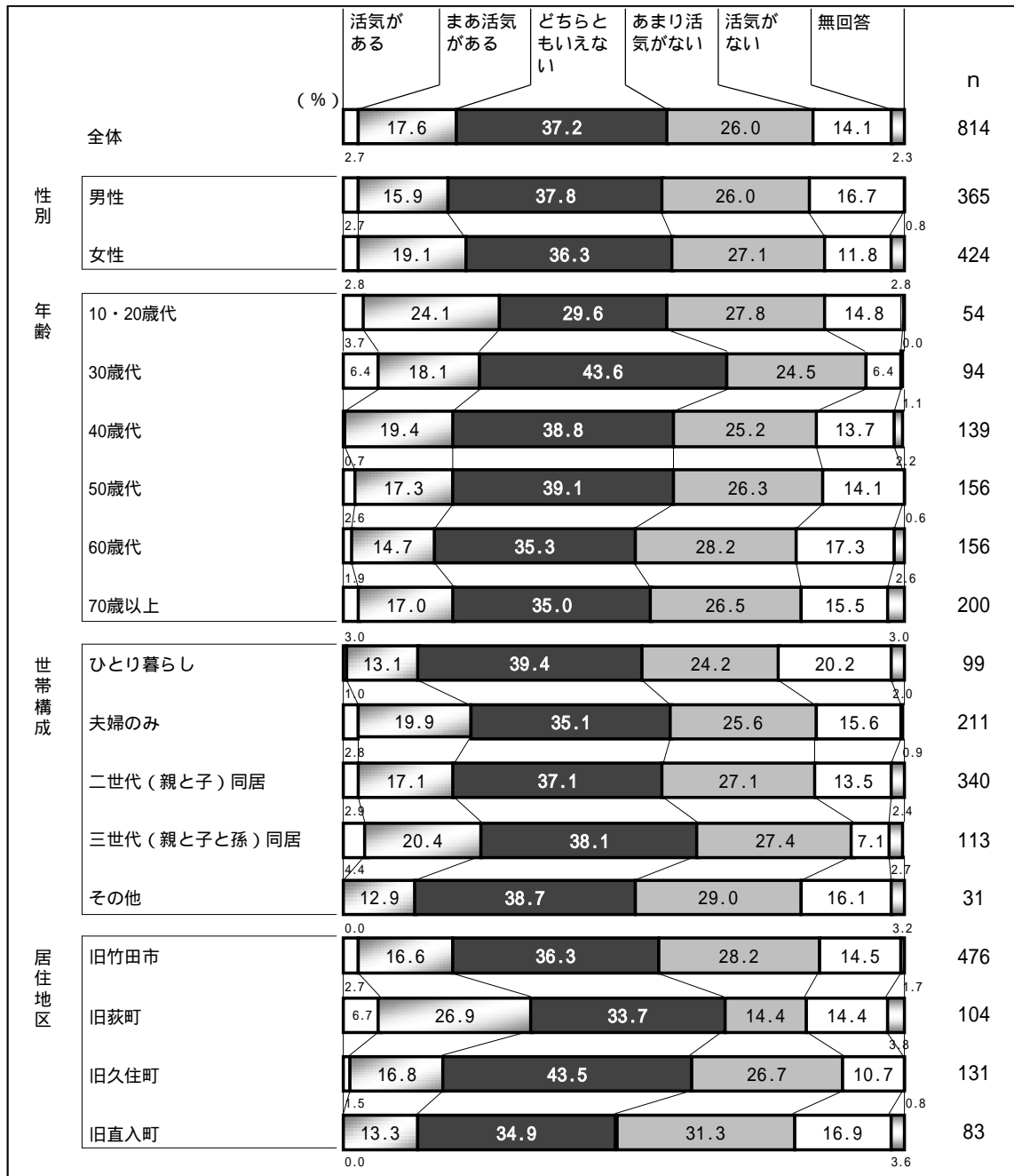
20 住んでいる地域に活気がありますか。

“活気がない”が26.0%、“ない”が20.3%。

自地域に活気があるかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が37.2%で最も多いですが、次いで「あまり活気がない」と答えた人が26.0%で続き、これと「活気がない」(14.1%)をあわせた“活気がない”という人が40.1%となっています。これに対し、“活気がある”という人(「まあ活気がある」(17.6%)と「活気がある」(2.7%)の合計)は20.3%となっています。

[図表 33 参照]

図表 33 地域に活気があるか（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(21) 自慢したい地域の風景や名所があるか

21 自慢したい地域の風景や名所がありますか。

“ある”が54.0%、“ない”が20.9%。

自慢したい地域の風景や名所の有無については、「ある」と答えた人が28.9%で最も多く、次いで「まあある」と答えた人が25.1%で続き、これらをあわせた“ある”という人が54.0%と5割を超えています。これに対し、“ない”という人（「ない」（12.2%）と「どちらかといえばない」（8.7%）の合計）は20.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は22.9%となっています。

[図表 34 参照]

図表 34 自慢したい地域の風景や名所があるか
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)

		ある	まあある	どちらともいえない	どちらかといえばない	ない	無回答	n
全体		28.9	25.1	22.9	8.7	12.2	2.3	814
性別	男性	26.6	25.2	24.4	7.1	15.9	0.8	365
	女性	30.4	24.8	22.2	10.4	9.2	3.1	424
年齢	10・20歳代	33.3	33.3	20.4	3.7	9.3	0.0	54
	30歳代	28.7	30.9	26.6	5.3	7.4	1.1	94
	40歳代	33.1	28.8	20.9	6.5	8.6	2.2	139
	50歳代	30.1	23.7	21.8	9.6	14.1	0.6	156
	60歳代	27.6	19.9	19.2	10.9	19.2	3.2	156
	70歳以上	24.5	23.0	27.5	11.0	11.0	3.0	200
世帯構成	ひとり暮らし	22.2	28.3	19.2	10.1	18.2	2.0	99
	夫婦のみ	30.3	22.7	24.6	10.0	10.9	1.4	211
	二世帯(親と子)同居	30.6	23.2	21.8	9.7	12.6	2.1	340
	三世帯(親と子と孫)同居	28.3	31.9	26.5	5.3	5.3	2.7	113
	その他	22.6	25.8	25.8	19.4		3.2	31
居住地区	旧竹田市	26.5	26.5	23.1	9.7	12.4	1.9	476
	旧荻町	20.2	29.8	23.1	8.7	15.4	2.9	104
	旧久住町	41.2	22.1	19.1		12.2	4.6	131
	旧直入町	32.5	18.1	26.5	10.8	8.4	0.8	83

(22) 地元や県内でとれた農畜産物を買っているか

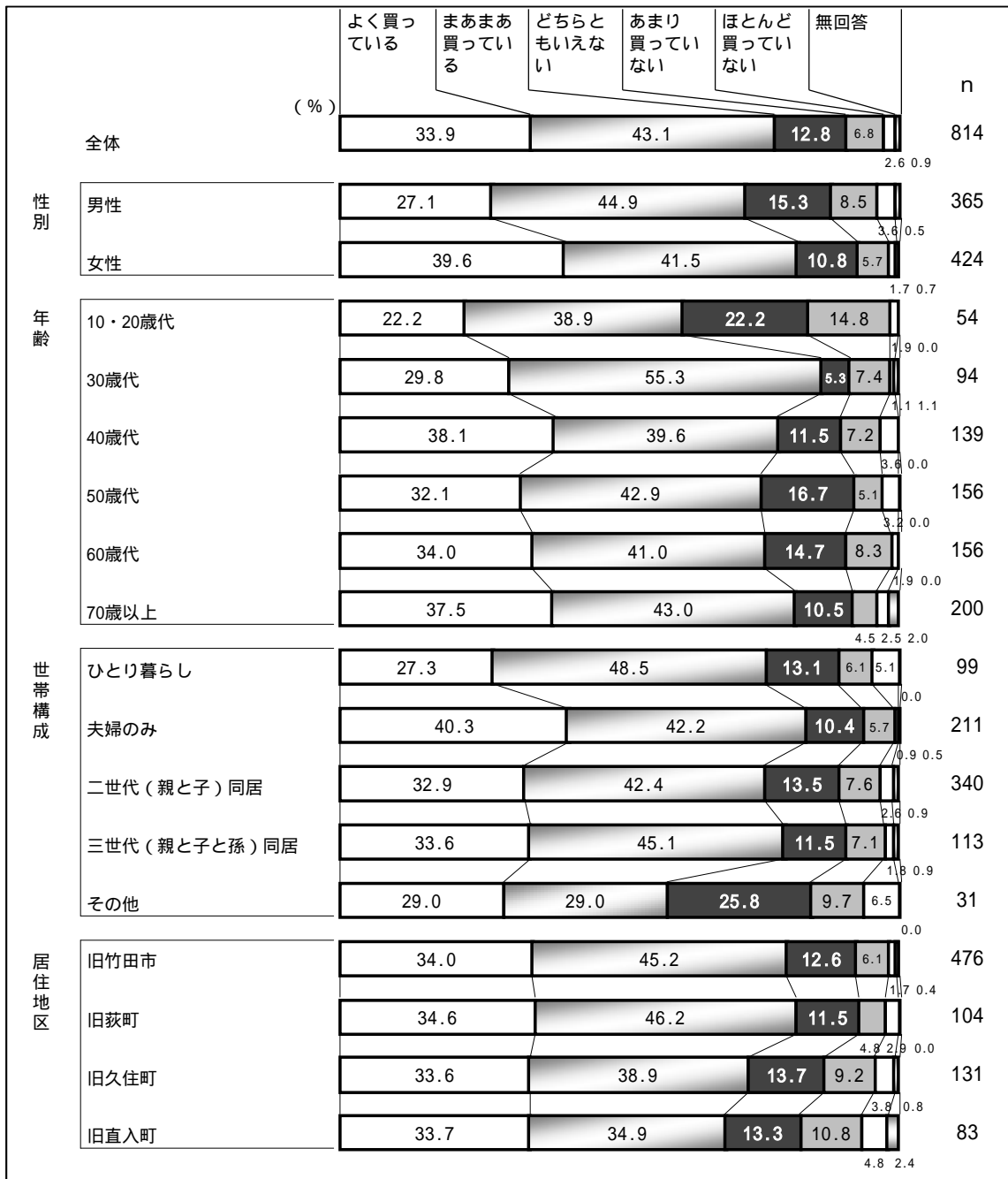
22 地元や県内でとれた農畜産物を買っていますか。

“買っている”が77.0%、“買っていない”が9.4%。

地元でとれた農畜産物を買っているかどうかについては、「まあまあ買っている」と答えた人が43.1%で最も多く、次いで「よく買っている」と答えた人が33.9%で続き、これらをあわせた“買っている”という人が77.0%となっています。これに対し、“買っていない”という人(「あまり買っていない」(6.8%)と「ほとんど買っていない」(2.6%)の合計)は9.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は12.8%となっています。

[図表 35 参照]

図表 35 地元や県内でとれた農畜産物を買っているか
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(23) 災害に対して地域は安全だと思うか

23 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。

“安全だと思う”が52.4%、“安全とは思わない”が21.6%。

災害に対して地域は安全だと思うかどうかについては、「まあ安全だと思う」と答えた人が38.0%で最も多く、これと「安全だと思う」(14.4%)をあわせた“安全だと思う”という人が52.4%となっています。これに対し、“安全とは思わない”という人(「あまり安全とは思わない」(14.6%)と「安全とは思わない」(7.0%)の合計)は21.6%となっています。なお、「どちらともいえない」は24.9%となっています。

[図表 36 参照]

図表 36 災害に対して地域は安全だと思うか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)

		安全だと思 う	まあ安全 だと思う	どちらと もいえな い	あまり安 全とは思 わない	安全とは 思わない	無回答	n
(%)		14.4	38.0	24.9	14.6	7.0	1.1	814
性別	男性	17.0	38.1	23.8	13.7	6.6	0.8	365
	女性	12.7	38.0	25.9	15.6	6.8	0.9	424
年齢	10・20歳代	11.1	27.8	25.9	24.1	11.1	0.0	54
	30歳代	5.3	40.4	27.7	16.0	9.6	1.1	94
	40歳代	12.9	36.0	32.4	12.2	6.5	0.0	139
	50歳代	10.9	34.6	28.8	17.3	7.7	0.6	156
	60歳代	16.7	42.9	20.5	12.2	7.7	0.0	156
	70歳以上	22.0	40.5	18.0	13.0		0.0	200
世帯構成	ひとり暮らし	9.1	44.4	25.3	16.2	5.1	4.0 2.5	99
	夫婦のみ	19.4	43.6	16.6	13.7	6.2	0.0	211
	二世帯(親と子)同居	14.4	33.2	28.2	14.4	8.2	0.5	340
	三世帯(親と子と孫)同居	9.7	41.6	25.7	15.9	6.2	1.5	113
	その他	9.7	29.0	35.5	16.1	9.7	0.9	31
居住地区	旧竹田市	13.9	35.7	24.6	16.8	8.6	0.0	476
	旧荻町	19.2	51.0	19.2	6.7		0.4	104
	旧久住町	16.8	38.2	30.5	10.7		3.6 0.0	131
	旧直入町	9.6	37.3	24.1	18.1	7.2	2.3 1.5	83
							3.6	

(24) 女性の活躍を多面的に支援する地域か

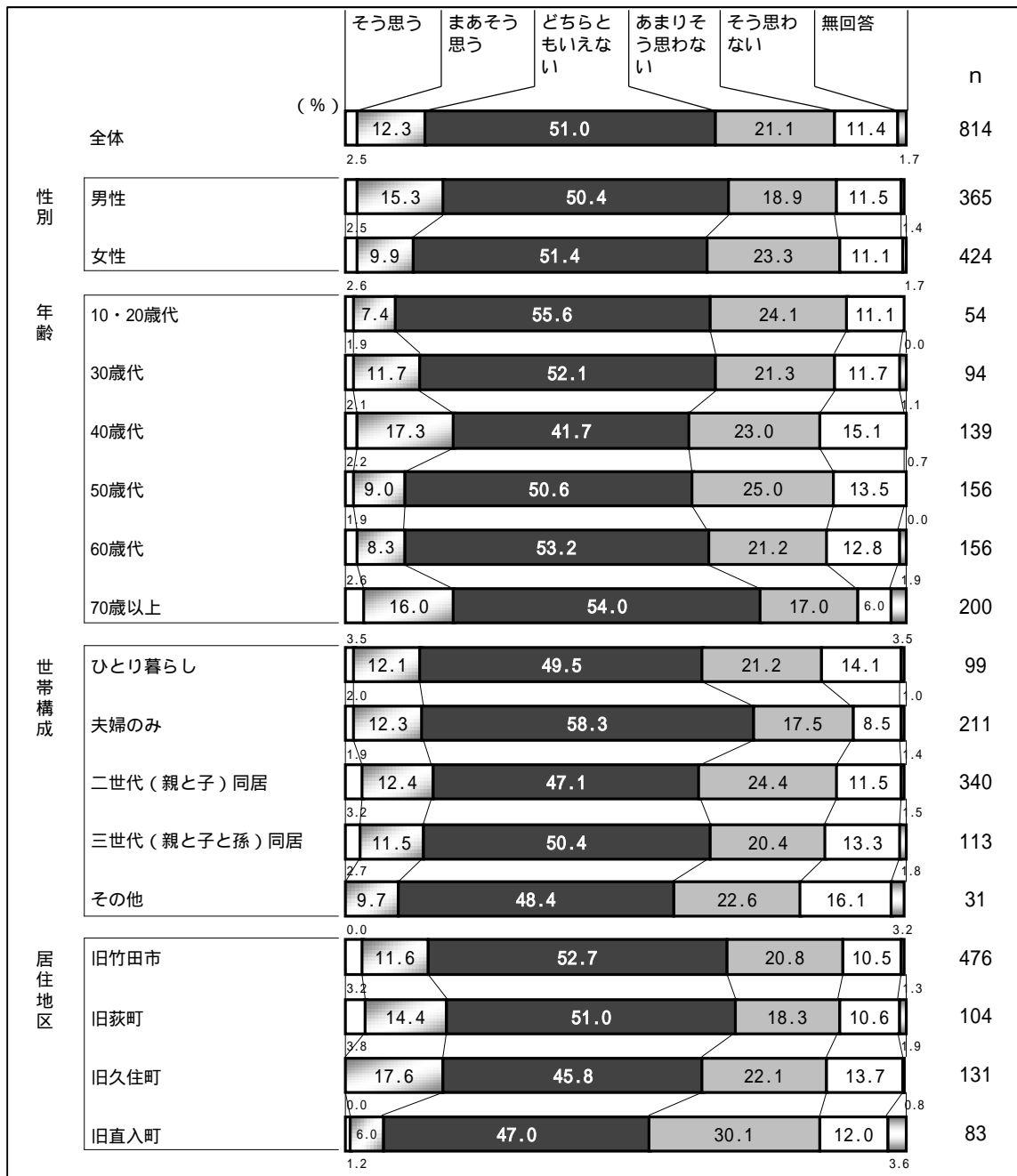
24 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思いますか。

“ そう思わない ” が 32.5%、 “ そう思う ” が 14.8%。

女性の活躍を支援する地域だと思うかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が 51.0%で最も多いですが、次いで「あまりそう思わない」と答えた人が 21.1%で続き、これと「そう思わない」(11.4%)をあわせた“ そう思わない ” という人が 32.5%となっています。これに対し、“ そう思う ” という人(「まあそう思う」(12.3%)と「そう思う」(2.5%)の合計)は 14.8%となっています。

[図表 37 参照]

図表 37 女性の活躍を多面的に支援する地域か
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(25) 若者が希望を持てる地域だと思うか

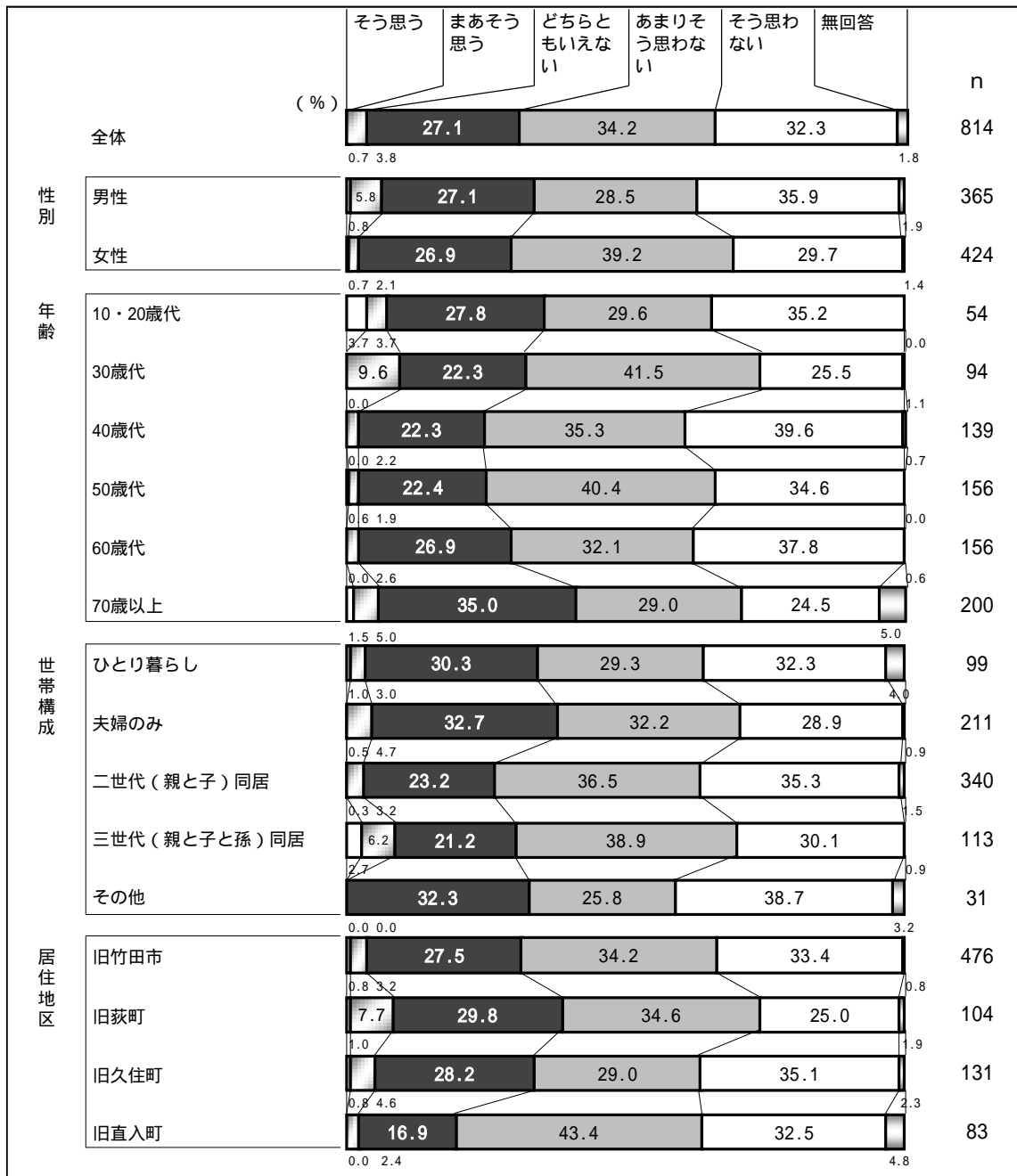
25 若者が希望を持てる地域だと思いますか。

“ そう思わない ” が 66.5%、 “ そう思う ” が 4.5%。

若者が希望を持てる地域だと思うかどうかについては、「あまりそう思わない」と答えた人が 34.2%で最も多く、次いで「そう思わない」が 32.3%で続き、これらをあわせた “ そう思わない ” という人が 66.5%となっています。これに対し、“ そう思う ” という人（「まあそう思う」(3.8%)と「そう思う」(0.7%)の合計）は 4.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は 27.1%となっています。

[図表 38 参照]

図表 38 若者が希望を持てる地域だと思うか
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



5 今後のまちづくりについて

(1) 市民と行政のあるべき関係

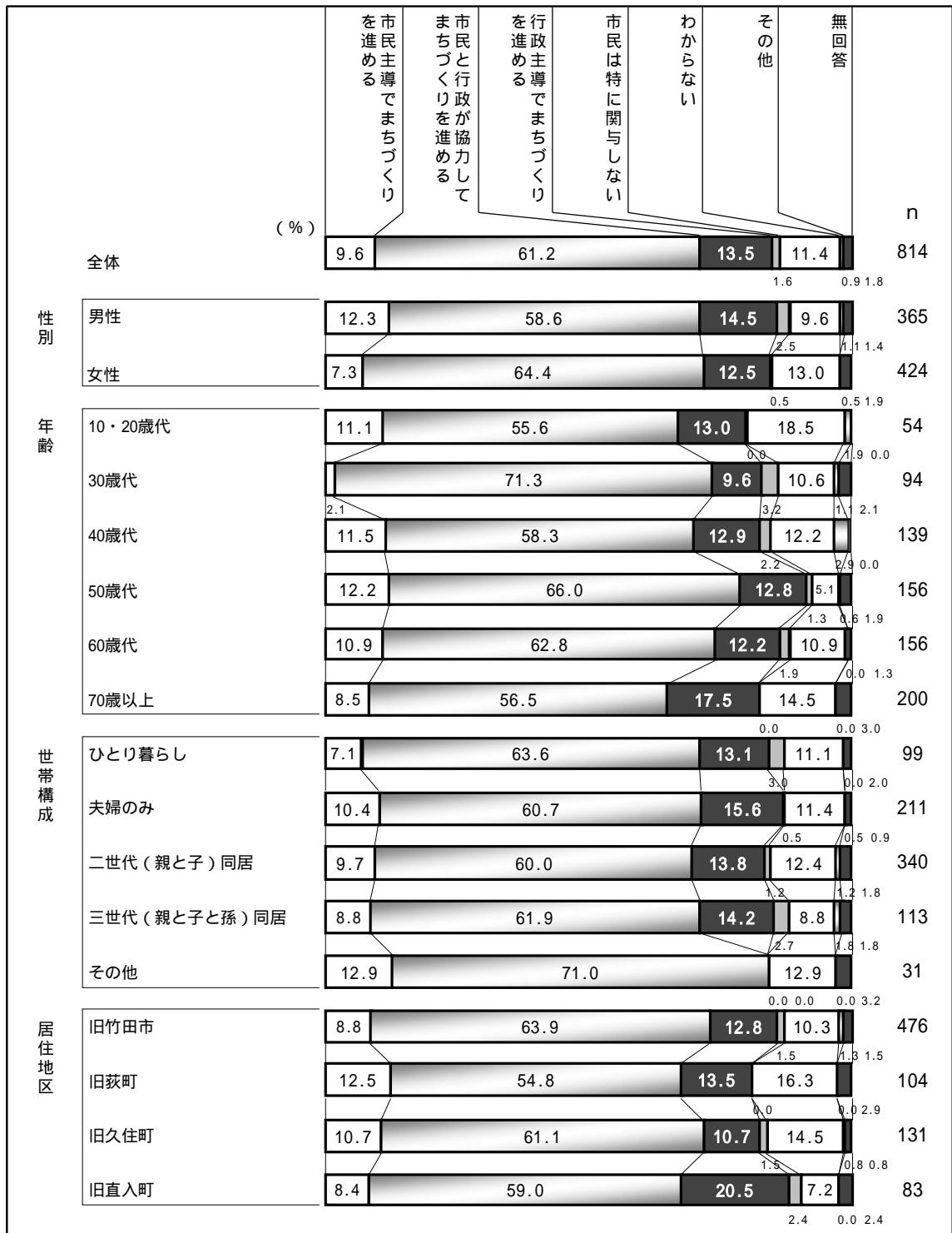
問6 あなたは、今後のまちづくりを進めていくときに、市民と行政の関係はどうあるべきだと思いますか。

「市民と行政が協力してまちづくりを進める」が第1位。

市民と行政のあるべき関係については、「市民と行政が協力してまちづくりを進める」(61.2%)が他を大きく引き離して第1位となっています。それ以外では、「行政主導でまちづくりを進める」(13.5%)、「市民主導でまちづくりを進める」(9.6%)、「市民は特に関与しない」(1.6%)となっています。なお、「わからない」は11.4%となっています。

[図表 39 参照]

図表 39 市民と行政のあるべき関係（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(2) 特に重点を置くべき取り組み

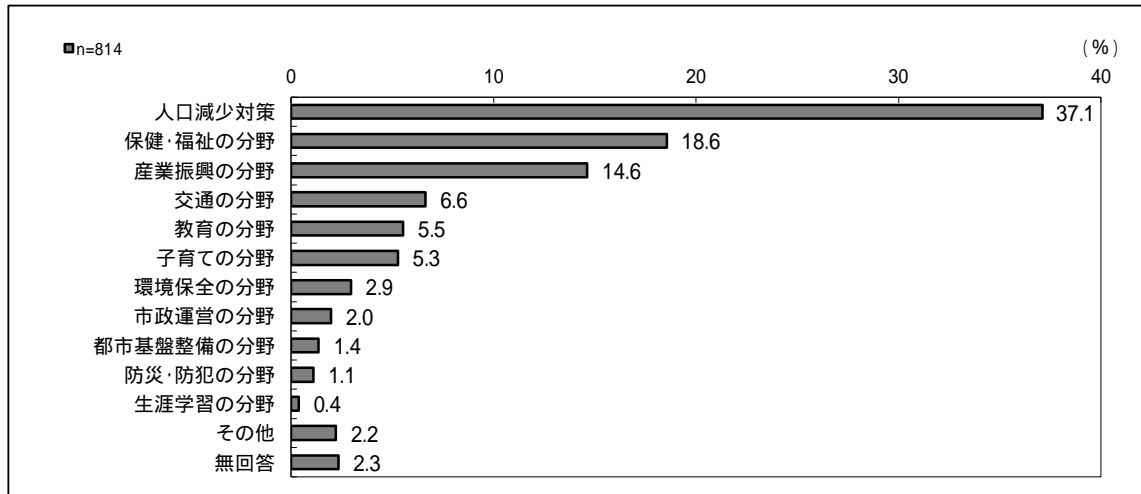
問7 これからの竹田市全体の施策の中で、特に重点を置くべきだと思う取り組みは何ですか。

「人口減少対策」が他を引き離して第1位。

これからの竹田市全体の施策の中で、特に重点を置くべき取り組みについては、「人口減少対策」(37.1%)が他を引き離して第1位となっています。次いで、「保健・福祉の分野」(18.6%)が第2位、「産業振興の分野」(14.6%)が第3位で続き、これ以外では、「交通の分野」(6.6%)、「教育の分野」(5.5%)、「子育ての分野」(5.3%)、「環境保全の分野」(2.9%)、「市政運営の分野」(2.0%)などの順となっています。

属性別で見ると、すべての属性で全体と同様に「美しい自然環境や景観が誇れる村」が第1位、ほとんどの属性で「保健・医療・福祉の充実した村」と「安全・安心な住環境の整備を優先する村」が第2位あるいは第3位にあげられ、大きな違いはみられませんでした。[図表40・41参照]

図表40 特に重点を置くべき取り組み(全体)



図表 41 特に重点を置くべき取り組み
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		人口減少対策 37.1	保健・福祉の分野 18.6	産業振興の分野 14.6
性別	男性	人口減少対策 41.1	保健・福祉の分野 16.2	産業振興の分野 15.3
	女性	人口減少対策 34.7	保健・福祉の分野 21.2	産業振興の分野 14.2
年齢	10・20歳代	人口減少対策 31.5	交通の分野 14.8	保健・福祉の分野 / 子育ての分野 11.1
	30歳代	人口減少対策 31.9	教育の分野 17.0	産業振興の分野 13.8
	40歳代	人口減少対策 30.2	保健・福祉の分野 23.7	産業振興の分野 15.8
	50歳代	人口減少対策 31.4	保健・福祉の分野 / 産業振興の分野 18.6	
	60歳代	人口減少対策 42.9	保健・福祉の分野 19.9	産業振興の分野 17.3
	70歳以上	人口減少対策 47.0	保健・福祉の分野 21.0	産業振興の分野 10.0
世帯構成	ひとり暮らし	人口減少対策 32.3	保健・福祉の分野 29.3	産業振興の分野 13.1
	夫婦のみ	人口減少対策 45.0	保健・福祉の分野 18.0	産業振興の分野 13.3
	二世帯(親と子)同居	人口減少対策 34.7	保健・福祉の分野 17.6	産業振興の分野 15.3
	三世帯(親と子と孫)同居	人口減少対策 33.6	産業振興の分野 17.7	保健・福祉の分野 14.2
	その他	人口減少対策 35.5	保健・福祉の分野 19.4	産業振興の分野 9.7
居住地区	旧竹田市	人口減少対策 38.9	保健・福祉の分野 18.1	産業振興の分野 15.5
	旧荻町	人口減少対策 34.6	保健・福祉の分野 21.2	産業振興の分野 12.5
	旧久住町	人口減少対策 35.9	保健・福祉の分野 16.8	産業振興の分野 13.7
	旧直入町	人口減少対策 34.9	保健・福祉の分野 22.9	産業振興の分野 13.3

(3) 子育てしやすいまちになるため力を入れるべきこと

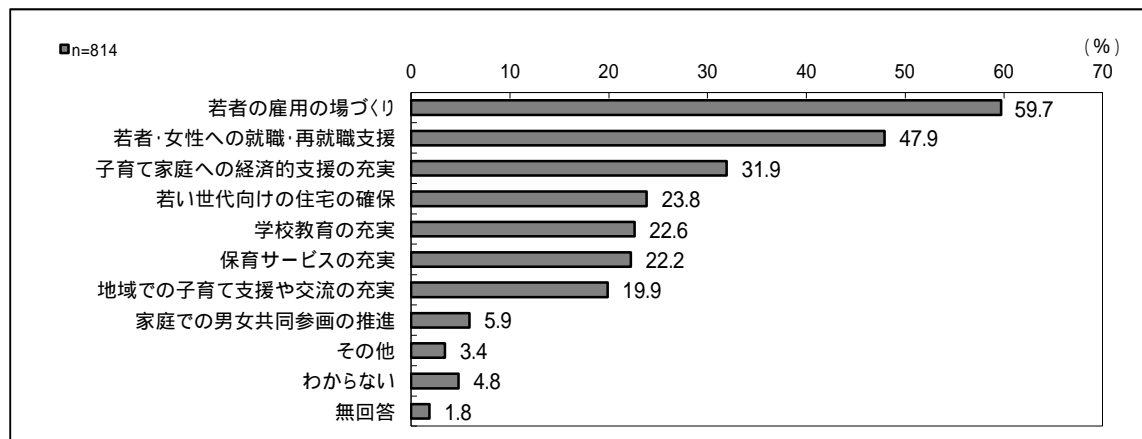
問8 これからの竹田市全体の施策の中で、特に重点を置くべきだと思う取り組みは何ですか。【複数回答】

「若者の雇用の場づくり」が第1位。次いで「若者・女性への就職・再就職支援」、「子育て家庭への経済的支援の充実」の順。

子育てしやすい村になるために力を入れるべきことについてたずねたところ、「若者の雇用の場づくり」(59.7%)が第1位、「若者・女性への就職・再就職支援」(47.9%)が第2位、「子育て家庭への経済的支援の充実」(31.9%)が第3位、これ以外では、「若い世代向けの住宅の確保」(23.8%)、「学校教育の充実」(22.6%)、「保育サービスの充実」(22.2%)、「地域での子育て支援や交流の充実」(19.9%)、「家庭での男女共同参画の推進」(5.9%)などの順となっています。

属性別で見ると、ほとんどの属性で全体と同様に「若者の雇用の場づくり」が第1位、「若者・女性への就職・再就職支援」と「子育て家庭への経済的支援の充実」が第2位あるいは第3位にあげられていますが、年齢別の30歳代では「子育て家庭への経済的支援の充実」が第1位、世帯構成別の三世帯同居では「若者・女性への就職・再就職支援」が第1位にあげられています。[図表42・43参照]

図表42 子育てしやすいまちになるため力を入れるべきこと(全体/複数回答)



図表 43 子育てしやすいまちになるため力を入れるべきこと
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		若者の雇用の場づくり 59.7	若者・女性への就職・再就職支援 47.9	子育て家庭への経済的支援の充実 31.9
性別	男性	若者の雇用の場づくり 64.1	若者・女性への就職・再就職支援 52.1	子育て家庭への経済的支援の充実 32.1
	女性	若者の雇用の場づくり 56.6	若者・女性への就職・再就職支援 45.5	子育て家庭への経済的支援の充実 32.3
年齢	10・20歳代	若者の雇用の場づくり 50.0	子育て家庭への経済的支援の充実 48.1	若者・女性への就職・再就職支援 44.4
	30歳代	若者・女性への就職・再就職支援 54.3	子育て家庭への経済的支援の充実 51.1	若者の雇用の場づくり 47.9
	40歳代	若者の雇用の場づくり 56.8	若者・女性への就職・再就職支援 42.4	子育て家庭への経済的支援の充実 / 若い世代向けの住宅の確保 31.7
	50歳代	若者の雇用の場づくり 62.2	若者・女性への就職・再就職支援 48.1	子育て家庭への経済的支援の充実 29.5
	60歳代	若者の雇用の場づくり 67.9	若者・女性への就職・再就職支援 48.1	子育て家庭への経済的支援の充実 27.6
	70歳以上	若者の雇用の場づくり 62.0	若者・女性への就職・再就職支援 50.0	地域での子育て支援や交流の充実 25.0
世帯構成	ひとり暮らし	若者の雇用の場づくり 64.6	若者・女性への就職・再就職支援 47.5	若い世代向けの住宅の確保 28.3
	夫婦のみ	若者の雇用の場づくり 66.4	若者・女性への就職・再就職支援 51.7	子育て家庭への経済的支援の充実 29.4
	二世帯(親と子)同居	若者の雇用の場づくり 57.1	若者・女性への就職・再就職支援 49.7	子育て家庭への経済的支援の充実 35.0
	三世帯(親と子と孫)同居	若者の雇用の場づくり 56.6	若者・女性への就職・再就職支援 38.9	子育て家庭への経済的支援の充実 37.2
	その他	若者の雇用の場づくり 45.2	若者・女性への就職・再就職支援 38.7	学校教育の充実 29.0
居住地区	旧竹田市	若者の雇用の場づくり 60.9	若者・女性への就職・再就職支援 49.6	子育て家庭への経済的支援の充実 33.4
	旧荻町	若者の雇用の場づくり 58.7	若者・女性への就職・再就職支援 47.1	子育て家庭への経済的支援の充実 34.6
	旧久住町	若者の雇用の場づくり 51.9	若者・女性への就職・再就職支援 47.3	子育て家庭への経済的支援の充実 32.1
	旧直入町	若者の雇用の場づくり 67.5	若者・女性への就職・再就職支援 42.2	若い世代向けの住宅の確保 41.0

(4) 今後どのようなまちにしたいか

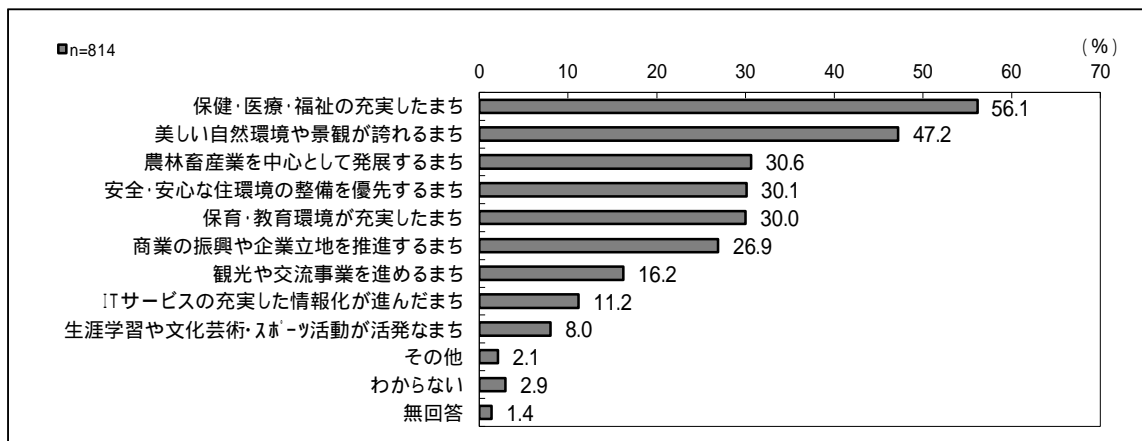
問9 あなたは、今後のまちづくりにおいて、竹田市をどのようなまちにしたいと考えますか。【複数回答】

「保健・医療・福祉の充実したまち」、「美しい自然環境や景観が誇れるまち」、「農林畜産業を中心として発展するまち」の順。

今後どのようなまちにしたいかたずねたところ、「保健・医療・福祉の充実したまち」(56.1%)が第1位、「美しい自然環境や景観が誇れるまち」(47.2%)が第2位、「農林畜産業を中心として発展するまち」(30.6%)が第3位となっています。これ以外では、「安全・安心な住環境の整備を優先するまち」(30.1%)、「保育・教育環境が充実したまち」(30.0%)、「商業の振興や企業立地を推進するまち」(26.9%)、「観光や交流事業を進めるまち」(16.2%)、「ITサービスの充実した情報化が進んだまち」(11.2%)、「生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発なまち」(8.0%)などの順となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「村有地の有効活用」、「村の助成金、補助金の見直し」、「公共工事のコスト削減・適正化」のいずれかが1位、2位、3位となっています。[図表44・45参照]

図表44 今後どのようなまちにしたいか(全体/複数回答)



図表 45 今後どのようなまちにしたいか
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		保健・医療・福祉の充実したまち 56.1	美しい自然環境や景観が誇れるまち 47.2	農林畜産業を中心として発展するまち 30.6
性別	男性	保健・医療・福祉の充実したまち 48.8	美しい自然環境や景観が誇れるまち 45.2	農林畜産業を中心として発展するまち 37.0
	女性	保健・医療・福祉の充実したまち 63.2	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.6	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 32.3
年齢	10・20歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 53.7	保育・教育環境が充実したまち 48.1	美しい自然環境や景観が誇れるまち 46.3
	30歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 54.3	保育・教育環境が充実したまち 53.2	美しい自然環境や景観が誇れるまち 47.9
	40歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 52.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 44.6	保育・教育環境が充実したまち 36.0
	50歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 61.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.1	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 33.3
	60歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 55.1	美しい自然環境や景観が誇れるまち 49.4	農林畜産業を中心として発展するまち 37.2
	70歳以上	保健・医療・福祉の充実したまち 58.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 46.5	農林畜産業を中心として発展するまち 37.0
世帯構成	ひとり暮らし	保健・医療・福祉の充実したまち 54.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.5	農林畜産業を中心として発展するまち 32.3
	夫婦のみ	保健・医療・福祉の充実したまち 55.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.3	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 34.6
	二世帯(親と子)同居	保健・医療・福祉の充実したまち 57.4	美しい自然環境や景観が誇れるまち 47.1	保育・教育環境が充実したまち 32.6
	三世帯(親と子と孫)同居	保健・医療・福祉の充実したまち 55.8	美しい自然環境や景観が誇れるまち 46.9	農林畜産業を中心として発展するまち 34.5
	その他	保健・医療・福祉の充実したまち 61.3	美しい自然環境や景観が誇れるまち 32.3	保育・教育環境が充実したまち 25.8
居住地区	旧竹田市	保健・医療・福祉の充実したまち 58.6	美しい自然環境や景観が誇れるまち 45.6	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 33.4
	旧荻町	農林畜産業を中心として発展するまち 51.9	保健・医療・福祉の充実したまち 49.0	美しい自然環境や景観が誇れるまち 32.7
	旧久住町	美しい自然環境や景観が誇れるまち 64.1	保健・医療・福祉の充実したまち 53.4	農林畜産業を中心として発展するまち 34.4
	旧直入町	保健・医療・福祉の充実したまち 59.0	美しい自然環境や景観が誇れるまち 49.4	農林畜産業を中心として発展するまち 34.9

(5) 市民参画・協働のまちづくりのため必要な取り組み

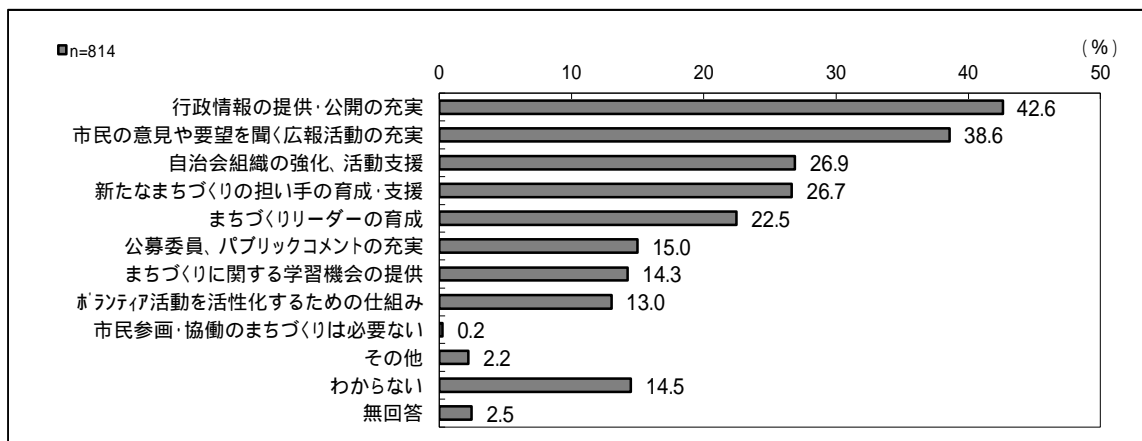
問 10 市民と行政が協力して課題解決や地域づくりを行う「市民参画・協働のまちづくり」を進めるため、今後行政においてどのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

「行政情報の提供・公開の充実」、「市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実」、「自治会組織の強化、活動支援」の順。

市民参画・協働のまちづくりのため必要な取り組みについては、「行政情報の提供・公開の充実」(42.6%)が第1位、「市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実」(38.6%)が第2位、「自治会組織の強化、活動支援」(26.9%)が第3位となっています。これ以外では、「新たなまちづくりの担い手の育成・支援」(26.7%)、「まちづくりリーダーの育成」(22.5%)、「公募委員、パブリックコメントの充実」(15.0%)、「まちづくりに関する学習機会の提供」(14.3%)、「ボランティア活動を活性化するための仕組み」(13.0%)などの順となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「村有地の有効活用」、「村の助成金、補助金の見直し」、「公共工事のコスト削減・適正化」のいずれかが1位、2位、3位となっています。[図表 46・47 参照]

図表 46 市民参画・協働のまちづくりのため必要な取り組み (全体 / 複数回答)



図表 47 市民参画・協働のまちづくりのため必要な取り組み
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		行政情報の提供・公開の充実 42.6	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.6	自治会組織の強化、活動支援 26.9
性別	男性	行政情報の提供・公開の充実 43.6	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 40.0	自治会組織の強化、活動支援 34.0
	女性	行政情報の提供・公開の充実 42.2	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 37.7	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 25.7
年齢	10・20歳代	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.9	行政情報の提供・公開の充実 33.3	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 27.8
	30歳代	行政情報の提供・公開の充実 42.6	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 41.5	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 22.3
	40歳代	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 43.9	行政情報の提供・公開の充実 40.3	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 27.3
	50歳代	行政情報の提供・公開の充実 44.9	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 40.4	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 27.6
	60歳代	行政情報の提供・公開の充実 44.2	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 36.5	自治会組織の強化、活動支援 30.1
	70歳以上	行政情報の提供・公開の充実 45.0	自治会組織の強化、活動支援 35.5	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 34.0
世帯構成	ひとり暮らし	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 40.4	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 33.3	行政情報の提供・公開の充実 32.3
	夫婦のみ	行政情報の提供・公開の充実 46.9	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 34.1	自治会組織の強化、活動支援 29.4
	二世帯(親と子)同居	行政情報の提供・公開の充実 45.0	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.2	自治会組織の強化、活動支援 25.6
	三世帯(親と子と孫)同居	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 41.6	行政情報の提供・公開の充実 39.8	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 30.1
	その他	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 58.1	行政情報の提供・公開の充実 35.5	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 29.0
居住地区	旧竹田市	行政情報の提供・公開の充実 44.1	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.2	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 26.7
	旧荻町	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 47.1	自治会組織の強化、活動支援 38.5	行政情報の提供・公開の充実 35.6
	旧久住町	行政情報の提供・公開の充実 43.5	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 42.0	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 29.0
	旧直入町	行政情報の提供・公開の充実 43.4	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 32.5	自治会組織の強化、活動支援 28.9

(6) これからの行政サービスのあり方

問 11 地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、これからのまちづくりは、限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。竹田市においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

「負担増なくサービスの種類や水準を維持」、「サービスの種類は減らし水準は維持」、「サービスの種類や水準を維持し受益者負担増」の順。

これからの行政サービスのあり方については、「負担増なくサービスの種類や水準を維持」(36.7%)が第1位、「サービスの種類は減らし水準は維持」(27.6%)が第2位、「サービスの種類や水準を維持し受益者負担増」(13.9%)が第3位となっています。それ以外では、「サービスの種類減少、水準も低下」(7.2%)、「サービスの水準は低下、種類は維持」(5.0%)となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「村有地の有効活用」、「村の助成金、補助金の見直し」、「公共工事のコスト削減・適正化」のいずれかが1位、2位、3位となっています。[図表 48 参照]

図表 48 これからの行政サービスのあり方（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地
区）

		（％）						n	
		サービスの種類や水準を維持し受益者負担増	負担増なくサービスの種類や水準を維持	サービスの種類は減らし水準は維持	サービスの水準は低下、種類は維持	サービスの種類減少、水準も低下	その他	無回答	
全体		13.9	36.7	27.6	7.2	5.0	4.4	5.0	814
性別	男性	19.5	31.8	25.2	10.7	5.5			365
	女性	9.2	41.5	30.0	6.6	5.2	3.8	4.1	424
年齢	10・20歳代	11.1	48.1	25.9	4.5	3.1	5.6		54
	30歳代	9.6	33.0	39.4	7.4	1.9	3.7	3.7	94
	40歳代	8.6	38.1	31.7	6.5	8.6	2.1	4.3	139
	50歳代	16.7	34.0	28.8	5.1	7.1	5.1	2.2	156
	60歳代	12.2	37.2	25.0	5.8	13.5	3.2		156
	70歳以上	19.0	37.0	22.0	6.5	7.5	1.9	4.5	200
世帯構成	ひとり暮らし	15.2	38.4	20.2	11.1	8.1	4.5	3.5	99
	夫婦のみ	15.2	38.9	23.2	6.2	8.1	3.0	4.0	211
	二世帯（親と子）同居	13.5	33.5	32.6	6.8	5.6	5.3	4.3	340
	三世帯（親と子と孫）同居	12.4	40.7	31.0	7.1	5.3	2.6		113
	その他	9.7	35.5	22.6	16.1	6.5	6.5	1.8	31
居住地	旧竹田市	14.1	34.5	28.2	5.9	8.2	3.2		476
	旧荻町	9.6	51.9	19.2	8.7		4.2	5.0	104
	旧久住町	16.0	36.6	27.5	6.1	6.9	4.8	1.9	131
	旧直入町	14.5	31.3	37.3	3.6	3.6	3.6	3.8	83

(7) 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目

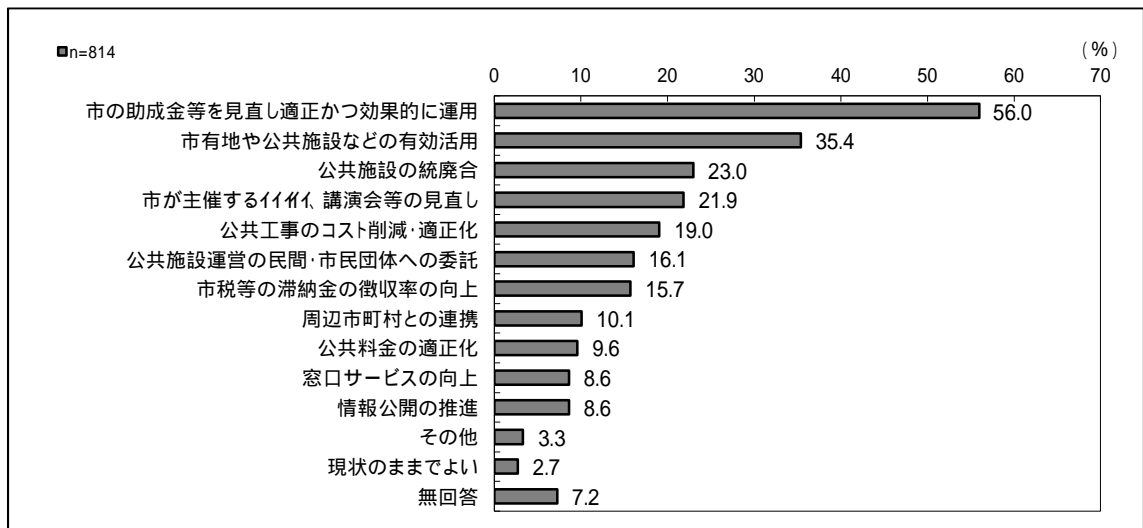
問 12 あなたは、竹田市の今後の行財政改革で優先的に行うべき項目は何だと思いますか。
【複数回答】

「市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用」、「市有地や公共施設などの有効活用」、「公共施設の統廃合」の順。

今後の行財政改革で重点をおくべき項目については、「市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用」(56.0%)が他を引き離して第1位、「市有地や公共施設などの有効活用」(35.4%)が第2位、「公共施設の統廃合」(23.0%)が第3位となっています。これ以外では、「市が主催するイベント、講演会等の見直し」(21.9%)、「公共工事のコスト削減・適正化」(19.0%)、「公共施設運営の民間・市民団体への委託」(16.1%)、「市税等の滞納金の徴収率の向上」(15.7%)、「周辺市町村との連携」(10.1%)、「公共料金の適正化」(9.6%)、「窓口サービスの向上」・「情報公開の推進」(同点 8.6%)などの順となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「村有地の有効活用」、「村の助成金、補助金の見直し」、「公共工事のコスト削減・適正化」のいずれかが1位、2位、3位となっています。[図表 49・50 参照]

図表 49 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目（全体 / 複数回答）



図表 50 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位: %)

		第1位	第2位	第3位
全体		市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 56.0	市有地や公共施設などの有効活用 35.4	公共施設の統廃合 23.0
性別	男性	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 57.5	市有地や公共施設などの有効活用 34.0	公共施設の統廃合 23.6
	女性	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 55.4	市有地や公共施設などの有効活用 36.8	市が主催するイベント、講演会等の見直し 22.6
年齢	10・20歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 64.8	市有地や公共施設などの有効活用 35.2	市が主催するイベント、講演会等の見直し 24.1
	30歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 62.8	市有地や公共施設などの有効活用 42.6	公共工事のコスト削減・適正化 26.6
	40歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 51.1	市有地や公共施設などの有効活用 36.7	公共施設の統廃合 28.1
	50歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 50.0	市有地や公共施設などの有効活用 42.3	公共施設の統廃合 27.6
	60歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 59.0	市有地や公共施設などの有効活用 32.7	市が主催するイベント、講演会等の見直し 26.9
	70歳以上	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 57.5	市有地や公共施設などの有効活用 29.5	公共施設の統廃合 21.0
世帯構成	ひとり暮らし	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 57.6	市有地や公共施設などの有効活用 34.3	公共施設の統廃合 27.3
	夫婦のみ	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 53.1	市有地や公共施設などの有効活用 34.1	市が主催するイベント、講演会等の見直し 23.2
	二世帯(親と子)同居	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 55.6	市有地や公共施設などの有効活用 33.8	公共施設の統廃合 25.9
	三世帯(親と子と孫)同居	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 64.6	市有地や公共施設などの有効活用 42.5	市が主催するイベント、講演会等の見直し 17.7
	その他	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 45.2	市有地や公共施設などの有効活用 41.9	市が主催するイベント、講演会等の見直し 29.0
居住地区	旧竹田市	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 55.5	市有地や公共施設などの有効活用 35.3	公共施設の統廃合 26.3
	旧荻町	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 51.9	市有地や公共施設などの有効活用 37.5	市税等の滞納金の徴収率の向上 20.2
	旧久住町	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 65.6	市有地や公共施設などの有効活用 32.1	市が主催するイベント、講演会等の見直し 26.0
	旧直入町	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 53.0	市有地や公共施設などの有効活用 39.8	市が主催するイベント、講演会等の見直し 27.7

6 インターネットや情報入手方法について

(1) 所有している携帯電話の端末の種類

問 13 あなたが所有している携帯電話の端末はどの種類ですか。

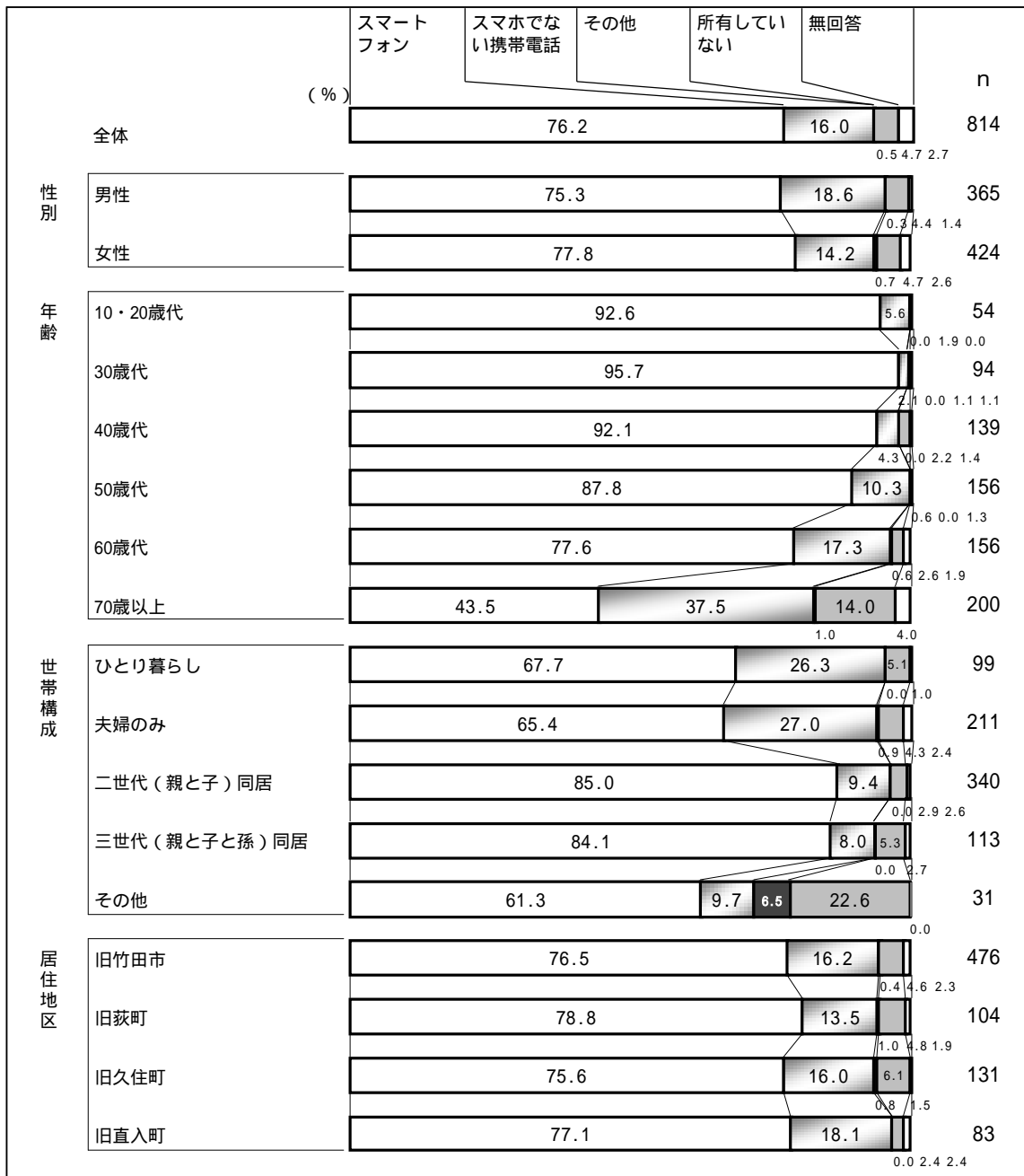
「スマートフォン」が圧倒的多数を占める。

所有している携帯電話の端末の種類は、「スマートフォン」(76.2%)、「スマホでない携帯電話」(16.0%)となっています。なお、「所有していない」は4.7%となっています。

属性別でも、全ての層で「スマートフォン」が第1位となっています。

[図表 51 参照]

図表 51 所有している携帯電話の端末の種類
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(2) インターネットを利用する場合の端末

問 14 あなたはインターネットを利用する場合は、どの端末を利用していますか。
【複数回答】

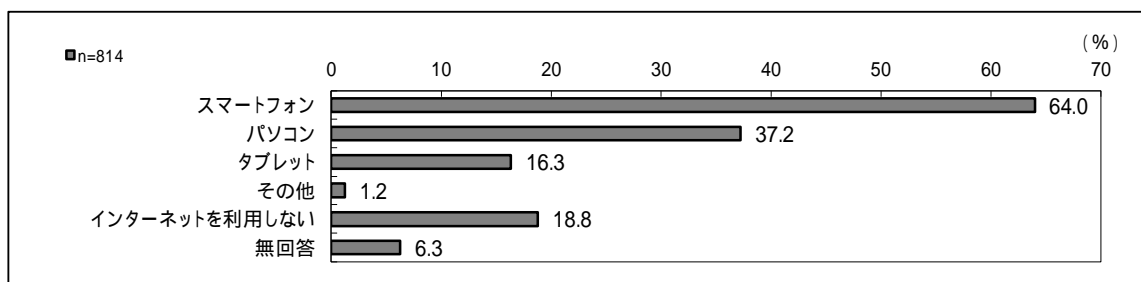
「スマホ」、「パソコン」、「タブレット」の順。

インターネットを利用する場合の端末については、「スマートフォン」(64.0%)、「パソコン」(37.2%)、「タブレット」(16.3%)の順となっています。なお、「インターネットを利用しない」は18.8%となっています。

属性別でも、すべての層で全体と同様の結果となっています。

[図表 52・53 参照]

図表 52 インターネットを利用する場合の端末 (全体 / 複数回答)



図表 53 インターネットを利用する場合の端末
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位：%)

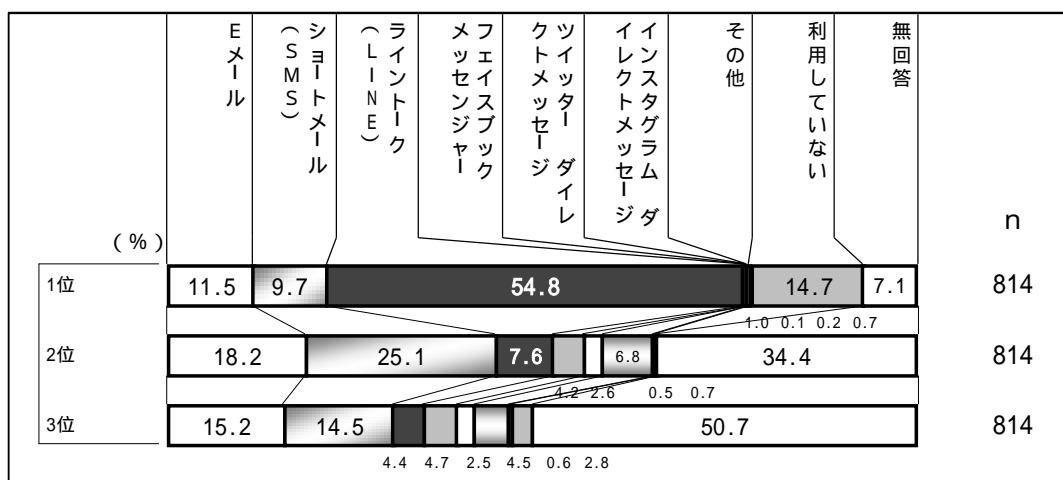
		第1位	第2位	第3位
全体		スマートフォン 64.0	パソコン 37.2	タブレット 16.3
性別	男性	スマートフォン 62.7	パソコン 41.6	タブレット 17.8
	女性	スマートフォン 65.3	パソコン 33.5	タブレット 15.1
年齢	10・20歳代	スマートフォン 94.4	パソコン 40.7	タブレット 24.1
	30歳代	スマートフォン 93.6	パソコン 35.1	タブレット 20.2
	40歳代	スマートフォン 84.9	パソコン 43.2	タブレット 25.2
	50歳代	スマートフォン 76.3	パソコン 57.1	タブレット 21.8
	60歳代	スマートフォン 56.4	パソコン 35.3	タブレット 15.4
	70歳以上	スマートフォン 25.5	パソコン 20.0	タブレット 3.5
世帯構成	ひとり暮らし	スマートフォン 45.5	パソコン 25.3	タブレット 11.1
	夫婦のみ	スマートフォン 50.2	パソコン 40.3	タブレット 18.0
	二世帯(親と子)同居	スマートフォン 74.7	パソコン 40.3	タブレット 16.2
	三世帯(親と子と孫)同居	スマートフォン 80.5	パソコン 39.8	タブレット 23.0
	その他	スマートフォン 48.4	パソコン 19.4	タブレット 3.2
居住地区	旧竹田市	スマートフォン 65.1	パソコン 37.6	タブレット 17.0
	旧荻町	スマートフォン 68.3	パソコン 34.6	タブレット 19.2
	旧久住町	スマートフォン 57.3	パソコン 38.2	タブレット 12.2
	旧直入町	スマートフォン 66.3	パソコン 34.9	タブレット 15.7

(3) 利用頻度の高い連絡手段

問 15 あなたが、プライベートにおいて利用している、音声通話を除く連絡手段のうち、利用頻度の高い上位3つを以下より選んでください。

プライベートにおいて利用している、音声通話を除く連絡手段のうち、利用頻度の高い上位3つをみると、下記のとおりとなっています。[図表 54 参照]

図表 54 利用頻度の高い連絡手段（全体）

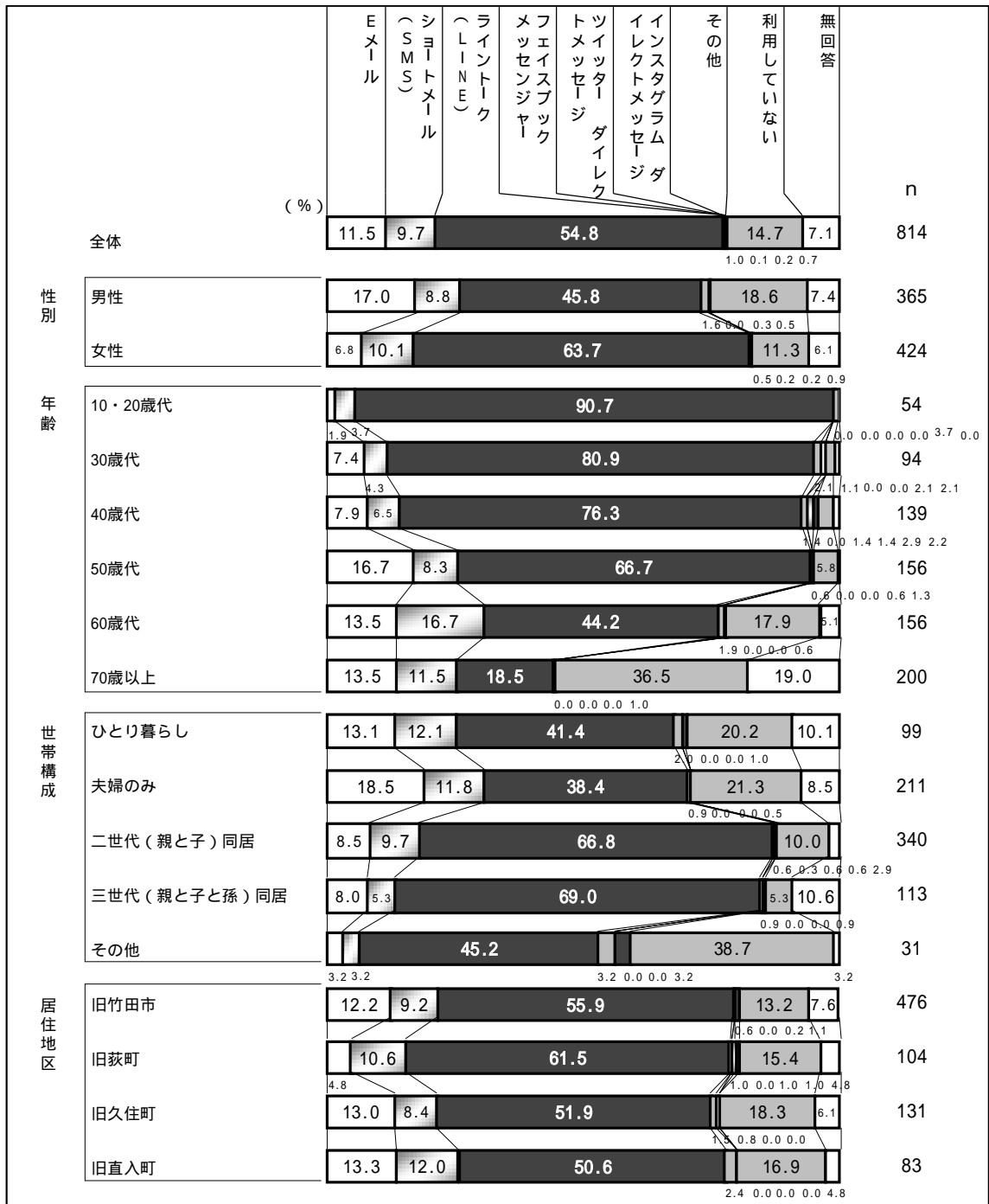


1位

利用頻度の高い連絡手段1位は、「ライントーク (LINE)」（54.8%）、「Eメール」（11.5%）、「ショートメール (SMS)」（9.7%）の順となっています。

[図表 55 参照]

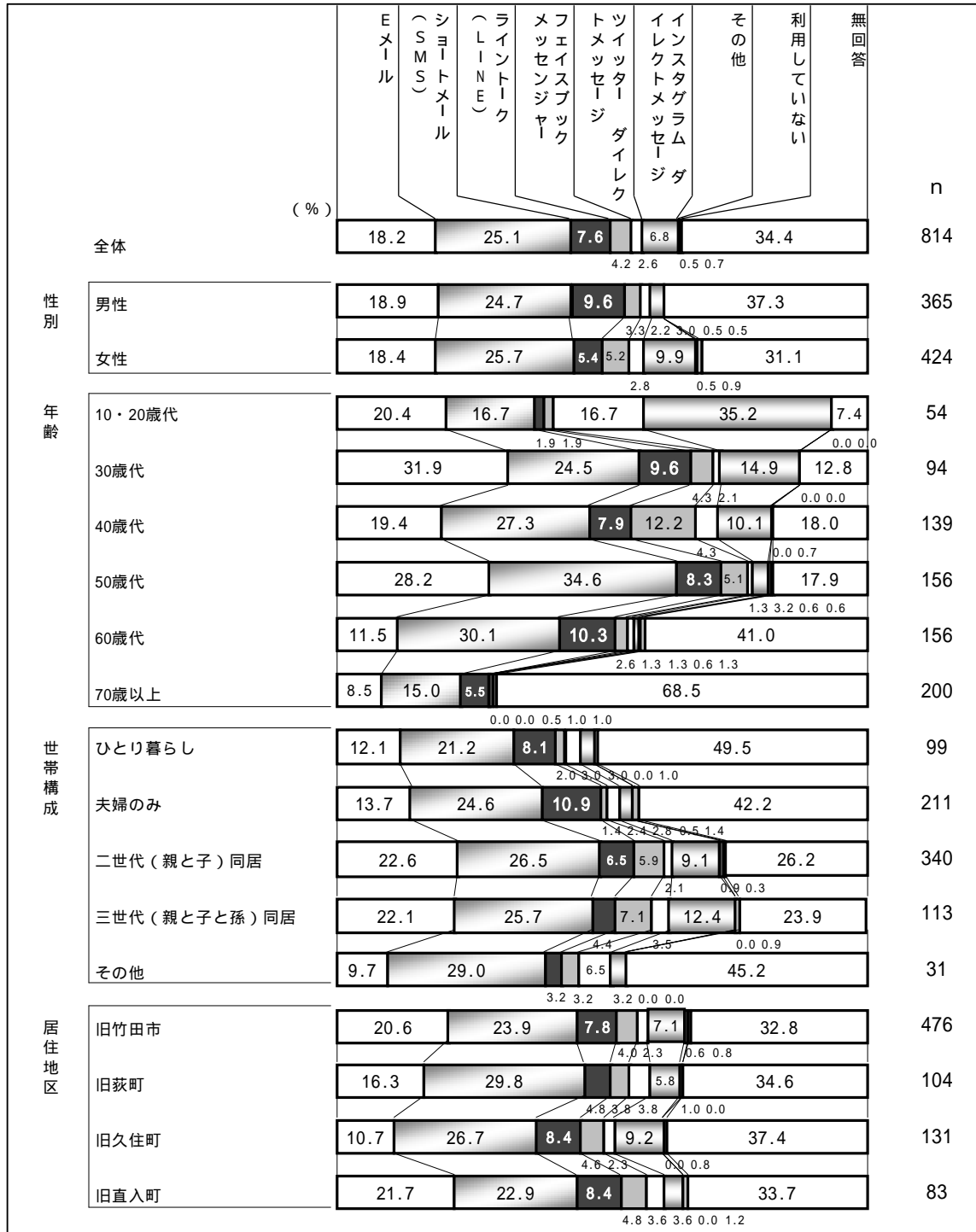
図表 55 利用頻度の高い連絡手段1位 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



2位

利用頻度の高い連絡手段2位は、「ショートメール(SMS)」(25.1%)、「Eメール」(18.2%)、「ライントーク(LINE)」(7.6%)の順となっています。[図表56参照]

図表56 利用頻度の高い連絡手段2位(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)

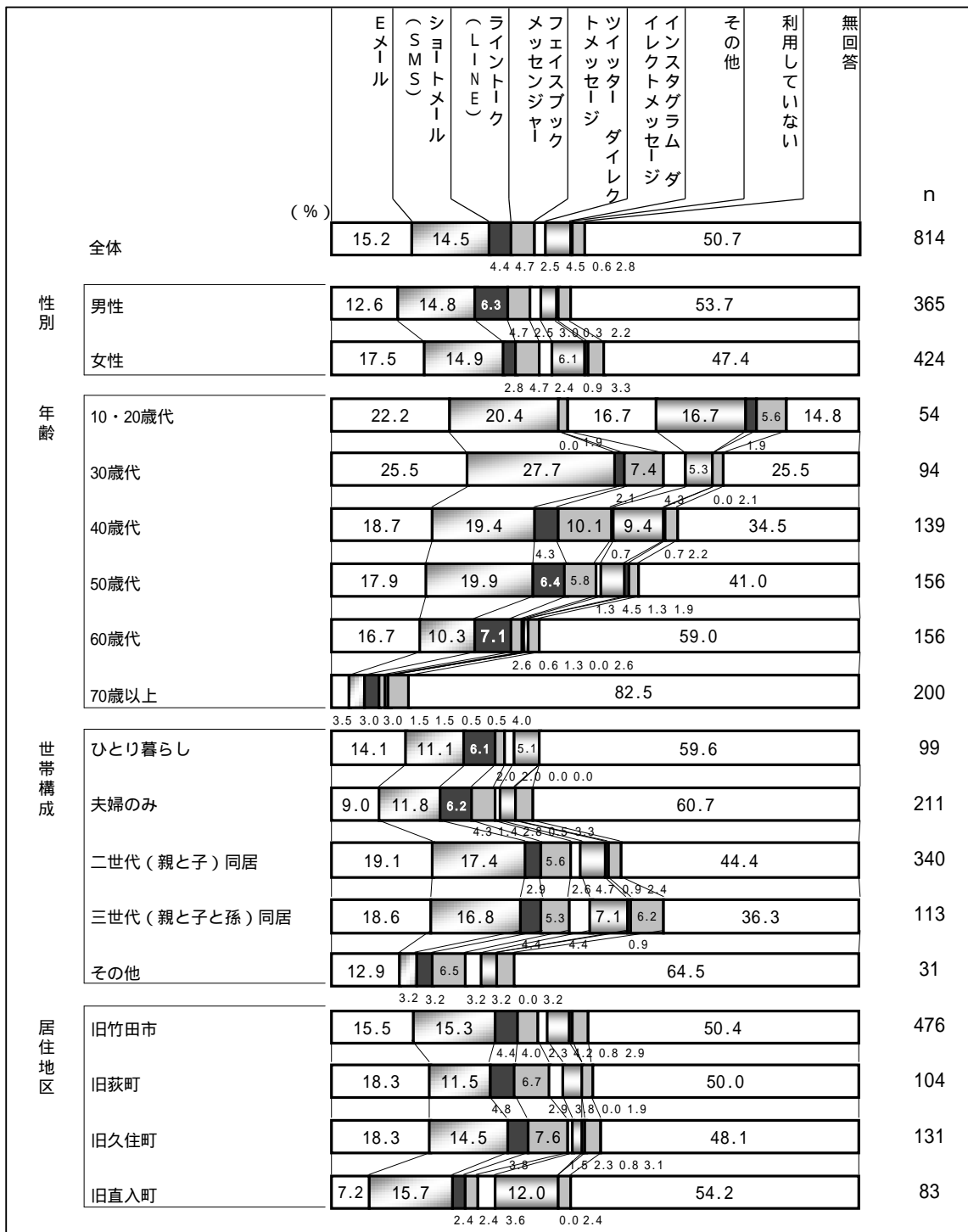


3位

利用頻度の高い連絡手段3位は、「Eメール」(15.2%)、「ショートメール(SMS)」(14.5%)、「フェイスブック メッセンジャー」(4.7%)の順となっています。

[図表 57 参照]

図表 57 利用頻度の高い連絡手段3位 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(4) 行政情報を入手している広報媒体

問 16 あなたは行政からのお知らせなどの情報を、どの広報媒体から入手していますか。
【複数回答】

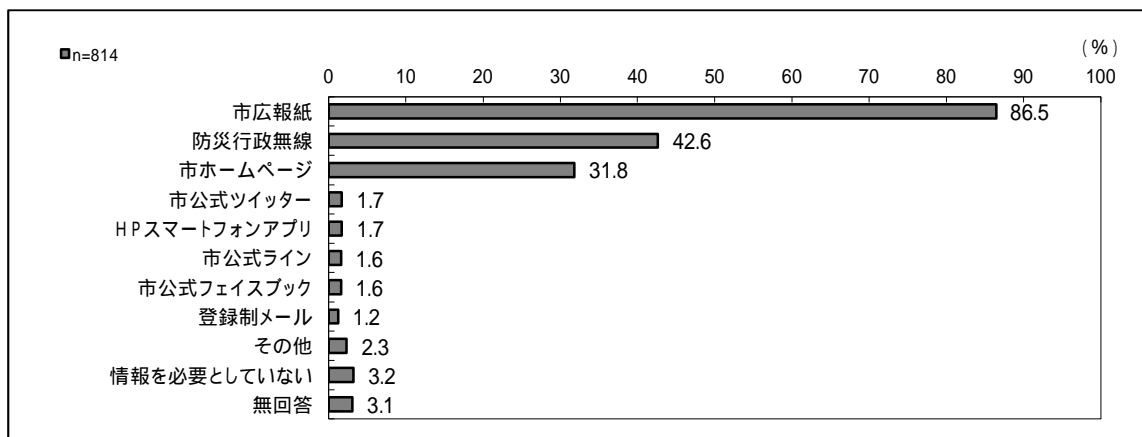
「市広報紙」が他を引き離して第1位。

行政のお知らせなどの入手方法については、「市広報紙」(86.5%)が他を引き離して第1位となっており、次いで、「防災行政無線」(42.6%)が第2位、「市ホームページ」(31.8%)が第3位となっています。

属性別でも、すべての層で全体と同様に「村広報紙」が第1位となっています。

[図表 58・59 参照]

図表 58 行政情報を入手している広報媒体 (全体 / 複数回答)



図表 59 行政情報を入手している広報媒体
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		市広報紙 86.5	防災行政無線 42.6	市ホームページ 31.8
性別	男性	市広報紙 83.6	防災行政無線 40.5	市ホームページ 31.5
	女性	市広報紙 90.3	防災行政無線 45.3	市ホームページ 32.8
年齢	10・20歳代	市広報紙 64.8	市ホームページ 38.9	防災行政無線 22.2
	30歳代	市広報紙 83.0	市ホームページ 43.6	防災行政無線 24.5
	40歳代	市広報紙 86.3	市ホームページ 42.4	防災行政無線 30.9
	50歳代	市広報紙 91.0	防災行政無線 41.0	市ホームページ 40.4
	60歳代	市広報紙 89.7	防災行政無線 53.8	市ホームページ 25.6
	70歳以上	市広報紙 90.5	防災行政無線 58.5	市ホームページ 16.0
世帯構成	ひとり暮らし	市広報紙 79.8	防災行政無線 48.5	市ホームページ 19.2
	夫婦のみ	市広報紙 94.8	防災行政無線 55.0	市ホームページ 32.7
	二世帯(親と子)同居	市広報紙 85.9	防災行政無線 37.1	市ホームページ 35.6
	三世帯(親と子と孫)同居	市広報紙 86.7	市ホームページ 36.3	防災行政無線 32.7
	その他	市広報紙 74.2	防災行政無線 48.4	市ホームページ 12.9
居住地区	旧竹田市	市広報紙 87.8	防災行政無線 38.4	市ホームページ 35.3
	旧荻町	市広報紙 82.7	防災行政無線 48.1	市ホームページ 32.7
	旧久住町	市広報紙 87.0	防災行政無線 48.9	市ホームページ 26.0
	旧直入町	市広報紙 88.0	防災行政無線 51.8	市ホームページ 22.9

(5) 市ホームページをどのような時に利用するか

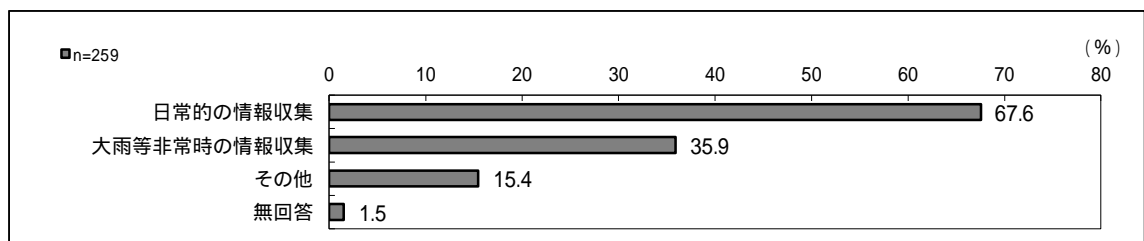
問 16-1 問 16 で「2.市ホームページ」に を付けられた方におたずねします。あなたは、市ホームページをどのような時に利用しますか。
(問 16 で「2.市ホームページ」と回答した人のみ)【複数回答】

「日常的の情報収集」、「大雨等非常時の情報収集」の順。

問 16 で「2.市ホームページ」と答えた人 259 人(全体の 31.8%)に、市ホームページをどのような時に利用するかたずねたところ、「日常的の情報収集」(広報紙の代わり)(67.6%)、「大雨等非常時の情報収集」(35.9%)となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「日常的の情報収集」が第 1 位となっていますが、年齢別の 30 歳代では「大雨等非常時の情報収集」が第 1 位、職業別の農林畜産業では「日常的の情報収集」と「大雨等非常時の情報収集」が同率第 1 位となっています。[図表 60・61 参照]

図表 60 市ホームページをどのような時に利用するか(全体/複数回答)



図表 61 市ホームページをどのような時に利用するか
 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区 - 上位3位 / 複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		日常的の情報収集 67.6	大雨等非常時の情報収集 35.9	その他 15.4
性別	男性	日常的の情報収集 70.4	大雨等非常時の情報収集 34.8	その他 13.9
	女性	日常的の情報収集 64.7	大雨等非常時の情報収集 37.4	その他 16.5
年齢	10・20歳代	日常的の情報収集 71.4	大雨等非常時の情報収集 42.9	その他 14.3
	30歳代	日常的の情報収集 70.7	大雨等非常時の情報収集 24.4	その他 22.0
	40歳代	日常的の情報収集 59.3	大雨等非常時の情報収集 44.1	その他 18.6
	50歳代	日常的の情報収集 73.0	大雨等非常時の情報収集 28.6	その他 17.5
	60歳代	日常的の情報収集 82.5	大雨等非常時の情報収集 35.0	その他 5.0
	70歳以上	大雨等非常時の情報収集 50.0	日常的の情報収集 46.9	その他 12.5
世帯構成	ひとり暮らし	日常的の情報収集 68.4	大雨等非常時の情報収集 36.8	その他 10.5
	夫婦のみ	日常的の情報収集 69.6	大雨等非常時の情報収集 33.3	その他 11.6
	二世帯(親と子)同居	日常的の情報収集 66.9	大雨等非常時の情報収集 34.7	その他 20.7
	三世帯(親と子と孫)同居	日常的の情報収集 63.4	大雨等非常時の情報収集 46.3	その他 12.2
	その他	日常的の情報収集 75.0	大雨等非常時の情報収集 50.0	その他 10.5
居住地区	旧竹田市	日常的の情報収集 72.0	大雨等非常時の情報収集 36.3	その他 13.7
	旧荻町	日常的の情報収集 50.0	大雨等非常時の情報収集 29.4	その他 32.4
	旧久住町	日常的の情報収集 64.7	大雨等非常時の情報収集 35.3	その他 8.8
	旧直入町	日常的の情報収集 68.4	大雨等非常時の情報収集 52.6	その他 10.5

(6) 防災行政の音声告知放送端末 (受信機) について

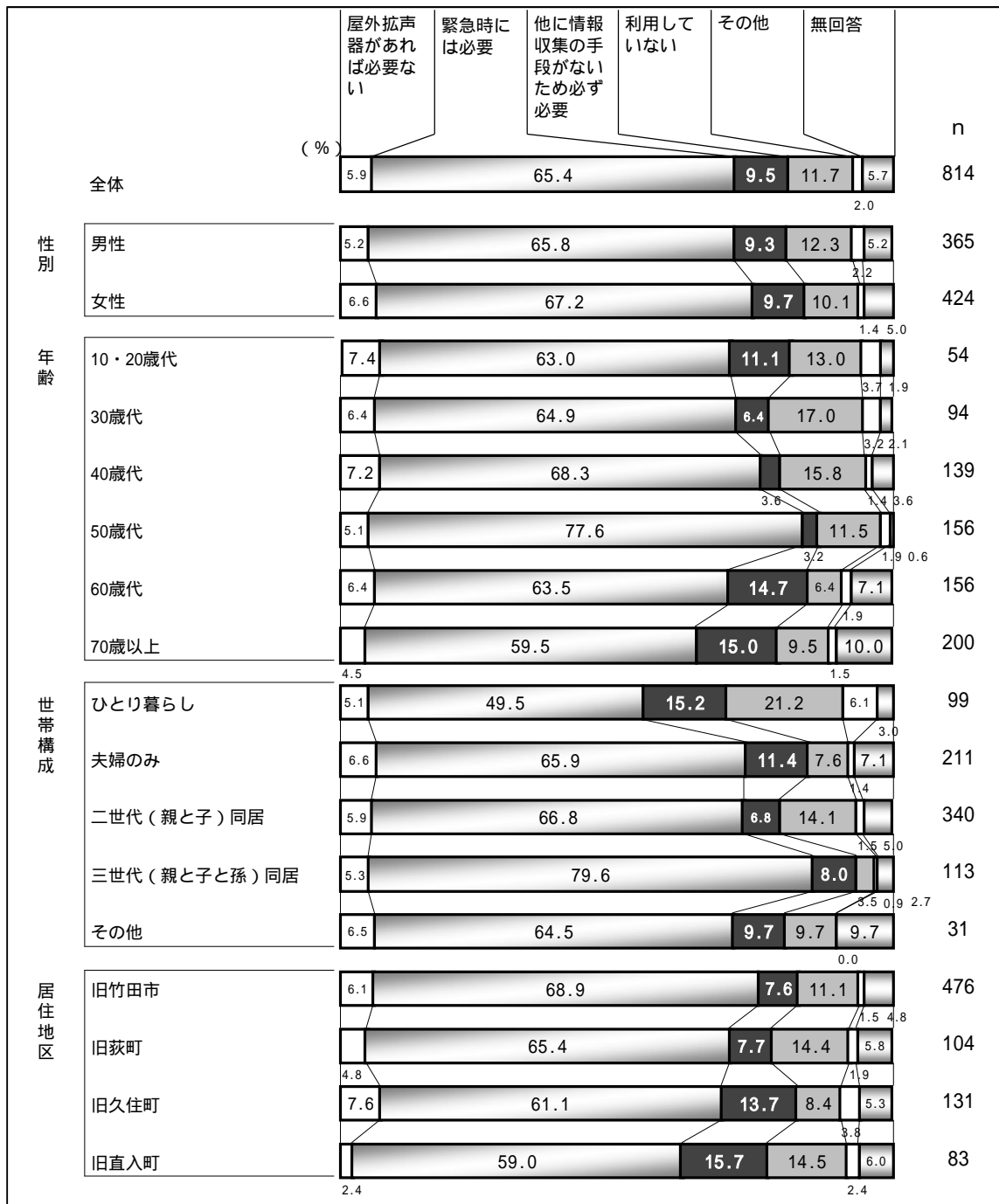
問 17 現在、防災行政の告知放送内容を市ホームページにも掲載しており、市公式ライン及びツイッターでも通知する予定にしておりますが、各家庭に配付している防災行政の音声告知放送端末 (受信機) についてどのように思われますか。

「緊急時には必要」が最も多い。

各家庭に配付している防災行政の音声告知放送端末 (受信機) についてどう思うかたずねたところ、「緊急時には必要」(65.4%)、「利用していない」(11.7%)、「他に情報収集の手段がないため必ず必要」・「屋外拡声器があれば必要ない」(同率 5.9%) となっています。

[図表 62 参照]

図表 62 防災行政の音声告知放送端末（受信機）について
（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



まちづくりアンケートご協力をお願い

竹田市のまちづくりに向けて、ご意見をお寄せください

日頃より市政に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、竹田市では、新たなまちづくりの指針となる「竹田市総合計画」の策定を進めています。総合計画は、これからの10年間にわたり、市民の皆さまと共にまちづくりを進めていくための大切な計画であるため、市民の皆様からご意見やご提言をいただき、将来のまちづくりの参考資料として活用することを目的に、アンケート調査を実施することといたしました。

アンケートをお願いする方は、市内にお住まいの18歳以上の皆様の中から、無作為に2,000人の方を選ばせていただきました。

ご回答は無記名方式で、内容はすべて統計的に処理を行い、本調査の目的以外に利用することはありませんので、ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年12月

竹田市長 土居昌弘

ご記入にあたってのお願い

- 回答は、できるだけ封筒の宛名のご本人がお答えください。事情により、宛名の方がお答えいただけない場合には、ご家族の方が宛名の方の立場でお答えください。
- 設問ごとに（1つに〇印）、（3つまで〇印）など、それぞれ回答方法が指定されていますので、ご注意ください。
- 記入いただいた調査票は、12月28日（火）までに
同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。
（切手は不要です。）

【お問い合わせ先】

竹田市役所
企画情報課 総合政策室
電話：0974-63-4801
FAX：0974-63-0995

問1

あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) あなたの性別は	1. 男性 2. 女性	3. その他 4. 答えたくない
(2) あなたの年齢は	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上
(3) あなたの職業は	1. 農林畜産業 2. 製造業・建設業 3. 商業・金融・サービス業 4. 公務員・団体職員	5. 学生 6. 専業主婦・主夫 7. 無職 8. その他 ()
(4) あなたの就学先・勤務先は	1. 市内 2. 市外 (県内)	3. 県外 4. 就学、勤務していない
(5) あなたの居住歴は	1. 竹田市に生まれてからずっと住んでいる 2. 竹田市出身だが、竹田市以外での居住経験がある 3. 県内の他の市町村から転入してきた 4. 県外から転入してきた	
竹田市に住んで通算何年になりますか	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満	3. 10年以上20年未満 4. 20年以上
(6) あなたの世帯構成は	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯 (親と子) 同居	4. 三世帯 (親と子と孫) 同居 5. その他 ()
(7) あなたの居住地区は	1. 竹田 2. 岡本 3. 明治 4. 豊岡 5. 玉来 6. 松本 7. 入田 8. 姫岳	9. 宮砥 10. 菅生 11. 宮城 12. 城原 13. 荻 14. 柏原 15. 久住 16. 白丹 17. 都野 18. 長湯 19. 下竹田 20. わからない (大字)

問2

あなたは、竹田市が「住みやすいまち」だと感じますか。

(1つに○印)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問3

あなたは、これからも竹田市に住み続けたいと思いますか。(進学や転職などやむを得ない理由は無いものとしてお考えください。)

(1つに○印)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 住み続けたい | 3. どちらかといえば住み続けたくない |
| 2. どちらかといえば住み続けたい | 4. 住み続けたくない |

「1」または「2」に○をつけた方は、
問3-1もお答えください。

「3」または「4」に○をつけた方は、
問3-2もお答えください。

問3-1

住み続けたいと思う
主な理由は何ですか。

(3つまで○印)

1. 保健・医療サービスが整っている
2. 子育て・教育環境が整っている
3. 福祉サービスが整っている
4. 文化・スポーツ環境が整っている
5. 歴史・文化資源が充実している
6. 自然環境が良い
7. 活力ある産業がある
8. 働く場所がある
9. 買い物など日常生活が便利
10. 公園や緑地が多い
11. 上・下水道などの生活環境が整っている
12. 公共交通が利用しやすい
13. 道路交通の便が良い
14. 消防・防災・防犯体制が整っている
15. 情報通信網が整っている
16. 行政サービスが充実している
17. 地域の連帯感がある
18. 近所付き合いがしやすい
19. 住み慣れて愛着がある
20. その他
(具体的に:)

問3-2

住み続けたくないと思
う主な理由は何です
か。(3つまで○印)

1. 保健・医療サービスが整っていない
2. 子育て・教育環境が整っていない
3. 福祉サービスが整っていない
4. 文化・スポーツ環境が整っていない
5. 歴史・文化資源が充実していない
6. 自然環境が良くない
7. 活力ある産業がない
8. 働く場所が少ない
9. 買い物など日常生活が不便
10. 公園や緑地が少ない
11. 上・下水道などの生活環境が整っていない
12. 公共交通が利用しにくい
13. 道路交通の便が良くない
14. 消防・防災・防犯体制が整っていない
15. 情報通信網が整っていない
16. 行政サービスが充実していない
17. 地域の連帯感が乏しい
18. 近所付き合いがしにくい
19. まちに対して愛着があまりない
20. その他
(具体的に:)

3

まちづくりの満足度とこれからの重要度について

問4

各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。

左右それぞれの項目ごとに、あなたのお考えに（あなたにとって）一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

これまでの満足度					記入例 項目	これからの重要度				
満足	やや満足	普通	やや不満	不満		重要である	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
5	4	3	2	1	1 自然との共生	5	4	3	2	1

※満足度と重要度、それぞれ1つ○印をつけてください。

これまでの満足度					項目	これからの重要度				
満足	やや満足	普通	やや不満	不満		重要である	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない

← 両方、それぞれに1つ○をつけてください →

1 自然と共生する住みやすい里づくり										
5	4	3	2	1	1 自然との共生（環境保全・循環型社会）	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 生活基盤整備 〔 公営住宅・水道 生活排水・都市公園 〕	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 道路・交通網整備 〔 道路網の整備 公共交通の拡充 〕	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 情報基盤整備	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	5 土地利用 〔 調和のとれた土地利用 地籍調査事業の推進 〕	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	6 市街地整備	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	7 消防・救急・防災対策	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	8 防犯・交通安全対策	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	9 温泉の有効活用	5	4	3	2	1
2 未来を担う心豊かな人づくり										
5	4	3	2	1	1 生涯学習の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 学校教育の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 社会教育の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 歴史や文化の保全・継承	5	4	3	2	1

これまでの満足度					項目	これからの重要度				
満足	やや満足	普通	やや不満	不満		重要である	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
5	4	3	2	1	5 芸術文化の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	6 スポーツ・レクリエーション活動の支援	5	4	3	2	1
3 やすらぎと安心に満ちた支えあうくらしづくり										
5	4	3	2	1	1 保健・医療サービスの充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 高齢者支援施策の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 障がい者支援の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 社会保障の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	5 子育て支援の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	6 地域福祉活動の強化	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	7 健康づくりの推進	5	4	3	2	1
4 自然の恵みを活かし結び合うまちづくり										
5	4	3	2	1	1 農林・畜産業の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 内水面漁業の振興 <small>〔河川, ダム漁業〕 環境の充実</small>	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 商業の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 工業（製造業）の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	5 観光の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	6 就労環境の整備	5	4	3	2	1
5 公民協働によるふれあう地域づくり										
5	4	3	2	1	1 地域経営の推進 <small>〔効率的な行政運営〕 財政基盤の強化</small>	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 協働のまちづくりの推進 <small>〔市民参加〕 コミュニティ</small>	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 人権の尊重	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 ふれあい交流活動の充実 <small>〔地域間交流〕 国際交流</small>	5	4	3	2	1

11 市政に関する情報を主にどの方法で知りますか。(3つまで○印)

1. 広報たけた	7. 市のパンフレット・カレンダーなど
2. 市ホームページ	8. 民間情報誌
3. 議会だより	9. イベント
4. 自治会回覧板	10. SNS (ブログ、フェイスブック等)
5. 新聞	11. その他 ()
6. テレビ・ラジオ	

12 市と一緒にまちづくりを考えてみたいと思いますか。

1. 是非 考えたい	2. 少しは 考えたい	3. どちらとも いえない	4. あまり考え たくない	5. 考えたくない
---------------	----------------	------------------	------------------	-----------

13 頼りになる知り合いが近所にいますか。

1. いる	2. どちらかと いえばいる	3. どちらとも いえない	4. どちらかとい えばいない	5. いない
-------	-------------------	------------------	--------------------	--------

2. お住まいの地域について

14 住んでいる地域の高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいと思いますか。

1. そう思う	2. まあそう 思う	3. どちらとも いえない	4. あまりそう 思わない	5. そう思わない
---------	---------------	------------------	------------------	-----------

15 住んでいる地域は買い物や通院に便利だと思いますか。

1. そう思う	2. まあそう 思う	3. どちらとも いえない	4. あまりそう 思わない	5. そう思わない
---------	---------------	------------------	------------------	-----------

16 住んでいる地域は子育てに積極的だと思いますか。

1. そう思う	2. まあそう 思う	3. どちらとも いえない	4. あまりそう 思わない	5. そう思わない
---------	---------------	------------------	------------------	-----------

17 住んでいる地域の子どもはのびのびと育てていると思いますか。

1. そう思う	2. まあそう 思う	3. どちらとも いえない	4. あまりそう 思わない	5. そう思わない
---------	---------------	------------------	------------------	-----------

18 住んでいる地域の公共交通は便利だと思いますか。

1. そう思う	2. まあそう 思う	3. どちらとも いえない	4. あまりそう 思わない	5. そう思わない
---------	---------------	------------------	------------------	-----------

19 住んでいる地域はきれいだと思いますか。

1. そう思う	2. まあそう 思う	3. どちらとも いえない	4. あまりそう 思わない	5. そう思わない
---------	---------------	------------------	------------------	-----------

20 住んでいる地域に活気がありますか。

1. 活気がある	2. まあ活気 がある	3. どちらとも いえない	4. あまり活気 がない	5. 活気がない
----------	----------------	------------------	-----------------	----------

21 自慢したい地域の風景や名所がありますか。

1. ある	2. どちらかと いえばある	3. どちらとも いえない	4. どちらかと いえばない	5. ない
-------	-------------------	------------------	-------------------	-------

22 地元や県内でとれた農畜産物を買っていますか。

- | | | | | |
|----------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 1. よく買って
いる | 2. まあまあ買
っている | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり買っ
ていない | 5. ほとんど買
っていない |
|----------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|

23 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。

- | | | | | |
|---------------|-----------------|------------------|--------------------|-----------------|
| 1. 安全だと
思う | 2. まあ安全だ
と思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり安全と
は思わない | 5. 安全とは
思わない |
|---------------|-----------------|------------------|--------------------|-----------------|

24 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

25 若者が希望を持てる地域だと思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

5

今後のまちづくりについて

問6

あなたは、今後のまちづくりを進めていくときに、市民と行政の関係は
どうあるべきだと思いますか。 (1つに○印)

1. 行政の支援を受けながら、市民主導でまちづくりを進める
2. 市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める
3. 市民が協力しながら、行政主導でまちづくりを進める
4. 行政が積極的に進めて、市民は特に関与しない
5. わからない
6. その他 (具体的に：)

問7

これからの竹田市全体の施策の中で、特に重点を置くべきだと思う取り
組みは何ですか。 (1つに○印)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 保健・福祉の分野 | 7. 都市基盤整備の分野 |
| 2. 教育の分野 | 8. 交通の分野 |
| 3. 子育ての分野 | 9. 防災・防犯の分野 |
| 4. 人口減少対策 | 10. 生涯学習の分野 |
| 5. 環境保全の分野 | 11. 市政運営の分野 |
| 6. 産業振興の分野 | 12. その他 (具体的に：) |

問8

あなたは竹田市が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに
力を入れたらよいと思いますか。 (3つまで○印)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 若者・女性への就職・再就職支援 | 6. 地域での子育て支援や交流の充実 |
| 2. 若者の雇用の場づくり | 7. 子育て家庭への経済的支援の充実 |
| 3. 家庭での男女共同参画の推進 | 8. 若い世代向けの住宅の確保 |
| 4. 保育サービスの充実 | 9. わからない |
| 5. 学校教育の充実 | 10. その他 (具体的に：) |

問 9

あなたは、今後のまちづくりにおいて、竹田市をどのようなまちにしたいと考えますか。 (3つまで○印)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 美しい自然環境や景観が誇れるまち | 7. 保育・教育環境が充実したまち |
| 2. 安全・安心な住環境の整備を優先するまち | 8. 生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発なまち |
| 3. 農林畜産業を中心として発展するまち | 9. ITサービスの充実した情報化が進んだまち |
| 4. 商業の振興や企業立地を推進するまち | 10. わからない |
| 5. 観光や交流事業を進めるまち | 11. その他(具体的に:) |
| 6. 保健・医療・福祉の充実したまち | |

問 10

市民と行政が協力して課題解決や地域づくりを行う「市民参画・協働のまちづくり」を進めるため、今後行政においてどのような取り組みが必要だと思いますか。 (3つまで○印)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 行政情報の提供・公開の充実 | 7. ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり |
| 2. 自治会組織の強化、活動支援 | 8. 多くの市民の意見や要望を聞くための広聴活動の充実 |
| 3. まちづくりリーダーの育成 | 9. 市民参画・協働のまちづくりは必要ではない |
| 4. 新たなまちづくりの担い手(NPO等)の育成・支援 | 10. わからない |
| 5. まちづくりに関する学習機会の提供 | 11. その他(具体的に:) |
| 6. 審議会や委員会などへの公募委員、パブリックコメント※の充実 | |

※パブリックコメントとは

行政が条例等を決めようとする際に、あらかじめその案を公表し、広く市民からの意見、情報を募集する手続のこと。「意見公募手続」などとも呼ばれます。

問 11

地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、これからのまちづくりは、限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。竹田市においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。 (1つに○印)

1. 今までどおりの行政サービスの種類や水準が維持されるなら、受益者の金銭的負担が増えるのはやむを得ない
2. 受益者の金銭的負担を増やさずに、行政サービスの種類や水準を維持するべき
3. 受益者の金銭的負担を増やさない場合、行政サービスの種類が減るのは仕方ないが、水準は維持してほしい
4. 受益者の金銭的負担を増やさない場合、行政サービスの水準の低下は仕方ないが、種類は維持してほしい
5. 受益者の金銭的負担を増やさない場合、行政サービスの種類が減り、水準も低下するのはやむを得ない
6. その他(具体的に:)

問 12 あなたは、竹田市の今後の行財政改革で優先的に行うべき項目は何だと
 思いますか。 (3つまで〇印)

1. 市の助成金、補助金効果を検証して見直し、適正かつ効果的に運用すること	6. 窓口サービスの向上
2. 市が主催するイベント、講演会等の開催頻度や内容の見直し	7. 公共工事のコスト削減・適正化
3. 公共施設の統廃合	8. 公共料金の適正化
4. 公共施設の運営の民間・市民団体への委託	9. 市税等の滞納金の徴収率の向上
5. 市有地(遊休地)や公共施設などの有効活用(売却・貸付など)	10. 周辺市町村との連携
	11. 情報公開の推進
	12. 現状のままでよい
	13. その他(具体的に:)

6 インターネットや情報入手方法について

問 13 あなたが所有している携帯電話の端末はどの種類ですか。(1つに〇印)

1. スマートフォン (スマホ)	2. スマホでない 携帯電話	3. その他 ()	4. 所有していない
---------------------	-------------------	---------------	------------

問 14 あなたはインターネットを利用する場合は、どの端末を利用していますか。(あてはまるものすべてに〇印)

1. パソコン	2. スマート フォン	3. タブレット	4. その他 ()	5. インターネットを 利用しない
---------	----------------	----------	---------------	----------------------

問 15 あなたが、プライベートにおいて利用している、音声通話を除く連絡手段のうち、利用頻度の高い上位3つを以下より選んでください。

1番「 」	2番「 」	3番「 」
1. Eメール		5. ツイッター ダイレクトメッセージ
2. ショートメール(SMS)		6. インスタグラム ダイレクトメッセージ
3. ライントーク(LINE)		7. その他()
4. フェイスブック メッセンジャー		8. 利用していない

問 16 あなたは行政からのお知らせなどの情報を、どの広報媒体から入手していますか。(あてはまるものすべてに〇印)

1. 市広報紙	6. 防災行政無線
2. 市ホームページ	7. 市公式フェイスブック
3. 市公式ライン	8. HPスマートフォンアプリ
4. 市公式ツイッター	9. その他()
5. 登録制メール	10. 情報を必要としていない

問 16-1 問16で「2. 市ホームページ」に○を付けられた方におたずねします。あなたは、市ホームページをどのような時に利用しますか。
(あてはまるものすべてに○印)

1. 日常的の情報収集 (広報紙の代わり)	2. 大雨等非常時の 情報収集	3. その他 ()
--------------------------	--------------------	---------------

問 17 現在、防災行政の告知放送内容を市ホームページにも掲載しており、市公式ライン及びツイッターでも通知する予定にしておりますが、各家庭に配付している防災行政の音声告知放送端末(受信機)についてどのように思われますか。
(1つに○印)

1. 屋外拡声器があれば必要な い	2. 緊急時には 必要	3. 他に情報収集 の手段がない ため必ず必要	4. 利用してい ない	5. その他 ()
----------------------	----------------	-------------------------------	----------------	---------------

7 政策提案について

問 18 【任意でお答えください】
これからの竹田市を良くしていく上で、新たな政策提案などがありましたらお書きください。

＜政策提案＞

政策名：「 内 容：	」
---------------	---

8 ご意見・ご提言について

問 19 最後に、あなたが将来に向けて市の行政に望むことや、まちづくりに関する意見・提案などがありましたら、自由にご記入ください。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。調査の結果については、竹田市ホームページでお知らせいたします。

竹田市 総合計画策定のための
高校生アンケート調査結果報告書

令和4年3月

竹 田 市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法	1
	(3) 配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
	(1) 数値の基本的な取り扱いについて	1
3	回答者の属性	2
	(1) 性別	2
	(2) 学年	2
	(3) 居住地区	3
II	調査結果	4
1	竹田市のことについて	4
	(1) 竹田市が好きか	4
	(2) 今後の定住意向	6
	(3) 竹田市の魅力	8
	(4) 竹田市の課題	10
2	これからの竹田市のことについて	12
	(1) 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと	12
	(2) どのような特色のある市にすべきだと思うか	14
	(3) 今後参加してみたい活動	16
	資料：調査票	18

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、竹田市総合計画（令和5年度～令和14年度）の策定にあたって、市が好きか、将来の定住意向をはじめ、今後特に力を入れてほしい施策、今後どんな市になってほしいかなど、高校生の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内の高校生
調査方法	GIGAスクール構想で整備されたタブレットを使用した、オンラインによるアンケート調査
調査時期	令和3年12月～令和4年1月

(3) 配布数及び回収結果

配布数	—
有効回収数	504
有効回収率	—



2 本調査報告書の基本的な事項

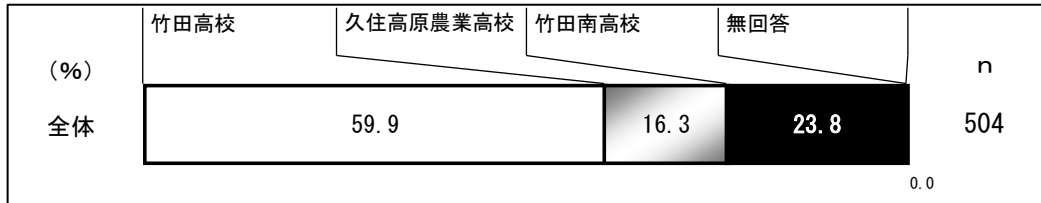
(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

3 回答者の属性

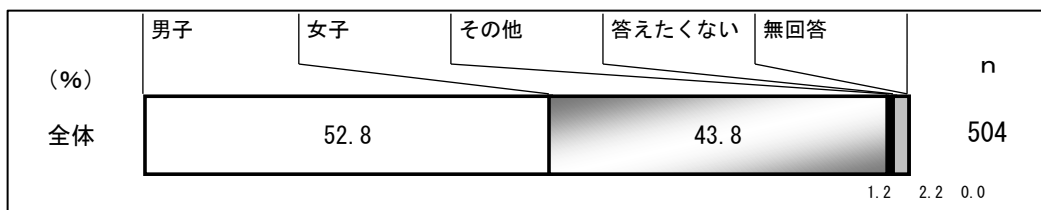
(1) 学校名

回答者の所属する学校名は、「竹田高校」(59.9%)、「竹田南高校」(23.8%)、「久住高原農業高校」(16.3%)となっています。



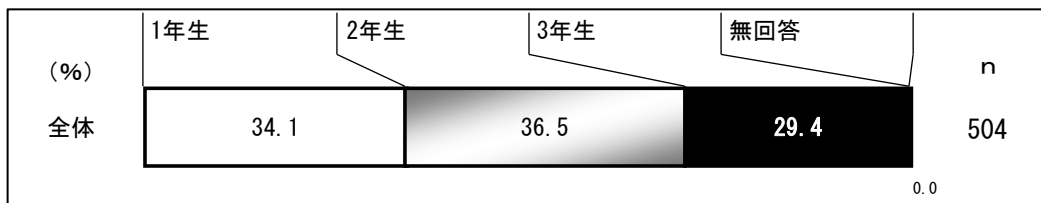
(2) 性別

回答者の性別構成は、「男子」(52.8%)、「女子」(43.8%)、「答えたくない」(2.2%)となっています。



(3) 学年

回答者の学年は、「2年生」(36.5%)、「1年生」(34.1%)、「3年生」(29.4%)となっています。



(3) 居住地区

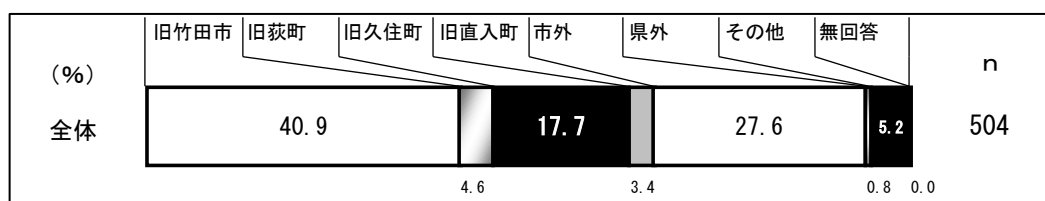
① 大字名

回答者の居住地区（大字名）は以下のとおりとなっています。

区分	大字名	人	%	
旧竹田市	竹田	139	27.6	
	岡本	5	1.0	
	明治	3	0.6	
	豊岡	10	2.0	
	玉来	17	3.4	
	松本	11	2.2	
	入田	4	0.8	
	姫岳	2	0.4	
	宮砥	1	0.2	
	菅生	4	0.8	
	宮城	4	0.8	
	城原	6	1.2	
	旧荻町	荻	22	4.4
		柏原	1	0.2
旧久住町	久住	19	3.8	
	白丹	7	1.4	
	都野	63	12.5	
旧直入町	長湯	14	2.8	
	下竹田	3	0.6	
市外		139	27.6	
県外		4	0.8	
その他		26	5.2	
無回答		0	0.0	
全体		504	100.0	

② 旧市町名

回答者の居住地区（旧市町名）は、「旧竹田市」（40.9%）、「市外」（27.6%）、「旧久住町」（17.7%）、「旧荻町」（4.6%）、「旧直入町」（3.4%）、「県外」（0.8%）となっています。



Ⅱ 調査結果

1 竹田市のことについて

(1) 竹田市が好きか

問2 あなたは、竹田市のことを好きですか。

- “好きだ” が 79.8%、“好きではない” が 20.3%。

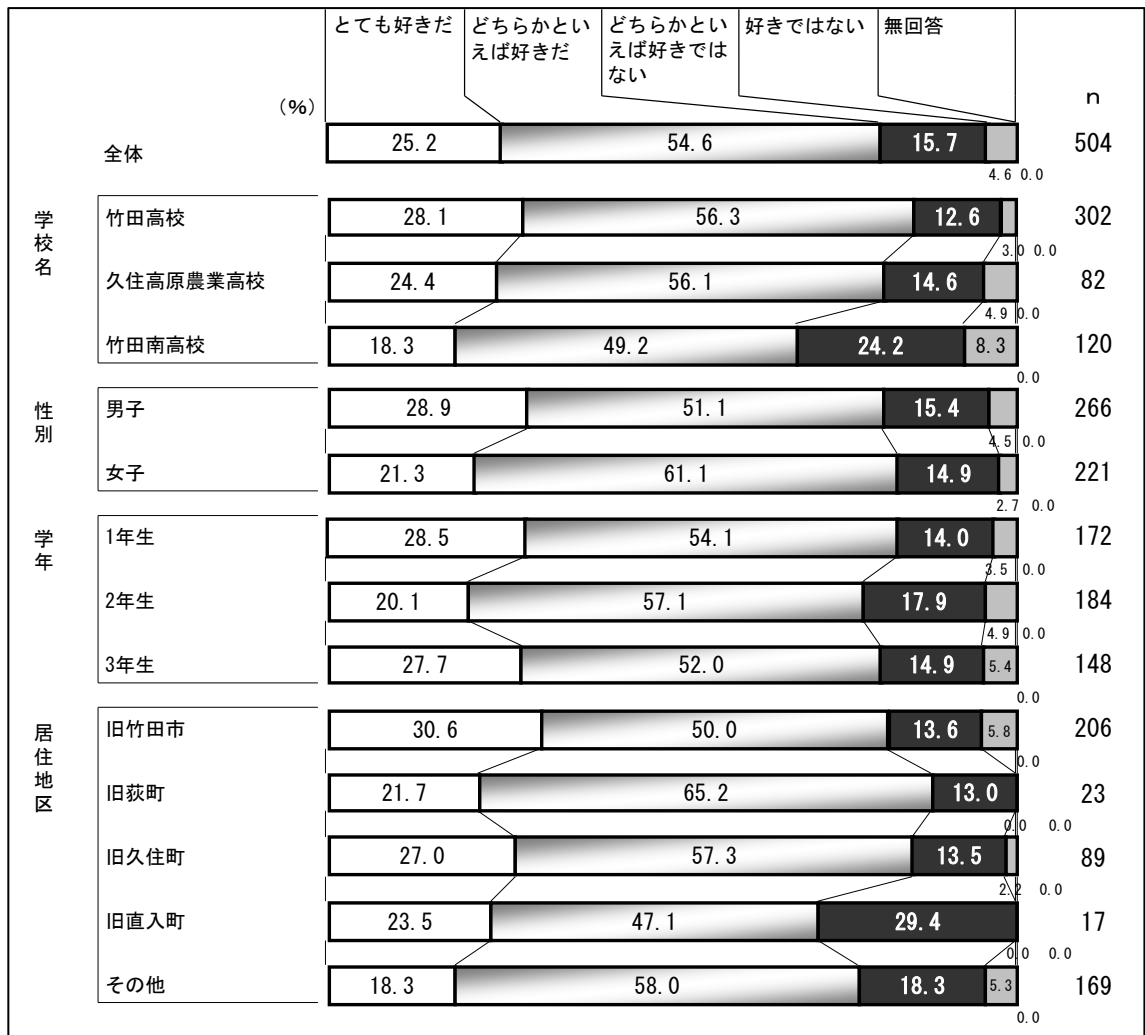
高校生の市に対する愛着度を把握するため、「とても好きだ」、「どちらかといえば好きだ」、「どちらかといえば好きではない」、「好きではない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかといえば好きだ」が 54.6%と最も多く、次いで「とても好きだ」が 25.2%で続き、以下、「どちらかといえば好きではない」(15.7%)、「好きではない」(4.6%)となっています。

「どちらかといえば好きだ」(54.6%)と「とても好きだ」(25.2%)をあわせた“好きだ”という人が 79.8%と8割弱となっている一方、「どちらかといえば好きではない」(15.7%)と「好きではない」(4.6%)をあわせた“好きではない”という人は 20.3%と約2割となっており、高校生の市への愛着度はかなり高いといえます。

[図表1参照]

図表1 竹田市が好きか（全体・学校名・性別・学年・居住地区）



(2) 今後の定住意向

問3 あなたは、これからも竹田市に住みたいと思いますか。



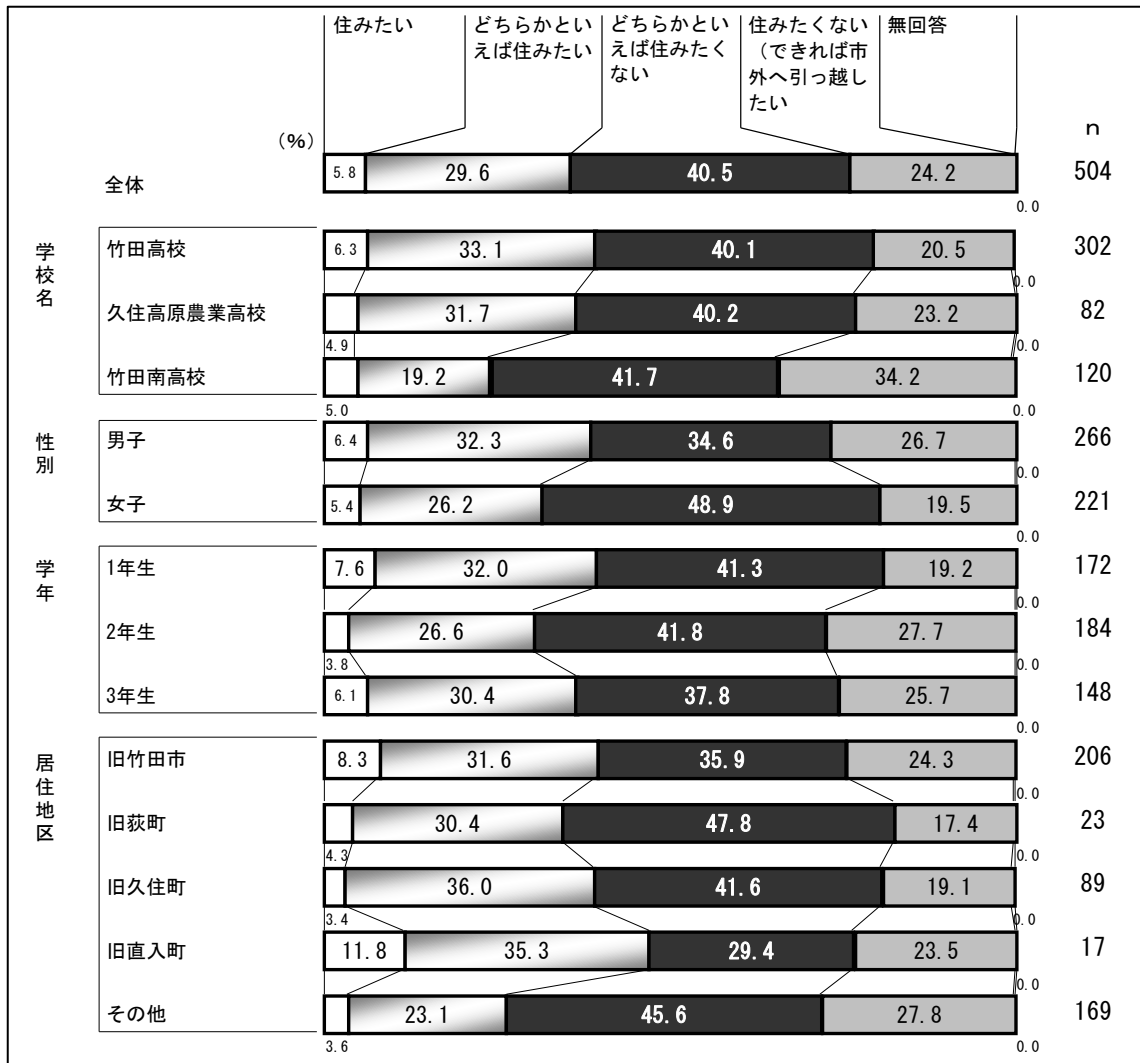
● “住みたくない”が64.7%、“住みたい”が35.4%。

将来の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらったところ、「どちらかといえば住みたくない」が40.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みたい」が29.6%で続き、以下、「住みたくない(できれば市外へ引っ越したい)」(24.2%)、「住みたい」(5.8%)の順となっています。

「どちらかといえば住みたくない」(40.5%)と「住みたくない(できれば市外へ引っ越したい)」(24.2%)をあわせた“住みたくない”という人が64.7%となっている一方、「どちらかといえば住みたい」(29.6%)と「住みたい」(5.8%)をあわせた“住みたい”という人は35.4%となっています。

[図表2参照]

図表2 今後の定住意向（全体・学校名・性別・学年・居住地区）



(3) 竹田市の魅力

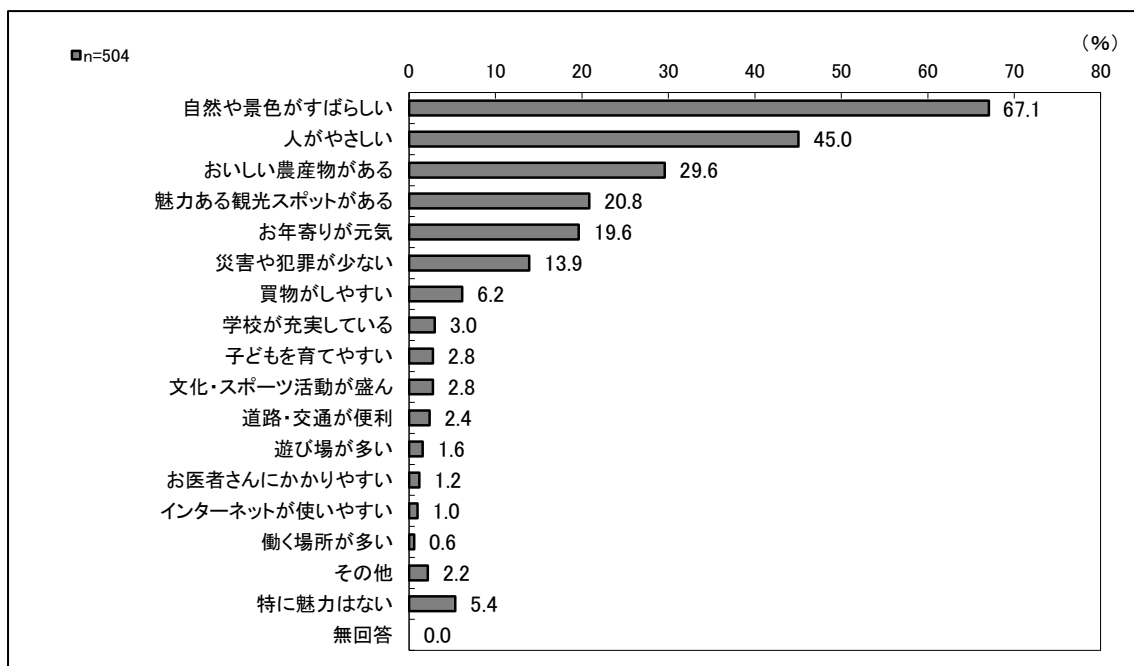
問4 あなたは、竹田市の魅力はどのようなところだと思いますか。【複数回答】

- 「自然や景色がすばらしい」が第1位。次いで「人がやさしい」、「おいしい農産物がある」の順。

竹田市の魅力は、「自然や景色がすばらしい」が67.1%で第1位、「人がやさしい」(45.0%)が第2位、「おいしい農産物がある」(29.6%)が第3位、以下、「魅力ある観光スポットがある」(20.8%)、「お年寄りが元気」(19.6%)、「災害や犯罪が少ない」(13.9%)、「買物がしやすい」(6.2%)、「学校が充実している」(3.0%)、「子どもを育てやすい」・「文化・スポーツ活動が盛ん」(同率2.8%)などの順となっています。

[図表3・4参照]

図表3 竹田市の魅力（全体／複数回答）



図表4 竹田市の魅力

(全体・学校名・性別・学年・居住地区—上位3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		自然や景色がすばらしい 67.1	人がやさしい 45.0	おいしい農産物がある 29.6
学校名	竹田高校	自然や景色がすばらしい 67.9	人がやさしい 51.0	おいしい農産物がある 33.1
	久住高原農業高校	自然や景色がすばらしい 72.0	人がやさしい 45.1	おいしい農産物がある 37.8
	竹田南高校	自然や景色がすばらしい 61.7	人がやさしい 30.0	お年寄りが元気 27.5
性別	男子	自然や景色がすばらしい 63.2	人がやさしい 45.9	おいしい農産物がある 30.8
	女子	自然や景色がすばらしい 71.9	人がやさしい 44.3	おいしい農産物がある 29.4
学年	1年生	自然や景色がすばらしい 74.4	人がやさしい 45.3	おいしい農産物がある 33.1
	2年生	自然や景色がすばらしい 57.6	人がやさしい 45.7	おいしい農産物がある 27.7
	3年生	自然や景色がすばらしい 70.3	人がやさしい 43.9	おいしい農産物がある 27.7
居住地区	旧竹田市	自然や景色がすばらしい 65.0	人がやさしい 44.2	おいしい農産物がある 33.0
	旧荻町	人がやさしい 65.2	自然や景色がすばらしい 65.2	おいしい農産物がある 43.5
	旧久住町	自然や景色がすばらしい 79.8	人がやさしい 51.7	おいしい農産物がある 31.5
	旧直入町	自然や景色がすばらしい 76.5	人がやさしい 58.8	お年寄りが元気 35.3
	その他	自然や景色がすばらしい 62.1	人がやさしい 38.5	魅力ある観光スポットがある 24.3

(4) 竹田市の課題

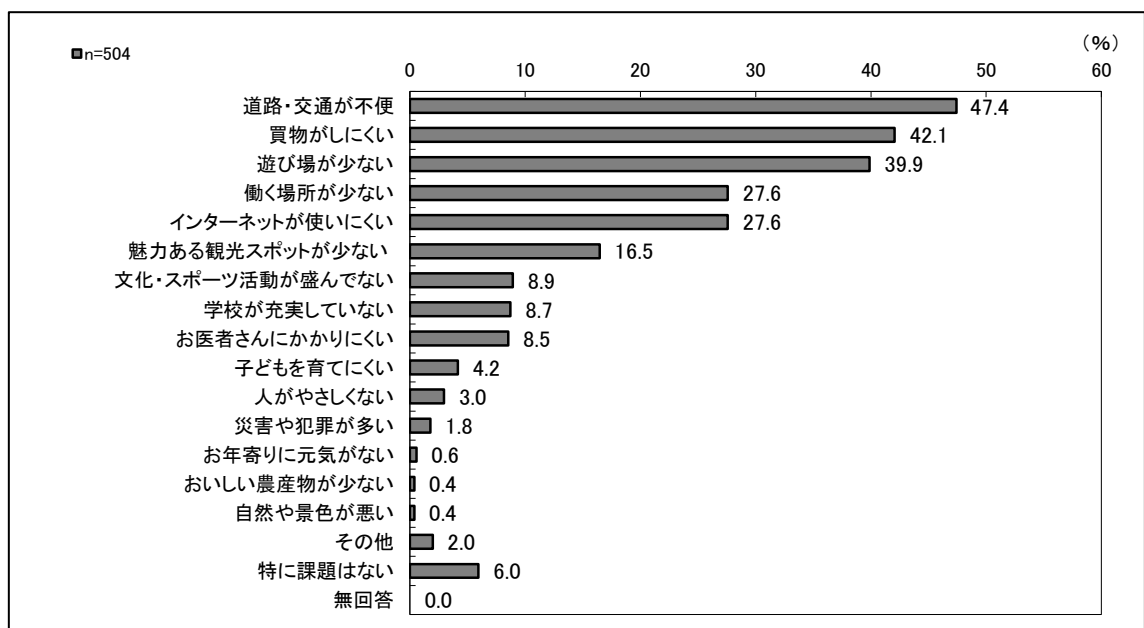
問5 あなたは、竹田市の課題はどのようなところだと思いますか。【複数回答】

- 「道路・交通が不便」が第1位。次いで「買物がしにくい」、「遊び場が少ない」の順。

竹田市の課題は、「道路・交通が不便」が47.4%で第1位、「買物がしにくい」(42.1%)が第2位、「遊び場が少ない」(39.9%)が第3位となっています。以下、「働く場所が少ない」・「インターネットが使いにくい」(同率27.6%)、「魅力ある観光スポットが少ない」(16.5%)、「文化・スポーツ活動が盛んでない」(8.9%)、「学校が充実していない」(8.7%)、「お医者さんにかかりにくい」(8.5%)、「子どもを育てにくい」(4.2%)、「人がやさしくない」(3.0%)などの順となっています。

[図表5・6参照]

図表5 竹田市の課題（全体／複数回答）



図表6 竹田市の課題

(全体・学校名・性別・学年・居住地区—上位3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		道路・交通が不便 47.4	買物がしにくい 42.1	遊び場が少ない 39.9
学校名	竹田高校	道路・交通が不便 51.7	遊び場が少ない 40.1	働く場所が少ない 34.4
	久住高原農業高校	買物がしにくい 56.1	道路・交通が不便 45.1	遊び場が少ない 32.9
	竹田南高校	買物がしにくい 53.3	遊び場が少ない 44.2	道路・交通が不便 38.3
性別	男子	道路・交通が不便 44.4	遊び場が少ない 40.2	買物がしにくい 39.1
	女子	道路・交通が不便 52.5	買物がしにくい 45.2	遊び場が少ない 41.2
学年	1年生	道路・交通が不便 47.7	買物がしにくい 40.7	遊び場が少ない 39.5
	2年生	道路・交通が不便 46.2	遊び場が少ない 44.6	買物がしにくい 40.8
	3年生	道路・交通が不便 48.6	買物がしにくい 45.3	遊び場が少ない 34.5
居住地区	旧竹田市	買物がしにくい／道路・交通が不便 43.2		遊び場が少ない 42.7
	旧荻町	働く場所が少ない／道路・交通が不便 56.5		買物がしにくい 39.1
	旧久住町	買物がしにくい 60.7	道路・交通が不便 55.1	働く場所が少ない 36.0
	旧直入町	道路・交通が不便 64.7	遊び場が少ない 47.1	買物がしにくい／魅力ある 観光スポットが少ない 35.3
	その他	道路・交通が不便 45.6	遊び場が少ない 40.2	買物がしにくい 32.0

2 これからの竹田市のことについて

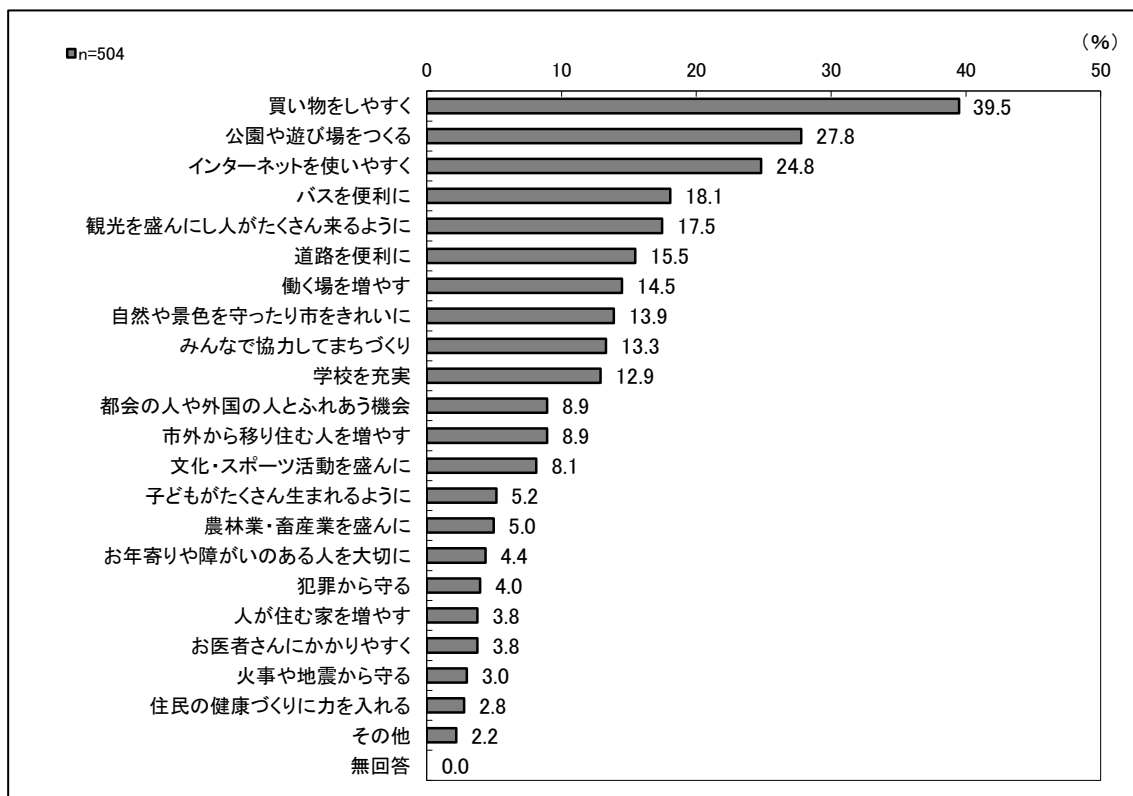
(1) 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと

問6 あなたは、今後のまちづくりで、特にどのようなところに力を入れてほしいと思いますか。【複数回答】

- 「買い物をしやすく」が第1位。次いで「公園や遊び場をつくる」、「インターネットを使いやすく」の順。

今後のまちづくりで特に力を入れてほしいことについては、「買い物をしやすく」(39.5%)が第1位に挙げられ、次いで「公園や遊び場をつくる」(27.8%)が第2位、「インターネットを使いやすく」(24.8%)が第3位、以下、「バスを便利に」(18.1%)、「観光を盛んにし人がたくさん来るように」(17.5%)、「道路を便利に」(15.5%)、「働く場を増やす」(14.5%)、「自然や景色を守ったり市をきれいに」(13.9%)、「みんなで協力してまちづくり」(13.3%)、「都会の人や外国の人とふれあう機会」・「市外から移り住む人を増やす」(同率8.9%)、「文化・スポーツ活動を盛んに」(8.1%)、「子どもがたくさん生まれるように」(5.2%)、「農林業・畜産業を盛んに」(5.0%)、「お年寄りや障がいのある人を大切に」(4.4%)、「犯罪から守る」(4.0%)などの順となっています。[図表7・8参照]

図表7 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと（全体／複数回答）



図表8 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと
 (全体・学校名・性別・学年・居住地区—上位3位/複数回答)

(単位: %)

		第1位	第2位	第3位
全体		買い物をしやすく 39.5	公園や遊び場をつくる 27.8	インターネットを使いやすく 24.8
学校名	竹田高校	買い物をしやすく 30.5	公園や遊び場をつくる 25.5	インターネットを使いやすく 21.5
	久住高原農業高校	買い物をしやすく 52.4	バスを便利に 34.1	公園や遊び場をつくる 28.0
	竹田南高校	買い物をしやすく 53.3	インターネットを使いやすく/公園や遊び場をつくる 33.3	
性別	男子	買い物をしやすく 39.1	インターネットを使いやすく 28.9	公園や遊び場をつくる 25.2
	女子	買い物をしやすく 39.8	公園や遊び場をつくる 32.1	バスを便利に 23.1
学年	1年生	買い物をしやすく 40.1	公園や遊び場をつくる 32.0	インターネットを使いやすく 22.7
	2年生	買い物をしやすく 39.7	公園や遊び場をつくる 31.0	インターネットを使いやすく 25.5
	3年生	買い物をしやすく 38.5	インターネットを使いやすく 26.4	公園や遊び場をつくる 18.9
居住地区	旧竹田市	買い物をしやすく 40.8	公園や遊び場をつくる 32.0	インターネットを使いやすく 25.7
	旧荻町	買い物をしやすく 39.1	インターネットを使いやすく/公園や遊び場をつくる 26.1	
	旧久住町	買い物をしやすく 53.9	バスを便利に 32.6	インターネットを使いやすく/公園や遊び場をつくる 22.5
	旧直入町	みんなで協力してまちづくり 29.4	買い物をしやすく/バスを便利に 29.4	
	その他	買い物をしやすく 31.4	公園や遊び場をつくる 26.0	インターネットを使いやすく 24.9

(2) どのような特色のある市にすべきだと思うか

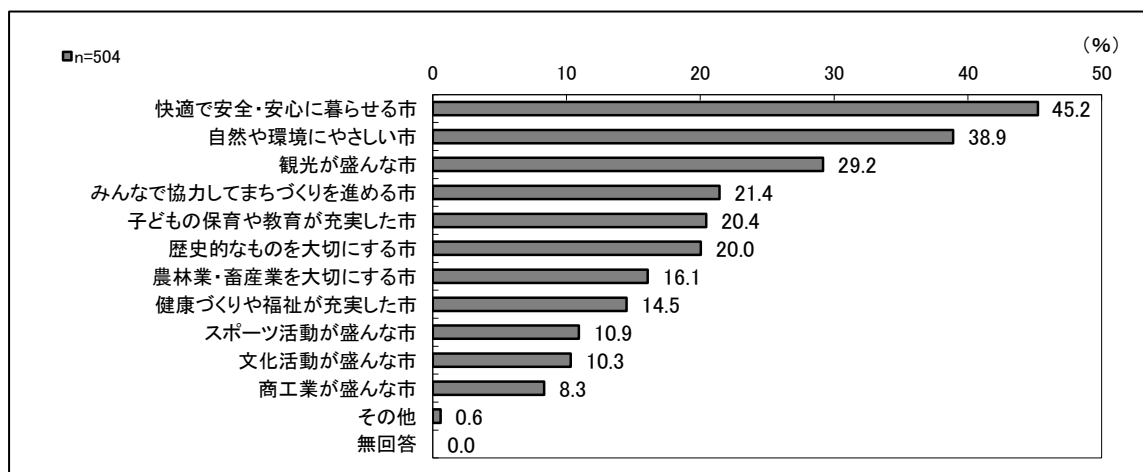
問7 あなたは、今後、竹田市をどのような特色のある市にすべきだと思いますか。
【複数回答】

- 「快適で安全・安心に暮らせる市」が第1位。次いで「自然や環境にやさしい市」、「観光が盛んな市」の順。

今後、竹田市をどのような特色のある市にすべきだと思うかについては、「快適で安全・安心に暮らせる市」(45.2%)が第1位となっています。次いで「自然や環境にやさしい市」(38.9%)が第2位、「観光が盛んな市」(29.2%)が第3位で続き、これ以外では、「みんなで協力してまちづくりを進める市」(21.4%)、「子どもの保育や教育が充実した市」(20.4%)、「歴史的なものを大切にする市」(20.0%)、「農林業・畜産業を大切にする市」(16.1%)、「健康づくりや福祉が充実した市」(14.5%)、「スポーツ活動が盛んな市」(10.9%)、「文化活動が盛んな市」(10.3%)、「商工業が盛んな市」(8.3%)などの順となっています。

属性別でみると、すべての属性で全体と同様に「美しい自然環境や景観が誇れる村」が第1位、ほとんどの属性で「保健・医療・福祉の充実した村」と「安全・安心な住環境の整備を優先する村」が第2位あるいは第3位にあげられ、大きな違いはみられませんでした。[図表9・10参照]

図表9 どのような特色のある市にすべきだと思うか（全体／複数回答）



図表 10 どのような特色のある市にすべきだと思うか
 (全体・学校名・性別・学年・居住地区—上位3位/複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		快適で安全・安心に暮らせる市 45.2	自然や環境にやさしい市 38.9	観光が盛んな市 29.2
学校名	竹田高校	快適で安全・安心に暮らせる市 44.7	自然や環境にやさしい市 38.1	観光が盛んな市 32.5
	久住高原農業高校	自然や環境にやさしい市/快適で安全・安心に暮らせる市 41.5		農林業・畜産業を大切にする市 36.6
	竹田南高校	快適で安全・安心に暮らせる市 49.2	自然や環境にやさしい市 39.2	観光が盛んな市 29.2
性別	男子	快適で安全・安心に暮らせる市 41.0	自然や環境にやさしい市 36.1	観光が盛んな市 32.0
	女子	快適で安全・安心に暮らせる市 51.1	自然や環境にやさしい市 41.6	観光が盛んな市 27.1
学年	1年生	自然や環境にやさしい市/快適で安全・安心に暮らせる市 44.2		みんなで協力してまちづくりを進める市/観光が盛んな市 20.9
	2年生	快適で安全・安心に暮らせる市 46.7	観光が盛んな市 38.0	自然や環境にやさしい市 35.9
	3年生	快適で安全・安心に暮らせる市 44.6	自然や環境にやさしい市 36.5	観光が盛んな市 27.7
居住地区	旧竹田市	快適で安全・安心に暮らせる市 45.1	自然や環境にやさしい市 39.3	観光が盛んな市 29.1
	旧荻町	快適で安全・安心に暮らせる市 60.9	子どもの保育や教育が充実した市 39.1	健康づくりや福祉が充実した市 34.8
	旧久住町	快適で安全・安心に暮らせる市 49.4	自然や環境にやさしい市 48.3	農林業・畜産業を大切にする市 33.7
	旧直入町	観光が盛んな市 58.8	快適で安全・安心に暮らせる市 52.9	自然や環境にやさしい市 41.2
	その他	快適で安全・安心に暮らせる市 40.2	自然や環境にやさしい市 36.1	観光が盛んな市 33.1

(3) 今後参加してみたい活動

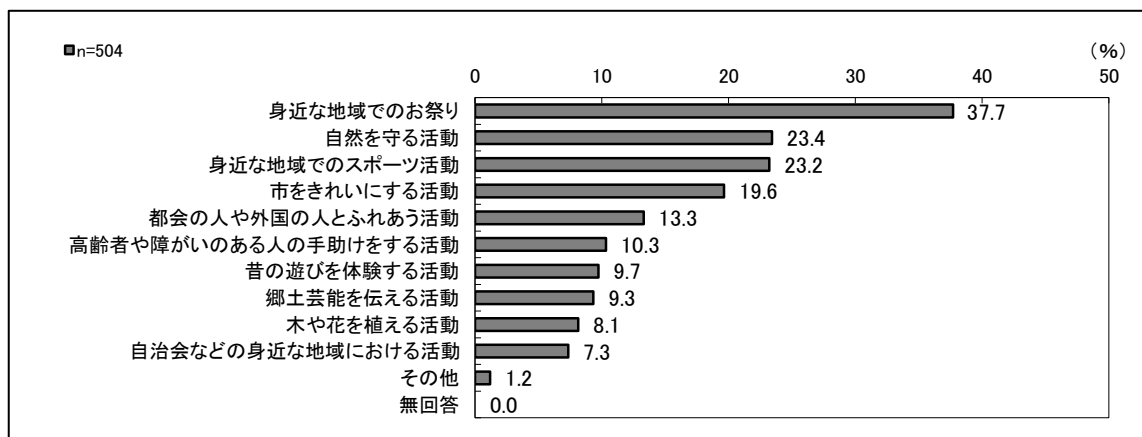
問8 あなたは、次の活動の中で、今後、どの活動に参加してみたいと思いますか。
【複数回答】

- 「身近な地域でのお祭り」、「自然を守る活動」、「身近な地域でのスポーツ活動」の順。

今後参加してみたい活動は、「身近な地域でのお祭り」(37.7%)が第1位、次いで「自然を守る活動」(23.4%)、「身近な地域でのスポーツ活動」(23.2%)と続き、“環境保全”をはじめ、“快適・安全・安心な居住環境の整備”に高校生の関心が集まっていることがうかがえます。その他では、「市をきれいにする活動」(19.6%)、「都会の人や外国の人とふれあう活動」(13.3%)、「高齢者や障がいのある人の手助けをする活動」(10.3%)、「昔の遊びを体験する活動」(9.7%)、「郷土芸能を伝える活動」(9.3%)、「木や花を植える活動」(8.1%)、「自治会などの身近な地域における活動」(7.3%)などの順となっています。

[図表 11・12 参照]

図表 11 今後参加してみたい活動（全体／複数回答）



図表 12 今後参加してみたい活動

(全体・学校名・性別・学年・居住地区—上位3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		身近な地域でのお祭り 37.7	自然を守る活動 23.4	身近な地域でのスポーツ活動 23.2
学校名	竹田高校	身近な地域でのお祭り 39.1	身近な地域でのスポーツ活動 26.2	自然を守る活動 20.2
	久住高原農業高校	身近な地域でのお祭り 45.1	自然を守る活動 36.6	市をきれいにする活動 19.5
	竹田南高校	身近な地域でのお祭り 29.2	市をきれいにする活動 24.2	自然を守る活動 22.5
性別	男子	身近な地域でのお祭り 32.7	身近な地域でのスポーツ活動 28.2	自然を守る活動 25.9
	女子	身近な地域でのお祭り 43.0	都会の人や外国の人とふれあう活動 22.2	自然を守る活動 19.9
学年	1年生	身近な地域でのお祭り 44.2	自然を守る活動 26.7	身近な地域でのスポーツ活動 26.2
	2年生	身近な地域でのお祭り 35.9	身近な地域でのスポーツ活動 22.3	自然を守る活動 19.0
	3年生	身近な地域でのお祭り 32.4	自然を守る活動 25.0	市をきれいにする活動／身近な地域でのスポーツ活動 20.9
居住地区	旧竹田市	身近な地域でのお祭り 35.4	身近な地域でのスポーツ活動 25.2	自然を守る活動 23.8
	旧荻町	身近な地域でのお祭り 47.8	自然を守る活動 30.4	身近な地域でのスポーツ活動 21.7
	旧久住町	身近な地域でのお祭り 49.4	自然を守る活動 31.5	身近な地域でのスポーツ活動 20.2
	旧直入町	身近な地域でのお祭り／身近な地域でのスポーツ活動 29.4		自然を守る活動／都会の人や外国の人とふれあう活動 23.5
	その他	身近な地域でのお祭り 33.7	市をきれいにする活動／身近な地域でのスポーツ活動 21.9	



今後のまちづくりのための 高校生アンケート調査ご協力をお願い

みなさんこんにちは。

竹田市では、これからのまちづくりに向けて、竹田市総合計画（将来どのような市になることを目標に、どのような取り組みを行うかをまとめた計画）をつくることになりました。

このアンケート調査は、新しい総合計画をつくるにあたって、高校生のみなさんのご意見をお聞きし、参考にするために行うものです。

これからの竹田市のまちづくりを、みなさんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、ご意見をお聞かせください。

令和3年 12月

竹田市長 土居昌弘

お答えにあたってのお願い

1. 答えは、問ごとに（1つに〇印）、（2つまで〇印）などそれぞれ決められていますので、間違えないようにしてください。

〇印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 **①**。）

2. お答えいただいたアンケート票は、担任の先生に提出してください。

竹田市役所

企画情報課 総合政策室

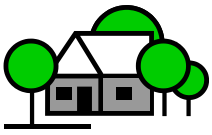
電話：0974-63-4801

FAX：0974-63-0995



はじめに、あなたのことについておたずねします。

問1 あなたのことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに〇印をつけてください。

(1) あなたの学校	1. 竹田高校 2. 久住高原農業高校 3. 竹田南高校
(2) あなたの性別	1. 男子 3. その他 2. 女子 4. 答えたくない
(3) あなたの学年	1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生
(4) あなたの住んでい るところ 	1. 竹田 9. 宮砥 17. 都野 2. 岡本 10. 菅生 18. 長湯 3. 明治 11. 宮城 19. 下竹田 4. 豊岡 12. 城原 20. 市外 5. 玉来 13. 荻 21. 県外 6. 松本 14. 柏原 22. その他 7. 入田 15. 久住 8. 姫岳 16. 白丹

今の竹田市のことについておたずねします。

問2 あなたは、竹田市のことが好きですか。(1つに〇印)

1. とても好きだ
2. どちらかといえば好きだ
3. どちらかといえば好きではない
4. 好きではない



問3 あなたは、これからも竹田市に住みたいと思いますか。(1つに〇印)

1. 住みたい
2. どちらかといえば住みたい
3. どちらかといえば住みたくない
4. 住みたくない(できれば市外へ引っ越したい)



問4 あなたは、竹田市の魅力はどのようなところだと思いますか。

(3つまで○印)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 人がやさしい | 10. お医者さんにかかりやすい |
| 2. おいしい農産物がある | 11. お年寄りが元気だ |
| 3. 買物がしやすい | 12. 子どもを育てやすい |
| 4. 働く場所が多い | 13. 文化・スポーツ活動が盛んだ |
| 5. 魅力ある観光スポットがある | 14. 学校が充実している |
| 6. 道路・交通が便利だ | 15. 遊び場が多い |
| 7. インターネットが使いやすい | 16. 特に魅力はない |
| 8. 自然や景色がすばらしい | 17. その他(※具体的に書いてください。) |
| 9. 災害や犯罪が少ない | () |

問5 あなたは、竹田市の課題はどのようなところだと思いますか。

(3つまで○印)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 人がやさしくない | 10. お医者さんにかかりにくい |
| 2. おいしい農産物が少ない | 11. お年寄りに元気がない |
| 3. 買物がしにくい | 12. 子どもを育てにくい |
| 4. 働く場所が少ない | 13. 文化・スポーツ活動が盛んでない |
| 5. 魅力ある観光スポットが少ない | 14. 学校が充実していない |
| 6. 道路・交通が不便だ | 15. 遊び場が少ない |
| 7. インターネットが使いにくい | 16. 特に課題はない |
| 8. 自然や景色が悪い | 17. その他(※具体的に書いてください。) |
| 9. 災害や犯罪が多い | () |

これからの竹田市のことについておたずねします。

問6 あなたは、今後のまちづくりで、特にどのようなところに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○印)


- | |
|-----------------------------|
| 1. みんなで協力してまちづくりをしてほしい |
| 2. 都会の人や外国の人とふれあう機会を増やしてほしい |
| 3. 農林業・畜産業を盛んにしてほしい |
| 4. 買物をしやすくしてほしい |
| 5. 働く場を増やしてほしい |
| 6. 観光を盛んにし、人がたくさん来るようにしてほしい |
| 7. 道路を便利にしてほしい |
| 8. バスを便利にしてほしい |
| 9. インターネットを使いやすくしてほしい |
| 10. 人が住む家を増やしてほしい |
| 11. 市外から移り住む人を増やしてほしい |
| 12. 公園や遊び場をつくってほしい |
| 13. 自然や景色を守ったり、市をきれいにしてほしい |
| 14. 火事や地震から守ってほしい |
| 15. 犯罪から守ってほしい |
| 16. 住民の健康づくりに力を入れてほしい |
| 17. お医者さんにかかりやすくしてほしい |
| 18. お年寄りや障がいのある人を大切にほしい |
| 19. 子どもがたくさん生まれるようにしてほしい |
| 20. 文化・スポーツ活動を盛んにしてほしい |
| 21. 学校を充実してほしい |
| 22. その他(※具体的に書いてください。) |
| () |



問7 あなたは、今後、竹田市をどのような特色のある市にすべきだと思いますか。
(3つまで○印)

<ol style="list-style-type: none">1. みんなで協力してまちづくりを進める市2. 農林業・畜産業を大切にする市3. 商工業が盛んな市4. 観光が盛んな市5. 自然や環境にやさしい市6. 快適で安全・安心に暮らせる市7. 健康づくりや福祉が充実した市8. 子どもの保育や教育が充実した市9. 文化活動が盛んな市10. スポーツ活動が盛んな市11. 歴史的なものを大切にする市12. その他(※具体的に書いてください。) <p>()</p>

問8 あなたは、次の活動の中で、今後、どの活動に参加してみたいと思いますか。
(2つまで○印)

<ol style="list-style-type: none">1. 自治会などの身近な地域における活動2. 自然を守る活動3. 市をきれいにする活動(掃除・空き缶拾いなど)4. 木や花を植える活動5. お年寄りや障がいのある人の手助けをする活動6. 郷土芸能を伝える活動7. 昔の遊びを体験する活動8. 身近な地域でのお祭り9. 身近な地域でのスポーツ活動10. 都会の人や外国の人とふれあう活動11. その他(※具体的に書いてください。) <p>()</p>	
--	---

自由意見を書いてみてください。

問9 最後に、あなたが将来に向けて市の行政(竹田市)に望むことや、まちづくりに関する意見・提案などがありましたら、自由にご記入ください。

自由意見欄

--



ご協力ありがとうございました。

竹田市 総合計画策定のための
中学生アンケート調査結果報告書

令和4年3月

竹 田 市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法	1
	(3) 配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	2
	(1) 数値の基本的な取り扱いについて	2
3	回答者の属性	3
	(1) 性別	3
	(2) 学年	3
	(3) 居住地区	4
II	調査結果	5
1	竹田市のことについて	5
	(1) 竹田市が好きか	5
	(2) 今後の定住意向	6
	(3) 竹田市の魅力	7
	(4) 竹田市の課題	9
2	これからの竹田市のことについて	11
	(1) 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと	11
	(2) どのような特色のある市にすべきだと思うか	13
	(3) 今後参加してみたい活動	15
	資料：調査票	17

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、竹田市総合計画（令和5年度～令和14年度）の策定にあたって、市が好きか、将来の定住意向をはじめ、今後特に力を入れてほしい施策、今後どんな市になってほしいかなど、中学生の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内の中学生
調査方法	GIGAスクール構想で整備されたタブレットを使用した、オンラインによるアンケート調査
調査時期	令和3年12月～令和4年1月

(3) 配布数及び回収結果

配布数	—
有効回収数	355
有効回収率	—

2 本調査報告書の基本的な事項

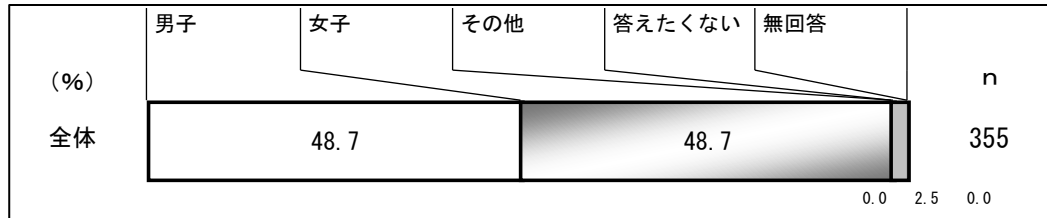
(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

3 回答者の属性

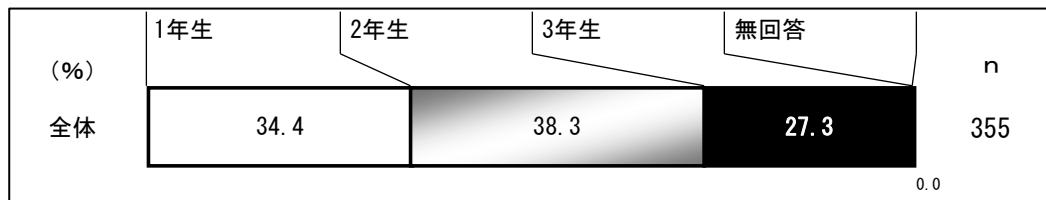
(1) 性別

回答者の性別構成は、「男子」(48.7%)、「女子」(48.7%)、「答えたくない」(2.5%)
となっています。



(2) 学年

回答者の学年は、「2年生」(38.3%)、「1年生」(34.4%)、「3年生」(27.3%)と
なっています。



(3) 居住地区

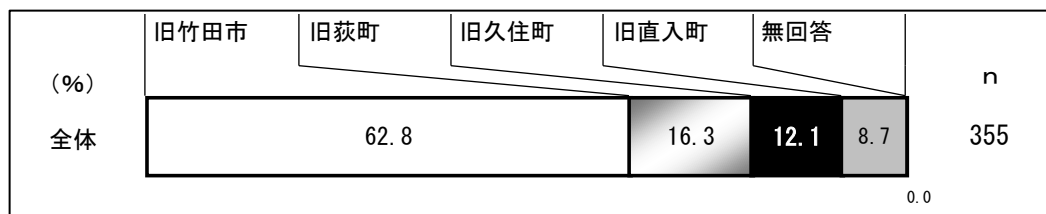
① 大字名

回答者の居住地区（大字名）は以下のとおりとなっています。

区分	大字名	人	%
旧竹田市	竹田	100	28.2
	岡本	6	1.7
	明治	8	2.3
	豊岡	18	5.1
	玉来	37	10.4
	松本	15	4.2
	入田	5	1.4
	姫岳	2	0.6
	宮砥	4	1.1
	菅生	12	3.4
	宮城	7	2.0
	城原	9	2.5
	旧荻町	荻	57
柏原		1	0.3
旧久住町	久住	17	4.8
	白丹	9	2.5
	都野	17	4.8
旧直入町	長湯	26	7.3
	下竹田	5	1.4
無回答		0	0.0
全体		355	100.0

② 旧市町名

回答者の居住地区（旧市町名）は、「旧竹田市」（62.8%）、「旧荻町」（16.3%）、「旧久住町」（12.1%）、「旧直入町」（8.7%）となっています。



Ⅱ 調査結果

1 竹田市のことについて

(1) 竹田市が好きか

問2 あなたは、竹田市のことが好きですか。

● “好きだ”が88.4%、“好きではない”が11.5%。

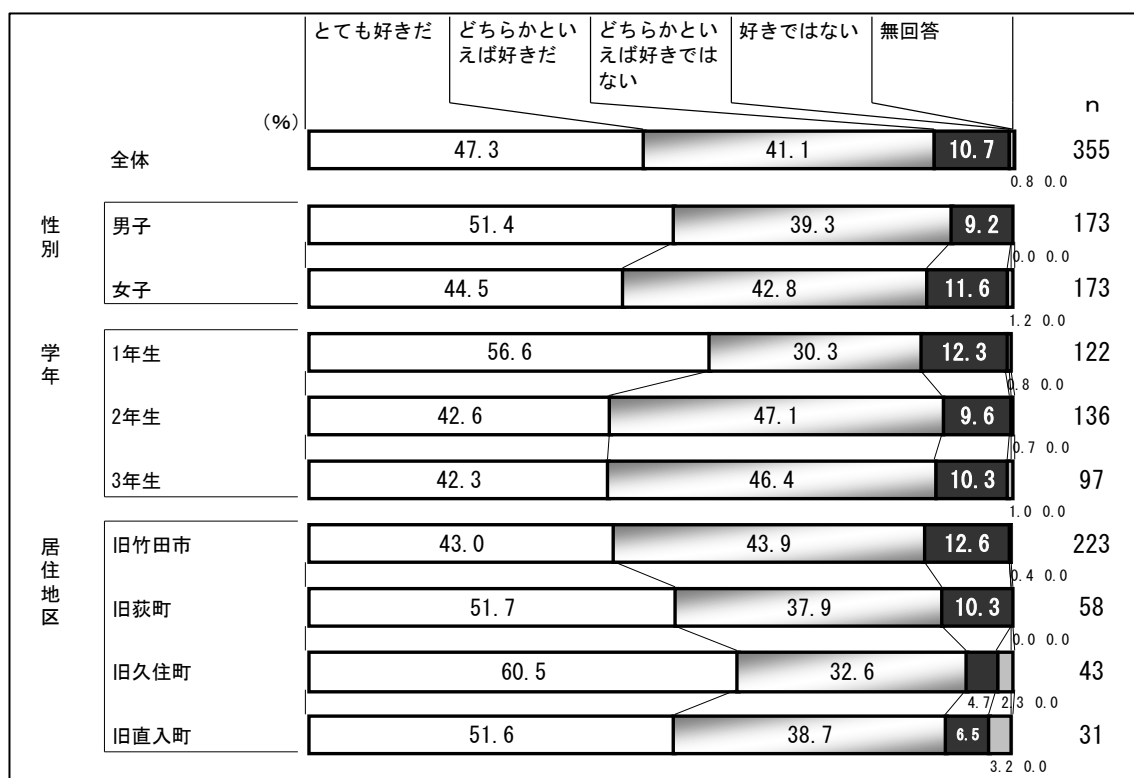
中学生の市に対する愛着度を把握するため、「とても好きだ」、「どちらかといえば好きだ」、「どちらかといえば好きではない」、「好きではない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「とても好きだ」が47.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば好きだ」が41.1%で続き、以下、「どちらかといえば好きではない」(10.7%)、「好きではない」(0.8%)となっています。

「とても好きだ」(47.3%)と「どちらかといえば好きだ」(41.1%)をあわせた“好きだ”という人が88.4%と9割弱となっている一方、「どちらかといえば好きではない」(10.7%)と「好きではない」(0.8%)をあわせた“好きではない”という人は11.5%と1割強にとどまっており、中学生の市への愛着度はかなり高いといえます。

[図表1参照]

図表1 竹田市が好きか（全体・性別・学年・居住地区）



(2) 今後の定住意向

問3 あなたは、これからも竹田市に住みたいと思いますか。

● “住みたい” が 62.8%、“住みたくない” が 37.2%。

将来の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらったところ、「どちらかといえば住みたい」(41.4%)、「どちらかといえば住みたくない」(23.4%)、「住みたい」(21.4%)、「住みたくない(できれば市外へ引っ越したい)」(13.8%)の順となっています。

「どちらかといえば住みたい」(41.4%)と「住みたい」(21.4%)をあわせた“住みたい”という人は62.8%となっています。一方、「どちらかといえば住みたくない」(23.4%)及び「住みたくない(できれば市外へ引っ越したい)」(13.8%)と答えた“住みたくない”という人の合計は37.2%でした。[図表2参照]

図表2 今後の定住意向（全体・性別・学年・居住地区）

		住みたい	どちらかとい えば住みたい	どちらかとい えば住みたく ない	住みたくない (できれば市 外へ引っ越し たい)	無回答	n
		(%)					
性別	全体	21.4	41.4	23.4	13.8	0.0	355
	男子	23.7	42.8	24.9	8.7	0.0	173
	女子	20.2	40.5	21.4	17.9	0.0	173
学年	1年生	39.3	31.1	18.9	10.7	0.0	122
	2年生	13.2	50.0	22.8	14.0	0.0	136
	3年生	10.3	42.3	29.9	17.5	0.0	97
居住地区	旧竹田市	22.9	42.2	21.5	13.5	0.0	223
	旧荻町	13.8	41.4	29.3	15.5	0.0	58
	旧久住町	20.9	46.5	20.9	11.6	0.0	43
	旧直入町	25.8	29.0	29.0	16.1	0.0	31

(3) 竹田市の魅力

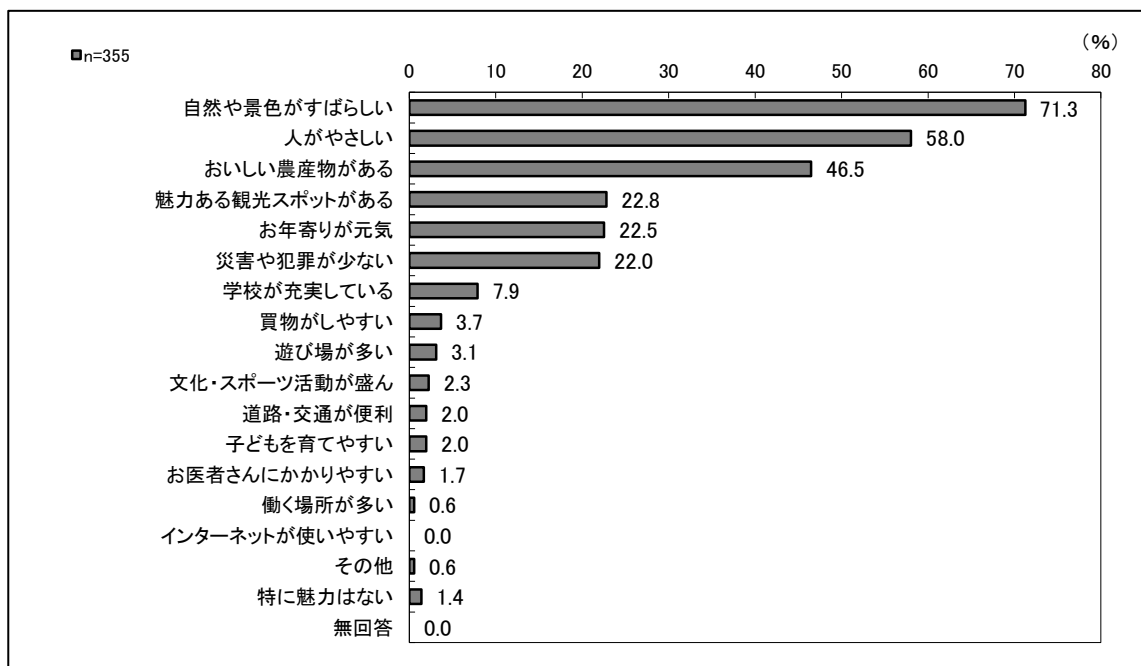
問4 あなたは、竹田市の魅力はどのようなところだと思いますか。【複数回答】

- 「自然や景色がすばらしい」が第1位。次いで「人がやさしい」、「おいしい農産物・海産物がある」の順。

竹田市の魅力は、「自然や景色がすばらしい」が71.3%で第1位、「人がやさしい」(58.0%)が第2位、「おいしい農産物がある」(46.5%)が第3位、「魅力ある観光スポットがある」(22.8%)、「お年寄りが元気」(22.5%)、「災害や犯罪が少ない」(22.0%)、「学校が充実している」(7.9%)、「買物がしやすい」(3.7%)、「遊び場が多い」(3.1%)、「文化・スポーツ活動が盛ん」(2.3%)などの順となっています。

[図表3・4参照]

図表3 竹田市の魅力（全体／複数回答）



図表4 竹田市の魅力（全体・性別・学年・居住地区－上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		自然や景色がすばらしい 71.3	人がやさしい 58.0	おいしい農産物がある 46.5
性別	男子	自然や景色がすばらしい 64.7	人がやさしい 60.1	おいしい農産物がある 45.7
	女子	自然や景色がすばらしい 78.6	人がやさしい 56.6	おいしい農産物がある 48.6
学年	1年生	自然や景色がすばらしい 73.8	おいしい農産物がある 55.7	人がやさしい 52.5
	2年生	自然や景色がすばらしい 67.6	人がやさしい 58.1	おいしい農産物がある 41.9
	3年生	自然や景色がすばらしい 73.2	人がやさしい 64.9	おいしい農産物がある 41.2
居住地区	旧竹田市	自然や景色がすばらしい 72.2	人がやさしい 54.7	おいしい農産物がある 43.0
	旧荻町	自然や景色がすばらしい 72.4	おいしい農産物がある 62.1	人がやさしい 55.2
	旧久住町	自然や景色がすばらしい 74.4	人がやさしい 72.1	おいしい農産物がある 44.2
	旧直入町	人がやさしい 67.7	自然や景色がすばらしい 58.1	おいしい農産物がある 45.2

(4) 竹田市の課題

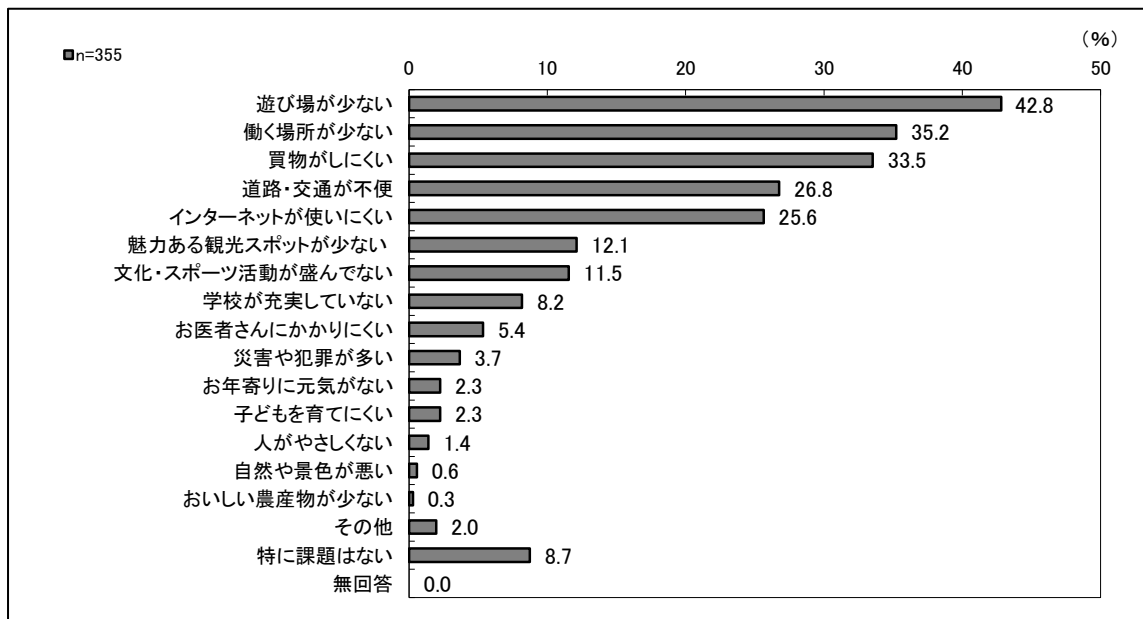
問5 あなたは、竹田市の課題はどのようなところだと思いますか。【複数回答】

- 「遊び場が少ない」が第1位。次いで「働く場所が少ない」、「買物がしにくい」の順。

竹田市の課題は、「遊び場が少ない」(42.8%)が第1位、「働く場所が少ない」(35.2%)が第2位、「買物がしにくい」(33.5%)が第3位となっています。以下、「道路・交通が不便」(26.8%)、「インターネットが使いにくい」(25.6%)、「魅力ある観光スポットが少ない」(12.1%)、「文化・スポーツ活動が盛んでない」(11.5%)、「学校が充実していない」(8.2%)、「お医者さんにかかりにくい」(5.4%)、「災害や犯罪が多い」(3.7%)、「お年寄りに元気がない」・「子どもを育てにくい」(同率2.3%)などの順となっています。

[図表5・6参照]

図表5 竹田市の課題（全体／複数回答）



図表6 竹田市の課題（全体・性別・学年・居住地区－上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		遊び場が少ない 42.8	働く場所が少ない 35.2	買物がしにくい 33.5
性別	男子	遊び場が少ない 39.9	働く場所が少ない 34.7	買物がしにくい／インターネットが使いにくい 31.2
	女子	遊び場が少ない 46.2	働く場所が少ない 37.0	買物がしにくい 35.3
学年	1年生	遊び場が少ない 38.5	買物がしにくい 32.8	働く場所が少ない 29.5
	2年生	遊び場が少ない 39.7	働く場所が少ない 33.8	買物がしにくい 30.9
	3年生	遊び場が少ない 52.6	働く場所が少ない 44.3	買物がしにくい 38.1
居住地区	旧竹田市	遊び場が少ない 42.6	働く場所が少ない 34.5	道路・交通が不便 27.8
	旧荻町	買物がしにくい 43.1	遊び場が少ない 39.7	道路・交通が不便 27.6
	旧久住町	遊び場が少ない 48.8	働く場所が少ない 44.2	買物がしにくい 37.2
	旧直入町	買物がしにくい 64.5	働く場所が少ない 51.6	道路・交通が不便／遊び場が少ない 41.9

2 これからの竹田市のことについて

(1) 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと

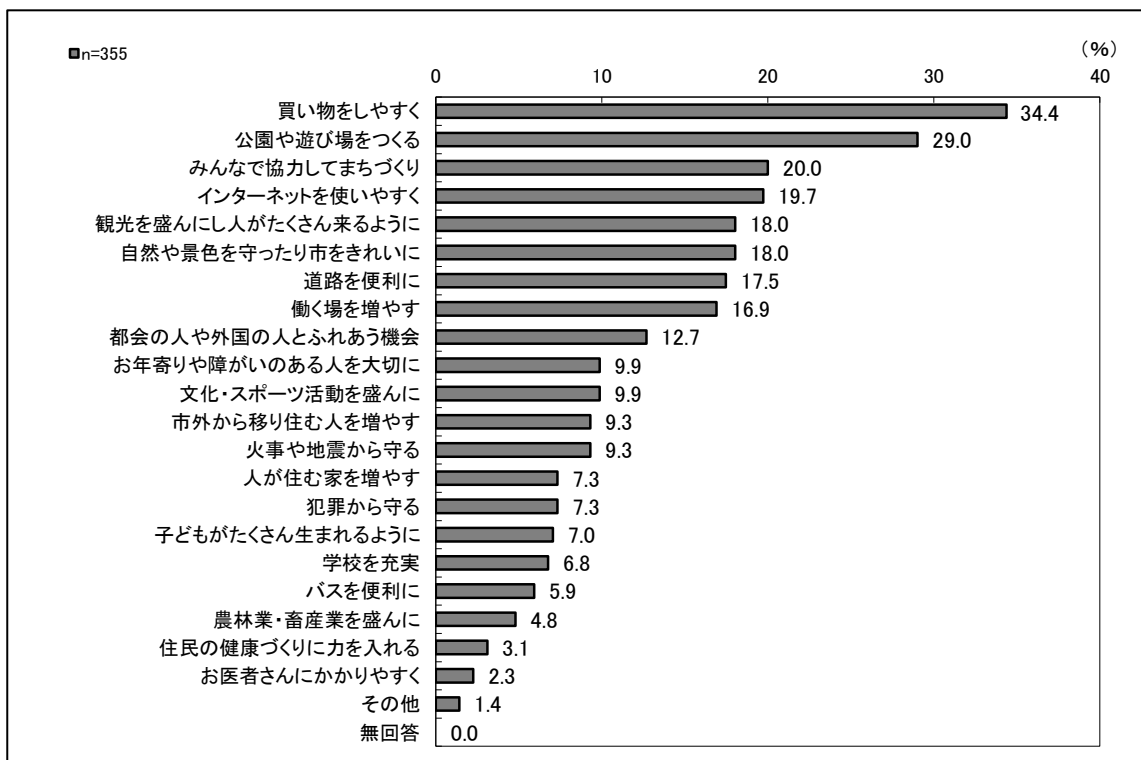
問6 あなたは、今後のまちづくりで、特にどのようなところに力を入れてほしいと思いますか。【複数回答】

- 「買い物をしやすく」が第1位。次いで「公園や遊び場をつくる」、「みんなで協力してまちづくり」の順。

今後のまちづくりで特に力を入れてほしいことについては、「買い物をしやすく」(34.4%)が第1位に挙げられ、次いで「公園や遊び場をつくる」(29.0%)が第2位、「みんなで協力してまちづくり」(20.0%)が第3位、以下、「インターネットを使いやすく」(19.7%)、「観光を盛んにし人がたくさん来るように」・「自然や景色を守ったり市をきれいに」(同率18.0%)、「道路を便利に」(17.5%)、「働く場を増やす」(16.9%)、「都会の人や外国の人とふれあう機会」(12.7%)、「お年寄りや障がいのある人を大切に」・「文化・スポーツ活動を盛んに」(同率9.9%)、「市外から移り住む人を増やす」・「火事や地震から守る」(同率9.3%)、「人が住む家を増やす」・「犯罪から守る」(同率7.3%)、「子どもがたくさん生まれるように」(7.0%)、「学校を充実」(6.8%)、「バスを便利に」(5.9%)などの順となっています。

[図表7・8参照]

図表7 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと (全体/複数回答)



図表8 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと
 (全体・性別・学年・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		買い物をしやすく 34.4	公園や遊び場をつくる 29.0	みんなで協力してまちづくり 20.0
性別	男子	公園や遊び場をつくる 28.9	買い物をしやすく 28.3	みんなで協力してまちづくり 24.3
	女子	買い物をしやすく 40.5	公園や遊び場をつくる 29.5	自然や景色を守ったり市をきれいに 20.2
学年	1年生	買い物をしやすく 31.1	公園や遊び場をつくる 27.9	みんなで協力してまちづくり 23.8
	2年生	買い物をしやすく 29.4	公園や遊び場をつくる 28.7	みんなで協力してまちづくり／道路を便利に 18.4
	3年生	買い物をしやすく 45.4	公園や遊び場をつくる 30.9	働く場を増やす 25.8
居住地区	旧竹田市	買い物をしやすく／公園や遊び場をつくる 30.5		観光を盛んにし人がたくさん来るように 21.5
	旧荻町	買い物をしやすく 34.5	インターネットを使いやすく／公園や遊び場をつくる 25.9	
	旧久住町	買い物をしやすく 34.9	自然や景色を守ったり市をきれいに 27.9	公園や遊び場をつくる 25.6
	旧直入町	買い物をしやすく 61.3	公園や遊び場をつくる 29.0	働く場を増やす／道路を便利に／自然や景色を守ったり市をきれいに 22.6

(2) どのような特色のある市にすべきだと思うか

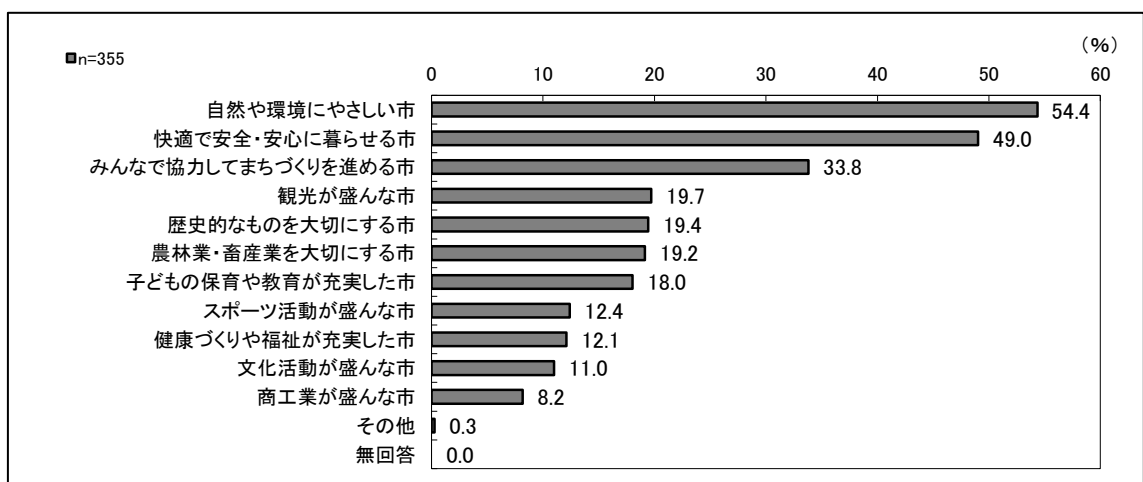
問7 あなたは、今後、竹田市をどのような特色のある市にすべきだと思いますか。
【複数回答】

- 「自然や環境にやさしい市」が第1位。次いで「快適で安全・安心に暮らせる市」、「みんなで協力してまちづくりを進める市」の順。

今後、竹田市をどのような特色のある市にすべきだと思うかについては、「自然や環境にやさしい市」(54.4%)が第1位に挙げられ、次いで「快適で安全・安心に暮らせる市」(49.0%)が第2位、「みんなで協力してまちづくりを進める市」(33.8%)が第3位で続き、これ以外では、「観光が盛んな市」(19.7%)、「歴史的なものを大切にすする市」(19.4%)、「農林業・畜産業を大切にすする市」(19.2%)、「子どもの保育や教育が充実した市」(18.0%)、「スポーツ活動が盛んな市」(12.4%)、「健康づくりや福祉が充実した市」(12.1%)、「文化活動が盛んな市」(11.0%)、「商工業が盛んな市」(8.2%)などの順となっています。

属性別でみると、すべての属性で全体と同様に「美しい自然環境や景観が誇れる村」が第1位、ほとんどの属性で「保健・医療・福祉の充実した村」と「安全・安心な住環境の整備を優先する村」が第2位あるいは第3位にあげられ、大きな違いはみられませんでした。[図表9・10参照]

図表9 どのような特色のある市にすべきだと思うか（全体／複数回答）



図表 10 どのような特色のある市にすべきだと思うか
 (全体・性別・学年・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		自然や環境にやさしい市 54.4	快適で安全・安心に暮らせる市 49.0	みんなで協力してまちづくりを進める市 33.8
性別	男子	自然や環境にやさしい市 57.2	快適で安全・安心に暮らせる市 39.9	みんなで協力してまちづくりを進める市 36.4
	女子	快適で安全・安心に暮らせる市 59.0	自然や環境にやさしい市 53.2	みんなで協力してまちづくりを進める市 31.8
学年	1年生	自然や環境にやさしい市 58.2	快適で安全・安心に暮らせる市 46.7	みんなで協力してまちづくりを進める市 33.6
	2年生	快適で安全・安心に暮らせる市 53.7	自然や環境にやさしい市 47.1	みんなで協力してまちづくりを進める市 36.0
	3年生	自然や環境にやさしい市 59.8	快適で安全・安心に暮らせる市 45.4	みんなで協力してまちづくりを進める市 30.9
居住地区	旧竹田市	自然や環境にやさしい市 50.7	快適で安全・安心に暮らせる市 48.4	みんなで協力してまちづくりを進める市 33.6
	旧荻町	自然や環境にやさしい市 60.3	快適で安全・安心に暮らせる市 48.3	みんなで協力してまちづくりを進める市 36.2
	旧久住町	自然や環境にやさしい市 62.8	快適で安全・安心に暮らせる市 46.5	みんなで協力してまちづくりを進める市 39.5
	旧直入町	自然や環境にやさしい市／快適で安全・安心に暮らせる市 58.1		農林業・畜産業を大切にする市 38.7

(3) 今後参加してみたい活動

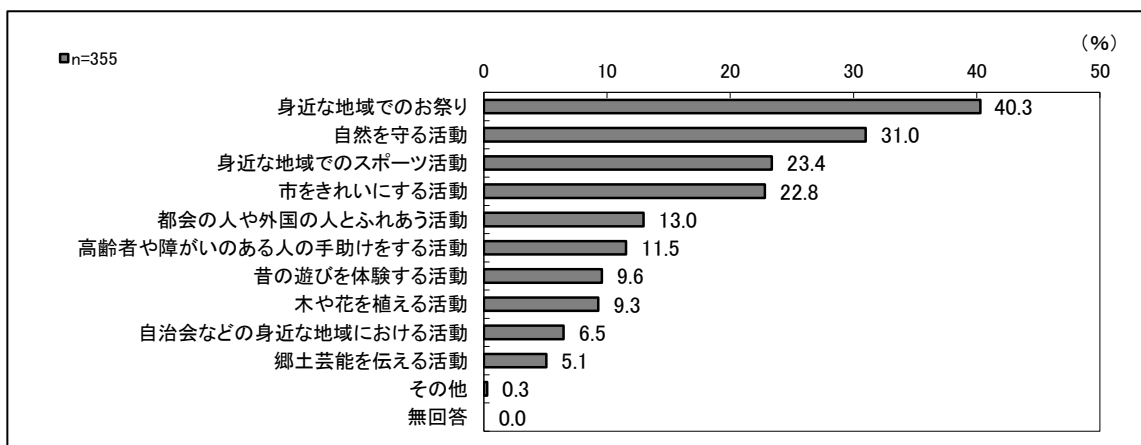
問8 あなたは、次の活動の中で、今後、どの活動に参加してみたいと思いますか。
【複数回答】

- 「身近な地域でのお祭り」、「自然を守る活動」、「身近な地域でのスポーツ活動」の順。

今後参加してみたい活動は、「身近な地域でのお祭り」(40.3%)が第1位、次いで「自然を守る活動」(31.0%)、「身近な地域でのスポーツ活動」(23.4%)と続き、“環境保全”と“身近な地域での活動”に中学生の関心が集まっていることがうかがえます。その他では、「市をきれいにする活動」(22.8%)、「都会の人や外国の人とふれあう活動」(13.0%)、「高齢者や障がいのある人の手助けをする活動」(11.5%)、「昔の遊びを体験する活動」(9.6%)、「木や花を植える活動」(9.3%)、「自治会などの身近な地域における活動」(6.5%)、「郷土芸能を伝える活動」(5.1%)などの順となっています。

[図表 11・12 参照]

図表 11 今後参加してみたい活動（全体／複数回答）



図表 12 今後参加してみたい活動
 (全体・性別・学年・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		身近な地域でのお祭り 40.3	自然を守る活動 31.0	身近な地域でのスポーツ活動 23.4
性別	男子	自然を守る活動 42.8	身近な地域でのお祭り 30.6	身近な地域でのスポーツ活動 28.3
	女子	身近な地域でのお祭り 49.7	市をきれいにする活動 23.7	自然を守る活動 20.2
学年	1年生	身近な地域でのお祭り 35.2	自然を守る活動 32.8	市をきれいにする活動 24.6
	2年生	身近な地域でのお祭り 44.1	自然を守る活動 26.5	身近な地域でのスポーツ活動 25.7
	3年生	身近な地域でのお祭り 41.2	自然を守る活動 35.1	身近な地域でのスポーツ活動 26.8
居住地区	旧竹田市	身近な地域でのお祭り 43.0	自然を守る活動 31.8	市をきれいにする活動 24.2
	旧荻町	身近な地域でのお祭り 34.5	市をきれいにする活動 31.0	自然を守る活動／身近な地域でのスポーツ活動 29.3
	旧久住町	身近な地域でのお祭り 34.9	自然を守る活動 27.9	身近な地域でのスポーツ活動／都会の人や外国の人とふれあう活動 18.6
	旧直入町	身近な地域でのお祭り 38.7	自然を守る活動／身近な地域でのスポーツ活動	32.3



今後のまちづくりのための 中学生アンケート調査ご協力をお願い

みなさんこんにちは。

さて、竹田市では、これからのまちづくりに向けて、竹田市総合計画（将来どのような市になることを目標に、どのような取り組みを行うかをまとめた計画）をつくることになりました。

このアンケート調査は、新しい総合計画をつくるにあたって、中学生のみなさんのご意見をお聞きし、参考にするために行うものです。

これからの竹田市のまちづくりを、みなさんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、ご意見をお聞かせください。

令和3年 12月

竹田市長 土居昌弘

お答えにあたってのお願い

1. 答えは、問ごとに（1つに〇印）、（2つまで〇印）などそれぞれ決められていますので、間違えないようにしてください。

〇印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①.）

2. お答えいただいたアンケート票は、担任の先生に提出してください。

竹田市役所

企画情報課 総合政策室

電話：0974-63-4801

FAX：0974-63-0995



はじめに、あなたのことについておたずねします。

問1 あなたのことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 男子 2. 女子	3. その他 4. 答えたくない	
(2) あなたの学年	1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生
(3) あなたの住んでいるところ 	1. 竹田 2. 岡本 3. 明治 4. 豊岡 5. 玉来 6. 松本 7. 入田 8. 姫岳	9. 宮砥 10. 菅生 11. 宮城 12. 城原 13. 荻 14. 柏原 15. 久住 16. 白丹	17. 都野 18. 長湯 19. 下竹田 20. その他

今の竹田市のことについておたずねします。

問2 あなたは、竹田市のこと好きですか。(1つに○印)

1. とても好きだ
2. どちらかといえば好きだ
3. どちらかといえば好きではない
4. 好きではない



問3 あなたは、これからも竹田市に住みたいと思いますか。(1つに○印)

1. 住みたい
2. どちらかといえば住みたい
3. どちらかといえば住みたくない
4. 住みたくない(できれば市外へ引っ越したい)



問4 あなたは、竹田市の魅力はどのようなところだと思いますか。

(3つまで○印)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 人がやさしい | 10. お医者さんにかかりやすい |
| 2. おいしい農産物がある | 11. お年寄りが元気だ |
| 3. 買物がしやすい | 12. 子どもを育てやすい |
| 4. 働く場所が多い | 13. 文化・スポーツ活動が盛んだ |
| 5. 魅力ある観光スポットがある | 14. 学校が充実している |
| 6. 道路・交通が便利だ | 15. 遊び場が多い |
| 7. インターネットが使いやすい | 16. 特によいところはない |
| 8. 自然や景色がすばらしい | 17. その他(※具体的に書いてください。) |
| 9. 災害や犯罪が少ない | () |

問5 あなたは、竹田市の課題はどのようなところだと思いますか。

(3つまで○印)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 人がやさしくない | 10. お医者さんにかかりにくい |
| 2. おいしい農産物が少ない | 11. お年寄りに元気がない |
| 3. 買物がしにくい | 12. 子どもを育てにくい |
| 4. 働く場所が少ない | 13. 文化・スポーツ活動が盛んでない |
| 5. 魅力ある観光スポットが少ない | 14. 学校が充実していない |
| 6. 道路・交通が不便だ | 15. 遊び場が少ない |
| 7. インターネットが使いにくい | 16. 特に不十分なところはない |
| 8. 自然や景色が悪い | 17. その他(※具体的に書いてください。) |
| 9. 災害や犯罪が多い | () |

これからの竹田市のことについておたずねします。

問6 あなたは、今後のまちづくりで、特にどのようなところに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○印)


- | |
|-----------------------------|
| 1. みんなで協力してまちづくりをしてほしい |
| 2. 都会の人や外国の人とふれあう機会を増やしてほしい |
| 3. 農林業・畜産を盛んにしてほしい |
| 4. 買物をしやすくしてほしい |
| 5. 働く場を増やしてほしい |
| 6. 観光を盛んにし、人がたくさん来るようにしてほしい |
| 7. 道路を便利にしてほしい |
| 8. バスを便利にしてほしい |
| 9. インターネットを使いやすくしてほしい |
| 10. 人が住む家を増やしてほしい |
| 11. 市外から移り住む人を増やしてほしい |
| 12. 公園や遊び場をつくってほしい |
| 13. 自然や景色を守ったり、市をきれいにしてほしい |
| 14. 火事や地震から守ってほしい |
| 15. 犯罪から守ってほしい |
| 16. 住民の健康づくりに力を入れてほしい |
| 17. お医者さんにかかりやすくしてほしい |
| 18. お年寄りや障がいのある人を大切にほしい |
| 19. 子どもがたくさん生まれるようにしてほしい |
| 20. 文化・スポーツ活動を盛んにしてほしい |
| 21. 学校を充実してほしい |
| 22. その他(※具体的に書いてください。) |
| () |



問7 あなたは、今後、竹田市をどのような特色のある市にすべきだと思いますか。
(3つまで○印)

<ol style="list-style-type: none">1. みんなで協力してまちづくりを進める市2. 農林業・畜産業を大切にする市3. 商工業が盛んな市4. 観光が盛んな市5. 自然や環境にやさしい市6. 快適で安全・安心に暮らせる市7. 健康づくりや福祉が充実した市8. 子どもの保育や教育が充実した市9. 文化活動が盛んな市10. スポーツ活動が盛んな市11. 歴史的なものを大切にする市12. その他(※具体的に書いてください。) <p>()</p>

問8 あなたは、次の活動の中で、今後、どの活動に参加してみたいと思いますか。
(2つまで○印)

<ol style="list-style-type: none">1. 自治会などの身近な地域における活動2. 自然を守る活動3. 市をきれいにする活動(掃除・空き缶拾いなど)4. 木や花を植える活動5. お年寄りや障がいのある人の手助けをする活動6. 郷土芸能を伝える活動7. 昔の遊びを体験する活動8. 身近な地域でのお祭り9. 身近な地域でのスポーツ活動10. 都会の人や外国の人とふれあう活動11. その他(※具体的に書いてください。) <p>()</p>	
--	---

自由意見を書いてみてください。

問9 最後に、あなたが将来に向けて市の行政(竹田市)に望むことや、まちづくりに関する意見・提案などがありましたら、自由にご記入ください。

自由意見欄

--



ご協力ありがとうございました。

竹田市 総合計画策定のための
まちづくりアンケート調査
(一般)

政策提案
政策提案内容
自由意見

令和4年3月

竹 田 市

目 次

政策提案	1
政策提案内容	7
自由意見	15

政策提案

回答者 番号	性別	年齢	居住地区	政策提案名
6	男性	60歳代	旧直入町	政策提案の募集事業。
17	女性	50歳代	旧竹田市	若年層を増やす。
24	女性	50歳代	旧竹田市	IT活用による効率化。
27	男性	60歳代	旧竹田市	資源を有効活用した他地域から学ぶ連続講演会・講座の開催。
31	男性	60歳代	旧直入町	ゴミのない町。きれいな町。
48	女性	50歳代	旧竹田市	規模の小さい避難所の整備。
52	女性	50歳代	旧荻町	雇用の場を増やして、若者の定住を促す。
54	男性	50歳代	旧竹田市	係員ではなく、責任者として仕事をしましょう。
58	男性	40歳代	旧荻町	若者が集まる企業の誘致。
71	女性	30歳代	旧竹田市	有機農業推進。
79	男性	50歳代	旧竹田市	高齢者の免許返納後の対策。
97	男性	40歳代	旧竹田市	公共施設の統廃合。
102	女性	60歳代	旧竹田市	観光ノ事業所。
114	女性	40歳代	旧竹田市	幼・小・中・高の存在の大切さを中心とした町づくり。
116	男性	60歳代	旧直入町	若い人の就労場所の確保。
118	男性	70歳以上	旧久住町	皆さんと一緒にがんばりましょう。
124	男性	70歳以上	旧竹田市	人口増加対策。
138	女性	30歳代	旧荻町	後継者世代への支援。
139	女性	30歳代	旧直入町	高齢者の運転事故を減らす為に、免許返納ができる交通手段を確保する。
145	男性	50歳代	旧荻町	自力主体性相互支援事業。
160	男性	30歳代	旧竹田市	若者が住み続けたいと思う町づくり。
170	女性	50歳代	旧荻町	農業(一次産業)が豊かになれば、その他の産業や市の財政も豊かになる。
174	女性	40歳代	旧久住町	今治市にならい、地産地消のまちづくり。有機給食を目標に。
180	女性	50歳代	旧竹田市	県立竹田高校、南高生JR通学に対する助成について。
181	男性	50歳代	旧竹田市	企業誘致、宅地開発、空き家対策。
190	男性	60歳代	旧竹田市	岡城に昔のように食堂兼売店を。
196	女性	60歳代	旧竹田市	道路が狭いので、広くしてもらいたい。
197	男性	70歳以上	旧竹田市	埋もれた自然の開発。

政策提案

回答者 番号	性別	年齢	居住地区	政策提案名
198	女性	60歳代	旧荻町	
201	男性	70歳以上	旧竹田市	リモート地方都市。
209	男性	70歳以上	旧竹田市	
223	男性	40歳代	旧竹田市	高齢者対策。介護施設を充実させるとともに、介護士の給料を上げる。
232	女性	60歳代	旧荻町	若者が帰って来る竹田市。
238	女性	30歳代	旧竹田市	長生き支援。
242	男性	70歳以上	旧竹田市	高齢者等と児童の縁居
244	女性	50歳代	旧竹田市	上下水道について。
247	男性	60歳代	旧竹田市	テレワーク移住推進事業。
249	女性	40歳代	旧荻町	
258	女性	70歳以上	旧久住町	田舎故交通手段を早急に！！
259	女性	60歳代	旧久住町	少子化の対策。
261	女性	40歳代	旧荻町	“時給自足”を広める為に今やるべき事。
264	男性	40歳代	旧久住町	市民の健康寿命を延ばすための道路設備。
265	男性	50歳代	旧竹田市	もっともっと、女性を活用。
275	女性	40歳代	旧竹田市	特にございません。
279	女性	30歳代	旧竹田市	高校生までの教育の支援。
284	男性	40歳代	旧竹田市	農業用用水路の高度利用。
288	女性	70歳以上	旧竹田市	若い人をふやす事。
292	女性	40歳代	旧竹田市	こども議会。
293	男性	50歳代	旧竹田市	環境企業の竹田市進出。地域型小型水力発電。
312	男性	60歳代	旧久住町	・道路の整備。 ・高速道路の新設。
315	男性	60歳代	旧久住町	
325	男性	60歳代	旧竹田市	市長が変われば竹田市は良くなるかも？
326	-	-	-	農政。
330	男性	40歳代	旧竹田市	1コイン循環バス(巡回バス)。
331	女性	60歳代	旧竹田市	人口減の対策(新たに会社を竹田市へ)。
338	女性	60歳代	旧竹田市	回帰竹田。

政策提案

回答者番号	性別	年齢	居住地区	政策提案名
345	女性	50歳代	旧竹田市	
354	女性	40歳代	旧竹田市	
380	男性	60歳代	旧竹田市	言ったモン勝ち！！
392	男性	50歳代	旧竹田市	タクシー業界の人手不足解消の対策。
399	男性	40歳代	旧竹田市	
402	男性	40歳代	旧荻町	玉来川の治水対策。
414	男性	60歳代	旧竹田市	
422	男性	30歳代	旧久住町	・久住高原ロードパークの買取り。 ・市中ポイントの発行。
423	男性	30歳代	旧竹田市	マイナンバーカードの有効活用を。
424	女性	40歳代	旧竹田市	人口減少竹田の展望。
428	男性	30歳代	旧竹田市	行政サービスに対する住民満足度向上。
431	女性	40歳代	旧竹田市	田舎から世界へ。
439	男性	30歳代	旧竹田市	
444	女性	50歳代	旧久住町	働き方改革。
455	男性	70歳以上	旧直入町	行政(議員の方)との話し合いが欲しいと思う。
457	-	-	旧久住町	久住町は室家が多く、だれも通ってない。
458	男性	70歳以上	旧竹田市	市内居住の人口減少の取り組み！
463	男性	50歳代	旧荻町	
477	女性	50歳代	旧竹田市	竹田市限定SDGsで健康に。
478	男性	50歳代	旧竹田市	土居市長を名物市長にして産業・農業の振興を支えるために市民で総学習向上！！
479	男性	50歳代	旧竹田市	自治体主導の「働く」を支える活動と仕組みづくり。
481	-	-	-	御所作り先祖化への道すじ。
494	女性	60歳代	旧直入町	
533	男性	20歳代	旧久住町	IoT特区。
596	男性	40歳代	旧久住町	学校給食の無料化。
623	女性	50歳代	旧荻町	
721	男性	50歳代	旧直入町	企業誘致。
725	答えたくない	20歳代	旧竹田市	里山のミニバイオマス燃料の活用事業。

政策提案

回答者 番号	性別	年齢	居住地区	政策提案名
727	女性	50歳代	旧竹田市	(子供対象の)文化・芸術の振興。
728	男性	70歳以上	旧竹田市	交通政策において。
730	男性	30歳代	旧竹田市	竹田定期市(Taketaマーケット)。
731	男性	60歳代	旧竹田市	阿蘇・くじゅう学園都市開発計画。
734	女性	30歳代	旧竹田市	住みやすい環境・医療、福祉の充実で皆で支えあう市。
735	男性	40歳代	旧竹田市	市役所(行政)への改革提案。
736	女性	60歳代	旧竹田市	労働対価日本一。
738	女性	50歳代	旧竹田市	市役所に要望です。
746	男性	40歳代	旧竹田市	
748	女性	70歳以上	旧竹田市	
749	女性	70歳以上	旧久住町	
752	女性	20歳代	旧久住町	公共交通機関の充実。
758	女性	30歳代	旧直入町	耕作放棄地の有効活用。
760	女性	40歳代	旧久住町	空き家Re・build Project,
764	男性	70歳以上	旧竹田市	街全体が暗いのもう少し明るく街灯を増やしてほしい。学生も多いので夜道は危ないと思う。
766	男性	70歳以上	旧直入町	改革。
770	男性	40歳代	旧竹田市	旧町村の重要性の見直し。
774	男性	30歳代	旧荻町	子育て支援政策。
776	女性	50歳代	旧竹田市	・観光地として店の数が少ない。もっと個性的な店の数を増やし、滞在時間をのばす。 ・休耕田の活用、再生。市内全体で自給自足できるレベルから、他地域へ輸出できるレベルにする(働く場を増やす)。
778	答えたくない	70歳以上	-	コンビニ、サービス業、買い物店舗の充実。
780	男性	50歳代	旧久住町	高齢者に魅力のある街づくり。
785	女性	50歳代	旧久住町	・どんどん企業を増やしてほしい。 ・野焼の貸金をあげる。 ・補助金の充実。 ・老人、子供が住みにくい。 ・レンタカー屋がない。 ・交通手段が少ない。
787	男性	40歳代	旧竹田市	市公共施設の有効活用方法の公募。
788	男性	50歳代	旧久住町	資源の活用、農業の法人化。
789	男性	20歳代	旧竹田市	Tタケタナルド(マクドナルドの様な店)。

政策提案

回答者 番号	性別	年齢	居住地区	政策提案名
792	男性	60歳代	旧竹田市	企業誘致。
794	男性	20歳代	旧荻町	姫島村のような自治体職員を増やし雇用創出、人口流出を防ぐ政策。
799	男性	60歳代	旧久住町	竹田市内には、立派な文化財が多くあります。今まで、行政主導の下で行ってきていると思います。市民一丸となって観光に取り組み、お客を多く呼び込む様すれば、活性化につながると思います。
800	男性	50歳代	旧竹田市	高齢者福祉満足度日本一の街たけた。
801	女性	70歳以上	旧竹田市	企業誘致。
803	女性	40歳代	旧荻町	暮らしのサポートセンターを就労の場に。
806	男性	40歳代	旧竹田市	コンパクトシティ化。
808	男性	50歳代	旧荻町	企業誘致(大規模)。
814	男性	50歳代	旧久住町	「個に応じた教育」実践都市

政策提案内容

回答者番号	性別	年齢	居住地区	政策提案内容
6	男性	60歳代	旧直入町	住民が身近に感じている課題を解消するために、行政と地域が知恵を絞り、アイデアを出し合って、活性化策につなげる事業です。
17	女性	50歳代	旧竹田市	若い人達が住む街をつくるには、まず働く場所が必要です。そのためには市に企業を誘致して、働ける場所を増やしてほしいです。
24	女性	50歳代	旧竹田市	窓口サービスをネットからアクセスできる。
27	男性	60歳代	旧竹田市	竹田市には魅力的で素晴らしい資源が豊富にあるのにもかかわらず、それらがまちづくりに活かされていらない。それはまちづくりに対する市民の意識・意欲の低さや活力のなさが原因として考えられ、さらに豊富な資源についての自覚のなさもあると思う。そこで、他の地域で資源を有効活用しているまちづくりのリーダー等を招く講演や講座を、職員はもとより、市民対象に連続開催する。
31	男性	60歳代	旧直入町	ゴミを出さない、捨てない、きれいにする運動をする。
48	女性	50歳代	旧竹田市	規模の小さい避難所は、大きな災害の時は開けないなどの決めごとがありますが、高齢者が多い地域でこれではいけないのではないかと。また高齢者や障がい者など、自分で避難できない方をしっかりと把握し、漏れの無いよう名簿を作り、いざというときに協力できる体制が必要。
52	女性	50歳代	旧荻町	産業の誘致をする。
54	男性	50歳代	旧竹田市	「他人事としてではなく、自分事として言動すれば、自分が変わり、他人も変わります。」と言うが、おそらく現場の方々は一生涯懸命にされているのが良く伝わっていますが、その方々の上司とでも言いませんか。相談すべき上司が無関心すぎます。困っている部下を放置している部署が多々見受けられます。ふんぞり返っている上司を降格しなければ、どんなに市長が頑張っているても、無駄でしょうね。期待していますよ！！土居市長！！
58	男性	40歳代	旧荻町	今後、中九州広規格道路の整備が行なわれ、交通の便も良くなるから。
71	女性	30歳代	旧竹田市	有機農業者受け入れと整備(制度)自然と共生、心豊かな人づくり、支えあう暮らし、地域性全てにつながると思います。
79	男性	50歳代	旧竹田市	高齢者の免許更新が難しくなるので、病院や買い物が大変になり、タクシー補助券など対策が必要となると思います。また、病院の送り迎えの車にも補助金が必要になると思う。10人に3人ぐらいいか更新できないという話もある。国民年金のみの人にも何らかの対策が必要になると思う。今までは子どもがある程度サポートしていたが、子どもがいない人が増加すると思うので。
97	男性	40歳代	旧竹田市	旧小学校区単位での考え方の見直し。500人に満たない校区もあり、地域として限界。2030年までもたない。
102	女性	60歳代	旧竹田市	竹田に来て良かったと思える様な、また竹田に来たいと思って頂けるイベントにして下さい。働く事業所があれば、若い人達が増えると思う。今近所は年配の方がほとんどです。

政策提案内容

回答者番号	性別	年齢	居住地区	政策提案内容
114	女性	40歳代	旧竹田市	今の竹田を支えてくれる存在は子ども達。幼・小・中は元より、大分県内の子ども達が通学してくれる高校の存在価値は、竹田には非常に大きいと思う。通学路や列車を待つ間の場所の確保。それを支える市民の協力など、学生が集い、竹田の魅力を感じてもらえるよう考えてまちづくりをしてほしい。
116	男性	60歳代	旧直入町	
118	男性	70歳以上	旧久住町	竹田市がよくなりますように。
124	男性	70歳以上	旧竹田市	20～50才代の働く世代が住める環境づくり。例えば、子育て出来る働く場所をつくる。
138	女性	30歳代	旧荻町	補助金。
139	女性	30歳代	旧直入町	竹田市内でも、アクセルとブレーキを踏みまちがえ壁にぶつかる、バンパーが破損したまま走行する高齢者の車を目撃してきました。重大事故が起きる前に、免許返納ができるように乗り合いタクシーの全地域への配備を提案します。バスが通っていない路線が多い為、バス停まで遠く歩いていけない為、タクシーがよいです。
145	男性	50歳代	旧荻町	地元にいる方々を重要視し、ボランティアとかNPOとか、〇〇応援隊とかはいらない。地元の人が立ち上がらないのに、外部の方々が出来るわけがない。地元地域でもっと密に話し合い、協議を重ね、各自治会長を中心にまきこみ、地域の必要性をとき、これからくる人口減、高齢化に対応すべき事を常に考えていくこと。
160	男性	30歳代	旧竹田市	竹田市は低賃金の割りに家賃が高く、実家を出て一人で生活したいと思っても難しく、市外に出るしかなかった。全体的に家賃を下げる。または祝い金制度など、竹田市で暮らす具体的なメリットが欲しい。
170	女性	50歳代	旧荻町	基幹産業である農業振興無くして、竹田市の安定と発展はない。いかにして後継者を育てるかに重点を置くべき(UF1ターンによる農業者を育てる)と考えます。今まで以上に人・金・情報を投入すべきだと思います。
174	女性	40歳代	旧久住町	子どもたちは市にとっても、未来をつくる宝の大切な命です。家庭でごはんを食べれない子供も増えていると他市では聞きますが、行政が主体となり、この取り組みをすれば、移住者も増え、活気ある市に生まれ変わると思います。
180	女性	50歳代	旧竹田市	この2校が市内からなくなった場合、経済の損失はとても大きく、賑わいもなくなってしまいます。JRの利用者も少ないことや、竹田高、南高に通学する市外の人を増やし、進学校の指定が継続するよう何か施策が必要と考えます。大分市に行かなくても、竹田高で難関大学を目指せる人材育成に力を注いでほしいです。
181	男性	50歳代	旧竹田市	
190	男性	60歳代	旧竹田市	岡城に昔のように食堂兼売店を作ってもらいたい。
196	女性	60歳代	旧竹田市	

政策提案内容

回答者番号	性別	年齢	居住地区	政策提案内容
197	男性	70歳以上	旧竹田市	旧祖峰中前河川の七連橋の水路橋上流から下流は、河川両岸の雑木がなくなると、ミニ高千穂峡と名水の水源がなくなると、観光資源となるのではと思います。ユネスコエコパークの関連で！開発したら！地域主導で。
198	女性	60歳代	旧荻町	中九州道は竹田中心部(全々)まで来ましたが、荻町への早期完成をしてこそ“中九州道”の名称にあたると思います。人口激減に拍車をかけないよう、早期に！！
201	男性	70歳以上	旧竹田市	コロナ禍で東京周辺都市に若者が移住している。竹田の住環境を活かして、リモート地方都市を目指す。四国などで成功している事例もあり、竹田も検討すべきです。就労(雇用)の形態を創造して、若者の魅力ある町にする。
209	男性	70歳以上	旧竹田市	今のところありません。市政担当者のお手並みまち。
223	男性	40歳代	旧竹田市	介護施設を増やし、低価格で利用できる。介護従事者の給料を上げて、雇用を増やす。市民税が上がってもかまいません。
232	女性	60歳代	旧荻町	働く場所かな？
238	女性	30歳代	旧竹田市	老人ホームに入りたくても入られない「要支援1」の人とかにも、援助の手が届くようなこと。
242	男性	70歳以上	旧竹田市	人生を生き抜いた高齢者と、様々な要因で課題を抱えている児童の縁居の場を創ることで、それぞれの課題解決につながり、役割を生む。
244	女性	50歳代	旧竹田市	田舎は毎月点検で3000円支払わないといけない。高すぎる。
247	男性	60歳代	旧竹田市	子育て、教育、スポーツ施設、ネット環境、住宅他、整備して都市から人を誘致。
249	女性	40歳代	旧荻町	交通機関(JR)充実。
258	女性	70歳以上	旧久住町	買物に出る手段ない。
259	女性	60歳代	旧久住町	なぜ子供が少なく、小中学校が統合になるかを…。このままだと市政が危ない。
261	女性	40歳代	旧荻町	外国から物が届かないとなげくのではなく、自分の国で作る努力をすること。
264	男性	40歳代	旧久住町	各地域にウォーキングをするためのコースを作成。(といっても、いまある道路に100m、200m、300mとコースを作る。それに合わせて街灯も整備。冬期にもできるよ。)特に久住のバイパスには夕方になると、犬の散歩や自分の散歩をするために、頭にヘッドライトを付けて運動をする市民の姿があります。竹田地域には総合グラウンドなどがありますが、各地域にある程度近い位置に街灯がある1～2kmのロードコースがあれば、行き来して、暗くなっても運動ができ、健康寿命を延ばすことにもなり良いと思います。街灯はお金がかかりますが、道路にマークをするだけなのですぐできそうですが…。

政策提案内容

回答者番号	性別	年齢	居住地区	政策提案内容
265	男性	50歳代	旧竹田市	今現状男性目線で何事も決められており、これからの時代は女性の目線も積極的に取り入れて行き(女性を活用)、女性の活動の場をふやしてほしい。
275	女性	40歳代	旧竹田市	
279	女性	30歳代	旧竹田市	現在中学生までが医療費無料ですが、ぜひ高校生までにしてほしい。また義務教育(小・中学校)間の給食費無償化。
284	男性	40歳代	旧竹田市	現在農業用用水路の活用は充分とは言えない。長大かつ流量の多い用水路によって発電を研究・開発・事業化する事は、最重要且つ、コストパフォーマンスに優れていると思われる。
288	女性	70歳以上	旧竹田市	皆さんが協力していきましょう。
292	女性	40歳代	旧竹田市	小、中学校の生徒は町づくりについて考えています。実際に市長や議員の方々ともども議会を行い、若い声にも耳を傾けてほしいです。
293	男性	50歳代	旧竹田市	豊かで美しい水と土地を活用して、風力発電、太陽電池などの企業を誘致する。10～30件に一台の水力発電で電力をまかなう。
312	男性	60歳代	旧久住町	中央線、木等の伐採。
315	男性	60歳代	旧久住町	とにかく人口を増加させるのが大事だと思う。そのためには若い人の働く場所が大事だと思う。またテレワークなどで出社する必要がないのなら、竹田市内に移住してもらうのも可能になるのでは。
325	男性	60歳代	旧竹田市	
326	-	-	-	農業者の高齢化が進んで、放棄地が増えています。休耕田を復活させる政策はないのでしょうか。
330	男性	40歳代	旧竹田市	竹田市を巡る循環バスの導入。
331	女性	60歳代	旧竹田市	若者が働く場所があれば、徐々に人口増につながると思う。収入も増し、税のアップにも。
338	女性	60歳代	旧竹田市	2代目、3代目が帰竹し、生活(日常子育て)ができる。初来竹の人が生活できる。竹田を飛び出しても、また竹田に、子育てができる生活でしょうか。
345	女性	50歳代	旧竹田市	健康で生活し続けていけるよう、身体をきたえられるよう、竹田市内にも、市で運営していただける、スポーツジムみたいな所を作っていただきたい。
354	女性	40歳代	旧竹田市	人数の少ない学校に幼稚園は統合する事に賛成です。子供は多くの友達の中で過ごす方が楽しい。
380	男性	60歳代	旧竹田市	先日、TVで(ゆずコショー発祥が日田!!)と放送されていたが、真意にかける部分がある。見た人は信用する。竹田市民は(市政)はとりあえず、何でもかんでもん発信すべし。
392	男性	50歳代	旧竹田市	ドライバーの高齢化深夜の人手不足を解消できる様、補助金・助成金を活用し、賃金を上げ、業務の改善を図り、人材の確保を行う。

政策提案内容

回答者番号	性別	年齢	居住地区	政策提案内容
399	男性	40歳代	旧竹田市	おそすぎた。言うべきは10年前に伝えた。
402	男性	40歳代	旧荻町	滝水川に治水ダムの建設を提案する。南河内地区が最良。
414	男性	60歳代	旧竹田市	企業誘致を積極的に行い、市を活性化させる。
422	男性	30歳代	旧久住町	・自転車(ロードレーサー)競技大会や合宿の開催。ツールド久住(竹田)を。 ・ボランティア等の参加に竹田市内でのみ利用できるポイント(Tポイント)を付与。行政が支払う報酬等も一部ポイントにすれば良い。
423	男性	30歳代	旧竹田市	コンビニ交付など、カードを持つ事による利便性を増やす。カードの空きエリアを市のサービスに使う(図書館の貸出カードなど)。
424	女性	40歳代	旧竹田市	地方自治の充実による地域再生社会の実現。
428	男性	30歳代	旧竹田市	市民意識調査等を実施し、市役所への印象を記入できるような調査内容にし、行政サービスの向上をはかる。
431	女性	40歳代	旧竹田市	今はインターネットで、場所関係なく世界とつながる事が出来ます。そういう方たちが「住みやすい町、住んでみたい町」と思えば、人口増加につながるかと思います。
439	男性	30歳代	旧竹田市	若者の雇用を増やす為に企業立地を！
444	女性	50歳代	旧久住町	正社員でも兼業可や他職も柔軟に働けるなど。
455	男性	70歳以上	旧直入町	
457	-	-	旧久住町	日曜などは一人も歩いていない。さみしい。
458	男性	70歳以上	旧竹田市	日本国籍の有無に関わらず移住者を受け入れて、地域崩壊をくい止めて欲しい。
463	男性	50歳代	旧荻町	もっと農業に力を入れてほしい。
477	女性	50歳代	旧竹田市	規格外の農産物を格安で購入できるシステムにより、経済的に厳しい人も食べて健康になれるとくみ(生産者と関わりのない方はすべて購入している現状の不公平感より)。
478	男性	50歳代	旧竹田市	税金があがることをおそれず、その分充実した町づくりをして市民へバックしてほしい。情報化社会なので他県他市のよいところをパクって、土居市長オリジナルな形にして市民サービスをしてほしい。
479	男性	50歳代	旧竹田市	少子高齢化が進み、生産年齢人口の割合や実数も減少している。若年層も都市へ流出し、このままでは地域の産業が衰退し、介護・医療・福祉など全ての産業が人材不足。雇用と求職者のミスマッチも多い。求職者や求職準備者の支援が重要。
481	-	-	-	政治天皇作成化、行政審判長、司法審判長、立法審判長早期達成化、性的自由化、子ども満杯他事業。

政策提案内容

回答者番号	性別	年齢	居住地区	政策提案内容
494	女性	60歳代	旧直入町	2040年、2080年の竹田市の人口や環境をととのえるため、ICT整備はあまらめないですすめてほしい。市外県外海外の力が必要。
533	男性	20歳代	旧久住町	世界的に見ても最新のIoT技術を導入し、注目される町づくり。
596	男性	40歳代	旧久住町	竹田市内の小中学校の生徒が年々減少している中、給食は市が負担しても良いのでは。
623	女性	50歳代	旧荻町	竹田市の建物。本町マルショック横とかは必要ない！
721	男性	50歳代	旧直入町	若者が住みやすく、働ける職場が少しでも増えてほしいと思っています。高規格道路が竹田まできたのですから、誘致にももっともって力を入れて下さい。みんなが豊かになってほしいです。
725	答えたくない	20歳代	旧竹田市	しいたけの有数の産地である竹田。高齢化によって、活用されていない、もったいない。クヌギ林、そのクヌギを伐採して薪ストーブの燃料にする(化石燃料も高騰中)。市民がマキストーブを導入する際、市が導入費を補助する。導入した人は市内産の認定薪業者(個人も可)から購入することを条件にすれば、雇用と産業が生まれるのではないかと思います。
727	女性	50歳代	旧竹田市	子ども(高校生まで)1人につき年額 円の補助をつけて、グランツたけたを利用しやすくする。(もちろん不正利用には厳しく対処。就学支援等、受けている家庭には更に手厚く。)
728	男性	70歳以上	旧竹田市	久住山系など素晴らしい山があるのに…すべて…マイカーまかせにしており、車のない人は、バスにたよるしかない…が…それもない…せめて…南登山口・花公園・又は、赤川入口あたりに…8時から9時頃に着くバス等は、もう、夢物語に終わってしまうのか？もったいないかぎり！
730	男性	30歳代	旧竹田市	イベントは定期的に(月一など)行うことが大事である。もぬけの殻である交流プラザで、物産展、青空マーケットなど行うことで、交流プラザの職員のためにもなると思われる、いつも何をしているのですか？もぬけの殻のプラザ、座っている？だけにみえて目に余ります。
731	男性	60歳代	旧竹田市	東京六大学の分校の誘致。
734	女性	30歳代	旧竹田市	市営等の屋外の環境設備と安全、増設のアパートや戸建ての増設、家賃下げて、若い人やお年寄りが生活しやすい環境設備を整える。1人暮らしのお年寄りが集まる住宅があれば、ケアマネ等があちこちなくても、行動範囲を縮小でき、その分時間も効率よく支援できる！？看護師や福祉士等を増やし、医療の充実。個人病院等、家族が面倒を見ない人のたまり場！！現場では人手不足！！家族も、もっと考えるべき！！支援の案内や介護認定の手順の案内をこまかくする！
735	男性	40歳代	旧竹田市	元地域おこし協力隊とし3年間、竹田行改内で勤務した上で行政へ改革の必要だと確信しましたが、具体的提案には欄不足の為省略しますが、「行政を活かす」ための体制が必要。
736	女性	60歳代	旧竹田市	最低賃金の大幅アップを市全体で取組み、若者が定住し、赤ちゃんを安心して出産育児していける環境づくり、人口減少の歯止めにもつながると思う。

政策提案内容

回答者番号	性別	年齢	居住地区	政策提案内容
738	女性	50歳代	旧竹田市	高齢者が増えて、交通の便も悪い中、ちょっとした内容の事ならただ庁舎内で仕事だけをせず、必要な家庭に足を運び、用事を終わらせてあげるのも大切ではないでしょうか？時にはそんな気づかいが有っても良いのでは？！
746	男性	40歳代	旧竹田市	自由意見にまとめました。
748	女性	70歳以上	旧竹田市	急なことで頭に浮かばない。
749	女性	70歳以上	旧久住町	・粗大ゴミについて、木製の物について、50cm四方に切断して分解して出すというのが現状です。しかし、高齢化の進んだ今では対応が難しく、一通りの選択しかできないので困っています。そのせいか、最近ではリサイクル回収に回って来ますが、それに出すのも不安です。 ・悪くなってからでなく、健康な人達が健康に、年を重ねていく為にも、プールや筋トレなど出来る施設が欲しいものです。
752	女性	20歳代	旧久住町	高齢者のための移動手手段の充実や利用料の値下げ。
758	女性	30歳代	旧直入町	使用されずに放置されたままの畑(ハウス等)を有効活用するために、市民と行政が一体になり連携し、耕作放棄地を減少させていく。
760	女性	40歳代	旧久住町	空き家が残っている場所は、見方を変えれば先祖が昔からそこに住んでおり、災害にあわずに建物が残っている安全な地域なのだと思います。その場所にある家をリフォームする、あるいは建てかえる費用の補助をもっと市にしてほしい。そして空き家の調査を積極的に行ってほしい。(空き家バンクのHP「+ build」があるのは知っていますが、現状の空き家軒数に比べ登録数が少なすぎる。)
764	男性	70歳以上	旧竹田市	
766	男性	70歳以上	旧直入町	採算にとらわれすぎ。学校問題も例外ではない。その地の文化も大事に。
770	男性	40歳代	旧竹田市	市・中心部以外の活性化ではなく、各地域の文化・学校の維持、存続を重視した町づくり。
774	男性	30歳代	旧荻町	子育ての大切さを先生や講師など呼んで、子育て初心者などはどのような子育て支援などがあり、どのような場合など使用できるかを知り、活用できる様説明。どのように子育てを行っていけば良いかなど、子育てのしかたなどレクチャー。
776	女性	50歳代	旧竹田市	
778	答えたくない	70歳以上	-	久住線に。
780	男性	50歳代	旧久住町	県内外の、健康でお金に余裕のある高齢者が移住したくなるよう、専用の集合住宅(医療一体型)の建設を、土地の無償提供という形で民間から誘致する。
785	女性	50歳代	旧久住町	市長、教育長が自らオピニオンリーダー及び市民のみなさんの声を聞いてほしい(グランツで)。

政策提案内容

回答者番号	性別	年齢	居住地区	政策提案内容
787	男性	40歳代	旧竹田市	人口が増々減っていく中で、新しい建造物はいらない。建てたのであれば、しっかり金を生んで欲しい。
788	男性	50歳代	旧久住町	竹田市の自然資源を最大限に活用し、農業の法人化で雇用を促し、6次産業まで行う。
789	男性	20歳代	旧竹田市	期間限定でも良いので、ファーストフード店の様な店を出店してほしい。(竹田の商店街の方の協力で、月替わりで)例、菅生のふじの屋ドッグ(買って食べたがおいしかったが、セットで竹田市内で販売してほしい。)丸福のチキンナンバンバーガーセットとか、肉屋さんのコロケバーガーセットや、クローネのケーキバイキングとか。
792	男性	60歳代	旧竹田市	企業誘致を行い、若者の定着を図る。
794	男性	20歳代	旧荻町	若者の雇用を増やすために市の職員数を増やす。給料は最低限のものとし、現在の半分以下とするが、手当なども変更せず身分も正職員とする。労働時間は数時間から半日とし、残りの時間は人手不足の農林業や建設業、接客業や個人で事業させるなど実質的な副業を認めて経済活動をさせる。姫島村のようなワークシェアリングを見本として人口流出を防ぎ、雇用を増やす。
799	男性	60歳代	旧久住町	
800	男性	50歳代	旧竹田市	全国的に見ても竹田市は高齢化率が高い。それなら、その現実を竹田の(全国の)先進的な取り組みにより、移住、定住につなげるのはどうでしょうか？
801	女性	70歳以上	旧竹田市	若者が働くところがなければ子供も少なくなり、老人ばかりになります。
803	女性	40歳代	旧荻町	高齢者のみならず、全世代が対象のかよいの場であることを広くアピールし、市のバックアップを得て、生きづらさを抱える人などのフレキシブルな就労の場に発展させる！！
806	男性	40歳代	旧竹田市	とにかくコンパクトシティへ！！
808	男性	50歳代	旧荻町	地域の活性化と就労先の確保ができれば、過疎化や人口流出は防げる。大規模な企業を誘致し、地域の活性化と地域からの雇用を目指すべきである。
814	男性	50歳代	旧久住町	竹田市の子ども数を踏まえると、全児童、生徒を1校に集約しても、結局「小規模校」のままです。これでは市が進めている「集団での競争を通して育む教育」はそもそも実現できません。であるならば、小規模校を地域に残し、「個人に応じた教育」を行うことで教育の充実を図ってはどうか。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
2	女性	60歳代	旧久住町	「まちづくり」アンケート＝旧、竹田市の事が主になるのだらうと思ってしまう。私が住む久住は「まち」ではなく、「むら」の色が強いと思うので、言葉自体に違和感を覚える。行政の質が低すぎる。
6	男性	60歳代	旧直入町	総合計画書であれば、画一的なやり取りに留まらず、政策立案・提案のシステムを導入して欲しい。〇〇の有休地・有住施設をどうするのがいいか？各地域ごとにピンポイントで意見交換するチャンスを設けて欲しいです。がんばってください。
7	女性	50歳代	旧直入町	計画をつくってもやらないでしょう。読んだり見たりしますか？
8	女性	40歳代	旧直入町	若者が安心して帰ってこられる町づくり。(働く場所)移住を考えて探している方たちにとって魅力的な町(特に子育て、学校)。
11	女性	60歳代	旧竹田市	元気に働ける一人暮らしの高齢者が住める施設があれば良いと思います。寝泊まりは施設で、朝お弁当を持って農作業をする為に自宅に帰り、夕方には施設に戻り、体調チェックなどが出来る様な生活が出来れば良いのではと思います。
14	男性	30歳代	旧竹田市	中九州道の早期完成を願います。
18	女性	70歳以上	旧竹田市	地域を見ても高齢者ばかり。地域の活動もいっぱいいっぱい。尻杓まり状態。どうしたら、子ども達の笑い声の聞こえる竹田市になるか。わかりません。
20	男性	30歳代	旧竹田市	多くの高齢者が自動車を運転する環境であるのに、学生の通学路が狭少で、歩道やガードレールが整備されているとはいえない。田舎ほど、自動ブレーキ付きの車や、自動運転(サポート車)への乗り換えを推進してもらいたい。
22	女性	60歳代	旧直入町	学校の合併には反対です。学校がなくなると、町がさびれて行きそうです。
27	男性	60歳代	旧竹田市	これまでも竹田市のまちづくりについて、市で総合計画やそれに当たるプランに沿って施策が講じられていると思うが、市民から見て、よく見えるものもあるが、よく見えないものが多いというのが、正直なところ。それだけ市の広報活動の課題が多いということですが、このようなアンケートに際しても、これまでの総合計画の概要などを資料として提示した上でアンケートに答えるようにしなければ、答えづらい項目が多いです。
28	女性	60歳代	旧竹田市	岡城跡は竹田のシンボルの様になっていて、実際すばらしいのですが、ただそれだけで、町に出れば全く何もなく、さびしさだけが強く感じられません。 (竹田に戻って来た当時)以前(数十年前)は、もう少し活気を感じました。町の一部分でも、活気を感じさせる町づくりが一歩かななどと感じています。
31	男性	60歳代	旧直入町	市の助成金補助会の運用は持続継続するための管理費まで考えて、効果的に運用してほしい！補助金を出してまで造らせたダムウェイボードの施設は、はやく撤去して自然にもどしてもらいたい。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
36	男性	20歳代	旧竹田市	差別などない、安心して誰もが暮らせるまち。
40	男性	60歳代	旧竹田市	人口減少対策。
48	女性	50歳代	旧竹田市	市役所の窓口(特に市民課)の方の対応が良くないことがあります。切り捨てるような言い方をする方がおられ、大変不快でした。(高齢者の方に自分で考えてみたい説明をしていた。)勤務歴の長い方ほど、横柄で態度が良くない職員さんが多いように感じます。再度改善に勤める意識を持ってほしいです。
52	女性	50歳代	旧荻町	これから年をとって、車の運転ができなくなった時、買い物や病院など、どうやって行ったらいいのか不安です。便利のいい都市部への移住も考えています。
55	女性	50歳代	旧竹田市	住み慣れた街なので、元気ある竹田市であってほしいと願っています。人口減少、高齢化は進んでいますが、豊かな自然や農作物等がほれる街なので、若者や他県からの移住者にPRして、活性化ある街づくりをこれからも進めていってほしいです。協力できることはしていきたいです。
58	男性	40歳代	旧荻町	竹田市の中で、若者が多く集まる所(働く所)を参考にしてみてください。
60	女性	70歳以上	旧竹田市	市の建物が多く活用してないように思います。
63	女性	60歳代	旧竹田市	市役所の内職員の雑談が多い様に感じます。
66	-	-	-	議員が多い。竹田市の将来、いまさらどうしたものかと思う。
67	女性	60歳代	旧荻町	町内に食料品店がもう少しあると良いと思う！！
71	女性	30歳代	旧竹田市	このような機会を頂き、ありがとうございます。竹田市民になって間もない為、これからもっと竹田市について学んでまいります。よりよいまちになりますように....
72	女性	60歳代	旧竹田市	市の発展、住民が安心、安全に暮せる事、活気ある町づくり若者の働き場(企業...)問題をたたき出し、1つつつ少しでも改善して行ってほしい！！これからどんな世の中になるかわからないが、農業が一番大切だと思う。災害がきても、食料難がきても強い。農家農業を大切にしてほしい。竹田の特徴、特産をいかした政策を！！
73	女性	40歳代	旧竹田市	空き家対策をして欲しい。取り壊しの補助金を出したり、安く貸したりしてはどうか？竹田市の賃貸アパートは築年数が経っている割に、家賃が高い。同じ家賃で大分市内で築年数の浅い物件が沢山あるので、若い人達は市外に出ていくのではないのでしょうか？

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
85	男性	70歳以上	旧竹田市	特にありません。現状で進みましょう。
87	男性	50歳代	旧久住町	中九州道を日田インター、熊本空港までつなげてほしい。
89	男性	30歳代	旧竹田市	雇用の充実、人口減少対策を積極的にしてほしい。街灯のLED化を進めてほしい。
91	女性	60歳代	旧久住町	竹田へ移住したいと考える人を何人か知っていますが、まず住居を見つけにくい仕事につく時、身元引受人が居ない、市の補助も少ない等、市の受け入れ態勢が充実していない為、断念してしまうそうです。若い人達が子供を連れて移住し、安心安全に住める市になると良いと思っています。「まちづくり」と言うならば、1ヶ所のまちに片寄せず、どのまちにも公平に資金を投入すべきだと思います。
95	女性	40歳代	旧竹田市	商工会の動きが見えない。昔から竹田市民は“よそ者を受け入れない”傾向。実際店を出そうとしたが、商工会からいい顔されなかったため、市外に出たという話を聞いたことがある。行政と商工会が一緒になって盛り上げるべきかと。また日曜日観光客がいるのに、店を閉めるのは、あんまりだと思ふ。
97	男性	40歳代	旧竹田市	文化関連にやさしすぎる。小中学校の見直し、幼稚園・保育所の統合必要。民間で提供できるサービスを行政をする必要はない。住民の意識改革も必要。高齢化で行政依存がよくなっている。
100	女性	50歳代	旧竹田市	これから次世代の子どもたちが暮らしやすい環境であることを望みます。 例・光回線がケーブル一択ではなく、民間いくつか選択できる自由性。 ・田舎の方や経済的理由で浄化槽を入れられない家など、地域の環境(排水の問題)改善がないでしょうか。 ・市全域でというよりも個人の小さなコミュニティで光のような、小さな暮らしの集合体のような竹田(竹田スタイル)。 ・個人宅で使える太陽光以外の自然エネルギーの実現。
101	男性	40歳代	旧荻町	竹田市は農業が盛んだと思うので人口増に繋げるためにも、色々な作物を対象に収穫体験、就農するためのノウハウがわかる講習等を実施して、将来竹田市に住んでもらえる様にと望みます。実施出来た際に受入先の農家、宿泊先の提供を行政の方で確保してもらえるとよい。
102	女性	60歳代	旧竹田市	税金、給食費等、払うべきものを徴収を強化していただきたいです。観光、特に岡城は有名なのに土産品も食堂もなく、来城した方が来て良かったとは私は思いません。竹楽についてですが、500円で良いのですが、おいしくなかった。これで500円等、もっと良心的にまた来たいと思える様にまた、竹の飾り等も工夫して頂きたい。魅力ある竹田市にと願ってます。竹の子広場は良く市民の方等が利用して良いと思います。
114	女性	40歳代	旧竹田市	とにかく竹田駅周辺の環境を良くして頂きたいと感じます。どんなに本線が少なくても、立派な大切な駅です。明るく学生が過ごしやすい、もしくはせっかく来てくれた観光客ががっかりしない玄関口にして下さい。ちょっとしたカフェや(安価)、夏は涼しく、冬はあたたかい、宿題ができるスペース、Wi-Fiスポットなど。キャンの存在は大きかった分、何かほしいですね！

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
115	女性	70歳以上	旧竹田市	安心致しました。細部にわたって真剣に取り組んでいる姿勢に感動しています。今後ともよろしく願い申し上げます。
117	男性	50歳代	旧荻町	職員が地域に暮らし、地域を知り、地域リーダーになってほしい。サラリーマンではダメです。
120	男性	30歳代	旧久住町	農林畜産業は効率化が必要で、大きな経営体に統合されていく必要があると思います。結果的に多くの市民の働く場となり得ないため、新たな働く場が必要となると思います。農林畜産業は今後も重要であると思いますが、新たな産業の誘致を進めることを望みます。パソコンやアプリからアンケートに回答できるとありがたいです。
124	男性	70歳以上	旧竹田市	今、最重要課題は人口を増やすことである。どうしたら人が増えていくか、目標をつくり実施していくことだと思う。
126	男性	60歳代	旧竹田市	山間部の老人世帯など不便な生活向上を考え、交通の便を無料にするなど、町の中に気楽に行けるようにしたらいいと思う。町の中だけ新しい建物を建てても、意味がわからない！！
129	女性	70歳以上	旧荻町	下の人にも行政の力を貸してほしい。
135	男性	70歳以上	旧竹田市	竹田市では農林畜産業の後継者の担い手不足で衰退するのではないかと懸念されます。何か対策などないかと思えます。
138	女性	30歳代	旧荻町	観光ではなく農業に力を入れるべきだ。
139	女性	30歳代	旧直入町	上記の提案とつながりますが、竹田市は今後も超高齢社会を進んでいきます。誰しも人に迷惑をかけたくないと思っていますが、運転だけは早期に対策を講じるべきだと強く思います。他県で起こった子どもたちの列の中に車が突っ込んだ事故など、運転していた高齢ドライバーも起こしたくて起こした訳ではありません。車がないと病院にも買い物にも行けない、そういう環境を竹田市も早期に脱却すべきだと思います。自主返納支援事業で1万円分のタクシー券をもらっても、一生使えるわけではないので、経済苦の人は困ると思います。竹田市内のタクシー事業者と連携して、何かよい政策を作してほしいです。
141	女性	60歳代	旧竹田市	当地区は自治会もなく、市報も届きません。市からのマスクも来ませんでした…。日々自身の生活が大切です。
145	男性	50歳代	旧荻町	・議員数が多い。16名を12名、4名減らす。減らしても何も影響はない。 ・少数にして、精鋭を造るべし。 ・道路の利便性をもっと有効に考えるべし。狭い所に入り、広い所に行き、いまだ軽トラ1台やっとの道では、産業も芽ばえない。 ・高校生も減少しているのに、建物ばかり造って、何を竹田は考えているのか。やった事は仕方ない。今後どうすべきかを考える人たちを集める事。60才以下。70才以上は不要。
157	答えたくない	50歳代	旧直入町	竹田市に希望はないので、ない。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
158	男性	30歳代	旧久住町	保護者の都合で数十年も統廃合について議論している小中学校の現状を、早急に変更してほしい。生徒・児童の将来、学習、部活動等を考えると、いつまでも長引かせるのは、傍から見ていて可哀想だと思います。学校の統廃合を進めてくれることを望みます。
160	男性	30歳代	旧竹田市	竹田市は全体的に民度が低いと感じる。今まで県外に住んでいて、竹田に来てからセクハラやモラハラな場面をよく目にする。警察署で手続き中に、男性職員が女性職員に「女性なんだから、頼めばなんでもやってくれるよ！」や、市の役員から「竹田で住むところなんて、期待しない方がいいですよ。」や、他にもたくさん言われて聞いて、不快になった事がたくさんあります。それは、田舎だからそういう事があってしょうがないとかではなく、変えていかないといけないと思います。これから子どもができて、そういう悪影響のある環境で育てていくことが本当に不安です。その発言は間違っていると、言いやすい世の中になっていってほしいです。
162	男性	60歳代	旧荻町	人材育成。
165	男性	60歳代	旧竹田市	市職員が多いのでは。ほとんどがパソコンばかり見ているが、何を一日中見ているのか。
168	女性	70歳以上	旧直入町	何もかも旧竹田市に集約すると、他町がさびれて、過疎化が進んでしまうと思いますが、どうでしょうか？
170	女性	50歳代	旧荻町	・告知放送でよく言っている「コロナ感染者への差別」。コロナワクチン接種に於いても同様だと思います。ワクチン接種による差別(コロナに関する差別)を無くして欲しいです。それと、ワクチンパスポート有無の差別を無くして欲しいです。(今後広がる?) ・国民保険税、高すぎます。下げてください!(若い人が逃げていく。入らない。)
171	女性	70歳以上	旧竹田市	高齢者が社会の進化について行けず、落ちこぼれて行くことのないよう行政は配慮して下さい。まわりを見廻わしても高齢化の一途をたどっています。
172	女性	40歳代	旧竹田市	新しい医療分野の拡充と道路・交通網の整備が必要だと思います。障がいを持つ人や疾病に罹患している人の雇用問題も、行政が取り組むべき事だと思います。これらが解決できれば、まちづくりに発展していくと思われそうですがどうでしょうか？
174	女性	40歳代	旧久住町	市民活動をしているエネルギッシュな30~40代が増えていきます。ネックになるのは、行政レベルの広報や資金などになります。行政の職員さんはお仕事をがんばっていらっしゃいますが、市民側からみるとスピードが遅く、いつまでたっても形になりにくく感じます。行政と市民が連動して活動できるしくみ作りをお願いしたいです。市民は思いでどれだけでもボランティアできます。
176	女性	30歳代	旧久住町	買い物する場所や、子どもを遊ばせる所(公園やショッピングモール)がないため、市外に出ることが多い。竹田市にもっと若者向けな施設など作ってほしい。人口が減る原因もそこだと思います。竹田市に住んで、不便になったな...と思うことが多いです。今の子どもたちが10年後、20年後、竹田市に残りたい!!と思える街づくりを期待しています。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
180	女性	50歳代	旧竹田市	県外に進学した子どもたちも、ふるさと竹田は大好きです。昔はいなかで恥ずかしいと思っていましたが、今は豊かな自然と魅力的な景観と外に言うことができます。小さなフェスの規模の町が市だとおどろかれています。大学の友人を竹田市に連れてくると、魅力があるようで、とても感動してくれます。私たちは年をとっていきます。外向けでなく、住んでいる人が住みやすく、安心して老後をすごせる竹田市を目指してほしいです。インターネットがあれば、大都市に住む必要もないですから。
185	男性	70歳以上	旧竹田市	道路(県・市道)に覆いかぶさっている樹木を伐採して下さい。いずれ集落は樹木の中に隠れるのではないか。例、松本地区松恵。
188	男性	40歳代	旧竹田市	税負担が多い。市民税が高い。他の市に比べて高い。市役所の職員の整理。人員削減してほしい。
190	男性	60歳代	旧竹田市	・人口の減少、高齢者の増加が進んでいるので、前の市長の様に箱ものをつくらぬ事。維持費が毎年増え、市が破産可能性多いにあります。 ・竹田市職員を少なくする。また給料を下げ、市民と同じ給料にする。市会議員の削減する。
192	女性	50歳代	旧直入町	・今後高齢者が増えてくると、買い物に難しくなってくると思うので、コミュニティバスを利用して、大きい道路を通るだけでなく、小部落を通して買い物に行けるようにしてほしいと思う。 ・独居人の見守りや話し相手も充実していくといいかもしれません。
196	女性	60歳代	旧竹田市	道普請(年2回)が高齢で大変である。
197	男性	70歳以上	旧竹田市	花水木の利用者を増やす工夫がされてないので、施設存続のためにも、真剣に考える必要があると思います。
198	女性	60歳代	旧荻町	交通の利便性は切実なポイントです。中九州道が荻に届かないことには、将来の灯が見えない、と言っても過言ではありません。どうぞご尽力ください。
200	男性	20歳代	旧竹田市	移住して20数年になりますが、竹田市は障がいを持っている人が住みやすい環境は整っておらず、また、あたたかく見守ってくれる人も少なく変わりありません。障がいを持つ人が住みやすいことは、高齢の方や子どもにとっても、すべての年代にもいい環境になっていくのではと考えます。
201	男性	70歳以上	旧竹田市	・全国的に見ても多すぎる応援隊は、当初草刈りや農家支援など地域に喜ばれる存在だったが、今は行政の補助など本来の目的からはずれているように思う。他市に比べて多すぎる。必要なのですか？ ・1市3町が合併に十数年経ちますが、地域間の交流が見られない。合併効果について検討し、対策をとるべき。 ・社会教育では公民館活動をもっと充実させるべき。
202	女性	70歳以上	旧久住町	若い人達に、子供を育てる事で大変と思います。保育園の時間を少しのばすようにすると良いのでは。
203	女性	70歳以上	旧久住町	久住の交差点に信号機を設置して下さい。危険です。お願いします。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
209	男性	70歳以上	旧竹田市	今後高齢ゆえに車の免許証返納するしか方法がなくなると、交通面ではなはだ不便になる。びに入り細に入り、交通の便で公共交通手段において特段のそなえを期待していますがいかに。子供たちも遠方に世帯をもっているの、おいそれとは帰省しての生活はむづかしい。
210	男性	30歳代	旧荻町	竹田市に林業や農業の学校(専門学校など)を作ってほしい。これからの子どもたちが、社会人になるまで、竹田に住んで勉強が出来る環境。(専門的な事や、高度な事を学べる。交通の充実。)
211	女性	30歳代	旧荻町	1つは、竹田市に新たに住む人達への援助はあるのに、今又はずっと竹田市に住んでいる人への援助がない。働きざかりの子育て世代からよく聞く話。もう1つは、竹田市の公式ラインについて、メニュー項目の中に「手続きナビ」があります。市HPの「手続き検索ナビ」のページに飛んで調べたい手続きを選ぶことができますが、ある程度の知識がないと分からないようなチェック項目が多く、“あいまい検索”のようなものがないので不便に感じます。可能であれば、福岡県北九州市にある「くらしの手続きガイド」のような一問一答制のものがあると、事前に調べられて、何回も市役所に行き直したりすることが減ると考えます。
213	女性	30歳代	旧直入町	姫だるまの生産、後継者問題が解決できると、もっと観光の目玉になると思う。注文して4年待ちは大変だなと思う。
218	女性	70歳以上	旧竹田市	現在体調悪く、意に添えなく、大変失礼しました。
219	男性	70歳以上	旧竹田市	雇用促進と車の税金たかい。若い人がいなくなる。
220	女性	60歳代	旧竹田市	芸術文化の市において、学園都市にと願っています。若い人々があふれる竹田市にと思っています。
223	男性	40歳代	旧竹田市	移住者支援の充実 「山奥ニート」共生舎のような施設を作る。コンビニ「セブンイレブン」があると良い。
224	女性	70歳以上	旧竹田市	若い人の意見にも耳を傾けてほしい。年配の方は、昔からこうしてきてるのでやれないとか、すごいこだわり強い方もいらっしゃり、自治会で意見言っても聞く耳持たず...ということがありました。私は他へ移住してきましたが、まだまだ馴染めない事沢山あります。買い物でもスローレジがあると気持ち的に楽に支払いが出来そうです。
229	男性	30歳代	旧荻町	農業など、色々な補助金等でどのような種類があるかわかりにくいので、もっとわかりやすく知らせてくれると嬉しいです。
230	男性	60歳代	旧直入町	予算消化するを目的でなく、その効果の検証を徹底的に行いムリ、ムダ、ムラのない実効を期待します。それば本当に必要か？その投資に見合うかなどなど、税金(地方交付金も含め)の無駄使いは許すべきではない。
232	女性	60歳代	旧荻町	高齢化社会に向けて交通の便(バス)など買物、病院など、小さいバスで良いのでバス廃止などはぜったいしてほしくない。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
233	女性	40歳代	旧荻町	子どもが市内の高校に通っていますが、交通の便(時間)が悪く、せっかくある公共交通機関が利用できません。そういった理由も含め、市内の高校に進学する子どもも減っている様に思います。もう少し、市の行政も協力して将来の高校存続を真剣に考えて欲しいです。
234	女性	50歳代	旧荻町	少子高齢化の街、活気のある街づくりが大切だと思う、若者が住みやすい環境、就労、住宅が充実すれば、少子化対策につながるのでは…。10年20年後の竹田が不安になります。少しずつでも若者が根付き、活気のある街へとなるよう応援しています。農業、商業、職業問わず働く場が必要だと思います。
237	男性	60歳代	旧荻町	今までアンケートや会合で意見言ってきましたが何も変わらない。特に災害時避難場所に柏原公民館が入っていないのか。年寄りには萩までは行けないと、家でがまんすると聞いています。
238	女性	30歳代	旧竹田市	協力隊の方には、市から援助が出ているのでしょうか。そうであれば、任期がおわると竹田から離れるというのは、少し残念に思います。
241	女性	60歳代	旧久住町	竹田市はほんとうに良い町です。観光に来た人がスムーズに充実した観光が出来るようにモデルコース、長湯の場合、久住の場合、竹田の場合など、観光(温泉)と食事も取り入れて作り、車以外の人はコースをマイクロバス(予約)で行けると良いと思います。
242	男性	70歳以上	旧竹田市	地域包括ケアシステム、地域共生社会への道は、従来の縦社会の見直しを主幹に置いている。優秀な民間事業者もまき込んで、官民一体の街づくりを希望する。
244	女性	50歳代	旧竹田市	パークゴルフ場を作って欲しい。万人に愛されるパークゴルフなので、パークゴルフ場のまちにして欲しい。大分市パークプレイス、わさだタウン(竹田市)、巡回お買物バス運行してほしい。医大、県病、巡回バス運行してほしい 公務員のコネ採用、絶対許されない。
246	女性	20歳代	旧竹田市	学校の統廃合については反対です。せっかく観光で力を入れている久住や直入に中学校等がなくなると、地域学習の面でも困ると思います。さらに、下竹田の方は、竹田市内の学校ではなく、大分市の方に行くかもしれないという話も聞きました。たださえ、少ない竹田市の子をよそへ行かせてしまっただけで、将来竹田市に帰ってくる若者がもっと少なくなると思います。せっかく、魅力のある市なのにもったいないと思います。
247	男性	60歳代	旧竹田市	・場所を選ばないIT企業コールセンター誘致。 ・老人ホームの誘致と、全国からの高齢者の受け入れによる雇用機会創出。 ・医療・福祉事業所の集中エリアの形成。 ・公共交通サービスの再構築(オンデマンドタクシー)。その他大分の西の端にある竹田はアイデアを出していかないと消滅すると感じる。
252	女性	40歳代	旧竹田市	・高校での学科が少なく、大分へ進学する事が多い。働く場所もない為、若い人が竹田から出ていく働く場所が必要。 ・歴史資料館などの新しい建物は本当に必要だったのか？同じお金をかけるなら、子供の為や若い人が住みたいと思える市にしてほしい。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
253	女性	40歳代	旧竹田市	高校3年間と結婚してからの23年竹田市にはお世話になっていきます。3人の子供を育てていく中で、夜間病院が開いていなくて、大分市の方に車をとばしていった事を思い出しました。小学校、中学、高校と大きくなるにつれて回数は減りましたが、とても大変でした。子供3人は大分の高校に通っています。電車の本数が少なく、朝は早く帰りは遅く、本当にかわいそうだと思いますが、本人が決めた道。私達も地元で仕事をしている為、引っ越す事はできません。子供達が将来帰って来たい竹田市になるように、私達もがんばらないといけないですね。
257	男性	50歳代	旧竹田市	人員が減っている中で、行政の方は良くがんばっていると思います。総合計画により、竹田市が少しでも発展することを願っています。
258	女性	70歳以上	旧久住町	田舎故小さな車を廻して欲しい。買物難民にしかない。バスが少ない。回数が少なく利用出来ず。
259	女性	60歳代	旧久住町	変な事にお金を使うんじゃなく、どうしたら子供が増えて全体が豊かになる事をもう真剣に考えないと、竹田の将来はない様な気がします。
261	女性	40歳代	旧荻町	高齢者が増加しているのにその対応に対しての人員不足。手が回っていない(何十年前も前から予想して出来ているはずなのに)。教員の口の悪さ、暴言(子供に対しての「出来損ない」発言)。頭の良い子にしかわからない説明の仕方。(他の生徒に聞いています。前の先生の方が詳しく説明してくれたと。)
265	男性	50歳代	旧竹田市	まずは若者の雇用の場(企業を誘致)を作り、地場産業のフォロー。子育て世代の住宅orアパートの支援。竹田市は豊かな自然やいいスポットなどがたくさんあり、もっと県外にアピールしたほうが良い。また女性をターゲットに、色々活用してほしい！！これからの時代は女性目線の考え方を取り入れてほしい。
266	女性	50歳代	旧久住町	・高齢化が進む中、雇用の拡大と人材育成、次世代に竹田市を繋ぐ事。 ・市政が幅広い方々に支持される事を希望(環境、弱者への支援etc)。
270	女性	50歳代	旧直入町	今回のこのアンケートの3まちづくりの満足度とこれからの重要度の設問(項目の意味)がむずかしすぎる。ピンとこない。どう回答してよいか疑問です。
275	女性	40歳代	旧竹田市	子どもたちが都会に出て暮らしています。将来竹田に帰る為には、就業場所が少ないので帰っても不安があるとのこと。若い子が戻って来る町にするにはどうすればよいか、最近よく考えますが、まだ答えを見つけないことができていません。
277	女性	60歳代	旧竹田市	・自治会の要所々に「ガイドウ」をつけてほしい(暗くてこわい)。 ・カーブミラー。 ・道幅を拡張していただきたい。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
279	女性	30歳代	旧竹田市	現在、竹田市に家建て、この地で子育てをしています。子育てに手厚くなると非常に嬉しいです。出産祝い金、高校生まで医療費無料、またこの季節、インフルエンザの予防接種費用負担、特に子どもは2回接種するので、3人いれば2万の出費になり、金銭面で接種したくても躊躇する家庭もあると思います。あくまで私の意見ですがいつか実現するとうれしく思います。
282	男性	50歳代	旧竹田市	こんなアンケートをするくらいなら、住民を見て下さい。
283	女性	30歳代	旧竹田市	市営住宅が古く、カビやすきま風があります。子供が多い家族が住みやすい住宅がほしい。
284	男性	40歳代	旧竹田市	現在産業の強化と企業誘致を行うことが最重要と言える。人口減少に歯止めをかけるのは、人口流出を0にする事である。一行政単位で小中高大迄を持たなければならないし、外部に移動しなくてもよい生活を最優先にしなければならないと思う。商業的且つ消費的、インフラは充分であり、防災に対しても充分だが、光通信が出来ない現状は通信インフラの遅れであり、このままでは竹田市はなくなりますね。
287	男性	30歳代	旧竹田市	・イオンモールがほしいです。 ・大自然の中でのテーマパークもほしいです。
288	女性	70歳以上	旧竹田市	皆さんが明るい町作りをお願いします。無料駐車場が出来たら良いと思います。
289	男性	60歳代	旧竹田市	駅の共同トイレが汚いです。窓ガラスにクモの巣があつたりします。竹田市の玄関口として、トイレはきれいにしていきたいです。
292	女性	40歳代	旧竹田市	移住者、観光よりも住んでいる人が楽しく、快適に暮らせるためのまちづくりを考えてほしいです。市民の若い人が住みやすい住宅はなく空き家ばかり。空き家バンクもいいですが、空き家を中古でリフォームして定住する人に補助とかでるといいと思います。あと働く場、産科、小児科は必須です。商店街の人でもなく、市の職員でもなく、市民市内企業につとめている30～40代は、どこに声をあげたらきいてもらえるのだろうかいつも思います。
293	男性	50歳代	旧竹田市	ウガヤフキアエズの命の歴史的価値を全国的に広げ、若者の働ける環境ビジネスの誘致の2本立てで自然と歴史の都市を目指せば、日本の他にない町づくりが強みになると思います。
294	男性	60歳代	旧竹田市	本市に住み続けるため道路、交通網の早期整備。病院・医療の充実がなされ、安心出来る地域。雇用の場所作りで製造業の団地の整備。
296	女性	20歳代	旧竹田市	住みたくても働く所がない！給料が安い！実家としてたまに帰って来るまちになると思います。
297	男性	50歳代	旧竹田市	高齢者ばかりの地区に、若い人の存在は貴重ではあるが、皆その人を頼ってしまう。大勢の高齢者を少数の若者で支えるのは、ムリが来るはず。イヤになり出ていくかも…。人的、金銭的支援ができれば、頑張れるのではないかと。地域の若手が一人何役もはできない。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
298	男性	60歳代	旧竹田市	中九州道を利用して大分方面へ働きに行くのか？益々、竹田市はさびれていく気がしてなりません。若者が農業を林業をと目指すでしょうか。是非とも企業誘致をして頂きたい。
300	女性	60歳代	旧竹田市	ケーブルテレビや、防災行政無線の中でもっと市民が一縮に楽しめるような、一人ぐらしの方でも笑顔なったり大きな声を出したり身体を動かしたりと、そんな新しい内容がほしい！
311	女性	60歳代	旧竹田市	市職の意識改革をして欲しい。職員で格差がある。頑張っている方が報われる職場(市民という意識)でなければアイデアも知恵も出ない。動いている時代にとりのこされ、大切なものを見落としかねない。
312	男性	60歳代	旧久住町	・若者の働き場所の確保。 ・若者の定住策。
315	男性	60歳代	旧久住町	最近、久住町や他の町でも、町内を通らずバイパス道路を作るのをよく見かけますが、車の流れが変わってしまい、昔からあった商店街がさびれて行く様に見えます。今ある旧道を整備しても十分だと思います。観光客や市民が商店街の中を通る事が大事だと思います。
325	男性	60歳代	旧竹田市	市長、行政は、福祉に力を入れること。健康保険税が高すぎる。返信する封筒にのりしろがついていない。
326	-	-	-	老人が安心してらせる市づくりをしてほしい。
327	男性	60歳代	旧竹田市	人口に見合った議員定数に減らす事！市職員も無駄な人員、課、支庁は必要な数に...！今回の様な事(公職選挙法違反)が出来ない様に職員の教育の徹底！！公務員の特定の政党の応援は違法！
330	男性	40歳代	旧竹田市	年寄りが住み安くなる様考えてほしい。
332	女性	40歳代	旧竹田市	市内から離れている高齢者が買い物に行くのがすごく不便だと聞きます。移動手段の方法も考えるべきですが、販売車とかを利用出来るとか、「行く」のではなく「来る」方向で買い物手段をもっと考えてほしいです。
338	女性	60歳代	旧竹田市	「市の行政に望むこと」を意見、提案、行動できる市民、住民が一人でも多く生活できる事を祈ります。もう老が来てる自身には、望む事はありません。子供や若い人が「竹田で育む」それも「思い出深く、事ができる様、望みます。動ける間は「足を引っ張らぬ様」の手伝いできたら、老いの幸せとしますので、お使い頂けたらと。(出来ない事が多くなり、時間ばかり消耗ですが...。)
341	男性	20歳代	旧竹田市	市のために働いてくれている、職員の皆様に感謝します。日頃の労苦が市民にもちゃんと伝わりますように。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
346	女性	50歳代	旧竹田市	私にしてみれば市役所職員は同じ立場と思います。課がちがうからわからない等他人まかせな態度はいかがなものかと。市役所の人でも市議会議員も保身ではなくある意味サービス業の精神ももちあわせてほしいものです。
358	女性	70歳以上	旧竹田市	活気がない、今年他でも花火大会があったが竹田市は何もない！町の中を活気づけてほしい。
364	女性	50歳代	旧竹田市	子どもたちは地域の宝である、学校の存続を強く希望する。学校のない地域に子育て世代は暮らせない。
367	女性	70歳以上	旧荻町	支所等に行きづらい！市民と行政の関わりを深めて頂きたい(格差をなくす)。畜産業等には補助金が有り、やや不満。
377	女性	40歳代	旧荻町	商業が少ない。土地提供してもらい、商業施設の充実に力を入れてほしい。店が少なすぎる。ガソリン等も高すぎる。結果、外に(市外)出てしまう。買い物する場の競争があるべき。
380	男性	60歳代	旧竹田市	・証明書等の自動交付(コンビニ交付)が出来ない(かなり不便)。 ・介護保険料納付済金額等、電話照会が出来ない。
387	男性	60歳代	旧竹田市	竹田市では大雨などの時の避難情報は、屋外拡声器や各家家庭設置の端末で収集しているが、屋外では、大雨で聞こえにくい時や屋内設置の端末も設置した部屋でなければ聞こえないので移動出来どこでも聞ける日田市の様な無線形式の携帯ラジオ型(防災ラジオ)にすると良いと思います。
389	女性	20歳代	旧竹田市	イオンなどがほしい。若者の交流場がほしい。どんどん大分市など都会に出ていってしまう。
391	女性	70歳以上	旧竹田市	今迄箱物ばかりの建設に不満だけがあります。竹田市は高齢者が8割以上になっていると思うのです。年金生活者は生活自体ままなくなっている、そう言う方面にほんのわずかでいいので目を向けてほしいです。年金金額を持って入居できる施設を建設してほしいです。市長さん心よりお願い致します。将来の生活だけが日々不安です！！
395	男性	50歳代	旧竹田市	事業検証の仕組みと見直し等の情報公開。
399	男性	40歳代	旧竹田市	良き滅びを！！ 土居さんに不満は無いです。そこんところしく！！
400	女性	60歳代	旧久住町	アンケートが10代～70才以上、専門的用語ばかりで理解するには難しいと思います。相手(記入者)にわからなければアンケートの目的は達せられません。アンケートに(声)がなければ、ただの統計。理解できなければ(声)を伝えることはできないと考えます。このアンケートがただの統計に終わるのか、その後、声を届けられる場が設けられるのか見守りたいと思います。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
401	男性	40歳代	旧直入町	公務員の給料高すぎ、下げる。そして仕事しろ。後、住民税・保険料他の自治体より高すぎ、下げる。
403	女性	70歳以上	旧竹田市	なりふりかまわず働き続け、気が付いたら70代、働こうにも身体的に無理になり、老夫婦、ケンカを日課で過ごしております。ずっと思い続けた事、若者が定住する仕事が非常に少ない事にやきもきしていました。農業するにしても、経費がかかり、増えるのは借金だけと言う友人もいます。息子さんも、借金返済のために他の街へ出かせぎに行ってます。安定した収入の見込める企業等の誘致等
405	男性	70歳以上	旧久住町	年金生活となり後期高齢者医療保険料の負担が重い。公的な負担(各種)が相当きついで、どうにかならないか総合的な対策を望む。
409	女性	40歳代	旧直入町	城下町ばかり集中しても、他の地域の活性化につながらないと思う。高齢化がすすみ、子どもが少なくなる中、働く場所が少なく、地元に戻ってきづらい。企業を誘致し、子育てしやすい町になるように考えていただきたい。
414	男性	60歳代	旧竹田市	・高齢者が安心して暮らせるよう、通院や買い物時の足の確保等が今後重要になる。 ・人口減少対策に本気で取り組む必要がある。 ・若者の定住 儲かる農業への転換 竹田ブランドを作る。
419	女性	40歳代	旧竹田市	竹田で育った子供達がまた竹田に帰って来て、生活したい暮らししたいという街にしてもらいたいです。子供の頃から、竹田が好きって思ってもらえるように、環境を整えて大人も協力していかないといけないと思います。子供達の環境(子育て)が大事だと思います。
422	男性	30歳代	旧久住町	意見を聴いて頂けるのは有り難いが、白丹地区は保育・小中学校を無くすと言われたので、見放されている感が強い。地域・環境を守るために今まで自分がしてきた事は、未来の久住地域及び竹田を守るためだと思っていたが、今回の統廃合の事で行政との信頼は無くなりつつある。財政負担を現役や未来の人に強いるだけでなく、高齢者にも求めるべきである。その理解を得るためにも、健全・適正化は急務。自然や将来を語るなら、まずは市有林の植林をしてからにして頂きたい。
423	男性	30歳代	旧竹田市	行政職員として、しっかりと取り組んでいきたい。コンパクトシティは重要。自治会、地域コミュニティーの再編。
424	女性	40歳代	旧竹田市	同じ竹田市に住んでいるのに、不公平がある。 (例)・水道料金の基本料金が住むところで違う。 ・公園やスポーツ施設などの利用しやすい地域とそうではない地域。 ・学校等の教育サービス等の差。
429	女性	20歳代	旧竹田市	大卒で就活をする時、竹田市出身の同級生は地元に戻りたいが、仕事がないと言っていました。現在もリターンしたくても、収入面での選択肢が少ないという声をききます。難しいことですが、多種多様な仕事ができるようになればいいなと思います。

自由意見

回答者 番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
431	女性	40歳代	旧竹田市	働き方が変わり、在宅勤務が増加した為、都市から田舎へ引越す人が増えていると聞きます。竹田は、大分空港、熊本空港どちらかへの便をよくする、JRの本数を増やす等の劇的な変化がなければ、そういう人達の移住も見込めないと思います。また、インターネットも頻繁に不通になるなど、インターネット環境も最高だとは言えません。色々手をつける前に出来ることを一つずつ行ってほしいです。最後に、登山者が駅から歩いてるのを見たことがあります。ユネスコエコパークに指定されたわりにバスがないなど、ひどいと思います。竹田の町中ばかりにお金を投資せず、田舎にも力をいれてほしい。
433	男性	30歳代	旧竹田市	私自身、仕事柄平日の休みがほとんどないため、土日、祝の窓口サービスが行えると助かることがあるかと思っています。立地など様々問題があると思いますが、アパート等の価格が見直せると良いかなと思います。 県外からの雇用者などの住む所を考えるとその点も充実できたらと....
434	女性	30歳代	旧竹田市	人口が減り、高齢者が増える中、くらしをどう維持していくかが大切だと思います。その為に縮小されるサービスがあっても、仕方ないかなという思いです。
437	女性	50歳代	旧竹田市	高齢者が免許返納したあと、病院、買い物へ行く手段がなく、高いタクシー代がかかる(公共交通手段なし)。今後私も不安です。こういう地域の事を考えて欲しいです。
444	女性	50歳代	旧久住町	・開かれた町おこし。 ・福祉が充実だけでは循環型にならない。
445	女性	70歳以上	旧竹田市	・将来絶対に、災害が多くなります。災害に強い街作り。 ・芸術文化等お金かけないで、高齢者対策、福祉、竹田市民のためにお金を使ってほしい！住みたい竹田市になってほしいです。
446	男性	30歳代	旧竹田市	「竹楽」はずっと続けてほしいです。
448	女性	50歳代	旧竹田市	空き家や手入れをされないで、のび放題の草などがこれから先増えていかないか心配です。
450	女性	40歳代	旧竹田市	病院が車椅子でも利用しやすいように整備され、駐車場も広くしてほしい。
453	男性	70歳以上	旧荻町	収入が年金だけしかない者に、もう少しやさしい市であってほしい。
457	-	-	-	議員が多すぎるし、もう少し議員の給料も安くして、町づくりに使ってほしい。
460	女性	40歳代	旧荻町	安心して医療が受けられ、安心して教育が受けられると良い。
466	女性	60歳代	旧直入町	農業離れのせいなのか、荒れた土地をよく見かけます。何か魅力ある農業のやり方があればいいですね。
476	女性	70歳以上	旧直入町	若い人が住める市にしてほしい。むかしながらの古いききたりは、やめて新しい風をとり入れてほしい。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
477	女性	50歳代	旧竹田市	<p>・地区での道普請が難しくなっていますが、草刈りもシルバー人材の方に依頼しても手いっぱい状態で人材不足が疑われます。女性でも安全に草刈りができるセミナーなどあれば良いと思います。</p> <p>・岡城跡のリバーサイド側が整備されていますが、もっと活用できたらと思います。リバーサイド裏提灯谷から岡城へ上がるクライミングを作ったり、体験できる様にしては。</p> <p>・イノシシ対策をお願いしたいです。散歩も安心してできません。</p>
478	男性	50歳代	旧竹田市	<p>別府の長野市長と土居市長と人吉市市長と組んで豊肥線沿線の温泉市長トリオとして、メディアへの露出をふやして、地方への観光客誘致、企業誘致をはかる。1人で頑張るよりも連携して頑張ってほしい。12/1に土居市長に直接腹いっぱい言っただけなのでこれ以上はない。会って頂けただけで感謝しています。準備もあったとはおもうがあの時に話した内容に近いアンケートで、ただただびっくりしています。ありがとうございます。あとは実行力かと思っています。いずれお時間ある時にお店に遊びにいらして下さい。</p>
479	男性	50歳代	旧竹田市	<p>市の行政として、求職者や求職準備者の支援が包括的に実施されていない。人材不足は、産業分野にまたがる課題であり、一つの課が単独で実施できるものではない。求職準備者など就労支援を必要と思われる人も相談窓口がわかりにくく、包括的な相談支援の体制が未整備である。障がい者の就労やU・Jターンの方の就労を考えても、包括的な対応のしくみがなければ定着(定住)できない。他市との人材確保・育成競争に勝つ方策が必要。市は機構改革して、無料職業紹介により就労支援を行い、ミスマッチを縮小させ、企業と求職準備者の溝を小さくして、支援プログラム開発や職能訓練、中間的就労、職場体験などを支援すべきです。コロナ禍で自助努力による「働く」が困難になってきています。</p>
480	男性	60歳代	旧竹田市	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の高齢化(地籍調査をしないと確認できなくなる。) ・休遊地の増加。 ・限界集落の増加。 ・道路 水路管理の限界 市がやってきたこと(私のイメージ) ・市北部・市街地中心の観光開発?(これまで地域で管理してきた道路や水路も高齢化が進むとともに樹木も大きくなり人の手では管理が不可能になってきた。市に言っても、「所有者がすべき」と。できないから言っているのに…。計画的に実施してこなかったつけがまわってきたのではないかと考えるが…。少しの雨でも竹が垂れ下がり、台風や雪で孤立してしまいそうで不安。避難すら危い。) ・竹田市の主幹産業の農業をどうするか。 ・災害に強いインフラの整備。 ・若者が残りたくなる魅力ある町づくり。 ・就職先の確保等。難しい!

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
481	-	-	-	半官半農、自衛隊、自給農業100%、3分間農業推進、スクラップ&スクラップ博物館行。集積回路商業、LSI、aty、パイオチップ企業誘致。3年立て直し岡城、天空変換病院移動、フリー市長ライセンス生産。自動車ショー、歩行者ショーの発展化、国定公園の宇宙化。逃難化、180cm平均身長化、他孫化推進。カトウが大久保化、南山荘常楽荘97才生存説、M&A、CEO他、お空が竹田んだよ、国定公園。入山公祭り、山作りハッ破隊祭り。空軍駐在地、中空満空、空中給油city。都市化の空しさ、インパクト常駐セントラル、回遊魚人間ショー、マグロは止まると死ぬる恐れ。佐伯ー竹田ー日田線の高速化。グレーパーによる職員逃避事業化。メバントレーダー竹田設置事業(小型)、NTTスーパーコンピュータ導入事業(中古)、通過裁判事業、最後の札持堂作りー広瀬神社回り道。運転経歴照明でレンタ他が乗れるシステム化、マイナンバーATM直結化事業、老人21ー16事業化、存在宇宙、特に商業宇宙化の対応を急ぐ。単身家庭の避難場所ビル、久住ビルディング冷暖付。竹田美人そう白美人化への道、美容行政への道、中古着の貸付事業、浮浪者の給食化。とにかく竹田を日本化する事が必要だ。ヨーロッパ、アメリカとは違う。空へ。
488	男性	50歳代	旧竹田市	若い人の働く場所がない。企業誘致。
489	男性	40歳代	旧竹田市	粗大ゴミを捨てる際50cm程度に切断してからと指示されましたが、いろいろと困難な場合があるので、誰でも簡単に捨てられるようにしていただきたい。
490	男性	70歳以上	旧竹田市	若い人が沢山残れる町作りをしてほしい。それには働ける職場、そして儲かる農業経営になれるよう、しっかりした市政をしてもらいたい。
498	女性	50歳代	旧久住町	魅力ある地域なので、うまく周知して活性化に結びつくとよいですね。
506	女性	40歳代	旧直入町	遊具のある公園を作ってほしい。子どもを遊ばせることのできる場所が少ないと思う。
507	女性	40歳代	旧久住町	小中統合問題について、市民、町民への説明が不充分だと思う。もっと話し合いの場を設けて納得のいくようにしてもらいたい。
508	女性	50歳代	旧竹田市	子どもが増える町づくり。
512	女性	50歳代	旧竹田市	住民税を安くしてほしいです。
516	女性	70歳以上	旧竹田市	良くわからない所があったから、すみませんでした。
533	男性	20歳代	旧久住町	ワクワクしたい。
538	女性	30歳代	旧直入町	子供達が通学しやすく、教育を受けれる環境を作って欲しいです。学校統合などで、親の負担を増やさないで欲しいです。
566	女性	60歳代	旧荻町	バスとJRの連絡を良くしてほしい。
574	女性	30歳代	旧竹田市	芸術文化に力を入れるのではなく、企業誘致などで雇用促進をしたり、経済面に力を入れて欲しいと思います。
579	女性	40歳代	旧直入町	竹田地域だけでなく、3地域の事も配慮願います。アンケートもインターネット回答もできる様選べたら、より経費の削減になると思います。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
580	女性	50歳代	旧竹田市	もっと農業などに目を向け、竹田市に人が集まるようにしていかないと、人が減る一方だと思います。特産品をいかして全国に発信してほしいです。
584	女性	50歳代	旧竹田市	電話交換手は必要でしょうか？
587	女性	50歳代	旧竹田市	各種競技の大会が開催できる屋内競技場(総合体育館)の整備。
592	女性	60歳代	旧竹田市	内容が漠然としていて答えられなかった。
604	女性	70歳以上	旧久住町	竹田市だけでなくどこも同じだと思うけど高齢化、若者が地元に残って働きたい所がないと思う。何かこれという物が見い出せなくてもやもやです。
605	女性	70歳以上	旧竹田市	自然と共生する何百年かかって大自然が生まれました竹田です。自然環境を破壊してしまう公共工事はやめてください。森林を大切にCO2を木が吸収してくれます。CO2削減も吸収も同時に考えて下さい。
617	女性	20歳代	旧久住町	コミュニティバスなど公共交通を充実させてほしい。車の運転が出来ないため、とても不便に感じている。また、久住商店街の十字路の所に信号機を新たに設置してほしい。道路が新しくなってから、非常に危険に感じている。
620	男性	70歳以上	旧竹田市	人口減少が続く中で、広域をカバーする本市が、質のよい行政サービスを維持するのは難しくなってくる。コンパクトで便利な町づくりを考えて欲しいです。
628	女性	60歳代	旧竹田市	一人暮らしになった時に、介護認定が無くても低額料金で利用される、入居出来る施設が有るといいと思う。
630	女性	50歳代	旧竹田市	子供は絶対市外に出ていく状況を変えて欲しいです。立地が悪いので仕方ないが、働く場所がないと住めないです。竹田市もがんばってるとは思いますが、魅力的な街を目指して欲しいです。
637	女性	60歳代	旧久住町	地元の商店街が残れるような政策をしてほしい。
643	女性	30歳代	旧竹田市	今現在、竹田市に住んでいる人を大切に行政を望みます。
652	女性	70歳以上	旧竹田市	トップクラスの高齢化率の町であり、かつ広い地域の中、ぜひ“公共交通”の充実に取り組んで頂きたいと思っています！
670	-	-	-	今の竹田市は、少子高齢化が加速し過疎一直線です。また、財政は厳しく、にも関わらず企業が撤退し、人も離れていき破綻寸前です。近い将来には竹田市は消滅し、豊後大野市にとりこまれるのではないのでしょうか。活気がなく情熱もなく、利己的な街に未来はありません。これからは新しい市長さんを中心に、市役所の部署の垣根を越えて一丸となって下さい。そして、自ら現状を認識して、危機感をもって身のある政策を実行して下さい。また、人を大切にして、人から愛される市役所であって下さい。切によりしくお願いします。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
683	女性	70歳以上	旧竹田市	遠方へ行けば安く手に入るとわかっていても、老人は近場で必要な品を購入しなければなりません。それにつけても、書店と文房具店が無いのが悲しいです。竹田市旧町内在住。
692	女性	30歳代	旧竹田市	人口減少が進む中、自分が老後を迎える30年後、どんな竹田市になるのだろうかと不安。この地域で独居するのは不安なので、高齢者施設や公共交通機関が充実している都市部で、老後を過ごす可能性もあると考えている。
694	女性	30歳代	旧荻町	公共施設や市有地など検証、見直して(必要以外、)箱物は作らないように。
696	女性	50歳代	旧竹田市	土居市長の政策に期待しています。
701	答えたくない	10歳代	旧久住町	・賃貸を増やしてほしい。数が少なすぎるので、引っ越しをできない。 ・賃貸のペット可(相談可)も増やしてほしい。飼いたいけどペットを飼えない人が多いから。
702	女性	70歳以上	旧久住町	老人が多く成り、車をやめて買物など不便に成り、交通の事を考えて下さい。病院行は向いの車がとっても良です。町に行きたいけど困ります。
703	女性	40歳代	旧竹田市	市議の方から個人的な攻撃を受けています。市議会議員としてはずかしくない行動をとってほしいです。
708	女性	20歳代	旧久住町	子どもたちが成長していく中で、もっと身近に遊べる場所や学べる場所を造ってほしい。
721	男性	50歳代	旧直入町	企業誘致にもっともっともっと力を入れて下さい。若者に少しでも竹田市で働けるチャンスを、機会を増やしてほしいと切に願っています。自衛隊を、竹田市に誘致してはどうですか？かなり人口増が見込めると思います。このままでは、数年後には人口が15000人になっており、他市との再合併も考えなければならなくなると思います。優秀な市役所の職員の皆様方に期待しています！！
722	女性	30歳代	旧荻町	私は一年前に、県外から嫁ぎましたが、役所の方の対応、態度の冷たさにはおどろきました…。公務員でお給料も高いと思いますが、こっちは色々わからないから、聞きにきているのに冷たい。人をじっとみつめて何も言わない。腹が立ちました。市・町の役所の方が、これではよくならないと思います。
723	男性	60歳代	旧荻町	残念だけど、利便性は時に、街の荒廃を招く。高規格道の開通は、竹田市を通り過ぎるのみ。仕方無いかな。岡城跡は日本でも規模と質は日本有数。もっと売り出せないかな？
724	女性	40歳代	旧直入町	若い世帯や若者が住みたくならなければ、人口増加ものぞめない。働く場所や住宅をもう少し増やしてほしい。(竹田市内のアパートは家賃が高いので。)

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
725	答えたくない	20歳代	旧竹田市	首藤前市長の時代に、歴史資料館や町中のコミュニケーションセンターなど、施設や設備に多くの投資をされてきたと思います。必要な物には投資をすべきとは思いますが、人口減少＝税収の減少をしていくのが目に見えている中、それを過度に行うのは市民の首を締めることにつながると思います。コロナ禍で地方に目をむける人が増えている今がチャンスだと思いますので、特に若者の小さなチャレンジを応援する政策、取り組みをお願いしたい。他の自治体で取り組んでいる良い政策は真似して取り入れていただきたい。
726	女性	60歳代	旧直入町	若い世代が定住できる魅力ある町づくり(子育て環境、働く場)
727	女性	50歳代	旧竹田市	・学校統廃合について。将来的には統廃合は仕方ないとは思っている。1学年が2学期になること自体は望ましいとも思う。がそうするならば、今の「さふらん」を小規模校として機能させてはどうか。毎日通えること。教員も適正数配置すること。きちんと「学校」にする。(超？極？小規模校として) ・子ども達が文化・芸術に触れる機会を増やしてほしい。田舎だからあきらめろ。それは各家庭の問題。などという理由でそういう機会が得られない子どもは、大人になってそれを知ったとき、そういう土地に住みたくない(帰りたくない)と思うと考えます。
728	男性	70歳以上	旧竹田市	・上文の交通政策。 ・竹田にしかないような・・・豊かな竹を利用した”竹林公園”。
729	女性	50歳代	旧竹田市	公共交通機関が少なく、年を取り免許を返納したら、今の竹田では生活できない。タクシー代は高すぎる。自動運転の乗り合いバスなどがあればよいが・・・。
730	男性	30歳代	旧竹田市	・目安箱が市役所の入口にあります。非常に入れにくい。何か書いているというのがわかります。意見を投書できません。公民館などにも置いてもらいたいです。(人目につかないようなところ)。 ・夏の図書館は節約するの分かりますが、とても暑く(特に季節の変わり目)、読書ができない館内と思います。 ・町中は建物が統一されておらず、日曜日閉まっている。日田やうすさのように黒に統一するだけでも観光等が来て活気にあふれると思います。中途半端な町には来ないと思います。 ・交流プラザ・・・あれこそムダ使いかと思えます。物産展などをすることで、県外から人が来ると思えます。上記のことに対して回答をもらいたいです。
732	男性	50歳代	旧直入町	工場内で働く会社が少ないです。57号線沿いにあったら良いと思います。
733	男性	50歳代	旧竹田市	小・中学校の安易な統廃合はすべきでないと考えます。また、市長が簡単にSNS等で「小さい学校での教育はダメだ。」とか「小規模校では子どもがかわいそうだ。」などと発信するのもよくないのではないのでしょうか。小規模校出身の子の卒業後の動向等をすべて調査、把握した上での発信とも思えません。一部の人の偏った考えだけで統廃合を進めようとしている。そういう風にしか見えません。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
734	女性	30歳代	旧竹田市	<p>福祉の さんは全く使えない等、仕事の遅さをよく耳にする。そういう人の指導や原因の追及！！ケアマネの中でも適当にしかなしてない人もいるし、病院に預けてばかりで病院は大変！！看護師足りず、病院も経営が厳しく、人を増やせず、悪循環。個人病院は、家族が面倒を見ない人のたまり場で長期入院ばかり。長期入院+ちゃんとした疾患で入院で人手不足すぎて、看護師が大変！！市のサポート体制はどうなっている！？家族も介護認定の事や手順を知らない人が多い！！もっと案内をするべき！！(分かりやすく)。市営も古く、中には部屋の壁にアスベストがあるんじゃないか？って所もある。エレベーターもなくお年寄は住みにくい！！子供も大変で環境悪い。竹田は家賃も高いアパートも多く、若い人は出ていく！！特に小児科の夜間体制が整っていない為、子育て世帯は不安が多い。若い人も減る一方！！グランツももっと子供や若い人が楽しめるイベント必要！！地域のイベントやコンサート等！！若い人の興味ある事や人気のある人を呼ぶと、近隣の市からも人が来て少しは竹田市でお金を使う。</p> <p>くたみだいに等、竹田市で活躍している団体等の支援をして、もっとすばらしさをいかすべき！！子供達が魅力を感じて継承したり、若い人が戻ってくる環境を整えて！！そうすれば、お年寄のサポート体制も少しずつ整うんじゃないか？個人病院の医療現場もパンク寸前。設備も整っていない、人も足りなく、経営も厳しく、給料も少なく、介護施設状態にされても正直とって困る！！</p>
735	男性	40歳代	旧竹田市	<p>現在、土居市長となり、新しい竹田になっていくことを期待しております。その中で時に「教育」に関しては、更なる魅力向上をしてほしいと思います。幼児から高校まで、選択できる教育の幅が狭く、また新しい教育が生まれる環境づくりがされておらず、旧態なシステムのままでは転出は増えても、転入を増やすことは難しく、しいては移住への魅力向上にもならないかと。</p>
736	女性	60歳代	旧竹田市	<p>・道路整備はやはり重要だ。最低救急車が通過できるものでなければ安心して定住できない。まだまだ道路の狭い所が市内にあり、そこに住む人々の要求があれば最優先にしてほしい。生まれて60年たつが、実家の前は昔のまんま。人が住もうとしても住めない状況。市民の声、小さい声だが大切にしてほしい。公平公正であってほしい。</p> <p>・R3竹田市功労者表彰。広報たけた12月号において女性が一人もいない点について、異常な写真だと思う。男性が重責を担わされており、市の男女差別を露呈した集合写真といわざるを得ない。ハーフとはいかなくても、せめてクォーター制導入を。</p>
737	女性	50歳代	旧竹田市	<p>・市内各地、空き家が目立ちます。それを活用して、リフォームするなど、市外からの希望者が住めるような工夫、支援。又、若い人が増えれば活気も出てくるのでは。(働く場も増加)。</p> <p>・学校の統合がいわれているが、その前に地域を活性化するにはどうしたらいいのかを考えた方がよいのでは。このままだと子どもが少なくなるばかりです。</p>
739	女性	40歳代	旧久住町	<p>竹田市のコンパクトシティ化は、農畜産業を営む者にとって賛成できるものではありません。まず、まちづくりうんぬんより、公的な職員の教育改革から始めた方がよいかと。窓口対応は最悪です。</p>

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
740	女性	70歳以上	旧竹田市	今迄、公共施設等が多すぎるのではないのでしょうか？図書館、由学館、グランツ竹田、交流プラザ、こんなに沢山必要なのでしょうか。ある程度はまとめても良かったのではないのでしょうか。余分な税金使いではないですか。もっと他にちょっと横道に入った道路等、がたがたの所が多い様に思います。車の通りも多いのに…。
741	答えたくない	50歳代	旧久住町	自然、歴史、文化を、守ることによって活性化させる道を考えていただきたいです。子どもから老人まで、人々が暮らしやすい地域を望みます。画一的な枠組みにとらわれず、地域の独自性、柔軟性を発揮していただきたいです。
742	女性	60歳代	旧直入町	地域おこし協力隊の方は、生活費が出る間のみ竹田に居て、住み続ける方がいないのではないのでしょうか。どんな活動しているかわかりにくい。
743	男性	60歳代	旧竹田市	将来、車の免許を返納した時の移動手段に不安があります。交通難民政策の強化をご検討下さい。
744	女性	50歳代	旧久住町	・中心部ばかりに目を向けず、市内まんべんなく目を向け、聞く耳を持って欲しい。人口が住んでいるのは「旧竹田市」のみではない。 ・お知らせ等を全てホームページですませないでほしい。その環境がない者がいることを忘れるな。
745	女性	50歳代	旧竹田市	私は他県から越して来た者ですが、竹田市は水がキレイと言う事で、移住するのを楽しみにしていたのですが実際にこちらに住んだら、家の前を流れる「山ノ口川」の汚なさに心底がっかりしました。以前はよく川を見に行っていたのですが、いつも茶色いヘドロの様なものが途切れることなく流れていて、水も濁っているし、最近では嫌気がして見に行かなくなりました。河川の環境の改善を是非にお願いしたいです。魚や虫やカニの住める川が町が人の生活の満足度にもつながると思います。
746	男性	40歳代	旧竹田市	人口流出を防ぐために、若者が竹田に住む(働く)ことができる環境を早急に整えて欲しい。若者への支援、子育て世代への支援、高齢者への支援…。若者が竹田市に残って、定住していくことができればあらゆる支援が可能となり、竹田市に活気が戻ってくると思う。
747	女性	70歳以上	旧竹田市	市民の声を聞く場を多くつくってもらいたい。
749	女性	70歳以上	旧久住町	もっと市が生産性を産むものを考え、収入を多くする。そうすれば健康保険税も民間人に負担大にならずに良いのでは。若い人達が少なく、もちろん次世代の子供達も少ない。学校の統合は良い事だと考えます。そんな子供達が地方に残る対策は…と。難しい問題です。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
750	答えたくない	50歳代	-	とにかく政策うんぬんより、そこに住む人達の印象(言葉遣い、態度、考え方)で市民同志や行政間とも心に余裕が生まれると思います。車の運転マナーも最悪ですし、自己中なんです。行政がなんでもしてくれと思いこみ、行政も面倒な事になるとうまくかわしてきます。理想を言っても絶体無理なので、やはり市民の多様性、権利意識のある都会に戻る必要があると思えてきました。ウォーキングしてたら不審者扱いですし、車ばかりで市役所・暇そうな社協と土建屋などの車ばかりに、時間潰しみたいに必要な以上うろうろしているパトカー、煽り運転されてもまともに来てくれないし、滞納金の徴収のためだったらどなる職員(女性)も過去にいました。行政・警察などは、正義のつもりで市民に高圧的に何でも言えるのですか。勘違いしているのでしょうか。生まれが士族や貴族でもあるまいし、ましてや民間みたいに世の中の物を生みだせない、ましてや公僕な人達が、高圧的に迫ってくる気が理解できない。田舎は特に勘違い公務員が多いです。表面的な物ばかり見るのはやめてほしい。
751	女性	20歳代	旧直入町	いつも業務お疲れさまです。市のスクールバスについて提案があります。学生が利用することはもちろんなのですが、一般のお客さんも利用できるようにしてはいかがでしょうか。もう少し交通網が発達するとうまいと考えます。現在はスクールバスなどはない状態と思いますが、統廃合などすんだ際に廃止された町の過疎化をできる限り最小限におさえていけるように取り組んでいただきたいです。すみませんがよろしくお願いをします。
752	女性	20歳代	旧久住町	今、若い人が竹田市のまちづくりを積極的にやっているのをSNS等で目にしています。若い人やSNSなど現代のやり方を取り入れることもいいと思います。高齢化率の高い竹田市に移住者や若年層の方が増えるとより盛り上がるのではないかと思います。
753	男性	30歳代	旧竹田市	結婚相手を見つける手段をなんとかしてほしい。
754	女性	70歳以上	旧竹田市	捨て猫を止めてもらいたい。いたずらして困る。
755	女性	60歳代	旧竹田市	竹田市は生きて行く上で大切な「水」がきれいな町です。これを何かに生かす事は出来ないのでしょうか？又、自然も多く、これを若い人達に向けて、生活をここでしてみたいと思える様な町づくりに期待しています。
756	女性	40歳代	旧竹田市	一人暮らし障害者の方が一人ぼっちで助けが必要でも我慢して悪い結果にならないよう望みます。引きこもりの方など親がいなくなったとき、途方に暮れないよう願います。助けて、ボランティアしたい人もいるはず。私は軽度障害者ですが、助けられることがあれば手伝いたい。施設や病院まではいかなくても出られない方とか集まれるように。
757	男性	70歳以上	旧竹田市	・公道に面(接)した空家等の整備(草刈り)。解体ではない。 ・”住みやすいまち”のアンケートがありました。ある程度それ以上整備されていなければ、移住者は来ない！！
758	女性	30歳代	旧直入町	子どもを保育園に入れたくても、途中入園が厳しいのが現状です。田舎なのになぜ・・・？と思いながら仕事できないままでした。色々事情(保育士の確保等)はあると思いますが、こういった些細なことから見直して頂けると、より住み良いまちになるのでは・・・と思います。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
759	女性	70歳以上	旧直入町	若い方が定住でき、子育てできるようにと取り組む以外にはないと思います！！
760	女性	40歳代	旧久住町	・竹田市内の小中学校統廃合案には納得ができません。地域住民への説明を先に行わずに新聞発表があったことは、竹田市内(とくに旧直入郡内)に移住を考えていた人に対するマイナスイメージになったと思います。また、少子高齢化を理由に公共施設や行政サービスを縮小していかうとする消極的な政策では竹田市の将来は暗いですね。他の都道府県、あるいは他国に目を向けて、人口が少なくても住民が安心して暮らしている地域のことを積極的に学んで、まちづくりに活かしてほしい。少ない人口、小規模な市だからこそ早めの対策ができると思っています。よろしくをお願いします。
761	女性	20歳代	旧久住町	高齢ドライバーの危険な運転が目立ちます。歩行者や他のドライバーに迷惑がかかるような運転をする人は免許返納すべきです。例えば、私が目撃したのは走行中いきなり停車、バックしはじめた車。駐車に何度も失敗し、その間他の車が動けず、駐車場の外まで渋滞。小さな子供がいるので気をつけてはいるものの、こちらがどれだけ気をつけていても予測不可能な運転をするのでいつか事故にあってしまうのでは・・・と、とても怖いです。公共交通機関が少ない竹田ですのですぐに高齢ドライバーが減るとは思っていません。ですが高齢ドライバーがおこす事故が目立つようになってきた今、少しでも免許返納する方が増える政策おねがしいたいです。公共交通機関を増やすのもいいと思います。少し安いタクシーとかもいいかなと思います。
762	女性	70歳以上	旧竹田市	今は高齢者が多い中で、部落での助け合いが必要だと思います。
763	男性	70歳以上	旧荻町	議会について、調査費が出ているのであれば、質問の中でたとえば学校の跡地はどうなっているのか等の質問は不要。自分で調査せよ。
764	男性	70歳以上	旧竹田市	道路に側に寄ってる(集めてる)個人じゃない物は、收拾してほしい。
765	女性	50歳代	旧竹田市	竹田市は高齢の方が多いまちではありますが、それ以外の年齢層も存在しています。介護予防はもちろん大切ですが、若い人達が健康でいられるためのフィットネスジムなどの充実を進めていただきたいです。竹田市民優先で使える施設希望です。老若男女全てが元気に暮らせるまちならば、おのずと市外からの転入者も増加するのではないのでしょうか。
766	男性	70歳以上	旧直入町	過疎化が進み行く先は結局中央へ。しかし残された弱者にも対策があって良い。下竹田地区は買いもの、病院、農協、信金、学校、バスなど何をとっても住みやすい町とは言えない。残された部落に光を求む。
767	男性	50歳代	旧竹田市	近い将来、町の近くに住んでいれば生活に困らないが、私の実家のように車で出ないといけない所では、免許を返納したら買い物、病院などに困る。バスも無い所なので、年をとったらタクシーなど料金を下げて利用出来るように出来ないか。また部落が若い人がいなく、部落が維持できなくなっている事、農業が維持できなくなっている事。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
768	女性	70歳以上	旧竹田市	町内に支所を作ってほしい。前の市長は作ると言っておきながらそのままになっています。年寄りには、今の市役所は遠すぎます(本町の所です)。
769	男性	40歳代	旧竹田市	竹田市が何を重点課題にしているのかが見えません。前市長の頃から、同じ事を言い続けるだけで、形として何が生まれ、何が変わったのか全く解りませんでした。新市長には、聞こえの良い言葉よりも、市民と協力して実績を残して頂ける事を期待しています。
770	男性	40歳代	旧竹田市	市民の声をきちんと聞き、「お上」という概念を捨てた、各地域の歴史と文化、そして長年そこに住み続け、そして生涯を閉じるまでそこに住み続ける市民の気持ちをくめる行政である事を強く望みます。地方切り捨てをしていこうとしている現状ではなく、広大な竹田市のすべてを大切にしてもらいたい。
771	女性	70歳以上	旧荻町	竹田は、とても素敵な所だと思います。私は、他の市からなので竹田の良さもったいないなと思います。住民の高齢化と共に市全体の衰退に繋がるのではないのかと、地域の若者は頑張ってます。若い人達が、将来に希望を持てる事を指針に市の運営をお願いしたいと思います。それから、年を取ると、パソコンでの情報取得は難しい。そこは考慮してほしいです。
772	男性	70歳以上	旧久住町	竹田市長期総合教育計画について、もっと全市民に協議参加を。 ・観光開発について、雄大な久住高原がありながら、国立公園の指定を広範囲にされている。これの見直しについて。 ・例、九重町は広く開発されている。旧横断道路付近沿い。 ・広大な草原の効率的な使用。観光、税使用料。
773	女性	70歳以上	旧久住町	市道新町平木線がせまい。(畜産農家7戸)あり。大型トラクター多く、車との離合できません。昔の町道二級です。拡幅してほしい。ケーブルテレビで体操を放送してほしい。高齢者が多く、コロナで家にひきこもり。週一ぐらいでも体を動かしたい。
774	男性	30歳代	旧荻町	子育ての大切さ、将来を担う人達への育成支援は大切だと思うのでよろしくお願いします。
775	男性	70歳以上	旧竹田市	竹田市長さんの市内の各地区への巡回等を見廻って、市道の(主に宮砥、神原・・・等)の住民の姿や、農地の荒れ行く竹田市を。じっくりとこれからの山間地への手入れに重きをおいて欲しいと思います。荒廃してく奥地住民のこれからを、市会で荒れ行く農地の使用方法を、考えられてほしい・・・。
777	男性	20歳代	旧竹田市	竹田市のまちづくり活動を活発に行ってほしいと考える。例えば、移住者を増やすための取り組みや地域資源を活用した取り組みを積極的にやってほしいと思う。現在は県外に住んでいるが、10年以上住んできた竹田市をもっと盛り上げていくために頑張りたいと思っています。よろしくお願ひ致します。
778	答えたくない	70歳以上	-	・保育・教育の充実。 ・企業立地の推進。 ・ゴミ出し時間9時過ぎを望みます。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
779	男性	30歳代	旧荻町	高校卒業後に市外に出て戻ってくる人が少ない為、人口減少につながっていると思うので、企業誘致をして雇用を生んだ方が良いと思う。また、竹田市の基幹産業を強化して、雇用を生む為の政策も考えた方が良いと思う。
781	男性	50歳代	旧竹田市	若い市長には期待しています。前市長の様な政権末期になると箱物を作るのだけはやめてもらいたい。
782	女性	30歳代	旧竹田市	自分自身若い世代ではありますが情報収集に疎く、ケーブルTVを見てこんなイベントや講座があったんだ…と知ります。自分次第と思うのでもっと行政などに目を向けたいと思います。色々参加したいです。教育や学校の統廃合については子どもたちの意見、考えは聞いていますか？親の意見も大事ですが当事者である子どもたちに聞くのも大切だと思います。学童は日頃から大変助かっています。土曜利用を月1ではなく、もう少しあると良いと思います。
783	女性	50歳代	旧直入町	働く場がないことには、人が住めない。企業の誘致など、働く場の確保が大事と思う。
784	女性	70歳以上	旧竹田市	一人暮らしが出来なくなり、どこかお世話になりたいと考えるが、今は思うように入れないと聞く。とても心配。貧乏人でも入れる所を多くしてほしい。
785	女性	50歳代	旧久住町	子育て中の若い世代は学校や働く場、病院がない所に住むのは考えてしまう。小学校、中学校の統合問題で、竹田に集中するのではなく、直入地区に学校を残してもらわないとどんどん子供が減少する！！学校が遠い所から登校する子供は朝が早くなり、近い子は遅い登校になるのは、スクールバス1台で迎えに行く為、遠回りする事になる。親が会社に出る時より子供の方が後になり困るから！2～3人ずつタクシーを利用(市の資金よりタクシー代を出す)すればタクシー会社にも有利。6月に都野地区のOBは小学校・中学校の草刈り剪定をボランティアでしていたが、上空よりドローンが飛び、上空より写真を撮り、次の日に統合すると合同新聞に掲載されました。その事にショックを受けました。直入久住地区をなくしていいのか！！と怒りを感じました。
786	男性	30歳代	-	アンケート内容を見て大変がっかりしました。なぜ各種市政課題を行政が解決しようとししないのか、理解できません。その状態をなあなあそのまま放っておいたとき、そのツケは誰が払うのでしょうか。竹田市労組、議員、市長はもっとマジメに取り組んでください。
787	男性	40歳代	旧竹田市	高齢化、人口減少が進む中(止められないと思う)、地域活性化もわからなくないが、商業サービス、医療サービスも含め、コンパクトシティ化などの地域縮小化も考えて、先手を打っていく必要があるのではないかと考えます。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
789	男性	20歳代	旧竹田市	とにかく町に活気がない！！ので何かイベント的な事(竹楽以外で)してほしい。例えば、地区ごとにインスタ映えのスポットを作る。とか、町に音楽を常に流してほしい(おしゃれな曲)。使わないピアノなどを町角ピアノとして駅やグランツなどでみんなが気軽に利用できる様に設置してほしい。あと、グルメスポットが少なすぎる。とくに竹田市内。そして町おこし協力隊より、地元の若者をもっと雇用してほしい。プロジェクションマッピングで、クリスマスや夏など観光スポットを作り、SNSで拡散してもらって、もっと町を元気にしてほしい。プロジェクションマッピングは統廃合された小学校(旧)や、高校や各地区で12か月あるので、月ごとにアイデアを出して、年間通して見れるようにしてほしい。
790	男性	30歳代	旧竹田市	若い人が働くことができる企業が必要。働くために県外に行く人たちが今も多くいる。高齢者も多くいる為、医療、福祉で働ける環境づくりに力を入れるのも必要でないかと思います。
791	女性	30歳代	旧久住町	観光に関連した仕事に就いています。また子育てをしているので、これからのまちづくりに関心が高まっているところです。地域によって様々な特色があり、今後もそれぞれの良さが生きるといいと思います。生活する中で少々の不便さがあっても、素晴らしい風景の中で色々な方々と温かい交流ができ嬉しく思っています。これからも様々な変化と共に、このまちで暮らしていきたいです。
792	男性	60歳代	旧竹田市	大分で開催されているような「文化教室」が竹田でもであると近くで参加しやすいし、少しでも老後の楽しみが増えればと思います。ひいては、高齢者の介護予防にもなるのでは。
793	男性	70歳以上	旧荻町	道普請、井戸普請で市民が減り(若手が)管理不能になりつつあります。省力化、機械化が急がれる。
794	男性	20歳代	旧荻町	空き家対策として、空き家をリノベーションして若者や移住者に低価格で売ったり貸すのはどうか。新たに団地やアパートを建設、整備するだけでなく空き家・空きテナントも対策を願いたい。このアンケートのこれからの重要度は全て重要なのではないかなと思う。生涯学習、学校教育、社会教育は具体的に何？と思った。やはり人口減対策が一番重要だと思う。地域住民と会話するとみな口を揃えて言っているし、地域住民の中でも機運が高まり注目度も高い。他の自治体と同じようなことをするのではなく、差をつけた政策が生き残りのため必要だと思う。市の職員も焦りを感じてない職員もいるので意識改革をしてほしい。
795	女性	70歳以上	旧竹田市	私はもう生きて行く年がいくばくもないので申し上げる事はないが、今までに良い竹田市で暮らせた事を感謝します。出来るだけの事は良くなる竹田市をのぞみます。有難うございました。
796	女性	20歳代	旧久住町	若者、子供が減少している。もう少し学校の統廃合を見直して子育てをしやすい町づくりをしてくると、若者が増え、子ども、人口も増えていくと思う。このままだと、子どもを市外の学校に預ける家庭が増える。地域での子どものスポーツ、部活動に制限がかかるのはかわいそう。小中学校のうちに大人数に慣れさせたいし、部活動、友達との交流をたくさんさせてあげたい。子どもが増えると地域が活性化すると思う。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
797	女性	70歳以上	旧竹田市	市長は選挙で選ばれた人である。この四年間自由に自分のやりたい事をするべきである。このような町づくりアンケートを取るのをおかしい。今からしないでよいと思う。このような金もつたいない。堂々と四年間を自分の行く道をいくべきである。住みよい竹田を作ってください。よその町から竹田へ住みたいと思うような町づくりをしてください。竹田が発展する事を祈ります。
798	女性	30歳代	旧竹田市	子育て支援や雇用環境が他の市より貧弱。私の住む集落には、若い人達がすごく少ないので、この先集落がなくなってしまうのかなと思う。生活利便性も良くないし、子供の人数も少なく、地域への愛着も失われていく。市外より転居してくる方には手厚いのは良いことですが、今現在住んでいる人にも手厚い支援を望みます。
799	男性	60歳代	旧久住町	・人口減少問題にしっかり取り組んでほしい。 ・市民への危機管理意識の向上を高めてもらいたい。
800	男性	50歳代	旧竹田市	運動公園の改修によりスポーツ施設が充実され、ただの改修ではなく、たけたには温泉があり、宿泊施設があり、マラソンコースがあるので、県外の陸上に限らず、多くのチームの合宿の誘致に力を入れたらどうか…。もちろん高齢者も大事であるが、改修した先には何かある！が大事ではないでしょうか？
801	女性	70歳以上	旧竹田市	竹田市で長い歴史を持っていた、美術祭や音楽祭、終戦直後から行われた高校生の声楽コンクールと美術祭、大切にしてください。文部科学大臣賞が絵・書、両方出ていますが、特に美術祭が市内の行事の様に小さくなってしまっている様にあります。90%以上竹田市の人しか入賞しないのは、募集の仕方ですか？以前は福岡の高校生も中学生も並んでいた気がします。非常に残念です。音楽祭は大きくなってうれしいです。公共事業がここ数年間大きいものがありました。地元の企業がどれだけ参加できたのでしょうか。地元にも優秀な企業は大から小まであると思います。
802	女性	50歳代	旧久住町	小規模発電所(個人宅屋根の)ソーラーパネル設置助成などで電力の自給率を上げてほしい。
803	女性	40歳代	旧荻町	若者が残ること、若者にとって魅力的な市になることがたくさんの相乗効果を生むと思う。主軸をそこにおいて取り組み、その他の取り組みはサブメニューとして、大切に育てて行けたらいいのかなと思う。アウトレットモールの誘致とか、中九州道もできたのでいいのではと思う。空想ですが…。
804	女性	50歳代	旧竹田市	高校生まで竹田市に住んでいました。大分市、豊後大野市に住んでいましたが、やっぱり竹田市が良く永住する事にしました。私達が学生の頃は、商店街も活気があって、休みの日でも集まって買い物をしていました。今ではすっかり淋しくなりました。学生や若い人達が竹田に寄れる様にファーストフードなどを作り、活気を取り戻したいと思います。花火大会もあったらいいな。
805	男性	40歳代	旧竹田市	私は、行政さんの打ち出す政策が、あまりにも幅が大きすぎだと感じました。現状予算の少ない中で、前市長さんの「バラまき政策」、「市の職員さんへの負担のかけすぎ」あまりにも、ひどいと思っていました。外から見ている、トップになる者・人は、もっと市の職員さんを大切にしてほしいと思います。選挙の時だけ盛り上がる町なので、普段の日常を大切にほしい。

自由意見

回答者番号	性別	年齢	居住地区	自由意見
807	男性	40歳代	旧直入町	公務員の方々にはわからないと思いますが、市内一般企業等で働いている人は、生活に追われ、行政への参画、消防団等への参加などは、かなりの負担になっていると思います。労働人口が減少している状況の中、市としてのあり方の根本的な改革が必要と考えます。まずは、行政で働く方々に一般常識的な感覚をやしなっていたきたい。「自分だけがよければ良い」的な考えを払拭してください。
808	男性	50歳代	旧荻町	これからの10年、さらには30年後には竹田市の人口はさらに減少し、公共交通機関や商業施設はさらに減少するのは目に見えている。さらに高齢化もすすむ中で医療機関も減る一方である。このような状況がずっと続けば竹田市に若者(次の世代を担う)が戻ってくるはずがない。竹田市はこれからは人口流出を防ぐための政策を考えるべきであって、場当たりの観光政策や施設の建設等はそのあとに回すべきである。このままでは竹田市は消滅してしまう。
810	男性	40歳代	旧竹田市	若い人が少ないので自治会でやることが多い。昔からやっていることを変えようとすると苦情が出る。とても負担が多い。なので、自分の子どもに竹田に住んでほしいくない。上記自治会でやることが多いのを相談したが取り合ってくれない。(話は聞いてくれるが...)
812	男性	60歳代	旧久住町	現在行っているかもしれないが、親が亡くなられて空き家になっている所、田舎暮らしがしたい人がいるなら、市又は自治会が仲介して、都会などの人に貸出、自治会に入ってもらい、自治会の活性化に役立ててほしい。自治会によっては事業行事を行うために、年配の女性も役員を言いつけられ困っているところもあります。
814	男性	50歳代	旧久住町	地理上不便な竹田市が50年後、100年後も存在し続けるには、今いる子どもたちやU・ターン希望者が他市よりも魅力を感じるような長所が必要です。竹田市の長所は農業、観光、そして教育です。この3点は旧竹田市に集約しても逆効果で、旧直入郡の活力を維持向上させることが大切です。大分市ではなく竹田市の自然環境に憧れて移住するなら、街なかの集合住宅ではなく田舎の一軒家を選び、一人ひとりの子どもに目が行き届く小規模校での教育を望むのではないのでしょうか。よって自らの長所を消す学校統合は完全に愚策です。

竹田市 総合計画策定のための
まちづくりアンケート調査
(中学生・高校生)

自由意見

令和4年3月

竹 田 市

目 次

中学生自由意見	1
高校生自由意見	13

自由意見_中学生

No.	自由意見
1	<p>移住者に出しているお金は何処からのですか？市民をもっと大切にしたいです。また、女子の制服にもズボン、男子の制服にもスカートを取り入れて下さい。私は一刻も早くスカートを脱ぎたいです。部活動も少なく、何処の学校も同じです。部活を追加できないのなら、せめて帰宅部を造るべきだと。力を入れたいことがあるけれど、部活動で時間が取れない子もたくさんいます。世の中多様性が重視されてますが、竹田市はまだなのかなーと、、、あと、タブレットが配布されましたが、リモート授業はしないのでしょうか？某感染症が流行しています。感染が拡大してからではなく感染しないためにするのはないんですか？他にも中学生の私からしてみれば、竹田市にあるお金はどれだけで、何に、どれだけ使っているのかなど知りたいです。「竹田市にはここを改善できるだけの予算がないのか」と思うところが多々あるので。それと、お店のバリエーションが少ないです。スーパーや日用品を売る店ばかりで。観光スポットばかりに気を取られていないでしょうか。それも大切ですが、市民が住み心地が良いと感じれば自然と移住してくる人もできるのでは？映画館や服屋、お食事所などを検討して頂けないでしょうか。娯楽施設も少ないと思います。今はアニメが話題ですしアニメイトや大きな書店を建てれば、充実感を得られる若者が竹田市に残るんじゃないでしょうか。長文失礼しました。特に制服、部活の件を優先的に、検討して頂けると幸いです。</p>
3	<p>豊後桜まつりなどの歴史を主にした文化を守り続けてほしいです。</p>
7	<p>竹田市の歴史を多く知ってもらうために、歴史資料館に英文の説明をつけたほうがいいと思うお年寄りが、交通で不便にならないようにしてほしい。</p>
9	<p>環境を大事にする市や町にしたい。</p>
10	<p>建物(コンビニやお店)を増やしたりして、快適にできる町になってほしい</p>
11	<p>買い物をしやすくしてほしい</p>
13	<p>自然を生かした何か(アスレチックなど)を作って欲しい</p>
22	<p>私の学校の近くは、街灯が少なくとても暗いです。私の友達も、いつも暗い道を歩いて帰っています。いつ何があっても光は、力になってくれます。暗くて怖くなくても明るい元気になります。なので街灯を作って欲しいです。あと、電車?も、もっと多くして欲しいです。私は、まだ子供でも、将来困らないように一人でも、どこにでも行けるようになりたいです。</p>
23	<p>町を明るくしてほしい インターネットを使いやすくしてほしい</p>
24	<p>いちりつ10万ください</p>

自由意見_中学生

No.	自由意見
26	人が優しい 住みやすい。
27	人口が少なくなるらしいのでそれに伴い竹田市の魅力を紹介する (テレビやネットなどで)
28	自然が豊かでたくさん観光客が来るようなところ
29	おとしよりとがくせいとのこうりゅう
30	平和だったらそれでいい。
31	自然がたくさん竹田市
32	街灯が少ない
35	年齢制限をできるだけ少なくしてほしい
36	他の学校と活動する
37	もっと若い人達に住んでもらって竹田を活気づけて欲しい
42	市内の小中学校を統一した方がいいと思う。 もっと市外からの移住者を増やした方がいいと思う。
43	人を、増やしてほしい。
44	買い物施設をつくりたい
45	市民が元気で、活気のある市にしてほしいです。
47	・大きな商業施設を建設してほしい ・竹田市外の方との交流(外国人など)
48	直入にもコンビニを作って欲しい
50	もっと遊べる所などを増やしたらいいと思います
53	働らくばしょを増やす
54	ゴミをポイ捨てしないこと

自由意見_中学生

No.	自由意見
55	ショップを増やして欲しいです。わざわざ大分とか行かなくてもいいように大きいショッピングセンターを作って欲しいです。竹田市をもっともっと進化させてほしいです。
57	電車やバスの交通網が充実していないため、自分たちも遊びに行きにくいし、観光客の人がなかなか来られないのではないかと思う。 電車も都合のいい時に利用できるようにするのは、難しいかもしれないけど、1時間(多くても2時間)に1本は、電車があってほしい。 また、竹田市は、自然が豊かな場所なのに、最近汚い。 もっと環境に配慮してほしい。 人口の問題については、どうしようもないと思う。
58	今よりきれいな町作り、買い物屋さんを便利に、年寄りを大切に、
60	道路の整備や市外、県外から人に移り住んでほしい。自然はこのまま守って行ってほしい。
62	色んな人の笑顔溢れる竹田市にしてほしい。
63	中学の遠足や、合宿などの泊まれる会を増やしてほしい。
66	遊び場をもっと作ってほしい。
68	スーパーが近くにあってはやく行けるようにしてほしい今は往復1時間なのでもっと早く行くか作って欲しい
69	より豊かになってほしい
72	道路工事などを、事前に知らせて欲しい。木々の伐採を道を作るためだけにしないで欲しい。 長湯の商店街のお年寄りだ経営している店跡継ぎを見つけたい。 民家に近位ところでの工事は静かにして欲しい。 お年寄りの交通事故が起きている場所は何か見逃しがあるかも知れないから、看板などを分かりやすい場所に設置したらいいと思う。又は巡回などを増やしたらいいんじゃないと思う。 たまに、旅行者達が道を分かってないから水汲み場のように地図を設置したらいいと思う。壊れているガードレールを修理して欲しい。
74	竹田市の自然、環境を守る事が大切だと思います。
75	長湯にスーパーを作って欲しい
76	自然を活かした施設を作って欲しい。
77	地域の、人たちがもっと楽しめる事を、企画してほしい。

自由意見_中学生

No.	自由意見
78	ゴミなどを減らして竹田の町をよくしていきたいと思っています。
79	祭りなどを開催してほしい
80	公園を、増やして欲しい。(遊ぶ場所)
81	もっとお店を、増やして欲しい もっと地域の祭りを、増やして欲しい
83	もう少し子供が楽しめる場所や大人の人が子供を産めやすい場所で幸せにさせると思えば 良いなと思う
84	公園などの遊ぶ場所が増えて欲しい。
86	物価をもっと安くして欲しい
87	ショッピングモールが欲しい[気軽に買い物をしたいから]
89	いじめなどが学校で起きていても何も対応してくれないことがあって行きにくい状況だったので、 今後またそういう子供達が出ないようにきちんと対応してほしい。近くに買い物出来る所が一つ くらいしかないのももう少し増やしてほしい。
90	お店や家がいっぱいあって欲しい
91	もっとまつりをしてほしい
94	道路に街灯をつけて欲しい。
96	竹田市を、もっと元気のある町にしてほしい。
101	自然をキレイにする
102	バスなどの公共機関が使いにくく買い物をするとこも少なく遊ぶ場所も少ない
106	スーパーだけでなく、いろんな種類のお店を増やして欲しい。 制服を、男子にもスカート、女子にもズボンを取り入れて欲しい。
107	コンビニや遊ぶ場所を増やしてほしい。 せまい道路などを広くしてほしい。

自由意見_中学生

No.	自由意見
108	交通整備を整えてほしい。 安心して暮らせる家を増やしてほしい。
109	菅生バスをスクールバスにしてほしいです。
110	田舎で自然が綺麗なのが竹田のいいところですが、都会などに遊びに行く時に遠かったり、竹田に公園以外で遊べるところがないので作って欲しい
111	農業に関する支援を増やして欲しい 市役所の人数を減らして欲しい
120	安心して暮らせるようにしてほしい
123	・信号が多いと思います。大体塾行く時に信号に赤で引かかるからです。 ・自然を生かしたイベントをもっと増やせば良いと思う。 岡城のVR、良いと思うけども歩きスマホする人がいると思うから、復元して“岡城跡”から“岡城”にしてしまえばいいと思います。
124	小学生や中学生、高校生の壁を感じられることなく、どんな人でも楽しく過ごせる空間が欲しいです。 他の市や県から若い人たちがたくさん来るような施設や、食べ物などを考えて、多くの人に知ってもらえればいいと思います。私は大人になったらしばらくの間竹田を離れると思いますが、いつか帰ってきた時に、その訪れていたところの工夫を参考に私もアイデアを出せればと思います。
125	・竹田市には、大きな総合病院みたいなものがないから造ってほしい ・色々なお店が入っているショッピングセンターのようなものを造ってほしい ・もっと遊ぶ場所を造ってほしい
126	都会と違ってバスや電車を一本逃したら5分後に来るというわけでもないし、駅の数が少ないから交通機関に関しては少し不便かなと思います。東京の竹下通りのようにあちこちに流行りのお店が全然ないし私的にはスタバやマクドナルド、ユニクロやGUなど、大分市内まで行かずに手軽に買い物ができるといいなと思いました。ジャニーズや韓国アイドルが好きな人に向けてグッズが売っているところも欲しいと思いました。将来は観光を増やして人の行き来が盛んになって欲しいです。大きい総合病院なども、あったら便利だと思いました。私が住んでいる玉来地区には空き家かは分からないけど誰も住んでいない家がたくさんあります。そういうところにGUやジャニーズショップができれば本当に便利だと思います。
127	城下町へ行くときなどに、電車やバスの便が少ないことと、病院が少ないことを改善すると、大分、便利になると思います。
128	大きなデパートや映画館があると良いと思う。 勉強ができたり、気軽に休憩ができる場所を増やして欲しい。 行事やお祭りを増やしてほしい。

自由意見_中学生

No.	自由意見
132	働くところをもっと増やして竹田市に興味を持たせて欲しい 県外の人や外国の人がもっと竹田市に興味を持って欲しいからポスターなどを作った方がいいかなと思いました
133	危ない道を直してほしい
135	もっと楽しいまちにして欲しいです。
136	誰もが勉強や仕事ができる施設をもっと増やして欲しいなと思いました。
138	人口が少ないので、ここに残りたいと思えるような魅力を増やしたり、経済の回転力を上げるのが大事だと思います。 後、信号が多いので少し減らして欲しいです
139	竹を盛んに使った建築物を増やして欲しい。
140	DVDを借りれる場所をつくって欲しいです。
143	犯罪や事故が少なく、みんなが安心・安全に暮らせるような工夫をしてほしいです。
144	住んでくれる人がもっと増えて、学校や住宅が増えたりして、人口が多くなれば良いなと思っています
146	バスの便を増やしてほしい(菅生に住んでいるとバスの便が少なくて友達と遊びにくいし、学校から帰るときなどみんなより早く帰らないといけなかったり1時間ほど待たないといけない)
148	挨拶をする
149	安全で活気があるまち
150	大きな公園を作ってほしい。 年齢制限のない遊具を作ってほしい。
151	公園や発表をするところなど同じものを造るのではなく、映画館や洋服屋さんなど竹田市にないものを造ってほしい。
152	もっと自然を守って、美しい竹田にしたいです。
155	遊ぶ所を作って欲しい
156	温泉を増やす 移住者を受け入れる セブンを作る いろんな店を建てる。(三重町のような)

自由意見_中学生

No.	自由意見
157	遊ぶ所とかを増やして欲しい(公園以外)
159	文化やスポーツに力を入れてほしい。
162	建物をたくさん作って、不便がないようにしてほしい。
170	違う県の人達に竹田市の良い所を教えてあげると良いと思います。
171	違う県の人達に竹田市の良い所を教えてあげると良いと思います。
172	釣り堀を作してほしい
174	子供にも過ごしやすく居心地の良い竹田市にしたい。
175	このまま綺麗な自然を維持して、遊び場などで、みんなが触れ合う場所を増やしてほしいです。
176	もっと広い公園や新しいスーパーマーケットを開設してほしいです
177	竹田に来たことがない人が魅力をわかってくれて行きたい！と思ってくれるような街にして欲しいです 魅力はたくさんあるけどもっと心をひきこむような魅力があればいいと思います。
178	大型商業施設が欲しいです。
180	イオン作って欲しい。マック作って欲しい
184	もっとたくさんの人が来て賑やかな竹田市になってほしい。
189	自然を壊さないでほしい。
190	勉強できる場所をもっと増やして欲しい
192	色々と便利になって欲しい
197	もっと竹田市と言ったらこれ！というものをふやしたい。
199	自分は、将来竹田市にのこって竹田消防署に入りたいとおもってます

自由意見_中学生

No.	自由意見
201	受験生に向け勉強できる場を増やせば良いと思う 挨拶を活発にできるようにする
202	ご飯を食べれる店を作ってほしい。居酒屋ではない飲食店
204	マンションなどが多いのに入居者が少ないこれ以上住民が増えないのなら作っても意味がない のでわ？
205	大きな祭りをしてほしい。自習室増やして欲しい
206	・無印良品・COSTCO・ニトリ
207	店舗を増やして欲しい:自分の住んでいる地域では歩きで一時間以上かかるケースがかかるから
208	お金の使い道を街灯や公共施設を作るのに使って欲しい。 セブンイレブンを作ってほしい。
211	竹田市はげんざい少子高齢化が進んでいるのもっとprした方がいいと思います
212	今の自然の綺麗さを保って欲しい
213	休日に友達と、遊ぶ場所がない
214	可愛い人が増えて欲しい
219	IKEAがあったら良いなー
223	子供が少ないのでまだいっぱいいてほしい
227	いろんな人が竹田市に住みたいと思えるようなまちづくりをしてほしい。
234	自然や環境を守ることが大切
235	もっと沢山の人が住みやすく観光地や子供などが休日など飽きないようにもう少し街を発展させて ほしい。有名にしたい。
236	住む家など増やせるようにする
237	企業を進出しやすくして働ける場所を多くしたり、人が住みやすい街にしてほしい。

自由意見_中学生

No.	自由意見
238	住みやすい竹田市にしてほしい
239	お年寄りが安全に暮らせる環境をつくれたら良いなと思う。
240	気軽に参加できるイベントや祭りを増やしてほしい
241	ショッピングモールを造って欲しい 公園を増やして欲しい スポーツができる場所が欲しい
242	コンビニを増やして欲しい。 ポイ捨てなどの注意喚起をして欲しい。 あとは特にない。
243	遊具が欲しい
245	人がたくさん来るようにしてほしい インターネットが繋がらないことがある 空き家が多いから、その空き家の管理をして欲しい
246	お店を増やして、便利のいい町にして欲しい。
248	買い物ができるところをふやしてほしい
249	自然を大切にする
250	ショッピングセンターが欲しい
251	活気が欲しい
252	映画館を作って欲しい
254	スポーツ会場 ゲームセンター 観光地をふやす
258	もっとショッピングモールなど遊ぶ所を作って欲しい。
259	もっと、この街が発展して欲しい
265	コンビニの数が少ないのもう一カ所作って欲しい。

自由意見_中学生

No.	自由意見
268	使わなくなった家やボロボロな家を壊して欲しい お店を増やして欲しい(服など)
270	ネットで、光を追加して欲しい 飲食店(ファストフード店など)
272	身近な所にちょっとしたショッピングモールをつかって欲しい。
274	高齢者や、子供が住みやすい環境づくりをして、たくさんの観光客が来る竹田市にして欲しいです。
278	遊ぶ所を増やしてほしい・外国人ともっと積極的に話せる場を設けてほしい・服とかの買い物ができるようにデパートなどを作ってほしい
280	合併は、しない方がいいと思うけどね！！！！！！！！wwwwww 無駄金乙wwwwwwww もっと考えて行動しろよwwwwww
282	もっと、外国人と交流したり都会の体験をしたり他校の人とも交流したいです。
284	若者中心の市にしてほしい。お年寄りのことを考えるのも大事だけど1番それを重点に置くべきでは無いと思ううううううううう
286	たくさんの人が竹田に住んで、みんながもっと住みやすくしてほしい
289	市民、全員が住みやすい市
291	竹田市は、静かなので、もっと活気があふれる街にしてほしい
304	少子高齢化が少しでも無くなるようにする
308	スケボーなど自由に遊べる場所があったらいいなと思います。
311	学生が楽しめるような場所を作って欲しい
314	カフェ、フードコートなど若者がみんなで集まれるような場所が欲しい。
316	竹田市それぞれの地域にあった教育が受けられるように、できる限り地域ごとに今ある学校を残して欲しい。
320	働く場所を増やす。 コンビニを増やす。 農業の発展。

自由意見_中学生

No.	自由意見
321	お買い物をより良いものが買えるような店が欲しい。あと、ショッピングモールとかも作って欲しい。 家の前にジュース販売機が欲しい。家の前だと飲む人が多いです。
323	やはり人口が少ないと思うので、市街からの転入、移住などがあれば良いなと思っています。
324	自然を守ってほしい
325	もっと住む人を増やして、元気でみんなが暮らしやすいまちにする。
327	少子高齢化を少しでも食い止めたい 大分市内のようにお店や、公共施設、遊ぶところを増やして宣伝する
329	買い物をするための店などがまだあまり充実していないと思うので、充実させてほしい。 若い人が竹田市に残りたくなるような、取り組みや施設がない限り、若い人がどんどん減って少子高齢化・人口減少が進むばかりだと思う。
330	特にはないが、今のまを保って 自然などが溢れる地域にしてほしい
333	安心

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
1	竹田南高校	優しい竹田に、、、、、
4	竹田南高校	とても、いい街だと思います～
7	竹田南高校	誰でも住みやすいとちにしたい
8	竹田南高校	買い物をしやすくお店を増やして欲しい
9	竹田南高校	美味しい食べ物を食べられるお店が欲しいです。(例スタバ、マック、ミスド 大きなデパートが欲しいです。 もう少し人口を増やして欲しいです。 バスや電車の本数を増やして欲しいです。 若い人が遊べる場所を増やして欲しいです。
10	竹田南高校	交通の便をもっと良くしてほしい セブンイレブンを作ってほしい
11	竹田南高校	バス料金を安くして欲しい 若者が使うようなお店が欲しい
12	竹田南高校	セブンイレブンを置いてほしい
17	竹田南高校	コンビニの数を増やしてほしい
20	竹田南高校	自分の周りの人の意見を聞いたところ高齢者の方たちが住みやすくて若い人たちはものすごく暮らしにくい。 暮らしにくいと、引っ越す人が増えたり、いずれ竹田市はこのままだと人口が減り、竹田市がなくなると思います。 せめて、ゲームセンターや都会にあるものを増やして欲しい。 正直これを言ったとしても、変わらないと思うので意見としてみてください。
21	竹田南高校	学生が遊べる場所を作ってほしいです。(ショッピングやゲームセンターなど)
22	竹田南高校	学生が遊べるところが欲しい
24	竹田南高校	イオンを竹田に建てて欲しい
25	竹田南高校	ショッピングモールを作って欲しい 遊べる場所などがほしい

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
26	竹田南高校	大分方面から来る列車が豊後竹田止まりが多いので、玉来止まりの便も増やすよう要請してほしい
28	竹田南高校	もっとお店を増やして買い物に行きやすく高齢者の方でもすぐに行けて困らない町にしてほしいです。 僕たちはマルショク以外お店が遠いので少しでも早く買い物に行けるような町づくりしてほしいです。
31	竹田南高校	高校生などがもっと楽しめる商業施設などを作って欲しい
32	竹田南高校	遊ぶ場所を増やして欲しい。学校の近場でお買い物できる所を増やしてほしい。
34	竹田南高校	学生の遊ぶ場所を増やして欲しい 遊ぶ場所が増えたら市外や県外に引っ越す人や就職する人が減って竹田市の人口も減らなと思う
37	竹田南高校	もっとお店を増やして若者中心に栄えた町になって欲しいです。
38	竹田南高校	ネットカフェを作って欲しい
41	竹田南高校	新しい事を取り入れていくべき。周りの市町村と協力してもいいと思う。 私も将来竹田に貢献したいので努力を惜しまず続けてください。
44	竹田南高校	交通を便利にして欲しい
55	竹田南高校	みんなが住めるところがいいと思いました。
57	竹田南高校	OMATURIYARITAIDESU
59	竹田南高校	ヘルメットが無ければ即死だった
71	竹田南高校	交通の便をよくしてほしいです。
74	竹田南高校	公共交通機関をもっと便利にし、買い物ができる大きな施設などを建ててほしい
75	竹田南高校	もう少しだけ飲食店などのお店を増やして欲しい
83	竹田南高校	高校生などが、遊べる場所を作るべきだと思う。

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
84	竹田南高校	高齢者でも、若者でも楽しめる交流施設が増えるといいと思います。
87	竹田南高校	ファーストフードの店やゲームセンターを作って休みの日に遊べる場所を増やしてほしい
90	竹田南高校	マクドナルドを竹田市に欲しいです
97	竹田南高校	ゲーセンやボウリング場など学生が遊べる場所を増やして欲しい。
98	竹田南高校	マックなど作ってほしい
102	竹田高校	特に思い付きませんが、これからも竹田市をよろしく願います。
103	竹田高校	竹楽以外の代表的な祭りを展開してほしい
105	竹田高校	私事ではありますが、将来自分の子供を都野小学校、都野中学校に通わせたい。
106	竹田高校	大学や専門学校への進学の際に竹田を離れることは仕方ないにしても、高校に進学する段階で竹田を離れていく人が増えていると感じています。竹田に残った方が部活、勉強に頑張れるから、地元に残りたいと思わせる何かがあると良いと思うし、自分自身まだアイデアはないので、大学でいるんなことを学んで得た知識を竹田市に還元したい。
124	竹田高校	公園や図書館など、年代、性別を問わず、みんなが楽しめる施設を作る。
125	竹田高校	街の地図を置いてほしい 働きやすい街にほしい
126	竹田高校	駐車場がない 農業者が経営続けられるように支援してほしい ファーストフード店がほしい
127	竹田高校	私の考えとしては、竹田市では、高齢化が進んでいるから、街全体を活性化させることが大事なのではと考えています。街全体を活性化させるためには、竹田市だけにはしないものを作り、それを多くの人に知ってもらうということが重要になってきます。例えば、竹田市で自分が有名だと考えているのは、竹楽や温泉です。それらをより多くの人に知ってもらうことで竹田市自体が活性化されると思います。

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
128	竹田高校	<p>駐車場を増やすのではなく、せっかく自然があるのだから、公園を作ったらもっと楽しい街になると思う。ただの公園ではなく、バスケットゴールがあったり、遊具がある公園で、遊具は最近注目されているインクルーシブ遊具の導入をしてはどうか。障害者にも優しい、明るい、街にできればいいなって思う。私も、竹田市の活動に積極的に参加して、竹田市民として街を活性化していきたい！</p>
129	竹田高校	<p>子どもが生まれた際に学校などが充実していると良いなと思います。バスの便が場所によっては少ないのももう少し増えると移動もしやすいなと思います。</p>
130	竹田高校	<p>交通がもっと便利になればいいなと思う。 働く場所が少ないので竹田市を出る人が多いのではと思う。働く場所を増やすためには人を増やさないといけないので、子育ての支援や竹田市の農産物、文化を利用した取り組み、イベントなどを行なって人を呼び込むといいのではないかなと思う。</p>
132	竹田高校	<p>竹田の電車の不便で1時間に一本だったり、1両しかなかったりするから電車のことを考えて欲しい。そして、地域の見回りをしてほしい。夜暗い時に変な人に声をかけられたりするのをよく耳にするから</p>
133	竹田高校	<p>竹田市ではここまでお金をかける必要があるのかと言うものにお金をかけているものが多いと思う(竹田市中心交流プラザや竹田市歴史文化館など)。竹田市は少子高齢化が非常に進んでおり、このまま子供の数が減り竹田市から小中高の学校がなくなるようなことがあれば竹田市は無くなってしまうと思います。なので今後は市外から人が移り住んでくれるような子育てや仕事の行きやすい環境を作っていくべきだと思います。</p>
134	竹田高校	<p>通学路でさえ歩道がない場所が多いので改善してほしいです。 車がない場合、公共交通機関の時刻表に合わせて予定を変更しなければいけないのであれば公共交通機関の本数を増やしてほしいです。</p>
137	竹田高校	<p>少子高齢化が進んでいる今、竹田市ではお年寄りの介護等は充実していると思います。しかし、子供に対する支援が行き届いていなかったりしているそうなので、どちらも充実させることが必要だと考えます。また、若者が集まるような施設も設けてほしいです。</p>

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
138	竹田高校	高齢者が免許返納をしても、買い物や公園に出かける、どこかに遊びに行くとなっても、交通手段に困らない(バスではなく、タクシーのようなすぐによべてどこへでも行ける)手段を格安で提供して欲しい。 街中ばかり街灯が多く、竹田高校から川の横を通り商工会議所まで行く道や、扇森稲荷神社から市役所や小学校方面へ行く道など、あまりに街灯がなく、七時半ごろには歩いて帰ることが怖く、帰れないほどなので、街灯を設置して欲しい。
139	竹田高校	お店を増やして欲しい
143	竹田高校	とてもいい街だと思いますが過疎化が否めません。 人を呼び込むことが大事だと思います。
146	竹田高校	大分方面の電車の本数を増やして欲しい。 コンビニエンスストアなどが少ないので気軽に寄れるコンビニがあると良い。
151	竹田高校	高校生とかが遊べる場所やインスタ映えスポット、オシャレなカフェを作って欲しい
155	竹田高校	日本の首都になって欲しいです
161	竹田高校	田舎のメリットを生かしたワーケーションの拡大、企業誘致など、地元竹田で就労支援等を充実させれば、たけたに残る若者が増えるのでは。 高齢者、障害者、健常者が共に働ける空間作り。 農業の分野では、インターネットを利用し、地元農家の分散型ネットを構築し、地産地消を図ることができるのではないかと。具体的に工場の野菜 田舎の畑でとれた新鮮な野菜消費者が生産者に先払いし農業の財政リスクを軽減させる。それを共有プラットフォームに回収させ、短期的な収穫量を判断しながら、次に何を植えるのか判断する。 竹田が行っているファーマーズスクール農作物が取れない冬や、もし失敗した場合補償が十分でないため、参加しづらいのではないかと。 福祉+インターネット
162	竹田高校	もう少し道路を広くしてほしいです
164	竹田高校	高校の通学路にコンビニがあると便利
168	竹田高校	道の整備や歩道の整備など歩行者に対しての気遣いをしてほしい

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
169	竹田高校	子供の減少が著しいので、子育てができる地域になってほしいと思います。
170	竹田高校	行政と学生が直接話せる機会があれば良いと思います。
180	竹田高校	竹田市は空き家が多いので空き家を有効活用することで市の景観と発展が同時に良くなると思います。
181	竹田高校	竹田高校に全く魅力がないのでこのままでは本当に学生がいなくなると思うのでなんとかサポートしてほしいです
182	竹田高校	人が移住するような市にし、人口を増やすべき
185	竹田高校	至難の業
189	竹田高校	働く場所が少なく採用も少ないので受験に失敗した地元の人たちはどんどん県外へいっているのもっと働ける場所を増やして欲しい。
190	竹田高校	大きな箱にわざわざ税金を無駄遣いするのではなくて、もう少し堅実で実用性の高い運用をしてもらいたい。
191	竹田高校	くじゅう連山の良さをもっと広めてほしい
195	竹田高校	若者の流行りに合わせて売るのが変わる店
206	竹田高校	たくさんの人と触れる機会を増やして、移住者を増やす。
208	竹田高校	商店街を活気あるものにしてほしい。 食べ歩きの店を出してほしい。
210	竹田高校	まずお年寄りが増えていくこと前提でのまちづくりが大切だと思います。
214	竹田高校	高齢者や幼児でも安全に暮らせるよう交通関係を改善してほしい
215	竹田高校	大分駅のようなショッピングモールをつくったり、町中を夜の飲み屋だけでなく、昼間に子どもたちが行けるようなお店を増やしていけば、もっと竹田市が活性化すると思います。

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
216	竹田高校	若い人たちに人気ができるような建造物などを作ってはどうかと思います
218	竹田高校	今ある竹田の素晴らしい自然や食べ物を最大限に活かしてほしい
223	竹田南高校	人口が増える街づくり
224	竹田高校	バスの時間を少しかえてほしい
225	竹田高校	電車の時間を見直してほしい。
227	竹田高校	岡城を全面的にアピール
228	竹田高校	若者向けのお店を作る 駅からお店(玉来)が遠い
230	竹田高校	自然を守りつつ、人口流出を防ぐ活動をしたら良いと思います。
231	竹田高校	県外の城下町と比べて、お店が閉まっていたり賑やかでないと感じるので、もっとお店を増やしたりするとういと思う。 竹田の名物を作ったり、食べ歩きしながら城下町散策などできるようにお店を増やして欲しい。 コンビニやスーパーなどの看板の色を統一するなどして現代感を出さないのも城下町っぽくなりそう。
232	竹田高校	交通の整備を進める事が重要だと思います。そして、街中に灯りをもっとつけて欲しい ソーラー発電で貯めた電気等を使えばSDG`sなどの活動にも協力でき街の活性化がすすむと思います。
234	竹田高校	働く場所を増やし、交通の便をよくすれば、若い人たちが出て行きにくくなると思います
235	竹田高校	電車の本数を増やしてほしい お願いします
237	竹田高校	年間に何万人も人が来るところにして欲しい
240	竹田高校	代表的な特産品や観光スポットを一つでも作るべきだと思う

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
243	竹田高校	竹田市にしかできないことがほしい
244	竹田高校	遊ぶ場所を増やしてほしい
245	竹田高校	買い物ができる場所を増やして欲しい。 カフェを作って欲しい。
250	竹田高校	観光地の活性化
251	竹田高校	城下町があるのはアピールポイントだと思うので、徹底的に雰囲気を崩さないようにするのがいいと思います。他県のように自販機の色を制限するなど。
252	竹田高校	住みやすさを充実させていってほしい
256	竹田高校	少子高齢化が進んでいるので子育てをする人が増えるように政策を進めていったらいいのかなと思います。
260	竹田高校	もっと市街からそれ目的で来るような魅力的なお店やオブジェがあると良い
263	竹田高校	「中学校の合併」についてですが、早く進めた方がいいと思います。都野や直入などの統合して生徒が竹田の中学校に行くかもしれない地域の親世代の人々に、「地元の子供がいなくなる」「学校がなくなる」などの理由で反対している人もいると耳にしました。はっきり言ってこれは将来の竹田市の少子化だけではなく、生徒たちのためにもなる事だと思います。私は少ない人数の学校からこの竹田高校に入学し、一気に人数が増え最初は戸惑うこともありましたが、小さい社会から大きい社会に入ったことで、人間関係や自分の立ち位置など人数が多くないと学べなかったことをたくさん学ぶことができています。そして何より人数が多い方が学校生活は楽しいです。だからこそ、市民からのさまざまな意見を聞かないといけないことは重々承知ですが、中学校は早く合併した方がいいと思います。長文失礼しました。
264	竹田高校	他の市町村と比べてテレビに取り上げられるようなすごいことをすれば良いと思う
267	竹田高校	竹田市と言っても、いろんな町があるのでその一つ一つに注目して観光スポットなどを盛んにしていってほしい。特に久住夏越祭りは大切に守っていってほしい。
268	竹田高校	若者が行くようなお店や場所を増やしてほしい。

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
269	竹田高校	もっと活気のある市になって欲しい
271	竹田高校	映画館ほしい
272	竹田高校	竹田市は、とても住みやすく素敵なまちです。 ですが、少子高齢化が進み、竹田を支えていく若い世代が、竹田を離れているのも事実です。 お年寄りの方や、障がいをお持ちの方に優しい街づくりはもちろんですが、若者に親しみやすいまちを作るための活動を多くしてほしいです。私も、地元の高校生として、できることを考えて行動したいと思います。
273	竹田高校	竹田市内にバスケットコートがあると良いと思います。特にグランツ竹田の周りは子供たちがよく行くので、いろんなスポーツのコートがあると小さな頃からたくさんスポーツに触れられて自分の好きなスポーツが見つかると思うし、外で遊ぶ子供も増えて健康的な子育てができると思います。
275	竹田高校	交通の便を、増やしてほしい
276	竹田高校	電柱無くしたり、岡城をコンクリートで補強したりする前に、既存のものじゃなくて、他の市にない、唯一無二のものを創って、観光客を増やしていくべきだと思う。
279	竹田高校	交通が不便
282	竹田高校	新しい建物や施設を作るのもいいが、空き家などもこれから増えていくと思うのでそれを利用してほしい。
283	竹田高校	電子機器の店を作って欲しい
286	竹田高校	学校からの帰りで親が迎えに来れない時にバスがあまり通ってないので待たないといけない時があるので少し不便を感じる
288	竹田高校	交通網がもっと便利にして欲しい。
290	竹田高校	もっとたくさん人が集まってほしい
292	竹田高校	若者を増やす
297	竹田高校	目玉になるような観光施設を作ったら人が増えると思います。

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
298	竹田高校	空き家が多いので空き家を使ったカフェなど高校生がいけるようなリラックスできるような場所が欲しい
299	竹田高校	マックを作ってほしい コンビニをもう少し増やしてほしい
300	竹田高校	車を運転できないお年寄りのためにバスやジャンボタクシーを増やすなどして、お年寄りの不安を減らすような活動や取り組みをして欲しい。
302	竹田高校	交通網や買い物する施設がないのでそこを改善できればいいと思います。
305	竹田高校	遊び場をつくってほしい
307	竹田高校	もっとショッピングモールをたてたらよい
308	竹田高校	もう少し子供が遊べるようなところを作ってほしい
309	竹田高校	遊ぶ場所を増やしてほしいです
315	竹田高校	みんなが参加できる行事を増やしてほしい
317	竹田高校	子供たちが遊べるところをもう少し増やして欲しい
322	竹田高校	交通の便をもう少し発達させたらよいと思う
331	竹田高校	多くの経済効果を見込む事の出来る観光スポットがあればいいと思います
332	竹田高校	交通の便に関して、私は豊後大野から電車で通っているのですが、電車の運行時間の間が長く、最悪1時間以上も待つこともあります。私の家は、親が働いているので、迎えにいくことができないので、どうしても電車で帰らなければなりません。だから、電車の運行時間の見直しをお願いします。
335	竹田高校	買い物もっとしたいです...
337	竹田高校	電波を良くしてほしい
343	竹田高校	電車の本数を増やして欲しい。

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
345	竹田高校	<p>遊ぶところは多くはないが、心安らく地域にラウンドワンとかがあるのも変な話です。温泉もあるしちゃんと見れば自然も整っている。竹楽は外せない。ここまできると楽しい場所より、ほっこりする街竹田の方がいい。マルシヨクヒロセフレインなどスーパーはたくさんあるし、温泉や丸福などもあるので、子供の自分からすれば十分に満足している。都会などに行ったときはとんでもなくうまい料理や遊ぶところがあるだけで他は何ら田舎と変わらない。</p> <p>大人になったらまた見え方が変わってくると思うがとりあえず今は満足。竹田町以外の竹田市にあまり行かないのでわからないが、竹田町だけでも結構いろいろある。後は情報力が弱いのかも知れない。実際九州豪雨の時も情報がうまく回ってなかったり、他人行儀な警報レベルしかないとかで余計な被害が出た。竹田の名を広く知らしめたいならYoutubeとかネットの広告を使うのが手っ取り早い。ただ若い人ばかりに気を取られてると、高齢者が生きづらいかも知れない。竹田はほっこりする場所、タピオカ屋さんじゃなくて喫茶店の立ち位置。</p>
349	竹田高校	働く所がとにかく少ないので、働く所の多様さを広げてほしいですね。
352	竹田高校	駅周辺で座りながら電車を待てる場所を作ってほしいです。駅の待合室はすぐに埋まってしまう
354	竹田高校	巨大な遊園地をつくる
359	竹田高校	交通、特に電車の本数が少ないため乗り遅れた場合1時間以上待つ場合があるため本数を増やしてくれたら便利。
363	竹田高校	電車の時間調整
364	竹田高校	交差点の安全確保
368	竹田高校	高校生のような車の免許を持ってない人でも竹田市内での移動を自由に出来るようにバス停や駅を増やして欲しいです。
370	竹田高校	竹田市には歴史ある建物が多かったり、最近では新しいお洒落なお店が少しずつ増えてきたりと徐々に街が発展していているように感じます。しかし、竹田駅前の商店街は、シャッターが降りているお店も多く見られるから、商店街を発展させて欲しいと思います。
378	竹田高校	城下町にコンビニがあったらいいなと思います

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
384	竹田高校	もっと城下町を活性化させて、観光客を誘致してほしい。
388	竹田高校	やはり何か他の地域とは違う珍しいことをしないと人は集まってはこないと思います
389	竹田高校	竹田市にはみんなが休めるベンチがたくさんあると思います。学生の迎えなどの待ち時間に座ったりして便利ですが、雨の日のベンチは座れないので屋根があると便利だと思いました。
392	竹田高校	もう少しお店を増やして欲しい。 勉強したり休憩出来るカフェが欲しい(買い食いできるお店など...) 夏祭りなどをして欲しい。
393	竹田高校	自然を守ってほしい
394	竹田高校	レトロな雰囲気とボロボロで寂れている感じが混ざっていて、全体的に中途半端な感じがします。 岡本信彦さんが声を当てたcmが確かあったと思うのでそれをゴリ押ししたほうが良いと思います。岡本信彦さんはとても人気なのでもっとそのcmが多くの人目に触れた方が良いと思います。
396	竹田高校	交通の便を良くして欲しい
398	竹田高校	将来、竹田市以外に住んで、竹田市のことを耳にしたときによい噂を聞きたい。
402	竹田高校	働くために外に出て竹田市から離れたまま帰ってこない人も多いと思うので、働く場所を増やしたり、観光地を作るといいと思った。
403	竹田南高校	若者の遊び場やショッピングモールなどを増やして欲しい
404	竹田南高校	遊ぶ所を作って欲しい 買い物する所が欲しい テーマパークなど人が集まる所が欲しい
405	竹田南高校	コンビニやスーパーを増やして欲しいのと、電車の数を増やしてほしいです。
406	竹田南高校	コンビニを増やして欲しい
407	竹田南高校	セブンイレブンを建てて欲しい
408	竹田南高校	コンビニとか時間をつぶせるところを豊後竹田駅付近に作って欲しい

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
409	竹田南高校	セブンがほしい
410	竹田南高校	駄菓子屋さんを増やしてほしい スーパーをもっとでかく、安く、大きくして欲しい
411	竹田南高校	コンビニを作って欲しい
414	久住高原農業高校	自然を大切にしてほしい
415	久住高原農業高校	コンビニない。コスモスなどの大きな店を一つでもいいから作って欲しい
418	久住高原農業高校	病院などの設備の充実。バスの本数、運賃。空き家の撤去。お店の充実。過疎化問題の改善。
419	久住高原農業高校	竹田市にドンキを作って欲しい
420	久住高原農業高校	店を増やしてほしい
421	久住高原農業高校	若い人を呼び込むためにも身近にコンビニや工場を建てて若者が来たり、住みたいと思えるような市になってほしい。
422	久住高原農業高校	バスが不便
423	久住高原農業高校	町の行事などを増やしてほしい。
425	久住高原農業高校	将来に向けて市を明るくしてほしい
428	久住高原農業高校	とにかく交通手段を便利にしてほしい
431	久住高原農業高校	遊ぶところを増やしてほしい
435	久住高原農業高校	コンビニや遊ぶ場所を増やしてほしい。 ネット環境を良くしてほしい。
437	久住高原農業高校	もう少しバスの数と買い物ができるところが増えると良いと思う。 竹田市で帰るものが少しばかり少ない気がしており、一部の地域では特定のものはほとんど手に入らなかったりします。なのでそこを直して欲しい。
441	久住高原農業高校	もっとお店を増やして生活しやすくして欲しい

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
442	久住高原農業高校	バスの本数を少し増やし、コンビニなど短にいける場所を増やすと寄り観光客も増えるのではないかと思った
445	久住高原農業高校	久住交差点の信号をつけて欲しい
446	久住高原農業高校	伝統を大切にしていってほしい
448	久住高原農業高校	今年度で私たちは卒業して遠く離れた地に行きますが、後輩たちのために住みやすい竹田市を作って欲しいです。よろしくお願いします。
449	久住高原農業高校	買い物できる場所を増やして欲しい
455	久住高原農業高校	買い物がしやすいまちづくり
458	久住高原農業高校	特に久住地域は周りに娯楽や建物が少ないため、企業の進出などがあれば少しは発展することができるのではないか
459	久住高原農業高校	久住に店などを増やしたほうがいい
461	久住高原農業高校	もっと大分市内へのアクセスを便利にしてほしい
463	久住高原農業高校	もう少し道路整備や子供の医療、お年寄りの送迎バスなどをもっと増やして欲しいです。
466	久住高原農業高校	もう少しお店を増やした方がいい
468	久住高原農業高校	大分市に行くバスの数が少ない
488	久住高原農業高校	散髪店などの美容系の店舗やコンビニエンスストアなどを増やした方がいいよ思う。
493	久住高原農業高校	店増やして
495	竹田南高校	遊び場が少ない。買い物屋さんが少ないのと駅や学校から遠い

自由意見_高校生

No.	学校	自由意見
496	竹田南高校	<p>まず直入の方面に行く高伏経路の数がとても少なく、バスを利用するに時に大回りの久住経路に乗り、25分以上のロスで前まで出来ていたことが出来ずとても苦労しております。確かに乗る人が少ないのは、事実です。</p> <p>私は、竹田をより良くしたいです。学生の意見は、貴重かもしれないですね。竹田には、学生が遊べる所もなく、三重町まで行かなければ遊ぶところもありません。</p>
497	竹田南高校	竹田駅の前に時計を置いて欲しい
498	竹田南高校	すべての市民が、暮らしやすく老若男女が、幸福になるような、まちづくりをしてほしい。
500	竹田南高校	インターネットをもっと使いやすくし買い物ができるところをもっと増やして欲しい

